寡爾比亞國皇帝陛下
陸軍將官、參事院議長サヴァ、グルーイッチ
伊國駐劄特命全權公使、常設仲裁裁判所裁判官ミロヴァン、ミロヴァノヴィッチ
英國駐劄兼和蘭國駐劄特命全權公使ミシエル、ミリチェヴィッチ
墨國皇帝陛下
陸軍少將モム、ヂャチデー、ウドム
公使館參事官セー、コラヂオニ、ドレヲ
陸軍大尉ルアングヒュヴァナルト、ナリューバル
瑞典國、「ゴッツ」及「ヴァンド」皇帝陛下
前司法大臣、丁抹國駐劄特命全權公使、常設仲裁裁判所裁判官クヌート、ヒァルマル、レオナルド、ハムマルスキョルド
前無省大臣、前高等法院評定官、常設仲裁裁判所裁判官ヰハンネス、ヘルネル
瑞西聯邦政府
英國駐劄兼和蘭國駐劄特命全權公使ガストン、カルラン
陸軍參謀大佐「ジェネヴァ」大學教授ユージェーン、ボレル
「チューリヒ」大學法學教授マックス、フーベル
土耳其國皇帝陛下
特命大使「ミニストル、ド、レヴカフ」チュルカン、パシヤ
伊國駐劄特命全權大使レシッド、ベー
海軍中將メヘメッド、パシヤ
東「ウルグェー」共和國大統領
前大統領、常設仲裁裁判所裁判官ホセ、パトレ、イ、オルドニエス
前上院議長、佛國駐劄特命全權公使、常設仲裁裁判所裁判官ファン、ベー、カストロ
「ヴェネズエラ」合衆國大統領
獨逸國駐劄代理公使ホセ、ヒル、フォルトウル
因テ各全權委員ハ其ノ良好妥當ナリト認メラレタル委任狀ヲ寄託シタル後左ノ條項ヲ協定セリ

第一條　締約國ハ其ノ陸軍隊ニ對シ本條約ニ附屬スル陸戰ノ法規慣例ニ關スル規則ニ適合スル訓令ヲ發スヘシ

第二條　第一條ニ揭ケタル規則及本條約ノ規定ハ交戰國カ悉ク本條約ノ當事者ナルトキニ限締約國間ニノミ之ヲ適用ス

第三條　前記規則ノ條項ニ違反シタル交戰當事者ハ損害アルトキハ之カ賠償ノ責ヲ負フヘキモノトス交戰當事者ハ其ノ軍隊ヲ組成スル人員ノ一切ノ行爲ニ付責任ヲ負フ

第四條　本條約ハ正式ニ批准セラレタル上締約國間ノ關係ニ於テハ陸戰ノ法規慣例ニ關スル千八百九十九年七月二十九日ノ條約ニ代ルヘキモノトス

千八百九十九年ノ條約ハ該條約ニ記名シタルモ本條約ヲ批准セサル諸國間ノ關係ニ於テハ依然效力ヲ有スルモノトス

第五條　本條約ハ成ルヘク速ニ批准スヘシ

批准書ハ海牙ニ寄託ス

第一回ノ批准書寄託ハ之ニ加ハリタル諸國ノ代表者及和蘭國外務大臣ノ署名シタル調書ヲ以テ之ヲ證ス

爾後ノ批准書寄託ハ和蘭國政府ニ宛テ且批准書ヲ添附シタル通告書ヲ以テ之ヲ爲ス

第一回ノ批准書寄託ニ關スル調書、前項ニ揭ケタル通告書及批准書ノ認證謄本ハ和蘭國政府ヨリ外交上ノ手續ヲ以テ直ニ之ヲ第二回平和會議ニ招請セラレタル諸國及本條約ニ加盟スル他ノ諸國ニ交付スヘシ前項ニ揭ケタル場合ニ於テハ和蘭國政府ハ同時ニ通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スルモノトス

第六條　記名國ニ非サル諸國ハ本條約ニ加盟スルコトヲ得

加盟セムト欲スル國ハ書面ヲ以テ其ノ意思ヲ和蘭國政府ニ通告シ且加盟書ヲ送付シ之和蘭國政府ノ文庫ニ寄託スヘシ

和蘭國政府ハ直ニ通告書及加盟書ノ認證謄本ヲ爾餘ノ諸國ニ送付シ且右通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スヘシ

第七條　本條約ハ第一回ノ批准書寄託ニ加ハリタル諸國ニ對シテハ其ノ寄託ノ調書ノ日附ヨリ六十日ノ後又其ノ後ニ批准シ又ハ加盟スル諸國ニ對シテハ和蘭國政府カ右批准又ハ加盟ノ通告ヲ接受シタルトキヨリ六十日ノ後ニ其ノ效力ヲ生スルモノトス

第八條　締約國中本條約ヲ廢棄セムト欲スルモノアルトキハ書面ヲ以テ其ノ旨和蘭國政府ニ通告スヘシ和蘭國政府ハ直ニ通告書ノ認證謄本ヲ爾餘ノ諸國ニ送付シ且右通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スヘシ

廢棄ハ其ノ通告書カ和蘭國政府ニ到達シタルトキヨリ一年ノ後右通告ヲ爲シタル國ニ對シテノミ效力ヲ生スルモノトス

第九條　和蘭國外務省ハ帳簿ヲ備ヘ置キ第五條第三項及第四項ニ依リ爲シタル批准書寄託ノ日竝加盟（第六條第二項）又ハ廢棄（第八條第一項）ノ通告ヲ接受シタル日ヲ記入スルモノトス

各締約國ハ右帳簿ヲ閱覽シ且其ノ認證抄本ヲ請求スルコトヲ得

右證據トシテ各全權委員本條約ニ署名ス

千九百七年十月十八日海牙ニ於テ本書一通ヲ作リ之ヲ和蘭國政府ノ文庫ニ寄託シ其ノ認證謄本ヲ外交上ノ手續ニ依リ第二回平和會議ニ招請セラレタル諸國ニ交付スヘキモノトス

第一附屬　逸國（マルシャル、クリーダ）附屬規則第四十四條ヲ留保ス

第二　亞米利加合衆國（ジョセフ、エッチ、チョート、ホレス、ポーター、ユー、エム、ローズ、アヴィッド、ジェーン、ヒル、シー、エス、スペリー、ウィリアム、アイ、アカナン、ロク、サエンツ、ペニヤ、ルイス、エム、ドラゴ、セー、ロドリゲス、ラレタメレー）千九百七年八月十七日ノ總會議ニ於テ爲シタル宣言ヲ留保ス

第三　亞爾然丁國（男爵マッキオ、ア、ベルナール、シー、ウァン、デン、ヒューベル、ギーヨーム）

第四　墺地利洪牙利國（クラウダオ、ピニラ、ルイ、バルボサ）

第五　白耳義國（エー、リスボア、ウィリアム、ヴィナロフ、ドミシゴ、ガナ、アウグスト、マッテ、カルロス、コンチャ）

第六　「ボリヴィア」國（ホルヘ、ホルヴィン、エス、ベレス、トリアナ、エム、ヴァルガス、アントニオ、エス、デ、アスタマンテ、ゴンザロ、デ、クエサダ）

第七　伯剌西爾國

第八　勃爾牙利國

第九　智利國

第十　清國

第十一　格倫比亞國

第十二　玖馬共和國

第十三　丁抹國（マヌエル、サンゲィリー、セー、ブロンドクトル、ヘンリクス、イ、カルヴァルホ、アボリナル、デ、ヘラヴィクトル、エム、レンドン、エ、ドルン、イ、デ、アルスプレオン、ブールジョア、アスツールネル、ド、コンスタンエル、ルノー、マルスラン、ベレエドワード、フライアーネスト、サトウレー、ヘンリー、ハワードクレオン、リツォ、ランガベジョールジュ、ストレイトホセ、チアレ、マチャドダルベマル、ジャン、ジョセフジー、エス、レジェーヒエール、ユアクールポンヒリジェー、ブジナト佐藤愛麿）第四十四條ヲ留保スアイシェン伯爵ド、ヴィレーエドワード、グルーイッチエス、ベー、ド、ミエーエフ、エル、デ、ラ、パラネリドフマルテンス（エヌ、チャリコフ）

（本條約附屬規則第四十四條ニ關シテ表明シ且千九百七年八月十七日ノ第四回總會議事錄ニ記入セラレタル留保ヲ爲ス）

第十四　「ドミニカ」共和國（侯爵デ、ソヴェラル伯爵デ、セリール）

第十五　「エクアドル」國（アルベルト、ドリヴェイラエドガール、マヴロコルダト）

第十六　西班牙國（ネリドフレオン、ブールジョアアスツールネル、ド、コンスタンエル、ルノー）

第十七　佛蘭西國（マルスラン、ベレエドワード、フライアーネスト、サトウレー）

第十八　大不列顛國（ヘンリー、ハワードクレオン、リツォ、ランガベジョールジュ、ストレイトホセ、チアレ、マチャドダルベマル、ジャン、ジョセフジー、エス、レジェーヒエール、ユアクールポンヒリジェー、ブジナト佐藤愛麿）第四十四條ヲ留保スアイシェン伯爵ド、ヴィレーエドワード、グルーイッチエス、ベー、ド、ミエーエフ、エル、デ、ラ、パラネリドフマルテンス（エヌ、チャリコフ）

（本條約附屬規則第四十四條ニ關シテ表明シ且千九百七年八月十七日ノ第四回總會議事錄ニ記入セラレタル留保ヲ爲ス）

第十九　希臘國（ジェー、ア、エステヴァエス、ベー、ド、ミエーエフ、エル、デ、ラ、パラネリドフマルテンス（エヌ、チャリコフ）

（本條約附屬規則第四十四條ニ關シテ表明シ且千九百七年八月十七日ノ第四回總會議事錄ニ記入セラレタル留保ヲ爲ス）

第二十　「ニカラグァ」國（第二十八　諾威國）

第二十一　「ハイチ」國（第二十九　巴奈馬國）

第二十二　伊太利國（第三十　「パラグェー」國）

第二十三　日本國（第三十一　和蘭國）

第二十四　盧森堡國（第三十二　墨西哥國）

第二十五　墨西哥國（伯爵ド、ヴィレー）

第二十六　「モンテネグロ」國（第二十七　「ニカラグァ」國）

第二十八　諾威國（エフ、ハーゲルプ）

第二十九　巴奈馬國（ベー、ボラス）

第三十　「パラグェー」國（ジェー、ザ、モンソードアルヴェアッシュ、ド、ボーフォールテー、エム、セー、アッセルアン、ベール、ポールチュゲールジー、アー、ローエルジー、アー、ロエフセー、ジェー、カンダモ）

第三十一　和蘭國（第三十三　波斯國）

第三十二　瑞典國（第三十四　葡萄牙國）

第三十三　波斯國（モムタゾスサルタネー、エム、サマド、カンサヂア、ウル、ムルク、エム、アーメッド、カン）

第三十四　葡萄牙國（侯爵デ、ソヴェラル伯爵デ、セリール）

第三十五　羅馬尼亞國（アルベルト、ドリヴェイラ）

第三十六　露西亞國（エドガール、マヴロコルダト）

（本條約附屬規則第四十四條ニ關シテ表明シ且千九百七年八月十七日ノ第四回總會議事錄ニ記入セラレタル留保ヲ爲ス）

第三十七　「サルヴァドル」國（ネリドフレオン、ブールジョアアスツールネル、ド、コンスタンエル、ルノー、マルスラン、ベレエドワード、フライアーネスト、サトウレー）

第三十八　塞爾比亞國（ヘンリー、ハワードクレオン、リツォ、ランガベジョールジュ、ストレイトホセ、チアレ、マチャドダルベマル、ジャン、ジョセフジー、エス、レジェーヒエール、ユアクールポンヒリジェー、ブジナト佐藤愛麿）第四十四條ヲ留保スアイシェン伯爵ド、ヴィレーエドワード、グルーイッチエス、ベー、ド、ミエーエフ、エル、デ、ラ、パラネリドフマルテンス（エヌ、チャリコフ）

（本條約附屬規則第四十四條ニ關シテ表明シ且千九百七年八月十七日ノ第四回總會議事錄ニ記入セラレタル留保ヲ爲ス）

第三十九　暹羅國（モム、チャチデー、ウドムセー、コラヂオニ、ドレヲルアング、ヒュヴァナルト、ナリューバルカー、アッシュ、エル、ハムマルスキョルドヨハンネス、ヘルネル）

第四十　瑞典國（カルラン）

第四十一　瑞西國（チュルカン）（第三條ヲ留保ス）

第四十二　土耳其國（「サルヴァドル」國ホセ、パトレ、イ、オルドニエス）

第四十三　「ウルグェー」國（ジー、ヒル、フォルトウル）

第四十四　「ヴェネズエラ」國

條約附屬陸戰ノ法規慣例ニ關スル規則

第一款　交戰者

第一章　交戰者ノ資格

第一條　戰爭ノ法規及權利義務ハ單ニ之ヲ軍ニ適用スルノミナラス左ノ條件ヲ具備スル民兵及義勇兵團ニモ亦之ヲ適用ス

一　部下ノ爲ニ責任ヲ負フ者其ノ頭ニ在ルコト

二　遠方ヨリ認識シ得ヘキ固著ノ特殊徽章ヲ有スルコト

三　公然兵器ヲ携帶スルコト

四　其ノ動作ニ付戰爭ノ法規慣例ヲ遵守スルコト

民兵又ハ義勇兵團ヲ以テ軍ノ全部又ハ一部ヲ組織スル國ニ在リテハ之ヲ軍ノ名稱中ニ包含ス

第二條　占領セラレサル地方ノ人民ニシテ敵ノ接近スルニ當リ第一條ニ依リテ編成ヲ爲スノ遑ナク侵入軍隊ニ抗敵スル爲自ラ兵器ヲ操ル者カ公然兵器ヲ携帶シ且戰爭ノ法規慣例ヲ遵守スルトキハ之ヲ交戰者ト認ム

第三條　交戰當事者ノ兵力ハ戰鬪員及非戰鬪員ヲ以テ之ヲ編成スルコトヲ得敵ニ捕ハレタル場合ニ於テハ二者均シク俘虜ノ取扱ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第二章　俘虜

第四條　俘虜ハ敵ノ政府ノ權內ニ屬シ之ヲ捕ヘタル個人又ハ部隊ノ權內ニ屬スルコトヲ得

俘虜ハ人道ヲ以テ取扱ハルヘシ

俘虜ノ一身ニ屬スルモノハ兵器、馬匹及軍用書類ヲ除クノ外依然其ノ所有タルヘシ

第五條　俘虜ハ一定ノ地域外ニ出テサル義務ヲ負ハシメテ之ヲ都市、城寨、陣營其ノ他ノ場所ニ留置スルコトヲ得但シ已ムヲ得サル

保安手段トシテ且該手段ヲ必要トスル事情ノ繼續中ニ限之ヲ閉鎖スルコトヲ得

第六條　國家ハ將校ヲ除クノ外俘虜ヲ其ノ階級及技能ニ應シ勞務者トシテ使役スルコトヲ得其ノ勞務ハ過度ナルヘカラス又一切作戰動作ニ關係ヲ有スヘカラス

俘虜ハ公務所、私人又ハ自己ノ爲ニ勞務スルコトヲ許可セラルルコトアルヘシ

國家ノ爲ニスル勞務ニ付テハ同一勞務ニ使役スル內國陸軍人ニ適用スル現行定率ニ依リ支拂ヲ爲スヘシ右定率ナキトキハ其ノ勞務ニ對スル割合ヲ以テ支拂フヘシ

公務所又ハ私人ノ爲ニスル勞務ニ關シテハ陸軍官憲ト協議ノ上條件ヲ定ムヘシ

俘虜ノ勞銀ハ其ノ境遇ノ艱苦ヲ輕減スルノ用ニ供シ剩餘ハ解放ノ時給養ノ費用ヲ控除シテ之ヲ俘虜ニ交付スヘシ

第七條　政府ハ其ノ權內ニ在ル俘虜ヲ給養スヘキ義務ヲ有ス

交戰者間ニ特別ノ協定ナキ場合ニ於テハ俘虜ハ糧食、衣具及被服ニ關シ之ヲ捕ヘタル政府ノ軍隊ト對等ノ取扱ヲ受クヘシ

第八條　俘虜ハ之ヲ其ノ權內ニ屬セシメタル國ノ陸軍現行法律、規則及命令ニ服從スヘキモノトス捕テ不從順ノ行爲アルトキハ俘虜ニ對シ必要ナル嚴重手段ヲ施スコトヲ得

逃走シタル俘虜ニシテ其ノ軍ニ達スル前又ハ之ヲ捕ヘタル軍ノ占領シタル地域ヲ離ルルニ先チ再ヒ捕ヘラレタル者ハ懲罰ニ付セラルヘシ

俘虜逃走ヲ途クタル後再ヒ俘虜ト爲リタル者ハ前ノ逃走ニ對シテハ何等ノ罰ヲ受クルコトナシ

第九條　俘虜其ノ氏名及階級ニ付訊問ヲ受クタルトキハ實ヲ以テ答フヘキモノトス若此ノ規定ニ背クトキハ同程ノ俘虜ニ與ヘラルヘキ利益ヲ減殺セラルルコトアルヘシ

第十條　俘虜ハ其ノ本國ノ法律カ之ヲ許ストキハ宣誓ノ後解放セラルルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ本國政府及之ヲ捕ヘタル政府ニ對シ一身ノ名譽ヲ賭シテ其ノ誓約ヲ嚴密ニ履行スル爲軍事上ノ必要及行政上ノ規則ニ依リ俘虜ニ課スル義務ヲ有ス

第十一條　俘虜ハ宣誓解放ノ受諾ヲ强制セラルルコトナク又敵ノ政府ハ宣誓解放ヲ求ムルノ義務ナシ

第十二條　宣誓解放ヲ受ケ俘虜ニシテ其ノ名譽ヲ賭シテ誓約ヲ爲シタル政府又ハ其ノ政府ノ同盟國ニ對シテ兵器ヲ操リ再ヒ捕ヘラレタル者ハ俘虜ノ取扱ヲ受クルノ權利ヲ失フヘク且裁判ニ付セラルルコトアルヘシ

第十三條　新聞ノ通信員及探訪者竝酒保用達人等ノ如キ直接ニ軍ノ一部ヲ爲ササル從軍者ニシテ敵ノ權內ニ陷リ敵ニ於テ之ヲ抑留スルヲ有益ナリト認メタル者ハ其ノ所屬陸軍官憲ノ證明書ヲ携帶スル場合ニ限リ俘虜ノ取扱ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第十四條　各交戰國ハ戰爭開始ノ時ヨリ又中立國ハ交戰者ヲ其ノ領土ニ收容シタル時ヨリ俘虜情報局ヲ設置ス情報局ハ俘虜ニ關スル一切ノ問合ニ答フルノ任務ヲ有シ俘虜ノ留置、移動、宣誓解放、交換、逃走、入院、死亡ニ關スル事項其ノ他各俘虜ニ關シ銘銘票ヲ作成補修スルノ爲ニ必要ナル通報ヲ各當該官憲ヨリ受クルモノトス情報局ハ該票ニ番號、氏名、年齡、本籍地、階級、所屬部隊、負傷竝捕獲、留置、負傷及死亡ノ日附及場所其ノ他一切ノ備考事項ヲ記載スヘシ銘銘票ハ平和克復ノ後之ヲ他方交戰國ノ政府ニ交付スヘシ

情報局ハ又宣誓解放セラレ交換セラレ逃走シ又ハ病院若ハ繃帶所ニ於テ死亡シタル俘虜ノ遺留シ竝戰場ニ於テ發見セラレタル一切ノ自用品、有價物、信書等ヲ敎集シテ之ヲ其ノ關係者ニ傳送スルノ任務ヲ有ス

第十五條　慈善行爲ノ緣介者タル目的ヲ以テ自國ノ法律ニ從ヒ正式ニ組織セラレタル俘虜救恤協會ハ其ノ人道的事業ヲ有效ニ遂行スル爲軍事上ノ必要及行政上ノ規則ニ依リ俘虜ニ寬假ヲ與フルノ權利ヲ有ス

第十六條　俘虜ハ其ノ國籍ノ屬スル交戰國ノ軍隊ニ復歸シタルトキ又ハ中立國ニ逃亡シ若ハ中立國ニ入リタルトキ又ハ其ノ本國ノ領土ヲ通過スルトキハ其ノ軍隊ニ於テ軍事上ノ嫌疑者トシテ取扱ハルヘシ

第十七條　俘虜ハ其ノ抑留ヲ免ルル爲逃走シ又ハ逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得ス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタルトキハ俘虜ニ對シ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第十八條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第十九條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第二十條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第二十一條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第二十二條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第二十三條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第二十四條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第二十五條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第二十六條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第二十七條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第二十八條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第二十九條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第三十條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第三十一條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第三十二條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第三十三條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第三十四條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第三十五條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第三十六條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第三十七條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第三十八條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第三十九條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第四十條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第四十一條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第四十二條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第四十三條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第四十四條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第四十五條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第四十六條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第四十七條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第四十八條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第四十九條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第五十條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第五十一條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第五十二條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第五十三條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第五十四條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第五十五條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第五十六條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第五十七條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第五十八條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第五十九條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第六十條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第六十一條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第六十二條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第六十三條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第六十四條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第六十五條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第六十六條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第六十七條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第六十八條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第六十九條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第七十條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第七十一條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第七十二條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第七十三條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第七十四條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第七十五條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第七十六條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第七十七條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第七十八條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第七十九條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第八十條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第八十一條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第八十二條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第八十三條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第八十四條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第八十五條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第八十六條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第八十七條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第八十八條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第八十九條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第九十條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第九十一條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第九十二條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第九十三條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第九十四條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第九十五條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第九十六條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ得

第九十七條　俘虜ハ其ノ逃走ニ關シ他ノ俘虜ノ行爲ニ付テハ何等ノ責任ヲ負ハス

逃走ヲ企テ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ暴行ヲ加ヘ又ハ所持品ヲ隱匿シタル俘虜ニ對シテハ懲罰ヲ科スルコトヲ

外務大臣ハ、萬國郵便條約ノ實施ニ關シ、萬國郵便聯合ノ事務局ト交渉ヲ爲ス權能ヲ有ス

萬國郵便聯合ノ事務局ハ、萬國郵便條約ノ實施ニ關シ、萬國郵便聯合ノ各國ノ政府

ニスル兵器、彈藥其ノ他軍隊又ハ艦隊ノ用ニ供シ得ヘキ一切ノ物件ノ輸出又ハ通過ヲ防止スル手要セサルモノトス

第八條　中立國ハ其ノ所有ニ屬スル會社又ハ個人ノ所有ニ屬スルトヲ問ハス交戰者ノ爲ニ電信又ハ電話ノ線條竝無線電信機ヲ使用スルコトヲ禁止シ又ハ制限スルヲ要セサルモノトス

第九條　第七條及第八條ニ規定シタル事項ニ關シ中立國ノ定ムル一切ノ制限又ハ禁止ハ兩交戰者ニ對シ一樣ニ之ヲ適用スヘキモノトス

中立國ハ電信若ハ電話ノ線條又ハ無線電信機ノ所有者タル會社又ハ個人ヲシテ右ノ義務ヲ履行セシムル樣監視スヘシ

第十條　中立國カ其ノ中立ノ侵害ヲ防止スル事實ハ兵力ヲ用ヰル場合ト雖之ヲ以テ敵對行爲ト認ムルコトヲ得ス

第二章　中立國內ニ於ヲ留置スル交戰者及救護スル傷者

第十一條　交戰國ノ軍ニ屬スル軍隊カ中立國領土ニ入リタルトキハ該中立國ハ成ルヘク戰地ヨリ隔離シテ之ヲ留置スヘシ

中立國ハ右軍隊ヲ陣營內ニ監置シ且城塞若ハ特ニ之カ爲ニ設備シタル場所ニ幽閉スルコトヲ得

許可ナクシテ中立領土ヲ去ラサルノ宣誓ヲ爲サシメテ將校ニ自由ヲ與フルト否トハ中立國ニ於テ之ヲ決スヘシ

第十二條　特別ノ條約ナキトキハ中立國ハ其ノ留置シタル人員ニ糧食、被服及人道ニ基ク救助ヲ供與スヘシ

留置ノ爲ニ生シタル費用ハ平和克復ニ至リ償却セラルヘシ

第十三條　逃走シタル俘虜カ中立國ニ入リタルトキハ該中立國ハ之ヲ自由ニ任スヘシ若其ノ領土內ニ滯留スルコトヲ寬容スルトキハ之カ居所ヲ指定スルコトヲ得

右規定ハ中立國ノ領土ニ避退スル軍隊ノ引率シタル俘虜ニ之ヲ適用ス

第十四條　中立國ハ交戰國ノ軍ニ屬スル傷者又ハ病者カ其ノ領土ヲ通過スルヲ許スコトヲ得但シ之ヲ輸送スル列車ニハ戰鬪ノ人員及材料ヲ搭載スルコトヲ得サルモノトス此ノ場合ニ於テハ中立國ハ之カ爲必要ナル保安及監督ノ處置ヲ執ルヘキモノトス

交戰者ノ一方カ前記條件ノ下ニ中立領土內ニ引率シタル傷者又ハ病者ニシテ對手交戰者ニ屬スヘキ者ハ再ヒ作戰動作ニ加ルコトヲ得サル樣該中立國ニ於テ之ヲ監守スヘシ

右中立國ハ自己ニ委ネラレタル他方軍隊ノ傷者又ハ病者ニ付同一ノ義務ヲ有スルモノトス

第十五條　「ジェネヴァ」條約ハ中立領土ニ留置セラレタル病者及傷者ニ之ヲ適用ス

第三章　中立人

第十六條　戰爭ニ與ラサル國ノ國民ハ中立人トス

第十七條　左ノ場合ニ於テ中立人ハ其ノ中立ヲ主張スルコトヲ得ス

イ　交戰者ニ對シ敵對行爲ヲ爲ストキ

ロ　交戰者ノ利益ヲ爲ヘキ行爲ヲ爲ストキ殊ニ任意ニ交戰國ノ一方ノ軍ニ入リ又ハ軍隊ニ於テ交戰者ニ對シ中立ヲ守ラサルヲ中立人ハ該交戰者ヨリ同一ノ行爲ヲ爲シタル他方交戰國ノ國民ニ比シ一層嚴ナル取扱ヲ受クルコトナシ

第十八條　左ニ揭クル事項ハ第十七條ロ號ニ所謂交戰者ノ一方ノ利益ト爲ルヘキ行爲ト認メス

イ　交戰者ノ一方ニ供給ヲ爲シ又ハ其ノ公債ニ應スルコト但シ供給者又ハ債主カ他方ノ交戰者ノ領土又ハ其ノ占領地ニ住居セス且供給品カ此等地方ヨリ來ラサルモノナルトキニ限ル

ロ　警察又ハ民政ニ關スル勤務ニ服スルコト

第四章　鐵道材料

第十九條　中立國ノ領土ヨリ來リタル鐵道材料ニシテ該中立國又ハ私立會社若ハ個人ニ屬シ及屬スト認ムヘキモノハ必要已ムヲ得サル場合及程度ニ於テスルノ外交戰者ニ於テ之ヲ徵發使用スルコトヲ得ス右材料ハ成ルヘク速ニ本國ニ返還スヘシ

中立國モ亦必要ナル場合ニ於テハ交戰國ノ領土ヨリ來リタル材料ヲ該交戰國カ徵發使用シタル程度以內ニ於テ留置使用スルコトヲ得

右ニ關スル賠償ハ使用シタル材料及使用ノ期間ニ應シテ雙方ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第五章　附則

第二十條　本條約ノ規定ハ交戰國カ悉ク本條約ノ當事者ナルトキニ限締約國間ニノミ之ヲ適用ス

第二十一條　本條約ハ成ルヘク速ニ批准スヘシ

批准書ハ海牙ニ寄託ス

第一回ノ批准書寄託ハ之ニ加リタル諸國ノ代表者及和蘭國外務大臣ノ署名シタル調書ヲ以テ之ヲ證ス

爾後ノ批准書寄託ハ和蘭國政府ニ宛テ且批准書ヲ添附シタル通告書ヲ以テ之ヲ爲ス

第一回ノ批准書寄託ニ關スル調書、前項ニ揭クタル通告書及批准書ノ認證謄本ハ和蘭國政府ヨリ外交上ノ手續ヲ以テ直ニ之ヲ第二回平和會議ニ招請セラレタル諸國及本條約ニ加盟スル他ノ諸國ニ交付スヘシ前項ニ揭ケタル場合ニ於テハ和蘭國政府ハ同時ニ通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スルモノトス

第二十二條　記名國ニ非サル諸國ハ本條約ニ加盟スルコトヲ得

加盟セムト欲スル國ハ書面ヲ以テ其ノ意思ヲ和蘭國政府ニ通告シ且加盟書ヲ送付シ之ヲ和蘭國政府ノ文庫ニ寄託スヘシ

和蘭國政府ハ直ニ通告書及加盟書ノ認證謄本ヲ爾餘ノ諸國ニ送付シ且右通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スヘシ

第二十三條　本條約ハ第一回ノ批准書寄託ニ加リタル諸國ニ對シテハ其ノ寄託ノ調書ノ日附ヨリ六十日ノ後又其ノ後ニ批准シ又ハ加盟スル諸國ニ對シテハ和蘭國政府カ右批准又ハ加盟ノ通告ヲ接受シタル日ヨリ六十日ノ後ニ其ノ效力ヲ生スルモノトス

第二十四條　締約國中本條約ヲ廢棄セムト欲スルモノアルトキハ書面ヲ以テ其ノ旨和蘭國政府ニ通告スヘシ和蘭國政府ハ直ニ通告書ノ認證謄本ヲ爾餘ノ諸國ニ送付シ且右通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スヘシ

廢棄ハ其ノ通告カ和蘭國政府ニ到達シタル日ヨリ一年ノ後右通告ヲ爲シタル國ニ對シテノミ效力ヲ生スルモノトス

第二十五條　和蘭國外務省ハ帳簿ヲ備ヘ置キ第二十一條第三項及第四項ニ依リ爲シタル批准書寄託ノ日竝加盟（第二十二條第二項）又ハ廢棄（第二十四條第一項）ノ通告ヲ接受シタル日ヲ記入スルモノトス

各締約國ハ右帳簿ヲ閱覽シ且其ノ認證抄本ヲ請求スルコトヲ得

右證據トシテ各全權委員本條約ニ署名ス

千九百七年十月十八日海牙ニ於テ本書一通ヲ作リ之ヲ和蘭國政府ノ文庫ニ寄託シ其ノ認證謄本ヲ外交上ノ手續ニ依リ第二回平和會議ニ招請セラレタル諸國ニ交付スヘキモノトス

第三亞爾然丁共和國ハ第十九條ヲ留保ス

第三亞爾然丁　共和國　ロク、サエンツ、ペニヤ　ルイス、エム、ドラゴ　セー、ロドリゲス、ラレタ

第四墺地利洪牙利國　メレー

第五白耳義國　男爵マッキヌ　アンベルナール　ジー、ヴァン、アン、ヒューベル　ギーヨーム

第六「ボリヴィア」國　クラウヂオ、ピニラ

第七伯剌西爾國　ルイ、パルボサ

第八勃爾牙利國　エー、リスポア

第九智利國　陸軍少將ヴィナロフ　イヴァン、カランジューロフ　ドミンゴ、ガナ

第十清國　アウグスト、マッテ　カルロス、コンチャ

第十一格倫比亞國　ホルヘ、ホルヴィン　エス、ペレス、トリアナ　エム、ヴァルガス

第十二玖馬共和國　アントニオ、エス、デ、ブスタマンテ　ゴンザロ、デ、クエサダ　マヌエル、サンヴィリー

第十三丁抹國　セー、ブロン

第十四「ドミニカ」共和國　ドクトル、ヘンリクス、イ、カルヴァハル　アポリナル、テヘラ

第十五「エクアドル」共和國　ヴィクトル、エム、レンドン

第十六西班牙國　エ、ドルン、イ、デ、アルスア　ドブルヴェ、エル、デ、ヴィーリャウルーチャ　ホセ、デ、リカ、イ、カルヴォ　ガブリエル、マウラ

第十七佛蘭西國　レオン、ブールジョア　デスツールネル、ド、コンスタン　エル、ルノー　マルスラン、ペレ

第十八大不列顛國　エドワード、プライアーネスト、サトウ（第十六條、第十七條及第十八條ヲ留保ス）　レー　ヘンリー、ハワード　クレオン、リツオ、ラングマ　ジョールジュ、ストレイト　ホセ、チアプレ、マチャド

第十九希臘國　ジョルジュ、ストレイト　ホセ、チアプレ、マチャド

第二十一「ハイチ」國　ダルベマル、ジョン、ジョセフ　ジー、エヌ、レジエー　ピエール、ユザクール

第二十二伊太利國　ポンピリ　ジェー、ブノト

第二十三日本國　佐藤愛麿

第二十四盧森堡國　アイシェン　伯爵ド、ヴィレー

第二十五墨西哥國　ジェー、アンテヴァ　エス、ベー、ド、ミエー　エフ、エル、デ、ラ、バラ

第二十六「モンテネグロ」國　ネリドフ　マルテンス　エヌ、チャリコフ

第二十七「ニカラグア」國　エフ、ハーゲルプ

第二十八諾威國　ベー、ボラス

第二十九巴奈馬國　ジェー、デュ、モンソー

第三十「パラグェー」國　ドブルヴェ、アッシュ、ド、ボーフォール　テー、エム、セー、アッセル　アン、ベール、ポールチュゲール　ジー、アー、ローエル

第三十一和蘭國　ジー、アー、ロエフ

第三十二露國　セー、ジェー、カンダモ

第三十三波斯國　エム、サマド、カン、モムタズスサルタネー　エム、アーメッド、カン、サヂグ、ウル、ムルタ　侯爵デ、ソヴェラル

第三十四葡萄牙國　伯爵デ、セリール　アルベルト、ドリヴェイラ

第三十五羅馬尼亞國　エドガール、マヴロコルダト

第三十六露西亞國　ネリドフ　マルテンス　エヌ、チャリコフ

第三十七「サルヴァドル」國　ペー、ジー、マテウ

第三十八塞爾比亞國　エス、ペレス、トリアナ

第三十九遲羅國　エム、ジェー、ミロヴァノヴィッチ　エム、チャチデー、ウドム

第四十瑞典國　セー、コラアオニ、ドレリ　アンガ、ピュヴァナルト、ナリューバル　カー、アッシュ、エル、ハムマルスキョルド

第四十四條 第四十三條 第四十二條 第四十一條

布ノ國ニ對スル義務ヲ擔保シ其ノ獨立ヲ尊重シ且何等ノ方法ニ依リテモ其ノ領土ヲ侵害セサルコトヲ約ス

第四條 締約國ハ各自ノ軍備ヲ國家ノ安全ト兩立スヘキ最低限度ニ縮少スルノ必要アルコトヲ承認ス

第五條 締約國ハ陸軍ノ徴兵制ヲ採用スル國ニ於テハ其ノ陸軍ノ編制ニ付テハ兵役ニ服スル者ノ平均在營期間ヲ基礎トシ且各國ニ於ケル軍隊ノ教育ニ付テハ豫備兵ノ制度ヲ採用シ且充分ナル豫備兵ヲ訓練スルノ方法ヲ講スルコトヲ約ス

第六條 締約國ハ陸軍ノ志願兵制ヲ採用スル國ニ於テハ其ノ陸軍ノ編制ニ付テハ兵役ニ服スル者ノ平均在營期間ヲ基礎トシ且各國ニ於ケル軍隊ノ教育ニ付テハ豫備兵ノ制度ヲ採用シ且充分ナル豫備兵ヲ訓練スルノ方法ヲ講スルコトヲ約ス

第七條 締約國ハ陸軍ノ志願兵制ヲ採用スル國ニ於テハ其ノ陸軍ノ編制ニ付テハ兵役ニ服スル者ノ平均在營期間ヲ基礎トシ且各國ニ於ケル軍隊ノ教育ニ付テハ豫備兵ノ制度ヲ採用シ且充分ナル豫備兵ヲ訓練スルノ方法ヲ講スルコトヲ約ス

第八條 締約國ハ陸軍ノ志願兵制ヲ採用スル國ニ於テハ其ノ陸軍ノ編制ニ付テハ兵役ニ服スル者ノ平均在營期間ヲ基礎トシ且各國ニ於ケル軍隊ノ教育ニ付テハ豫備兵ノ制度ヲ採用シ且充分ナル豫備兵ヲ訓練スルノ方法ヲ講スルコトヲ約ス

第九條 締約國ハ陸軍ノ志願兵制ヲ採用スル國ニ於テハ其ノ陸軍ノ編制ニ付テハ兵役ニ服スル者ノ平均在營期間ヲ基礎トシ且各國ニ於ケル軍隊ノ教育ニ付テハ豫備兵ノ制度ヲ採用シ且充分ナル豫備兵ヲ訓練スルノ方法ヲ講スルコトヲ約ス

第十條 締約國ハ陸軍ノ志願兵制ヲ採用スル國ニ於テハ其ノ陸軍ノ編制ニ付テハ兵役ニ服スル者ノ平均在營期間ヲ基礎トシ且各國ニ於ケル軍隊ノ教育ニ付テハ豫備兵ノ制度ヲ採用シ且充分ナル豫備兵ヲ訓練スルノ方法ヲ講スルコトヲ約ス

第十一條 締約國ハ陸軍ノ志願兵制ヲ採用スル國ニ於テハ其ノ陸軍ノ編制ニ付テハ兵役ニ服スル者ノ平均在營期間ヲ基礎トシ且各國ニ於ケル軍隊ノ教育ニ付テハ豫備兵ノ制度ヲ採用シ且充分ナル豫備兵ヲ訓練スルノ方法ヲ講スルコトヲ約ス

第十二條 締約國ハ陸軍ノ志願兵制ヲ採用スル國ニ於テハ其ノ陸軍ノ編制ニ付テハ兵役ニ服スル者ノ平均在營期間ヲ基礎トシ且各國ニ於ケル軍隊ノ教育ニ付テハ豫備兵ノ制度ヲ採用シ且充分ナル豫備兵ヲ訓練スルノ方法ヲ講スルコトヲ約ス

第十三條 締約國ハ陸軍ノ志願兵制ヲ採用スル國ニ於テハ其ノ陸軍ノ編制ニ付テハ兵役ニ服スル者ノ平均在營期間ヲ基礎トシ且各國ニ於ケル軍隊ノ教育ニ付テハ豫備兵ノ制度ヲ採用シ且充分ナル豫備兵ヲ訓練スルノ方法ヲ講スルコトヲ約ス

第十四條 締約國ハ陸軍ノ志願兵制ヲ採用スル國ニ於テハ其ノ陸軍ノ編制ニ付テハ兵役ニ服スル者ノ平均在營期間ヲ基礎トシ且各國ニ於ケル軍隊ノ教育ニ付テハ豫備兵ノ制度ヲ採用シ且充分ナル豫備兵ヲ訓練スルノ方法ヲ講スルコトヲ約ス

第十五條 締約國ハ陸軍ノ志願兵制ヲ採用スル國ニ於テハ其ノ陸軍ノ編制ニ付テハ兵役ニ服スル者ノ平均在營期間ヲ基礎トシ且各國ニ於ケル軍隊ノ教育ニ付テハ豫備兵ノ制度ヲ採用シ且充分ナル豫備兵ヲ訓練スルノ方法ヲ講スルコトヲ約ス

第十六條 締約國ハ陸軍ノ志願兵制ヲ採用スル國ニ於テハ其ノ陸軍ノ編制ニ付テハ兵役ニ服スル者ノ平均在營期間ヲ基礎トシ且各國ニ於ケル軍隊ノ教育ニ付テハ豫備兵ノ制度ヲ採用シ且充分ナル豫備兵ヲ訓練スルノ方法ヲ講スルコトヲ約ス

第十七條 締約國ハ陸軍ノ志願兵制ヲ採用スル國ニ於テハ其ノ陸軍ノ編制ニ付テハ兵役ニ服スル者ノ平均在營期間ヲ基礎トシ且各國ニ於ケル軍隊ノ教育ニ付テハ豫備兵ノ制度ヲ採用シ且充分ナル豫備兵ヲ訓練スルノ方法ヲ講スルコトヲ約ス

第十八條 締約國ハ陸軍ノ志願兵制ヲ採用スル國ニ於テハ其ノ陸軍ノ編制ニ付テハ兵役ニ服スル者ノ平均在營期間ヲ基礎トシ且各國ニ於ケル軍隊ノ教育ニ付テハ豫備兵ノ制度ヲ採用シ且充分ナル豫備兵ヲ訓練スルノ方法ヲ講スルコトヲ約ス

第十九條 締約國ハ陸軍ノ志願兵制ヲ採用スル國ニ於テハ其ノ陸軍ノ編制ニ付テハ兵役ニ服スル者ノ平均在營期間ヲ基礎トシ且各國ニ於ケル軍隊ノ教育ニ付テハ豫備兵ノ制度ヲ採用シ且充分ナル豫備兵ヲ訓練スルノ方法ヲ講スルコトヲ約ス

第二十條 締約國ハ陸軍ノ志願兵制ヲ採用スル國ニ於テハ其ノ陸軍ノ編制ニ付テハ兵役ニ服スル者ノ平均在營期間ヲ基礎トシ且各國ニ於ケル軍隊ノ教育ニ付テハ豫備兵ノ制度ヲ採用シ且充分ナル豫備兵ヲ訓練スルノ方法ヲ講スルコトヲ約ス

ハ之ヲ沒收スルコトヲ得ス右商船ハ單ニ戰爭後賠償ナクシテ還付スルノ義務ヲ負ヒテ之ヲ抑留シ又ハ賠償ヲ爲シ且人員ノ安全及船舶書類ノ保管ヲ爲スノ義務ヲ負ヒテ之ヲ徵發シ又ハ破壞スルコトヲ得

右船舶ニシテ本國港又ハ中立港ニ寄港シタルノ後ハ海戰ノ法規慣例ニ依ルモノトス

第四條　第一條及第二條ニ揭ケタル船舶内ニ在ル敵貨ハ又之ヲ抑留シタル上戰爭後賠償ナクシテ還付シ又ハ賠償ヲ爲シテ船舶ト共ニ若ハ船舶ト離シテ之ヲ徵發スルコトヲ得

第三條ニ揭ケタル船舶内ニ在ル貨物ニ付亦同シ

第五條　本條約ハ商船ニシテ其ノ構造上軍艦ニ變更セラルヘキモノナルコト明ナルモノニハ之ヲ適用セス

第六條　本條約ノ規定ハ交戰國カ悉ク本條約ノ當事者ナルトキニ限締約國間ニノミ之ヲ適用ス

第七條　本條約ハ成ルヘク速ニ批准スヘシ批准書ハ海牙ニ寄託ス

第一回ノ批准書寄託ハ之ニ加リタル諸國ノ代表者及和蘭國外務大臣ノ署名シタル調書ヲ以テ之ヲ證ス

爾後ノ批准書寄託ハ和蘭國政府ニ宛テ且批准書ヲ添附シタル通告書ヲ以テ之ヲ爲ス

第一回ノ批准書寄託ニ關スル調書、前項ニ揭ケタル通告書及批准書ノ認證本ハ和蘭國政府ヨリ外交上ノ手續ヲ以テ直ニ之ヲ第二回平和會議ニ招請セラレタル諸國及本條約ニ加盟スル他ノ諸國ニ交付スヘシ前項ニ揭ケタル場合ニ於テハ和蘭國政府ハ同時ニ通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スルモノトス

第八條　記名國ニ非サル諸國ハ本條約ニ加盟スルコトヲ得

加盟セムト欲スル國ハ書面ヲ以テ其ノ意思ヲ和蘭國政府ニ通告シ且加盟書ヲ送付シ之ヲ和蘭國政府ノ文庫ニ寄託スヘシ

和蘭國政府ハ直ニ通告書及加盟書ノ認證本ヲ爾餘ノ諸國ニ送付シ且右通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スヘシ

第九條　本條約ハ第一回ノ批准書寄託ニ加リタル諸國ニ對シテハ其ノ寄託ノ調書ノ日附ヨリ六十日ノ後又其ノ後ニ批准シ又ハ加盟スル諸國ニ對シテハ和蘭國政府カ右批准又ハ加盟ノ通告ヲ接受シタルトキヨリ六十日ノ後ニ其ノ效力ヲ生スルモノトス

第十條　締約國中本條約ヲ廢棄セムト欲スルモノアルトキハ書面ヲ以テ其ノ旨和蘭國政府ニ通告スヘシ和蘭國政府ハ直ニ通告書ノ認證謄本ヲ爾餘ノ諸國ニ送付シ且右通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スヘシ

廢棄ハ其ノ通告カ和蘭國政府ニ到達シタルトキヨリ一年ノ後右通告ヲ爲シタル國ニ對シテノミ效力ヲ生スルモノトス

第十一條　和蘭國外務省ハ帳簿ヲ備ヘ爰ニ第七條第三項及第四項ニ依リ爲シタル批准書寄託ノ日竝加盟（第八條第二項）又ハ廢棄（第十條第一項）ノ通告ヲ接受シタル日ヲ記入スルモノトス

各締約國ハ右帳簿ヲ閱覽シ且其ノ認證抄本ヲ請求スルコトヲ得

右證據トシテ各全權委員本條約ニ署名ス

千九百七年十月十八日海牙ニ於テ本書一通ヲ作リ之ヲ和蘭國政府ノ文庫ニ寄託シ其ノ認證謄本ヲ外交上ノ手續ニ依リ第二回平和會議ニ招請セラレタル諸國ニ交付スヘキモノトス

第一國選國（クリーゲ）第三條及第四條第二項ヲ留保ス

第二亞米利加合衆國
第三亞爾然丁國　ロク、サエンツ、ペニヤ
ルイス、エム、ドラゴ
セー、ロドリゲス、ラレタ

第四埃地利洪牙利國　メレー

第五白耳義國　男爵マッキオ
ア、ベルナール
ジー、ツアン、デン、ヒューベル

第六「ポリヴィア」國　ギーヨーム
第七伯剌西爾國　クラウデオ、ピニラ
ルイ、バルボサ

第八勃爾牙利國　エー、リスボア

第九智利國　陸軍少將ヴィナコフ
イヴァン、カランジューロフ
ドミンゴ、ガナ
アウグスト、マッテ
カルロス、コンチヤ

第十清國

第十一格倫比亞國　ホルヘ、ホルヴィン
エス、ペレス、トリアナ

第十二玖馬共和國　エム、ヴアルガス
アントニオ、エス、デ、ブスタマンテ
ゴンザロ、デ、クエサダ
マヌエル、サンヴィリー

第十三丁抹國　セー、プロン

第十四「ドミニカ」共和國　ドクトル、ヘンリクス、イ、カルヴアハル

第十五「エクアドル」共和國　アポリナル、デヘラ
ヴィクトル、エム、レンドン

第十六西班牙國　エ、ドルシ、イ、デ、アルスア
ドアルヴエ、エル、デ、ヴィーリヤウルーチヤ
ホセ、デ、ラ、リカ、イ、カルヴオ

第十七佛蘭西國　ガブリエル、マウラ
レオシ、アールジョア

第十八大不列顛國　アスツールネル、ド、コンスタン
エル、ルノー
マルスラン、ペレ
エドワード、フライ
アーネスト、サトウ
レー

第十九希臘國　ヘンリー、ハワード
クレオン、リツサ、ランガベ

第二十　「デッテマラ」國　ジョールジュストレイト

第二十一「ハイチ」國　ホセ、チアレ、マチャド
ダルベマル、ジャン、ジョセフ
ジー、エヌ、レジエー
ヒエール、ユアクール

第二十二伊太利國　ポンピリ

第二十三日本國　佐藤愛麿
第二十四盧森堡國　アイシエン
第二十五墨西哥國　伯爵ド、ヴイレー
ジエー、ア、エステバ
エス、ベー、ド、ミエー
エフ、エル、デ、ラ、バラ

第二十六「モンテネグロ」國　ネリドフ
マルテンス
エヌ、チャリコフ

第二十七「ニカラグヮ」國　エフ、ハーゲルプ
第二十八諾威國　ベー、ボラス
第二十九巴奈馬國　ジエー、ブユ、モンソー
第三十「パラグエー」國　ドアルゼヴエ、アッシュ、ド、ポーフォール
第三十一和蘭國　テー、エム、セー、アッセル
アン、ベール、ボールチュダール
ジー、アー、ローエル
ジー、ロエフ
セー、ジエー、カンダモ
モムタゾスサルタネー、エム、サマド、カン
サザゲ、サル、ムルク、エム、アーメッド、カン

第三十二祕露國　アルベルト、ドリヴイラ
第三十三波斯國　エドガール、マヴロコルダト
第三十四葡萄牙國　ネリドフ
第三十五羅馬尼亞國　マルテンス
第三十六露西亞國　エヌ、チャリコフ

第二十七「サルヴァドル」國　エフ、ハーゲルプ
第三十七「サルヴァドル」國　ベー、ジー、マテウ
第三十八塞爾比亞國　エス、ベレス、トリアナ
エム、ジエー、ミロヴアノヴィッチ

第三十九遲羅國　エム、チチデー、ウドム
セー、コラヂオニ、ドレリ
アルンゲ、ビュヴアナル、ナリユーバル
カー、アッシュ、エル、ハムマルスキョルド
ヨハンネス、ヘルネル

第四十瑞典國　カルラン

第四十一瑞西國　チュルカン

第四十二土耳其國　ホセ、パトレ、イ、オルドニェス

第四十三「ウルグエー」國　ジー、ヒル、フォルトウル

第四十四「ヴェネズエラ」國　セー、ブランコ

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

●商船ヲ軍艦ニ變更スルコトニ關スル條約

明治四十五年一月十三日
條約第七號

第一條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ其ノ旗ヲ掲ケ且其ノ國ノ軍艦ニ適用セラルル規則ニ從ヒ其ノ指揮ノ下ニ在ル者ニ依リテ運轉セラルルコトヲ要ス

第二條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ其ノ變更ノ前ニ於テ敵國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第三條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第四條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第五條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第六條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第七條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第八條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第九條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第十條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第十一條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第十二條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第十三條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第十四條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第十五條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第十六條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第十七條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第十八條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第十九條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第二十條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第二十一條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第二十二條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第二十三條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第二十四條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第二十五條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第二十六條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第二十七條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第二十八條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第二十九條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第三十條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第三十一條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第三十二條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第三十三條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第三十四條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第三十五條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第三十六條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第三十七條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第三十八條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第三十九條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第四十條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第四十一條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第四十二條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第四十三條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第四十四條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第四十五條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第四十六條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第四十七條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第四十八條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第四十九條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第五十條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第五十一條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第五十二條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第五十三條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第五十四條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第五十五條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第五十六條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第五十七條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第五十八條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第五十九條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第六十條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第六十一條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第六十二條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第六十三條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第六十四條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第六十五條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第六十六條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第六十七條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第六十八條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第六十九條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第七十條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第七十一條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第七十二條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第七十三條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第七十四條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第七十五條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第七十六條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第七十七條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第七十八條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第七十九條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第八十條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第八十一條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第八十二條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第八十三條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第八十四條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第八十五條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第八十六條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第八十七條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第八十八條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第八十九條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第九十條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第九十一條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第九十二條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第九十三條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第九十四條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第九十五條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第九十六條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第九十七條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第九十八條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第九十九條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

第百條　敵艦ニ變更セラレタル商船ハ中立國ノ領土ニ在ル港ニ入ルコトヲ得ス

和蘭國駐劄特命全權公使「ボス」男爵
佛國駐劄特命全權公使「ロッシュ」
「ポルトガル」國駐劄特命全權公使「ダ、ソウザ、ホーザ、ダ、シルヴァ、ペレイラ」
「ロシア」國駐劄特命全權公使「ベロスゼルスキー、ムヒンスキー」侯爵
「ペルシア」國駐劄特命全權公使「ミルザ、ハサン、ハン」
「ブラジル」國駐劄特命全權公使「ダ、ロシャ、リマ」
「ペルー」國駐劄特命全權公使「ホセ、アントニオ、デ、ラ、ロサ」
「ハワイ」國駐劄特命全權公使「ジー、ダブリュー、アイ」
「ハワイ」國駐劄特命全權公使「ジー、ダブリュー、ヒッチコック

第十三　丁抹國　マヌエル、サンディー
第十四「ドミニカ」共和國　セー、ジエー、カンダモ
第十五「エクァドル」共和國　ヴイクトル、エム、レンドン
第十六　西班牙國　エ、ドルン、イ、デ、アルスア
ドアルヴエ、エル、デ、ヴィーリャウルーチャ
侯爵デ、セリール
第十七　佛蘭西國　ホセ、デラ、リカ、イ、カルヴォ
カプリエル、マウラ
レオン、アールジョア
デスツールネル、ド、コンスタン
エル、ルノー
第十八　大不列顛國　マルスラン、ベレ
エドワード、フライ
アーネスト、サトウ
レー
第十九　希臘國　ヘンリー、ハワード
クレオン、リツスランカベ
第二十「グァテマラ」國　ジヨールジユ、ストレイト
第二十一「ハイチ」國　ホセ、チアレ、マチャド
ダルベマル、ジヤン、ジヨセフ
第二十二　伊太利國　ジー、エス、レジエー
ヒエール、ユダクール
ポンピリ
第二十三日　本國　ジエー、ブシナト
第二十四　盧森堡國　佐藤愛麿
アイシエン
第二十五　墨西哥國　伯爵ド、ヴィレー
ジエー、ブ、エステヴア
エス、ベー、ド、ミエー
第二十六「モンテネグロ」國　エフ、エル、デ、ラ、パラ
ネリドフ
マルテンス
第二十七「ニカラグァ」國　エヌ、チャリコフ
第二十八　諾威國　エフ、ハーゲルプ
第二十九　巴奈馬國　ベー、ボラス
第三十「パラグエー」國　ジエー、ダス、モンソー
第三十一　和蘭國　ドアルヴエ、アッシュ、ド、ボーフォール
テー、エム、セー、アッセル
アン、ベール、ポールチュダール
ジー、アー、ローエル
エフ

●自動觸發海底水雷ノ敷設ニ關スル條約（明治四十五年一月十二日勅令第八號）

陛下「グァテマラ」共和國大統領、伊太利國皇帝陛下、日本國皇帝陛下、盧森堡國大公「ナッソー」公殿下、墨西哥合衆國大統領、諾威國皇帝陛下、巴奈馬共和國大統領「パラグエー」共和國大統領、和蘭國皇帝陛下、秘露共和國大統領、波斯國皇帝陛下、羅馬尼亞國皇帝陛下「サルヴァドル」共和國大統領、塞爾比亞國皇帝陛下、暹羅國皇帝陛下、瑞西聯邦政府、土耳其國皇帝陛下、東「ウルグエー」共和國大統領「ヴェネズエラ」合衆國大統領ハ各國民ニ對シテ開放セラレタル海路ノ自由ノ原則ニ鑑ミ現時ノ狀態ニ於テハ自動觸發海底水雷ノ使用ヲ禁止スルコト能ハストスルモ戰爭ノ範害ヲ輕減シ且戰爭ノ存在ニ拘ラス爲シ得ル限平和的航海ニ對シテ其ノ當然主張シ得ヘキ安全ヲ付與セムカ爲之カ使用ヲ制限シ且之ニ付規定ヲ設クルノ必要アルコトヲ考慮シ本件ハノ之ニ關スル利害關係ニ對シ一切ノ望マシキ保障ヲ與フル樣規定スルコトハ之ヲ後日ニ期待シ之カ爲條約ヲ締結スルニ決シ各左ノ全權委員ヲ任命セリ

獨逸皇帝普魯西國皇帝陛下
國務大臣、土耳其國駐劄特命全權大使、男爵マルシャル、ド、ビーベルスタイン
本會議特派委員、「コンセイエー、アンチーム、ド、レガショング」、帝國外務省法律顧問、常設仲裁裁判所裁判官、「ドクトル」ヨハンネス、クリーゲ
亞米利加合衆國大統領
特命全權大使ジヨセフ、エッチ、チョート
特命全權大使ホレス、ポーター
特命全權大使ユリアー、エム、ローズ
和蘭國駐劄特命全權公使デ、ヴィッド、ジエーン、ヒル
海軍少將、全權公使チャールス、エス、スペリー
陸軍少將、合衆國陸軍軍法會議長、全權公使ジョージ、ビー、デーヴィス
全權公使ウィリアム、アイ、ブカナン
亞爾然丁共和國大統領
共和國大統領、大不列顛愛爾蘭聯合王國大不列顛海外領土皇帝印度皇帝陛下、希臘國皇帝陛下、「グァテマラ」共和國大統領、伊太利國皇帝陛下、日本國皇帝陛下、盧森堡國大公「ナッソー」公殿下、墨西哥合衆國大統領、諾威國皇帝陛下、巴奈馬共和國大統領「パラグエー」共和國大統領、和蘭國皇帝陛下、秘露共和國大統領、波斯國皇帝陛下、羅馬尼亞國皇帝陛下「サルヴァドル」共和國大統領、塞爾比亞國皇帝陛下、暹羅國皇帝陛下、瑞西聯邦政府、土耳其國皇帝陛下、東「ウルグエー」共和國大統領「ヴェネズエラ」合衆國大統領ハ各國民ニ對シテ開放セラレタル海路ノ自由ノ原則ニ鑑ミ現時ノ狀態ニ於テハ自動觸發海底水雷ノ使用ヲ禁止スルコト能ハストスルモ戰爭ノ範害ヲ輕減シ且戰爭ノ存在ニ拘ラス爲シ得ル限平和的航海ニ對シテ其ノ當然主張シ得ヘキ安全ヲ付與セムカ爲之カ使用ヲ制限シ且之ニ付規定ヲ設クルノ必要アルコトヲ考慮シ本件ハノ之ニ關スル利害關係ニ對シ一切ノ望マシキ保障ヲ與フル樣規定スルコトハ之ヲ後日ニ期待シ之カ爲條約ヲ締結スルニ決シ各左ノ全權委員ヲ任命セリ

獨逸皇帝普魯西國皇帝陛下
國務大臣、土耳其國駐劄特命全權大使、男爵マルシャル、ド、ビーベルスタイン
本會議特派委員、「コンセイエー、アンチーム、ド、レガショング」、帝國外務省法律顧問、常設仲裁裁判所裁判官、「ドクトル」ヨハンネス、クリーゲ
亞米利加合衆國大統領
特命全權大使ジヨセフ、エッチ、チョート
特命全權大使ホレス、ポーター
特命全權大使ユリアー、エム、ローズ
和蘭國駐劄特命全權公使デ、ヴィッド、ジエーン、ヒル
海軍少將、全權公使チャールス、エス、スペリー
陸軍少將、合衆國陸軍軍法會議長、全權公使ジョージ、ビー、デーヴィス
全權公使ウィリアム、アイ、ブカナン
亞爾然丁共和國大統領
前外務大臣、伊國駐劄特命全權公使、常設仲裁裁判所裁判官ロタ、サエンツ、ペニヤ
前外務及敎務大臣、下院議員、常設仲裁裁判所裁判官ルイス、エム、ドラゴ
前外務及敎務大臣、常設仲裁裁判所裁判官カルロス、ロドリゲス、ラレタ
墺地利國皇帝、「ボヘミヤ」國皇帝洪牙利國皇帝陛下「ボリヴィア」共和國大統領、伯剌西爾合衆國大統領、勃蘭牙利國公殿下、智利共和國大統領、格倫比亞共和國大統領、玖馬共和國臨時總督、丁抹國皇帝陛下「コンセイエー、アンチーム」特命全權大使ゲータン、メレー、ド、カボスメレー
希臘國駐劄特命全權公使、男爵シャール、ド、マッキオ
白耳義國皇帝陛下
國務大臣、代議院議員、佛國學士院會員、白耳義國學士院會員、羅馬尼亞國學士院會員、國際法學會名譽會員、常設仲裁裁判所裁判官ベルナール
國務大臣、前司法大臣ジー、ヴァン、デン、ヒューベル
和蘭國駐劄特命全權公使、羅馬尼亞國學士院會員、男爵ギーヨーム
「ボリヴィア」共和國大統領
外務大臣、常設仲裁裁判所裁判官クラウダオ、ビニラ
英國駐劄特命全權公使フェル ナンド、エ、グッチャラ
伯剌西爾合衆國大統領
特命全權大使、常設仲裁裁判所裁判官ルイ、バルボサ
和蘭國駐劄特命全權公使エ ヴアルド、エフ、エス、ドス、サントス、リスボア
勃蘭牙利國公殿下
陸軍參謀少將、侍從將官ヴルバン、ヴィナロフ
大審院檢事總長イヴァン、カランシューロフ
智利共和國大統領
英國駐劄特命全權公使ドミンゴ、ガナ
獨逸國駐劄特命全權公使マルスラン、ベレー
和蘭國駐劄特命全權公使マルスラン、ベレー
墨西哥合衆國大統領
前陸軍大臣、前代議院議長、前亞爾然丁國駐劄特命全權公使カルロス、コンチャ
格倫比亞共和國大統領
陸軍將官ホルヘ、ホルディン
サンチアゴ、ベレス、トリアナ
佛國駐劄特命全權公使、陸軍將官マルセリアノ、ヴアルガス
玖馬共和國臨時總督
「ハヴアナ」大學國際法敎授、上院議員アントニオ、サンチエス、デ、ブスタマンテ
米國駐劄特命全權公使ゴンザロ、デ、クエサダ、イ、アロステグイ
前「ハヴアナ」中學校長、上院議員マヌエル、サンディー
丁抹國皇帝陛下
侍從、米國駐劄特命全權公使コンスタンチン、ブロン
海軍少將クリスチアン、フレデリック、シエルレル
侍從、外務省課長アクセル、ヴェデル
「ドミニカ」共和國大統領
前外務大臣、常設仲裁裁判所裁判官フランシスコ、ヘンリクス、イ、カルヴァハル
共和國亭門學校長、常設仲裁裁判所裁判官アポリナル、テヘラ
「エクアドル」共和國大統領
佛國駐劄兼西班牙國駐劄特命全權公使ヴイクトル、レンドン
代理公使エンリケ、ドルン、イ、デ、アルスア
佛蘭西共和國大統領
特命大使、上院議員、前內閣議長、前外務大臣、常設仲裁裁判所裁判官レオン、ブールジョア
上院議員、一等全權公使、常設仲裁裁判所裁判官、男爵デスツールネル、ド、コンスタン
巴里大學法科大學敎授、名譽全權公使、外務省法律顧問、佛國學士院會員、常設仲裁裁判所裁判官ルイ、ルノー
和蘭國駐劄特命全權公使マルスラン、ベレー
大不列顛愛爾蘭聯合王國大不列顛海外領土皇帝印度皇帝陛下、「グァテマラ」共和國大統領、「ハイチ」共和國大統領、伊太利國皇帝陛下、日本國皇帝陛下、盧森堡國大公「ナッソー」公殿下、墨西哥合衆國大統領、諾威國皇帝陛下、巴奈馬共和國大統領「パラグエー」共和國大統領、和蘭國皇帝陛下、秘露共和國大統領、波斯國皇帝陛下、羅馬尼亞國皇帝陛下「サルヴァドル」共和國大統領、塞爾比亞國皇帝陛下、暹羅國皇帝陛下、瑞西聯邦政府、土耳其國皇帝陛下、東「ウルグエー」共和國大統領「ヴェネズエラ」合衆國大統領ハ各國民ニ對シテ開放セラレタル海路ノ自由ノ原則ニ鑑ミ現時ノ狀態ニ於テハ自動觸發海底水雷ノ使用ヲ禁止スルコト能ハストスルモ戰爭ノ範害ヲ輕減シ且戰爭ノ存在ニ拘ラス爲シ得ル限平和的航海ニ對シテ其ノ當然主張シ得ヘキ安全ヲ付與セムカ爲之カ使用ヲ制限シ且之ニ付規定ヲ設クルノ必要アルコトヲ考慮シ本件ハノ之ニ關スル利害關係ニ對シ一切ノ望マシキ保障ヲ與フル樣規定スルコトハ之ヲ後日ニ期待シ之カ爲條約ヲ締結スルニ決シ各左ノ全權委員ヲ任命セリ

獨逸皇帝普魯西國皇帝陛下
國務大臣、土耳其國駐劄特命全權大使、男爵マルシャル、ド、ビーベルスタイン
本會議特派委員、「コンセイエー、アンチーム、ド、レガショング」、帝國外務省法律顧問、常設仲裁裁判所裁判官、「ドクトル」ヨハンネス、クリーゲ
亞米利加合衆國大統領
特命全權大使ジヨセフ、エッチ、チョート
特命全權大使ホレス、ポーター
特命全權大使ユリアー、エム、ローズ
和蘭國駐劄特命全權公使デ、ヴィッド、ジエーン、ヒル
海軍少將、全權公使チャールス、エス、スペリー
陸軍少將、合衆國陸軍軍法會議長、全權公使ジョージ、ビー、デーヴィス
全權公使ウィリアム、アイ、ブカナン
亞爾然丁共和國大統領
前外務大臣、伊國駐劄特命全權公使、常設仲裁裁判所裁判官ロタ、サエンツ、ペニヤ
前外務及敎務大臣、下院議員、常設仲裁裁判所裁判官ルイス、エム、ドラゴ
前外務及敎務大臣、常設仲裁裁判所裁判官カルロス、ロドリゲス、ラレタ
墺地利國皇帝、「ボヘミヤ」國皇帝洪牙利國皇帝陛下、「ボリヴィア」共和國大統領、伯剌西爾合衆國大統領、勃蘭牙利國公殿下、智利共和國大統領、格倫比亞共和國大統領、玖馬共和國臨時總督、丁抹國皇帝陛下「コンセイエー、アンチーム」特命全權大使ゲータン、メレー、ド、カボスメレー
希臘國駐劄特命全權公使、男爵シャール、ド、マッキオ
白耳義國皇帝陛下
國務大臣、代議院議員、佛國學士院會員、白耳義國學士院會員、羅馬尼亞國學士院會員、國際法學會名譽會員、常設仲裁裁判所裁判官ベルナール
國務大臣、前司法大臣ジー、ヴァン、デン、ヒューベル
和蘭國駐劄特命全權公使、羅馬尼亞國學士院會員、男爵ギーヨーム
「ボリヴィア」共和國大統領
外務大臣、常設仲裁裁判所裁判官クラウダオ、ビニラ
英國駐劄特命全權公使フェル ナンド、エ、グッチャラ
伯剌西爾合衆國大統領
特命全權大使、常設仲裁裁判所裁判官ルイ、バルボサ
和蘭國駐劄特命全權公使エ ヴアルド、エフ、エス、ドス、サントス、リスボア
勃蘭牙利國公殿下
陸軍參謀少將、侍從將官ヴルバン、ヴィナロフ
大審院檢事總長イヴァン、カランシューロフ
智利共和國大統領
英國駐劄特命全權公使ドミンゴ、ガナ
獨逸國駐劄特命全權公使マルスラン、ベレー
和蘭國駐劄特命全權公使マルスラン、ベレー
墨西哥合衆國大統領
前陸軍大臣、前代議院議長、前亞爾然丁國駐劄特命全權公使カルロス、コンチャ
格倫比亞共和國大統領
陸軍將官ホルヘ、ホルディン
サンチアゴ、ベレス、トリアナ
佛國駐劄特命全權公使、陸軍將官マルセリアノ、ヴアルガス
玖馬共和國臨時總督
「ハヴアナ」大學國際法敎授、上院議員アントニオ、サンチエス、デ、ブスタマンテ
米國駐劄特命全權公使ゴンザロ、デ、クエサダ、イ、アロステグイ
前「ハヴアナ」中學校長、上院議員マヌエル、サンディー
丁抹國皇帝陛下
侍從、米國駐劄特命全權公使コンスタンチン、ブロン
海軍少將クリスチアン、フレデリック、シエルレル
侍從、外務省課長アクセル、ヴェデル
「ドミニカ」共和國大統領
前外務大臣、常設仲裁裁判所裁判官フランシスコ、ヘンリクス、イ、カルヴァハル
共和國亭門學校長、常設仲裁裁判所裁判官アポリナル、テヘラ
「エクアドル」共和國大統領
佛國駐劄兼西班牙國駐劄特命全權公使ヴイクトル、レンドン
代理公使エンリケ、ドルン、イ、デ、アルスア
佛蘭西共和國大統領
特命大使、上院議員、前內閣議長、前外務大臣、常設仲裁裁判所裁判官レオン、ブールジョア
上院議員、一等全權公使、常設仲裁裁判所裁判官、男爵デスツールネル、ド、コンスタン
巴里大學法科大學敎授、名譽全權公使、外務省法律顧問、佛國學士院會員、常設仲裁裁判所裁判官ルイ、ルノー
和蘭國駐劄特命全權公使マルスラン、ベレー

帝印度皇帝陛下
樞密顧問官、特命大使、常設仲裁裁判所裁判官「サー」エドワード、ブライ
樞密顧問官、常設仲裁裁判所裁判官、「サー」アーネスト、メーソン、サトウ
樞密顧問官、前國際法學會長、男爵ドーナルド、ジエームス、マッケー、レー
和蘭國駐劄特命全權公使、「サー」ヘンリー、ハワード
希臘國皇帝陛下
獨逸國駐劄特命全權公使クンオン、リツオ、ランかベ
雅典大學國際法敎授、常設仲裁裁判所裁判官ジヨールジュ、ストレイト
「グァテマラ」共和國大統領
和蘭國駐劄兼英國駐劄代理公使、常設仲裁裁判所裁判官ホセ、チアレ、マチャド
獨逸國駐劄代理公使エンリケ、ゴメス、カリヨ
「ハイチ」共和國大統領
佛國駐劄特命全權公使ジヤン、ジョセフ、ダルベマル
米國駐劄特命全權公使シー、エヌ、レジエー
前國際公法敎授、「ポルトープランス」組合辯護士ヒエール、ユダクール
伊太利國駐劄特命全權公使、常設仲裁裁判所裁判官、伯爵ジョセフ、トルニエリ、アルサチ、ザ、ヴエルガノ
下院議員、外務次官、「コンマンドール」ギド、ポンピリ
參事院議官、下院議員、前文部大臣、「コンマンドール」ギド、ブシナト
日本國皇帝陛下
特命全權大使都筑馨六
和蘭國駐劄特命全權公使佐藤愛麿
盧森堡國大公「ナッソー」公殿下
國務大臣、內閣議長アイシエン
獨逸國駐劄特命全權公使、伯爵ド、ヴィレー
墨西哥合衆國大統領
伊國駐劄特命全權公使ゴンザロ、ア、エス

●自動觸發海底水雷ノ敷設ニ關スル條約（明治四十五年一月十二日勅令第八號）

陛下「グァテマラ」共和國大統領、伊太利國皇帝陛下、日本國皇帝陛下、盧森堡國大公「ナッソー」公殿下、墨西哥合衆國大統領、諾威國皇帝陛下、巴奈馬共和國大統領「パラグエー」共和國大統領、和蘭國皇帝陛下、秘露共和國大統領、波斯國皇帝陛下、羅馬尼亞國皇帝陛下「サルヴァドル」共和國大統領、塞爾比亞國皇帝陛下、暹羅國皇帝陛下、瑞西聯邦政府、土耳其國皇帝陛下、東「ウルグエー」共和國大統領「ヴェネズエラ」合衆國大統領ハ各國民ニ對シテ開放セラレタル海路ノ自由ノ原則ニ鑑ミ現時ノ狀態ニ於テハ自動觸發海底水雷ノ使用ヲ禁止スルコト能ハストスルモ戰爭ノ範害ヲ輕減シ且戰爭ノ存在ニ拘ラス爲シ得ル限平和的航海ニ對シテ其ノ當然主張シ得ヘキ安全ヲ付與セムカ爲之カ使用ヲ制限シ且之ニ付規定ヲ設クルノ必要アルコトヲ考慮シ本件ハノ之ニ關スル利害關係ニ對シ一切ノ望マシキ保障ヲ與フル樣規定スルコトハ之ヲ後日ニ期待シ之カ爲條約ヲ締結スルニ決シ各左ノ全權委員ヲ任命セリ

獨逸皇帝普魯西國皇帝陛下
國務大臣、土耳其國駐劄特命全權大使、男爵マルシャル、ド、ビーベルスタイン
本會議特派委員、「コンセイエー、アンチーム、ド、レガショング」、帝國外務省法律顧問、常設仲裁裁判所裁判官、「ドクトル」ヨハンネス、クリーゲ
亞米利加合衆國大統領
特命全權大使ジヨセフ、エッチ、チョート
特命全權大使ホレス、ポーター
特命全權大使ユリアー、エム、ローズ
和蘭國駐劄特命全權公使デ、ヴィッド、ジエーン、ヒル
海軍少將、全權公使チャールス、エス、スペリー
陸軍少將、合衆國陸軍軍法會議長、全權公使ジョージ、ビー、デーヴィス
全權公使ウィリアム、アイ、ブカナン
亞爾然丁共和國大統領
前外務大臣、伊國駐劄特命全權公使、常設仲裁裁判所裁判官ロタ、サエンツ、ペニヤ
前外務及敎務大臣、下院議員、常設仲裁裁判所裁判官ルイス、エム、ドラゴ
前外務及敎務大臣、常設仲裁裁判所裁判官カルロス、ロドリゲス、ラレタ
墺地利國皇帝、「ボヘミヤ」國皇帝洪牙利國皇帝陛下、「ボリヴィア」共和國大統領、伯剌西爾合衆國大統領、勃蘭牙利國公殿下、智利共和國大統領、格倫比亞共和國大統領、玖馬共和國臨時總督、丁抹國皇帝陛下「コンセイエー、アンチーム」特命全權大使ゲータン、メレー、ド、カボスメレー
希臘國駐劄特命全權公使、男爵シャール、ド、マッキオ
白耳義國皇帝陛下
國務大臣、代議院議員、佛國學士院會員、白耳義國學士院會員、羅馬尼亞國學士院會員、國際法學會名譽會員、常設仲裁裁判所裁判官ベルナール
國務大臣、前司法大臣ジー、ヴァン、デン、ヒューベル
和蘭國駐劄特命全權公使、羅馬尼亞國學士院會員、男爵ギーヨーム
「ボリヴィア」共和國大統領
外務大臣、常設仲裁裁判所裁判官クラウダオ、ビニラ
英國駐劄特命全權公使フェル ナンド、エ、グッチャラ
伯剌西爾合衆國大統領
特命全權大使、常設仲裁裁判所裁判官ルイ、バルボサ
和蘭國駐劄特命全權公使エ ヴアルド、エフ、エス、ドス、サントス、リスボア
勃蘭牙利國公殿下
陸軍參謀少將、侍從將官ヴルバン、ヴィナロフ
大審院檢事總長イヴァン、カランシューロフ
智利共和國大統領
英國駐劄特命全權公使ドミンゴ、ガナ
獨逸國駐劄特命全權公使、伯爵ド、ヴィレー
墨西哥合衆國大統領
伊國駐劄特命全權公使ゴンザロ、ア、エス

自動觸發海底水雷ノ敷設ニ關スル條約ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理大臣、外務大臣、內閣書記官長副署）

外務大臣　子爵　內田　康哉

御名　御璽

チヴア
佛國駐劄特命全權公使セバスチアン、ペー、ド、ミエー
白耳義國駐劄兼和蘭國駐劄特命全權公使フランシスコ、エル、デ、ラ、バラ
諾威國皇帝陛下
前内閣議長、前法學教授、和蘭國駐劄拿丁抹國駐劄特命全權公使、常設仲裁裁判所裁判官フランシス、バーゲルプ
巴奈馬共和國大統領
ペリサリオ、ポラス
「パラグヱー」共和國大統領
佛國駐劄特命全權公使エウセビオ、マチナイン
比律悉駐在領事、伯爵ジエー、ザ、モンソー、ド、ベルジャンダル
和蘭國皇帝陛下
前外務大臣、下院議員ドアルヴェ、アッシュ、ド、ボーフォール
國務大臣、參事院議官、常設仲裁裁判所裁判官テー、エム、セー、アッセル
退職陸軍中將、前陸軍大臣、參事院議官、「ヨンクヘール」ジー、セー、セー、デン、ベール、ボールチュゲール
特務侍從武官、退職海軍中將、前海軍大臣、「ヨンクヘール」ジー、アー、ローエル
前司法大臣、下院議員ジー、アー、ロエフ
祕露共和國大統領
佛國駐劄兼英國駐劄特命全權公使、常設仲裁裁判所裁判官カルロス、ジェー、カンダモ
波斯國皇帝陛下
佛國駐劄特命全權公使、常設仲裁裁判所裁判官サマド、カン、モムタズスサルタネー
和蘭國駐劄特命全權公使ミルツア、アーメド、カン、サアグ、ウル、ムルク
羅馬尼亞國皇帝陛下
獨逸國駐劄特命全權公使アレキサンドル、ベルダマン
和蘭國駐劄特命全權公使エドガール、マゲロコルダト

「サルヴァドル」共和國大統領
佛國駐劄代理公使、常設仲裁裁判所裁判官ペドロ、ジー、マテウ
英國駐劄代理公使サンチアゴ、ペレス、トリアナ
塞爾比亞國皇帝陛下
陸軍將官、參事院議長サヴァ、グルーイッチ
伊國駐劄特命全權公使、常設仲裁裁判所裁判官ミロヴァン、ミロヴァノヴィッチ
英國駐劄兼和蘭國駐劄特命全權公使ミシエル、ミリチエヴィッチ
暹羅國皇帝陛下
陸軍少將モム、チャチアー、ウドム
公使館參事官セー、コラヴオニ、ドレリ
陸軍大尉ルアング、ピュヴァナルト、ナリュパル
瑞西聯邦政府
英國駐劄兼和蘭國駐劄特命全權公使ガストン、カルラン
陸軍參謀大佐、「ジェネヴァ」大學教授ユージエン、ボレル
「チューリヒ」大學法學教授マックス、フーベル
土耳其國皇帝陛下
特命大使、「ミニストル」、ド、レヴカフ」チユルカン、パシヤ
伊國駐劄特命全權大使レシッド、ベー
海軍中將メヘメッド、パシヤ
東「ウルグヱー」共和國大統領
前大統領、常設仲裁裁判所裁判官ホセ、パトレン、イ、オルドニエス
前上院議長、佛國駐劄特命全權公使、常設仲裁裁判所裁判官ファン、ペー、カストロ
「ヴェネズエラ」各衆國大統領
獨逸國駐劄代理公使ホセ、ヒル、フォルトウル
因テ各全權委員ハ其ノ良好妥當ナリト認メラレタル委任狀ヲ寄託シタル後左ノ條項ヲ協定セリ

第一條　左ノ事項ハ之ヲ禁止ス

一　敵設者ノ監理ヲ離レテヨリ長クモ一時間以内ニ無害ト爲ルノ構造ヲ有スルモノヲ除クノ外無繫維自動觸發水雷ヲ敷設スルコト

二　繫維ヲ離レタル後直ニ無害ト爲ラサル命中セサル場合ニ無害ト爲ラサル魚形水雷ヲ使用スルコト

三　繫維自動觸發水雷ヲ敷設スルコト

第二條　單ニ商業上ノ航海ヲ遮斷スルノ目的ヲ以テ敵ノ沿岸及港ノ前面ニ自動觸發水雷ヲ敷設スルコトヲ禁ス

第三條　繫維自動觸發水雷ヲ使用スルトキハ平和的航海ヲ安全ナラシムル爲一切ノ爲シ得ヘキ豫防手段ヲ執ルヘシ

交戰者ハ爲シ得ル限右水雷ヲシテ一定ノ期間經過後ハ無害タラシムルノ裝置ヲ施スヘキコト及右水雷ニシテ監視セラレサルニ至リタルトキハ軍事ノ必要上差支ナキ限遠ニ航海者ニ對スル告示ヲ以テ其ノ危險區域ヲ指示スヘキコトヲ約定ス右告示ハ外交上ノ手續ニ依リ之ヲ各國政府ニ通告スヘキモノトス

第四條　中立國ニシテ其ノ沿岸ノ前面ニ自動觸發水雷ヲ敷設スルモノハ交戰者ト同一ノ規定ニ遵據シ且同一ノ豫防手段ヲ執ルコトヲ要ス

中立國ハ豫メ告示ヲ以テ自動觸發水雷ヲ敷設セムトスル區域ヲ航海者ニ知ラシムルコトヲ要ス右告示ハ外交上ノ手續ニ依リ至急之ヲ各國政府ニ通知スヘキモノトス

第五條　締約國ハ戰爭終了シタルトキハ各自其ノ敷設シタル水雷ヲ引上クル爲施シ得ヘキ總テノ手段ヲ盡スヘキコトヲ約定ス

交戰國ノ一方カ他ノ交戰國ノ沿岸ニ敷設シタル繫維自動觸發水雷ニ關シテハ之ヲ敷設シタル國ハ其ノ敷設而ヲ他ノ國ニ通告シ各國ハ最短期限内ニ自國ノ水域中ニ在ル敷設水雷ヲ引上クルノ手段ヲ執ルヘシ

第六條　締約國ニシテ未タ本條約ニ規定スル カ如キ完全ナル敷設水雷ヲ有セス從テ現ニ第一條及第三條ニ定メタル規則ニ準據スルコト能ハサルモノハ前記規定ニ適應セシムル爲其ノ水雷材料ヲ適ニ改良スヘキコトヲ約定ス

第七條　本條約ノ規定ハ交戰國カ悉ク本條約ノ當事者ナルトキニ限締約國間ニノミ之ヲ適用ス

第八條　本條約ハ成ルヘク速ニ批准スヘシ批准書ハ海牙ニ寄託ス

第一回ノ批准書寄託ハ之ニ加リタル諸國ノ代表者及和蘭國外務大臣ノ署名シタル調書ヲ以テ之ヲ證ス

爾後ノ批准書寄託ハ和蘭國政府ニ宛テ且批准書ヲ添附シタル通告書ヲ以テ之ヲ爲ス

第一回ノ批准書寄託ニ關スル調書、前項ニ揭ケタル通告書及批准書ノ認證謄本ハ和蘭國政府ヨリ外交上ノ手續ヲ以テ直ニ之ヲ第二回平和會議ニ招請セラレタル諸國及本條約ニ加盟スル他ノ諸國ニ交付スヘシ前項ニ揭ケタル場合ニ於テハ和蘭國政府ハ同時ニ通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スルモノトス

第九條　記名國ニ非サル諸國ハ本條約ニ加盟スルコトヲ得

加盟セムト欲スル國ハ書面ヲ以テ其ノ意思ヲ和蘭國政府ニ通告シ且加盟書ヲ送付シ之ヲ和蘭國政府ノ文庫ニ寄託スヘシ

和蘭國政府ハ直ニ通告書及加盟書ノ認證謄本ヲ爾後ノ諸國ニ送付シ且右通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スヘシ

第十條　本條約ハ第一回ノ批准書寄託ニ加リタル諸國ニ對シテハ其ノ寄託ノ調書ノ日附ヨリ六十日ノ後又其ノ後ニ批准シ又ハ加盟スル諸國ニ對シテハ和蘭國政府カ右批准又ハ加盟ノ通告ヲ接受シタルトキヨリ六十日ノ後ニ其ノ效力ヲ生スヘキモノトス

第十一條　本條約ハ第一回批准書寄託ノ日以後第六十日ヨリ七年間有效ナルモノトス

本條約ハ廢棄アルニ非サレハ右期間滿了後引續キ效力ヲ有ス

廢棄ハ書面ヲ以テ和蘭國政府ニ通告スヘシ和蘭國政府ハ直ニ通告書ノ認證謄本ヲ爾後ノ諸國ニ送付シ且右通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スヘシ

廢棄ハ其ノ通告カ和蘭國政府ニ到達シタル國ニ對シ

シテノミ效力ヲ生スルモノトス

第十二條　締約國ハ自動觸發水雷使用ノ問題カ前條第一項ノ期間滿了ヨリ六月前ニ於テ第三回平和會議ニ由リテ審議決定セラレサリシ場合ニハ右六月前ニ於テ該問題ヲ審議セムコトヲ約定ス

締約國ニ於テ敷設水雷使用ニ關スル新條約ヲ締結スルトキハ本條約ハ其ノ實施ノ時ヨリ之ヲ適用セス

第十三條　和蘭國外務省ハ帳簿ヲ備ヘ置キ第八條第三項及第四項ニ依リ爲シタル批准書寄託ノ日效加盟(第九條第二項)又ハ廢棄(第十一條第三項)ノ通告ヲ接受シタル日ヲ記入スルモノトス

各締約國ハ右帳簿ヲ閱覽シ且其ノ認證抄本ヲ請求スルコトヲ得

右證據トシテ各全權委員本條約ニ署名ス

千九百七年十月十八日海牙ニ於テ本書一通ヲ作リ之ヲ和蘭國政府ノ文庫ニ寄託シ其ノ認證謄本ヲ外交上ノ手續ニ依リ第二回平和會議ニ招請セラレタル諸國ニ交付スヘキモノトス

第一號(マヌエル、サンゲイリー、ヴェアルドクトル、ヘンリクス、イ、カルヴァハル)ヲ留保ス

第二條(第一條第一號)ヲ留保ス

第三條(エドワード、フライアーネスト、サトウレー、ハワード)

左ノ宣言ヲ留保ス

英國全權委員ハ本條約ニ署名スルニ當リ本條約カ或行爲又ハ方法ヲ禁止セサルノ單純ナル事實ノ行爲又ハ方法ノ當否ヲ爭フノ權利ヲ棄フモノニ非サルコトヲ宣言ス

第十九條　希臘國(クレオン、リツォ、ランガベ)

第十條　亞米利加合衆國(ジョセフ、エッチ、チョートホレス、ポーター
ユー、エム、ローズ
デヴィッド、ジェーン、ヒルシー、エス、スペリ
ウィリアム、アイ、アカナン
ロケ、サエンツ、ペニヤ
ルイス、エム、ドラゴ
セー、ロドリゲス、ラレタ)

第十一條　墨國(男爵マッキオ
アベルナール
ウアン、デン、ヒューベル)

第十二條　玖馬共和國(ギーヨーム
クラウヂオ、ヒニラ
ルイ、バルボサ
エー、リスボア)

第十三條　丁抹國(陸軍少將ヴィナロフ
イヴァン、カラジューロフ
ドミンゴ、ガナ
アウグスト、マッテ
カルロス、コンチャ)

第十條　清國

第十一條　格倫比亞國(ホルヘ、ホルクイン
エス、ペレス、トリアナ
エム、ヴアルガス
アントニオ、エス、デ、アスタマンテ
ゴンザロ、デ、クェサダ)

第十二條　玖馬共和國(ペリサリオ、ポラス)

第十三條　抹國(ドクトル、ヘンリクス、イ、カルヴァハル)

第十四條「ドミニカ」共和國(アポリナル、テヘラ
ヴィクトル、エム、レンドン
エ、ドルン、イ、ア、アルスア)

第十五條「エクアドル」共和國(マヌエル、サンゲイリー
ア、ヴェアルドクトル、ヘンリクス、イ、カルヴァハル)

第十六條　西班牙國(マルスラン、ペレン)

第十七條　佛蘭西國(エドワード、フライアーネスト、サトウレー、ハワード)

第十八條　大不列顛國(クレオン、リツォ、ランガベ
ジョールジュ、ストレイト
ホセ、チアレ、マチャド
ゲルベマル、ジャン、ジョセフ
ジー、エス、レジエー
ヒエール、ユアクール)

第十九條　希臘國(ポンヒリ
ジェー、フジナト)

第二十條　「ボッテマラ」國(佐藤愛麿)

第二十一條　「パイチ」國(アイシエン)

第二十二條　伊太利國(伯爵ド、ヴィレー
ジェー、ア、エステヴア
エス、ペー、ド、ミエー
エフ、エル、デ、ラ、バラ)

第二十三條　日本國(エフ、ハーゲルプ)

第二十四條　盧森堡國(ペー、ポラス)

第二十五條　墨西哥國(ジェー、ザ、モンソー
ドアルヴェ、アッシュ、ド、ボーフォール
テー、エム、セー、アッセル
アン、ベール、ボールチュゲール
ジー、アー、ローエル
ジー、アー、ロエフ)

第二十六條「モンテネグロ」國(セー、ジェー、カンダモ
エス、ペレス、トリアナ
エム、ヴアルガス
アントニオ、エス、デ、アスタマンテ
ゴンザロ、デ、クェサダ)

第二十七條「ニカラグヮ」國(モムタズスサルタネー、エム、サマド、カン
サアグ、ウル、ムルク、エム、アーメッド、カン)

第二十八條　諾威國

第二十九條　巴奈馬國

第三十條「パラグヱー」國

第三十一條　和蘭國

第三十二條　祕露國

第三十三條　波斯國

第三十四條　衞魯特國

第三十五　羅馬尼亞國　エドガール、マゾロコルゲト
第三十六　露西亞國　ベー、ジー、マテウ
第三十七　「サルヴァドル」國　エス、ベレス、トリアナ
第三十八　塞爾比亞國　エム、ジエー、ミロヴアノヴィッチ
第三十九　遐羅國　エム、ジエー、ミリチエヴィッチ
モム、チヤチアー、ウドム
セー、コラヂオニ、ドレヨ
ルアンケ、ピュヴアナルト、ナ
リュービル
第四十　瑞典國　第一條第一號ヲ留保ス
第四十一　瑞西國　カルラン
第四十二　土耳其國　チュルカン
（千九百七年十月九日ノ第八回總會議ノ議事錄ニ記入セラレタル宣言ヲ留保ス）
第四十三　「ウルグエー」國　ホセ、パトレ、イ、オルドニエス
第四十四　「ヴェネズエラ」國　ジー、ヒル、フオルトウル

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

既明治四十年十月十八日和蘭國海牙ニ於テ第二回萬國平和會議ニ贊同シタル帝國全權委員ノ間ニ議定シ帝國全權委員カ第一條第二項ヲ留保シテ署名シタル戰時海軍力ヲ以テスル砲撃ニ關スル條約ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理大臣兼外務大臣侯爵桂太郎署名）

戰時海軍力ヲ以テスル砲撃ニ關スル條約

獨逸皇帝普魯西國皇帝陛下、亞米利加合衆國大統領、亞爾然丁共和國大統領、墺地利國皇帝國皇帝陛下、「ボヘミヤ」國皇帝洪牙利國皇帝陛下、「ボリヴィア」共和國大統領、伯剌西爾合衆國大統領、勃爾牙利國公殿下、智利共和國大統領、玖馬共和國臨時總督、丁抹國皇帝陛下、「ドミニカ」共和國大統領、「エクアドル」共和國大統領、佛蘭西共和國大統領、佛蘭西顓海外領土皇帝印度皇帝陛下、希臘國皇帝陛下、「グヮテマラ」共和國大統領、伊太利國皇帝陛下、「ハイチ」共和國大統領、洪都拉斯國皇帝陛下、日本國皇帝陛下、盧森堡國大公、「モンテネグロ」國殿下、墨西哥合衆國大統領、「ニカラグア」共和國大統領、巴奈馬共和國大統領、「パラグエー」共和國大統領、和蘭國皇帝陛下、秘露共和國大統領、波斯國皇帝陛下、羅馬尼亞國皇帝陛下、葡萄牙國及「アルガルヴ」國皇帝陛下、「サルヴァドル」共和國大統領、塞爾比亞國皇帝陛下、瑞典國皇帝陛下、瑞西聯邦政府、土耳其國皇帝陛下、烏「ルグエ」

●戰時海軍力ヲ以テスル砲撃ニ關スル條約（明治四十五年一月十三日條約第九號）

既樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ明治四十年十月十八日和蘭國海牙ニ於テ第二回萬國平和會議ニ贊同シタル帝國及各國全權委員ノ間ニ議定シ帝國全權委員カ第一條第二項ヲ留保シテ署名シタル戰時海軍力ヲ以テスル砲撃ニ關スル條約ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

外務大臣　子爵内田康哉

一「共和國大統領」、「ヴェネズエラ」合衆國大統領ハ防守セラレサル港、都市及村落ヲ海軍力ヲ以テ砲撃スルコトニ關シ第一回平和會議ノ表明シタル希望ヲ實行セムト欲シ爲シ得ル限陸戰ノ法規慣例ニ關スル千八百九十九年ノ規則ノ主義ヲ海軍力ヲ以テスル砲撃ニ及ホシ以テ住民ノ權利ヲ保障シ且重要ナル建物ノ保存ヲ確實ニスヘキ一般規定ヲ右砲撃ニ適用スルノ必要ヲ考慮シ之ニ依リテ人類ノ利益ニ貢獻シ戰爭ノ慘害ヲ輕減セムトノ希望ヲ體シ之カ爲條約ヲ締結スルニ決シ各左ノ全權委員ヲ任命セリ

獨逸皇帝普魯西國皇帝陛下
國務大臣、土耳其國駐劄特命全權大使、男爵マルシャル、ド、ビーベルスタイン
本會議特派委員、「コンセイエー、アンチーム、ド、レガシヨン」帝國外務省法律顧問、常設仲裁裁判所裁判官、「ドクトル」ヨハンネス、クリーゲ
亞米利加合衆國大統領
特命全權ジョセフ、エッチ、チョート
特命全權ホレス、ポーター
特命全權ユリアー、エム、ローズ
和蘭國駐劄特命全權公使　デヴィド、ジエーン、ヒル
海軍少將、全權公使チャールス、エス、スペリー
陸軍少將、合衆國陸軍法會議長、全權公使ジョージ、ビー、デーヴィス
全權公使ウィリアム、アイ、アカナン
亞爾然丁共和國大統領
前外務大臣、伊國駐劄特命全權公使、常設仲裁裁判所裁判官ロク、サエンツ、ペニヤ
前外務及教務大臣、下院議員、常設仲裁裁判所裁判官ルイス、エム、ドラゴ
前外務及教務大臣、常設仲裁裁判所裁判官カルロス、ロドリゲス、ラレタ
墺地利國皇帝、「ボヘミヤ」國皇帝洪牙利國皇帝陛下
「コンセイエー、アンチーム」、特命全權大使ゲーダン、メレー、ド、カボスメレー
希臘國駐劄特命全權公使、男爵ジャール、ド、マッキオ
白耳義國皇帝陛下
國務大臣、代議院議員、佛國學士院會員、白耳義國學士院會員、羅馬尼亞國學士院會員、國際法學會名譽會員、常設仲裁裁判所裁判官ベルナール
國務大臣、前司法大臣ジー、ヴァン、デン、ヒューベル
和蘭國駐劄特命全權公使、羅馬尼亞國學士院會員、男爵ギーヨーム
「ボリヴィア」共和國大統領
外務大臣、常設仲裁裁判所裁判官　クラウヂオ、ピニラ
英國駐劄特命全權公使　フェルナンド、エ、ゲッチヤラ
伯剌西爾合衆國大統領
特命全權大使、常設仲裁裁判所裁判官ルイ、バルボサ
和蘭國駐劄特命全權公使エジアルド、エフ、エス、ドス、サントス、リスボア
勃爾牙利國公殿下
陸軍參謀少將、侍從將官　ヴルバン、ヴィナロフ
大審院檢事總長イヴアン、カランジューロフ
智利共和國大統領
英國駐劄特命全權公使ドミンゴ、ガナ
獨逸國駐劄特命全權公使アウグスト、マッテ
前陸軍大臣、前代議院議長、前亞爾然丁國駐劄特命全權公使カルロス、コンチャ
格倫比亞共和國大統領
陸軍將官ホルヘ、ホルヴィン
サンチアゴ、ベレス、トリアナ
佛國駐劄特命全權公使、陸軍將官　マルセリアノ、ヴアルカス
玖馬共和國臨時總督
「ハヴアナ」大學國際法教授、上院議員アントニオ、サンチエス、デ、スタマンテ
米國駐劄特命全權公使ゴンザロ、デ、クエサダ、イ、アロステグイ

一「コンセイエー、デタ、アンペリアル、アクチュエル」、和蘭國駐劄露國特命全權公使チャリコフ
諾威國皇帝陛下
前内閣議長、前法學教授、和蘭國駐劄特命全權公使ミルヴァ、アーメフド、カン、サダ、ウル、ムルク
葡萄牙國及「アルガルヴ」皇帝陛下
參事院議官「ベール、ダュロワイヨーム」、前外務大臣、英國駐劄特命全權公使、特命全權大使、侯爵デ、ソヴェラル
和蘭國駐劄特命全權公使、伯爵　デ、セリール
瑞西國駐劄特命全權公使アルベルト、ドゥニーラ
羅馬尼亞國皇帝陛下
獨逸國駐劄特命全權公使エレキサンドル、ベルダマン
和蘭國駐劄特命全權公使エドガール、マヴロコルダト
全露西亞國皇帝陛下
「コンセイエー、プリヴェ、アクチュエル」、佛國駐劄特命全權大使ネリドフ
「コンセイエー、プリヴェ」、外務省常任顧問官、常設仲裁裁判所裁判官ド、マルテンス
「コンセイエー、デタ、アクチュエル」、侍從、和蘭國駐劄特命全權公使チャリコフ
「サルヴァドル」共和國大統領
佛國駐劄代理公使、常設仲裁裁判所裁判官ベドロ、ジー、マテウ
英國駐劄代理公使サンチアゴ、ベレス、トリアナ
塞爾比亞國皇帝陛下
陸軍將官、參事院　議長　サヴァ、グルーイッチ
伊國駐劄特命全權　公使、常設仲裁裁判所裁判官ミロヴアノヴィッチ
英國駐劄兼和蘭國駐劄特命全權公使ミシエル、ミリチエヴィッチ
遐羅國皇帝陛下
陸軍少將モム、チヤチアー、ウドム
公使館參事官セー、コラヂオニ、ドレヨ
陸軍大尉ルアンケ、ピュヴアナルト、ナリュービル
瑞典國「ゴッツ」及「ヴアンド」皇帝陛下
前司法大臣、丁抹國駐劄特命全權公使、常設仲裁裁判所裁判官クヌート、ヒャルマル、レオナルド、ハムマルスキョルド
前無省大臣、前高等法院評定官、常設仲裁裁判所裁判官ヨハンネス、ヘルネル
瑞西聯邦政府
英國駐劄兼和蘭國駐劄特命全權公使カストン、カルラン
陸軍參謀大佐、ジェネヴア大學教授ユージエーン、ボレル

前「ハヴアナ」中學校長、上院議員マヌエル、サンゲイリー
丁抹國皇帝陛下
侍從、米國駐劄特命全權公使コンスタンチン、ブロン
海軍少將クリスチアン、フレデリック、ジェルレル
侍從、外務省課長アクセル、ヴェアル
「ドミニカ」共和國大統領
前外務大臣、常設仲裁裁判所裁判官フランシスコ、ヘンリクス、イ、カルヴアハル
共和國專門學校長、常設仲裁裁判所裁判官アボリナル、テヘラ
「エクアドル」共和國大統領
佛國駐劄兼西班牙國駐劄特命全權公使ヴィクトル、レンドン
代理公使エンリク、ドルン、イ、デ、アルスア
佛蘭西共和國大統領
特命大使、上院議員、前内閣議長、前外務大臣、常設仲裁裁判所裁判官、男爵ドーナルド、ジェームス、マッケー、レー
上院議員、一等全權公使、常設仲裁裁判所裁判官レオン、ブールジョア
巴里大學法科大學教授、名譽全權公使、外務省法律顧問、佛國學士院會員、常設仲裁裁判所裁判官ルイ、ルノー
和蘭國駐劄特命全權公使マルスラン、ペレ
大不列顛愛蘭聯合王國大不列顛海外領土皇帝印度皇帝陛下
樞密顧問官、特命大使、常設仲裁裁判所裁判官、「サー」エドワード、フライ
樞密顧問官、常設仲裁裁判所裁判官、「サー」アーネスト、メーソン、サトウ
樞密顧問官、前國際法學會長、男爵ドーナルド、ジェームス、マッケー、レー
和蘭國駐劄特命全權公使、「サー」ヘンリー、ハワード
希臘國皇帝陛下
獨逸國駐劄特命全權公使クレオン、リランガベ
雅典大學國際法教授、常設仲裁裁判所裁判官ジョールジュ、ストレイト
「グヮテマラ」共和國大統領
和蘭國駐劄兼英國駐劄代理公使、常設仲裁裁判所裁判官ホセ、ヂアレ、マチャド
獨逸國駐劄代理公使エンリク、ゴメス、カリヨ
「ハイチ」共和國大統領
佛國駐劄特命全權公使ジャン、ジョセフ、ダルベマル
米國駐劄特命全權公使ジー、エス、レジェ
前國際公法教授、「ポルトープランス」祖合辯護士ヒール、エデクール
伊太利國皇帝陛下
上院議員、佛國駐劄特命全權大使、常設仲裁裁判所裁判官、伊國委員長、伯爵　ジョセフ、トルニエリ、プルサチ、ヤ、ヴエルガノ
下院議員、外務次官「コンマンドール」ギド、ポンピリ
參事院議官、下院議員、前文部大臣「コンマンドール」ギド、ブランナト
日本國皇帝陛下
特命全權大使都筑馨六
和蘭國駐劄特命全權公使佐藤愛麿
盧森堡國大公「ナッソー」公殿下
國務大臣、内閣議長アイシェン
獨逸國駐劄代理公使、伯爵ド、ヴイレー
墨西哥合衆國大統領
伊國駐劄特命全權公使ゴンザロ、ア、エスデア
佛國駐劄特命全權公使セバスチアン、ベー、ド、ミエー
白耳義國駐劄兼和蘭國駐劄特別全權公使フランシスコ、エル、デ、パラ
「モンテネグロ」國公殿下
「コンセイエー、プリヴェ、アンペリアル、和蘭國駐劄特命全權公使、伯爵デ、セリール
瑞西國駐劄特命全權公使アルベルト、ドゥニーラ
羅馬尼亞國皇帝陛下
獨逸國駐劄特命全權公使エレキサンドル、ベルダマン
和蘭國駐劄特命全權公使エドガール、マヴロコルダト
全露西亞國皇帝陛下
「コンセイエー、プリヴェ、アクチュエル」、佛國駐劄特命全權大使ネリドフ
「コンセイエー、プリヴェ」、外務省常任顧問官、常設仲裁裁判所裁判官ド、マルテンス
「コンセイエー、デタ、アクチュエル」、侍從、和蘭國駐劄特命全權公使チャリコフ
「サルヴァドル」共和國大統領
佛國駐劄代理公使、常設仲裁裁判所裁判官ベドロ、ジー、マテウ
英國駐劄代理公使サンチアゴ、ベレス、トリアナ
塞爾比亞國皇帝陛下
陸軍將官、參事院　議長　サヴァ、グルーイッチ
伊國駐劄特命全權　公使、常設仲裁裁判所裁判官ミロヴアノヴィッチ
英國駐劄兼和蘭國駐劄特命全權公使ミシエル、ミリチエヴィッチ
遐羅國皇帝陛下
陸軍少將モム、チヤチアー、ウドム
公使館參事官セー、コラヂオニ、ドレヨ
陸軍大尉ルアンケ、ピュヴアナルト、ナリュービル
瑞典國「ゴッツ」及「ヴアンド」皇帝陛下
前司法大臣、丁抹國駐劄特命全權公使、常設仲裁裁判所裁判官クヌート、ヒャルマル、レオナルド、ハムマルスキョルド
前無省大臣、前高等法院評定官、常設仲裁裁判所裁判官ヨハンネス、ヘルネル
瑞西聯邦政府
英國駐劄兼和蘭國駐劄特命全權公使カストン、カルラン
陸軍參謀大佐、ジェネヴア大學教授ユージエーン、ボレル

「チューリヒ」大學法學教授マックス、フーベル
土耳其國皇帝陛下
特命大使「ミニストル、ド、レザカフ」「チュルカン、パシヤ
伊國駐劄特命全權大使レシッド、パシヤ
海軍中將メヘメッド、パシヤ
東「ウルグェー」共和國大統領
前大統領、當設仲裁裁判所裁判官ホセ、パトレ、イ、オルドニエス
前上院議長、佛國駐劄特命全權公使、當設仲裁裁判所裁判官ファン、ペー、カストロ
「ヴェネズエラ」合衆國大統領
獨逸國駐劄代理公使ホセ、ヒル、フォルトウル
因テ各全權委員ハ其ノ良好妥當ナリト認メラレタル委任狀ヲ寄託シタル後左ノ條項ヲ協定セリ

第一章　防守セラレサル港、都市、村落、住宅又ハ建物ノ砲撃

第一條　防守セラレサル港、都市、村落、住宅又ハ建物ハ海軍力ヲ以テ之ヲ砲撃スルコトヲ禁ス
執レノ地域ト雖其ノ港前ニ自動觸發海底水雷ヲ敷設シタル事實ノミヲ以テ之ヲ砲撃スルコトヲ得サルモノトス

第二條　右禁止中ニハ軍事上ノ工作物、陸海軍建設物、兵器又ハ軍用材料ノ貯藏所、敵ノ輕隊又ハ軍隊ノ用ニ供セラルヘキ工場及設備竝港内ニ在ル軍艦ヲ包含セサルモノトス
海軍指揮官ハ相當ノ期間ヲ以テ警告ヲ與ヘタル後地方官憲ニ於テ右期間内ニ之ヲ破壞スルノ措置ヲ執ラサリシ場合ニ於テ全ク他ニ手段ナキトキハ砲撃ニ依リ之ヲ破壞スルコトヲ得
此ノ場合ニ於テ右指揮官ハ砲撃ノ爲ニ生スルコトアルヘキ故意ニ出テサル損害ニ付何等責任ヲ負フコトナシ
軍事ノ必要上即時ノ行動ヲ要スル爲期間ヲ與フルコトヲ得サル場合ト雖防守セラレサル都市ノ砲撃ニ關スル禁止ニ付テハ第一項ノ場合ト同一ナルヘク且指揮官ハ砲撃ノ爲右都市ニ來スヘキ不便ヲ成ルヘク少カラシムル爲一切ノ相當手段ヲ執ルヘシ

第三條　防守セラレサル港、都市、村落、住宅又ハ建物ハ地方官憲カ其ノ附近ニ在ル海軍ノ目前ノ需要ヲ充ス爲必要ナル糧食又ハ軍需品ノ徵發ヲ正式ノ催告ニ依リ命セラレタルニ拘ラス之ニ應スルコトヲ拒ミタルトキハ明示ノ通告ヲ爲シタル後之ヲ砲撃スルコトヲ得
右徵發ハ地方ノ資力ニ相應スルモノタルヘシ徵發ハ必ス該海軍指揮官ノ許可ヲ得テ之ヲ爲スヘク且之レニ對シテハ成ルヘク即金ニテ支拂ヒ然ラサレハ領收證ヲ以テ之ヲ證明スヘシ

第四條　防守セラレサル港、都市、村落、住宅又ハ建物ハ取立金ヲ支拂ハサルヲ理由トシテ之ヲ砲撃スルコトヲ得ス

第二章　一般ノ規定

第五條　海軍力ヲ以テ砲撃ヲ爲スニ當リテハ指揮官ハ宗教、技藝、學術及慈善ノ用ニ供セラルル建物、歷史上ノ紀念建造物、病院竝病者及傷者ノ收容所ハ同時ニ軍事上ノ目的ニ使用セラレサル限之ヲシテ成ルヘク損害ヲ免レシムル爲必要ナル一切ノ手段ヲ執ルヘキモノトス
住民ハ看易キ徽章ヲ以テ右ノ建物、紀念建造物又ハ收容所ヲ表示スルノ義務ヲ負フ右徽章ハ堅固ナル方形ノ大板ニシテ對角線ノ一ヲ以テ上部ハ黑色下部ハ白色ノ兩三角形ニ區劃シタルモノナルヘシ

第六條　軍事ノ必要上已ムヲ得サル場合ヲ除クノ外攻撃海軍指揮官ハ砲撃ヲ始ムル前其ノ旨官憲ニ通告スル爲施シ得ヘキ一切ノ手段ヲ盡スヘキモノトス

第七條　都市其ノ他ノ地域ハ突撃ヲ以テ攻取シタル場合ト雖之ヲ掠奪ニ委スルコトヲ得ス

第三章　附則

第八條　本條約ノ規定ハ交戰國カ委クル本條約ノ當事者ナルトキニ限締約國間ニノミ之ヲ適用ス

第九條　本條約ハ成ルヘク速ニ批准スヘシ
批准書ハ海牙ニ寄託ス
第一回ノ批准書寄託ハ之ニ加リタル諸國ノ代表者及和蘭國外務大臣ノ署名シタル調書ヲ以テ之ヲ證ス
爾後ノ批准書寄託ハ和蘭國政府ニ宛テ且批准書ヲ添附シタル通告書ヲ以テ之ヲ爲ス
第一回ノ批准書寄託ニ關スル調書、前項ニ揭ケタル通告書及批准書ノ認證謄本ハ和蘭國政府ヨリ外交上ノ手續ヲ以テ直ニ之ヲ第二回平和會議ニ招請セラレタル諸國及本條約ニ加盟スル他ノ諸國ニ交付スヘシ前項ニ揭ケタル場合ニ於テハ和蘭國政府ハ同時ニ通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スルモノトス

第十條　記名國ニ非サル諸國ハ本條約ニ加盟スルコトヲ得
加盟セムト欲スル國ハ書面ヲ以テ其ノ意思ヲ和蘭國政府ニ通告シ且加盟書ヲ送付シ之ヲ和蘭國政府ハ直ニ通告書及加盟書ノ認證謄本ヲ爾餘ノ諸國ニ送付シ且右通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スヘシ

第十一條　本條約ハ第一回ノ批准書寄託ニ加リタル諸國ニ對シテハ其ノ寄託ノ調書ノ日附ヨリ六十日ノ後又其ノ後ニ批准シ又ハ加盟スル諸國ニ對シテハ和蘭國政府カ右批准又ハ加盟ノ通告ヲ接受シタルトキヨリ六十日ノ後ニ其ノ效力ヲ生スルモノトス

第十二條　締約國中本條約ヲ廢棄セムト欲スルモノアルトキハ書面ヲ以テ其ノ旨和蘭國政府ニ通告スヘシ和蘭國政府ハ直ニ通告書ノ認證謄本ヲ爾餘ノ諸國ニ送付シ且通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スヘシ
廢棄ハ其ノ通告カ和蘭國政府ニ到達シタルトキヨリ一年ノ後右通告ヲ爲シタル國ニ對シテノミ其ノ效力ヲ生スルモノトス

第十三條　和蘭國外務省ハ帳簿ヲ備ヘ置キ第九條第三項及第四項ニ依リ爲シタル批准書寄託ノ日竝加盟（第十條第二項）又ハ廢棄（第十二條第一項）ノ通告ヲ接受シタル日ヲ記入スルモノトス
各締約國ハ右帳簿ヲ閱覽シ且其ノ認證抄本ヲ請求スルコトヲ得
右證據トシテ各全權委員本條約ニ署名ス
千九百七年十月十八日海牙ニ於テ本書一通ヲ作リ之ヲ和蘭國政府ノ文庫ニ寄託シ其ノ認證謄本ヲ外交上ノ手續ニ依リ第二回平和會議ニ招請セラレタル諸國ニ交付スヘキモノトス

第一　獨逸國　マルシャル
クリーグ
第二　亞米利加合衆國　ジョセフ、エッチ、チョート
ホレス、メン、ポーター
ユー、エム、ローズ
デヴィッド、ジェー、ヒル
シー、エス、スペリー
第三　亞爾然丁國　ウィリアム、アイ、アカナン
ロケ、サエンツ、ペニヤ
ルイス、エム、ドラゴ
第四　墨地利洪牙利國　セー、ロドリゲス、ラレー
メレー
男爵マッキヤ
第五　白耳義國　アベルナール
ジー、ウァシ、デン、ヒューベル
ギ：ヨーム
第六「ボリヴィア」國　クラウデオ、ピニラ
第七　伯剌西爾國　ルイ、バルボサ
第八　勃爾牙利國　陸軍少將ヴィナロフ
イヴァン、カラシュローフ
第九　智利國　ドミンゴ、ガナ
アウグスト、マッテ
カルロス、コンチャ
（八月十七日ノ第四回總會議ニ於テ爲シタル第三條ニ關スル留保ヲ爲ス）
第十　清國
第十一　格倫比亞國　ホルヘ、ホルクィン
エス、ペレス、トリアナ
エム、ヴァルガス
第十二　玖馬共和國　アントニオ、エス、デ、ブスタマンテ
ゴンザロ、デ、クェサダ
マヌエル、サンゲリー
第十三　丁抹國　ヒー、ブロン
第十四「ドミニカ」共和國　ドクトル、ヘンリケス、イ、カルヴァハル
第十五「エクアドル」共和國　アポリナル、テヘラ
ヴィクトル、エム、レンドン
エ、ドルン、イ、デ、アルスア
第十六　西班牙國　マルスラン、ペレ（第一條第二項ヲ留保ス）
第十七　佛蘭西國　エドワード、ブライ
アーネスト、サトウレー（第一條第二項ヲ留保ス）
第十八　大不列顛國　ヘンリー、ハワード
ジョールジュ、ストレイト
第十九　希臘國　ホセ、チアレ、マチャド
第二十「グァテマラ」國　ゲルベルム、ジャン、ジョセフ
第二十一「ハイチ」國　ジー、エヌ、レジエー
ヒエール、ユアクール
第二十二　伊太利國　ポンピリ
ジェー、フジナト
第二十三　日本國　佐藤愛麿（第一條第二項ヲ留保ス）
第二十四　盧森堡國　アイシェン
第二十五　墨西哥國　伯爵ド、ヴィレー
ジェー、アー、エステヴァ
エス、ペー、ド、ミエー
第二十六「モンテネグロ」國　エフ、ハーゲルプ
エフ、エル、デ、パラ
ネリドフ
第二十七「ニカラグァ」國　マルテンス
エヌ、チャリコフ
第二十八　諾威國　エー、リスボア
第二十九　巴奈馬國　ペー、ボラス
第三十「パラグェー」國　ジェー、ザユ、モンソー
第三十一　和蘭國　ドブルヴェ、アッシュド、ボーフォールテー、エム、セー、アッセルアン、ペール、ポールチュゲールジー、アー、ローエルジー、アー、ロエフセー、ジェー、カンダモ
モムタンスサルタネー、エム、サマド、カンサデグ、サル、ムルク、エム、アーメッド、カンアルベルト、ドリヴェイラエドガール、マヴロコルダトネリドフ
マルテンス
エス、チャリコフ
ペー、ジー、マテウ
エス、ペレス、トリアナ
エス、グルーイッチ
エム、ジェー、ミロヴアノヴィッチ
エム、ジェー、ミリチェヴィッチ
第三十二　祕露國　モム、チャチアー、ウドム
第三十三　波斯國　セー、コラデオニ、ドレリ
ルアング、ピュヴァナト、ナリューバル
カー、アッシュエル、ハムマルスキョルド
ヨハンネス、ヘルネル
第三十四　葡萄牙國　カルラン
第三十五　羅馬尼亞國　チュルカン
第三十六　露西亞國　ホセ、パトレ、イ、オルドニエス
第三十七「サルヴァドル」國　ジー、ヒル、フォルトウル
第三十八　塞爾比亞國　天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス
朕明治四十年十月十八日和蘭國海牙ニ於テ第二回萬國平和會議ニ贊同シタル帝國及各國全權委員ノ間ニ議定シ帝國全權委員カ第一條第二項ヲ留保シテ署名シタル戰時海軍力ヲ以テスル砲撃ニ關スル條約ヲ閱覽點檢シ其ノ留保ヲ存シテ之ヲ嘉納批准ス
神武天皇即位紀元二千五百七十一年明治四十四年十一月六日東京宮城ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム
御名　國璽
第三十九　遲羅國　外務大臣　子爵内田康哉
第四十　瑞典國
第四十一　瑞西國
第四十二　土耳其國　●ジェネヴァ條約ノ原則ヲ海戰ニ應用スル條約
チュルカン
第四十三　「サルヴァドル」國
第四十四　「ヴェネズエラ」國

明治四十五年一月十三日　條約第十號
詔書ヲ以テ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ明治四十年十月十八日和蘭國海牙ニ於テ第二回萬國平和會議ニ贊同スル諸國ニ對シテハ和蘭國政府カ右批准又ハ加盟ノ通告ヲ接受シタルトキヨリ六十日ノ後ニ其ノ效力ヲ生スルモノトス

危險ヲ以テ行動スルモノトス

交戰者ハ右船舶ニ對シ監督及臨檢搜索ヲ爲スノ權利ヲ有シ其ノ介助ヲ拒絕シ其ノ離隔ヲ命シ其ノ就行スヘキ方向ヲ指定シ且其ノ船內ニ監督員ヲ乘込マシムルコトヲ得若事情重大ナルカ爲必要ナルトキハ之ヲ抑留スルコトヲ得ヘシ

交戰者ハ病院船ニ下シタル命令ヲ成ルヘク該船ノ航海日誌ニ記入スヘシ

第五條　軍用病院船ハ其ノ外部ヲ白色ニ塗リ幅約一「メートル」牛ノ綠色ノ橫筋ヲ施シテ之ヲ標識スヘシ

第二條及第三條ニ揭ケタル船舶ハ其ノ外部ヲ白色ニ塗リ幅約一「メートル」牛ノ赤色ノ橫筋ヲ施シテ之ヲ標識スヘシ

前記ノ諸船舶ニ附屬スル端舟及救護用ニ供セラルヘキ小船ハ前二項ニ準シテ塗色シ以テ之ヲ標識スヘシ

病院船ハ總テ其ノ國旗ト共ニ「ジエネヴア」條約ニ定メタル白地ニ赤十字ノ旗ヲ揭ケ又中立國ニ屬スルモノナルトキハ右ノ外指揮ヲ受クル交戰國ノ國旗ヲ大檣ニ揭ケテ之ヲ標識スヘシ

第四條ノ規定ニ依リ敵ノ爲ニ抑留セラレタル病院船ハ其ノ屬スル交戰國ノ國旗ヲ撤去スヘシ

前記ノ病院船及端舟ニシテ其ノ享有スル尊重ヲ夜間確實ナラシメムト欲スルモノハ其ノ附隨スル交戰者ノ同意ヲ得テ其ノ標識塗色ヲ看易クスル爲必要ナル措置ヲ執ルヘシ

第六條　第五條ニ定メタル特殊徽章ハ平時トシ又ハ標識スル爲ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第七條　軍艦內ニ於ケル戰鬪ノ場合ニ於テハ病室ハ爲シ得ル限之ヲ尊重庇護スヘシ

右病室及其ノ所屬材料ニ付テハ戰爭ノ法規ニ從フ但シ傷者及病者ニ必要ナル間ハ其ノ病室及其ノ所屬材料ヲ自己ノ權內ニ屬セシメタル指揮官ハ重大ナル軍事上ノ必要アル場合ニ於テハ聽メ病室內ニ在ル傷者及病者ノ安全ヲ確保シタル上之ヲ處分スルコトヲ得

第八條　病院船及艦內病室カ害敵行爲ノ爲ニ使用セラルルトキハ其ノ保護ヲ失フヘシ

病院船及病室ノ人員カ秩序維持及傷者又ハ病者防護ノ爲ニ武裝シタル事實竝船內ニ無線電信ノ設備ヲ有スル事實ハ其ノ保護ヲ喪失スヘキ性質ノモノト認メス

第九條　交戰者ハ中立ノ商船、遊船又ハ端舟ノ船長ニ對シ傷者又ハ病者ヲ船內ニ收容シ且之ヲ看護スルコトニ付其ノ慈惠心ニ訴フルコトヲ得

右ノ依賴ニ應シタル船舶及自ラ進テ傷者、病者又ハ難船者ヲ收容シタル船舶ハ特別ノ保護及一定ノ特典ヲ享有スヘシ該船舶ハ如何ナル場合ニ於テモ右輸送ノ事實アリタルノ故ヲ以テ之ヲ捕獲スルコトヲ得但シ右船舶ニ對スル特別ノ約束アル場合ヲ除クノ外其ノ行ヒタル中立違反ノ行爲ノ爲之ヲ捕獲スルコトヲ得ルモノトス

第十條　捕獲セラレタル一切ノ艦船內ニ在リテ敎法、醫療及看護ニ從事スル人員ハ不可侵ニシテ俘虜ト爲スコトヲ得ス右人員カ艦船ヲ退去スルトキハ其ノ私有ニ屬スル物品及外科用具ヲ携帶ス

右人員ハ必要アル限ハ引續キ其ノ職務ニ從事スヘク總指揮官ニ於テ差支ナシト認ムル時ニ至リ退去スルコトヲ得

交戰者ハ其ノ權內ニ歸シタル右人員ニ對シ自國海軍ノ同一階級ノ人員ニ對スルト同額ノ給養及俸給ヲ支給スルコトヲ要ス

第十一條　艦船內ニ在ル陸海軍人及公務上陸海軍ニ附屬スル其ノ他ノ人員ニシテ負傷シ又ハ疾病ニ罹リタル者ハ國籍ノ如何ヲ問ハス捕獲者ニ於テ之ヲ尊重シ且看護スヘシ

第十二條　交戰國ノ軍艦ハ艦船ノ國籍如何ヲ問ハス軍用病院船、救恤協會若ハ私人ニ屬スル病院船、商船、遊船又ハ端舟內ニ在ル傷者、病者又ハ難船者ノ引渡ヲ請求スルコトヲ得

第十三條　中立國軍艦ニ於テ傷者、病者又ハ難船者ヲ收容シタルトキハ爲シ得ル限右人員ヲシテ再ヒ作戰動作ニ加ルコトヲ得サラシムルヘシ

第十四條　交戰國ノ一方ノ權內ニ歸シタル者ハ病者ニシテ他ノ一方ノ權內ニ歸シタル者ハ俘虜タルヘシ之ヲ俘虜ト爲シタル交戰者ハ事情ノ如何ニ依リ或ハ之ヲ抑留シ或ハ之ヲ該船ノ航海ノ最後ノ場合ニ於テ本國ニ送致スヘキ性質ノモノト認メス

第十五條　地方官憲ノ承諾ヲ得テ中立港ニ上陸シタル難船者、傷者又ハ病者ハ中立國ト交戰國トノ間ニ反對ノ協定ナキ限再ヒ作戰動作ニ加ルコトヲ得サラシムル樣中立國ニ於テ之ヲ抑留スヘシ

第十六條　各戰鬪ノ後雙方ノ交戰者ハ軍事上差支ナキ限難船者、傷者及病者ヲ搜索シ且掠奪及虐待ニ對シ此等ノ者及死者ヲ保護スルノ指置ヲ執ルヘシ

右交戰者ハ死者ノ土葬、水葬又ハ火葬カ其ノ死體ヲ綿密ニ檢查シタル上ニテ行ハルル樣監視スヘシ

第十七條　各交戰者ハ死者ニ付發見シタル軍隊ノ認識票又ハ身分ヲ證明スヘキ記號及其ノ遠ニ其ノ本國官憲又ハ所屬陸海軍官憲ニ送付スヘシ

交戰者ハ互ニ其ノ權內ニ在ル傷者及病者ノ留置、移動、入院及死亡ニ關シ通報ヲ爲スヘカラス又捕獲シタル艦船內ニ於テ發見シ又ハ病院ニ於テ死亡シタル傷者若ハ病者ノ遺留シタル一切ノ自用品、有價物、信書等ヲ關係者ニ其ノ本國官憲ヲシテ傳送セシムル爲蒐集スヘシ

第十八條　本條約ノ規定ハ交戰國カ悉ク本條約ノ當事者ナルトキニ限締約國間ニノミ之ヲ適用ス

第十九條　交戰國艦隊ノ總指揮官ハ其ノ本國政府ノ調令ニ從ヒ且本條約ノ精氣ニ準據シテ前諸條ノ執行ニ關スル細目ヲ定メ且規定ノ安全ヲ確保シタル上之ヲ處分スルコトヲ得

第八條　病院船及艦內病室カ害敵行爲ノ爲ニ使用セラルルトキハ其ノ保護ヲ失フヘシ

病院船及病室ノ人員カ秩序維持及傷者又ハ病者防護ノ爲ニ武裝シタル事實竝船內ニ無線電信ノ設備ヲ有スル事實ハ其ノ保護ヲ喪失スヘキ性質ノモノト認メス

第九條　交戰者ハ中立ノ商船、遊船又ハ端舟ノ船長ニ對シ傷者又ハ病者ヲ船內ニ收容シ且之ヲ看護スルコトニ付其ノ慈惠心ニ訴フルコトヲ得

右ノ依賴ニ應シタル船舶及自ラ進テ傷者、病者又ハ難船者ヲ收容シタル船舶ハ特別ノ保護及一定ノ特典ヲ享有スヘシ該船舶ハ如何ナル場合ニ於テモ右輸送ノ事實アリタルノ故ヲ以テ之ヲ捕獲スルコトヲ得但シ右船舶ニ對スル特別ノ約束アル場合ヲ除クノ外其ノ行ヒタル中立違反ノ行爲ノ爲之ヲ捕獲スルコトヲ得ルモノトス

第十條　捕獲セラレタル一切ノ艦船內ニ在リテ敎法、醫療及看護ニ從事スル人員ハ不可侵ニシテ俘虜ト爲スコトヲ得ス右人員カ艦船ヲ退去スルトキハ其ノ私有ニ屬スル物品及外科用具ヲ携帶ス

右人員ハ必要アル限ハ引續キ其ノ職務ニ從事スヘク總指揮官ニ於テ差支ナシト認ムル時ニ至リ退去スルコトヲ得

交戰者ハ其ノ權內ニ歸シタル右人員ニ對シ自國海軍ノ同一階級ノ人員ニ對スルト同額ノ給養及俸給ヲ支給スルコトヲ要ス

第十一條　艦船內ニ在ル陸海軍人及公務上陸海軍ニ附屬スル其ノ他ノ人員ニシテ負傷シ又ハ疾病ニ罹リタル者ハ國籍ノ如何ヲ問ハス捕獲者ニ於テ之ヲ尊重シ且看護スヘシ

第十二條　交戰國ノ軍艦ハ艦船ノ國籍如何ヲ問ハス軍用病院船、救恤協會若ハ私人ニ屬スル病院船、商船、遊船又ハ端舟內ニ在ル傷者、病者又ハ難船者ノ引渡ヲ請求スルコトヲ得

第十三條　中立國軍艦ニ於テ傷者、病者又ハ難船者ヲ收容シタルトキハ爲シ得ル限右人員ヲシテ再ヒ作戰動作ニ加ルコトヲ得サラシムルヘシ

第十四條　交戰國ノ一方ノ權內ニ歸シタル者ハ病者ニシテ他ノ一方ノ權內ニ歸シタル者ハ俘虜タルヘシ之ヲ俘虜ト爲シタル交戰者ハ事情ノ如何ニ依リ或ハ之ヲ抑留シ或ハ之ヲ該船ノ航海ノ最後ノ場合ニ於テ本國ニ送致スヘキ性質ノモノト認メス

第十五條　地方官憲ノ承諾ヲ得テ中立港ニ上陸シタル難船者、傷者又ハ病者ハ中立國ト交戰國トノ間ニ反對ノ協定ナキ限再ヒ作戰動作ニ加ルコトヲ得サラシムル樣中立國ニ於テ之ヲ抑留スヘシ

第十六條　各戰鬪ノ後雙方ノ交戰者ハ軍事上差支ナキ限難船者、傷者及病者ヲ搜索シ且掠奪及虐待ニ對シ此等ノ者及死者ヲ保護スルノ指置ヲ執ルヘシ

右交戰者ハ死者ノ土葬、水葬又ハ火葬カ其ノ死體ヲ綿密ニ檢查シタル上ニテ行ハルル樣監視スヘシ

第十七條　各交戰者ハ死者ニ付發見シタル軍隊ノ認識票又ハ身分ヲ證明スヘキ記號及其ノ遠ニ其ノ本國官憲又ハ所屬陸海軍官憲ニ送付スヘシ

交戰者ハ互ニ其ノ權內ニ在ル傷者及病者ノ留置、移動、入院及死亡ニ關シ通報ヲ爲スヘカラス又捕獲シタル艦船內ニ於テ發見シ又ハ病院ニ於テ死亡シタル傷者若ハ病者ノ遺留シタル一切ノ自用品、有價物、信書等ヲ關係者ニ其ノ本國官憲ヲシテ傳送セシムル爲蒐集スヘシ

第十八條　本條約ノ規定ハ交戰國カ悉ク本條約ノ當事者ナルトキニ限締約國間ニノミ之ヲ適用ス

第十九條　交戰國艦隊ノ總指揮官ハ其ノ本國政府ノ調令ニ從ヒ且本條約ノ精氣ニ準據シテ前諸條ノ執行ニ關スル細目ヲ定メ且規定ノ安全ヲ確保シタル上之ヲ處分スルコトヲ得

第二十條　記名國ハ本條約ノ規定ヲ其ノ海軍及特ニ保護セラルル人員ニ敎示シ且之ヲ國民ニ知ラシムル爲必要ナル手段ヲ執ルヘシ

第二十一條　記名國ハ又其ノ刑法不備ナル場合ニ於テハ戰時海軍ノ傷者及病者ニ對スル掠奪及虐待ノ個人的行爲ヲ禁制シ且本條約ニ依リ保護セラレサル船舶カ第五條ニ定メタル特殊徽章ヲ濫用スルコトヲ軍事徽章ノ擅用トシテ處罰スルニ必要ナル手段ヲ執リ又ハ其ノ立法府ニ之ヲ提案スヘキコトヲ約定ス

記名國ハ遲クトモ本條約批准後五年內ニ和蘭國政府ヲ經テ右禁制ニ關スル規定ヲ互ニ通告スヘシ

第二十二條　交戰國陸海軍ノ間ニ戰爭アル場合ニハ本條約ノ規定ハ艦船內ニ在ル軍隊ニ限之ヲ適用スルモノトス

第二十三條　本條約ハ成ルヘク速ニ批准スヘシ

批准書ハ海牙ニ寄託ス

第一回ノ批准書寄託ハ之ニ加リタル諸國ノ代表者及和蘭國外務大臣ノ署名シタル調書ヲ以テ之ヲ證ス

爾後ノ批准書寄託ハ和蘭國政府ニ宛テ且批准書ヲ添附シタル通告書ヲ以テ之ヲ爲ス

第一回ノ批准書寄託ニ關スル調書、前項ニ揭ケタル通告書及批准書ノ認證謄本ハ和蘭國政府ヨリ外交上ノ手續ヲ以テ直ニ之ヲ第二回平和會議ニ招請セラレタル諸國及本條約ニ加盟スル他ノ諸國ニ交付スヘシ前項ニ揭ケタル場合ニ於テハ和蘭國政府ハ同時ニ通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スルモノトス

第二十四條　記名國ニ非サル諸國ニシテ千九百六年七月六日ノ「ジエネヴア」條約ヲ承諾シタルモノハ本條約ニ加盟スルコトヲ得

加盟セムト欲スル國ハ書面ヲ以テ其ノ意思ヲ和蘭國政府ニ通告シ且加盟書ヲ送付シ之ヲ和蘭國政府ノ文庫ニ寄託スヘシ

和蘭國政府ハ直ニ通告書及加盟書ノ認證謄本ヲ爾餘ノ諸國ニ送付シ且右通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スヘシ

第二十五條　本條約ハ正式ニ批准セラレタル上締約國間ノ關係ニ於テ「ジエネヴア」條約ノ原則ヲ海戰ニ應用スル千八百九十九年七月二十九日ノ條約ニ代ルヘキモノトス

千八百九十九年ノ條約ハ該條約ニ記名シタルモ本條約ヲ批准セサル諸國間ノ關係ニ於テハ依然效力ヲ有スルモノトス

第二十六條　本條約ハ第一回ノ批准書寄託ニ加リタル諸國ニ對シテハ其ノ寄託ノ調書ノ日附ヨリ六十日ノ後又其ノ後ニ批准シ又ハ加盟スル諸國ニ對シテハ和蘭國政府カ右批准又ハ加盟ノ通告ヲ接受シタルトキヨリ六十日ノ後ニ其ノ效力ヲ生スルモノトス

第二十七條　締約國中本條約ヲ廢棄セムト欲スルモノアルトキハ書面ヲ以テ其ノ旨和蘭國政府ニ通告スヘシ和蘭國政府ハ直ニ之ヲ爾餘ノ諸國ニ通告シ且右通告書ノ認證謄本ヲ添ヘ外交上ノ手續ニ依リ第二回平和會議ニ招請セラレタル諸國ニ交付スヘキモノトス

廢棄ハ通告書ヲ接受シタル日ヨリ一年ノ後右通告ヲ爲シタル國ニ對シテノミ效力ヲ生スルモノトス

第二十八條　和蘭國外務省ハ帳簿ヲ備ヘ置キ第二十三條第三項及第四項ニ依リ爲シタル批准書寄託ノ日竝加盟（第二十四條第二項）又ハ廢棄（第二十七條第一項）ノ通告ヲ接受シタル日ヲ記入スルモノトス

各締約國ハ右帳簿ヲ閱覽シ且其ノ認證抄本ヲ請求スルコトヲ得

右證據トシテ各全權委員本條約ニ署名ス

千九百七年十月十八日海牙ニ於テ本書一通ヲ作リ之ヲ和蘭國政府ノ文庫ニ寄託シ其ノ認證謄本ヲ外交上ノ手續ニ依リ第二回平和會議ニ招請セラレタル諸國ニ交付スヘキモノトス

（陸戰ノ法規慣例ニ關スル條約）第二十一條ヲ留保ス

第十一　格魯比亞國　ホルヘ、ホルヂイン

エス、ベレス、トリアナ

エム、ヴアルガス

第十二　玖馬共和國　アントニオ、エス、デ、アスタマンチ

ゴンザロ、デ、クエサダ

マヌエル、サンケイリー

第十三　丁抹國　セー、ブロン

第十四　「ドミニカ」共和國　ドクトル、ヘンリケス、イ、カルヴアハル

第十五　「エクアドル」國　アポリナル、テヘラ

ヴイクトル、エム、レンドン

第十六　西班牙國　エ、ドルシ、イ、デ、アルスア

ドブルヴエ、エル、デ、ヴィーリヤウルーチヤ

第十七　佛蘭西國　ホセ、デ、ラ、リカ、イ、カルヴオ

カアリエル、マウラ

レオン、ブールジョア

第十八　大不列顛國　デスツールネル、ド、コンスタン

エル、ルノー

マルスラン、ベレ

エドワード、ブライ

アーネスト、サトウ

第六條、第二十條及左ノ宣言ヲ留保ス

英國全權委員ハ本條約ニ署名スルニ當リ英國皇帝陛下ノ政府ニ於テハ第十二條ノ適用ハ海戰中又ハ其ノ後ニ於テ收容セラレタル戰鬪員ニシテ該海戰ニ參加シタルモノニ限ルモノト解スルコトヲ宣言ス

クレオン、リツオ、ラシガベ

ジヨール、ジユ、ストレイト

第二十　「アッテマラ」國　ホセ、チプレ、マチャド

第二十一　「ハイチ」國　ダルベマル、ジャン、ジョセフ

ジー、エヌ、レジエー

ピエール、ユザクール

第二十二　伊太利國　ポンピリ

ジエー、ブジナト

第二十三　日本國　佐藤愛麿

第二十四　盧森堡國　アイシェン

第二十五　墨西哥國　伯爵ド、ヴィレ

ジエー、ア、エステヴア

エス、ベー、ド、ミエー

エフ、エル、デ、ラ、パラ

第二十六　「モンテネグロ」國　ネリドフ

マルテンス

リヴェイラ
羅馬尼亞國皇帝陛下
獨逸國駐劄特命全權公使アレキサンドル、ベルザマン
和蘭國駐劄特命全權公使エドカール、マヴロコルダト
「サルヴァドル」共和國大統領
佛國駐劄代理公使、常設仲裁裁判所裁判官ベドロ、ジー、マテウ
英國駐劄代理公使サンチアゴ、ペレス、トリアナ
塞爾比亞國皇帝陛下
陸軍將官、參事院議長サヴァ、グルーイッチ
伊國駐劄特命全權公使、常設仲裁裁判所裁判官ミロヴァン、ミロヴァノヴィッチ
英國駐劄兼和蘭國駐劄特命全權公使ミシエル、ミリチエヴィッチ
暹羅國皇帝陛下
陸軍少將モム、チャチアー、ウドム
公使館參事官セー、コラデオニ、ドレリ
陸軍大尉ルアング、ピュヴァナルト、ナリュバル
瑞典國「ゴッツ」及「ヴァンド」皇帝陛下
前司法大臣、丁抹國駐劄特命全權公使、常設仲裁裁判所裁判官クヌート、ヒャルマル、レオナルド、ハムマルスキョルド
前無省大臣、前高等法院評定官、常設仲裁裁判所裁判官ヨハンネス、ヘルネル
瑞西聯邦政府
英國駐劄兼和蘭國駐劄特命全權公使カストン、カルラン
陸軍參謀大佐「ジェネヴァ」大學教授ユージェーン、ボレル
「チューリヒ」大學法學教授マックス、フーベル
土耳其國皇帝陛下
特命大使「ミニストル、ド、レザカフ」チユルカン、パシヤ
伊國駐劄特命全權大使レシッド、ベー
海軍中將メヘメッド、パシヤ
東「ウルグェー」共和國大統領
前大統領、常設仲裁裁判所裁判官ホセ、パトレ、イ、オルドニエス

前上院議長、佛國駐劄特命全權公使、常設仲裁裁判所裁判官ファン、ベー、ガストロ
「ヴェネズエラ」合衆國大統領
獨逸國駐劄代理公使ホセ、ヒル、フォルトウル
因テ各全權委員ハ其ノ良好妥當ナリト認メラレタル委任狀ヲ寄託シタル後左ノ條項ヲ協定セリ

第一章　郵便信書

第一條　海上ニ於テ中立船又ハ敵船内ニ在ル中立者又ハ交戰者ノ郵便信書ハ其ノ性質ノ公私ヲ問ハス不可侵トス船船ノ拿捕アリタルトキハ右信書ハ捕獲者ニ於テ爲シ得ル限遠ニ之ヲ發送スヘシ
前項ノ規定ハ封鎖違反ノ場合ニ於テ封鎖港ニ宛テ又ハ封鎖港ヨリ來リタル信書ニ之ヲ適用セス

第二條　郵便信書ノ不可侵ハ之カ爲中立郵便船ニ對シ一般中立商船ニ關スル海戰ノ法規慣例ノ適用ヲ免除スルモノニ非ス但シ臨檢捜索ハ成ルヘク寡大且迅速ニ必要アル場合ニ限之ヲ行フコトヲ要ス

第三條　專ラ沿海漁業又ハ地方的小航海ニ用ヰラルル船ハ其ノ漁具、船具及搭載物ト共ニ捕獲ヲ免除ス
右免除ハ該船カ如何ナル方法ニ依ルヲ問ハス敵對行爲ニ加ルトキヨリ其ノ適用ナキモノトス

第四條　宗教、學術又ハ博愛ノ任務ヲ帶フル船舶モ亦捕獲ヲ免除セラルルモノトス

第三章　交戰者ノ捕獲シタル敵商船ノ乘員ノ取扱

第五條　交戰者カ敵商船ヲ捕獲シタル場合ニ於テハ中立國民タル船員ハ之ヲ俘虜ト爲スコトヲ得ス
中立國民タル船長及職員ニシテ戰爭繼續中敵船ニ於テ勤務セサルコトヲ書面ヲ以テ正式ニ約束スル者亦同シ

第六條　敵國民タル船長、職員及船員ハ戰爭繼續中ニモ服セサルコトヲ書面ヲ以テ正式ニ誓約シタルトキハ之ヲ俘虜ト爲スコトヲ得ス

第七條　捕獲ヲ爲シタル交戰者ハ第五條第二項及第六條ニ揭ケタル條件ヲ以テ俘虜ト爲ササリシ者ノ氏名ヲ他方ノ交戰者ニ通告スヘシ
後者ハ故意ニ前記ノ者ヲ使用スルコトヲ得ス

第八條　前三條ノ規定ハ敵對行爲ニ加リタル船舶ニ之ヲ適用セサルモノトス

第四章　附則

第九條　本條約ノ規定ハ交戰國カ悉ク本條約ノ當事者ナルトキニ限締約國間ニノミ之ヲ適用ス

第十條　本條約ハ成ルヘク速ニ批准スヘシ
批准書ハ海牙ニ寄託ス
第一回ノ批准書寄託ハ之ニ加リタル諸國ノ代表者及和蘭國外務大臣ノ署名シタル調書ヲ以テ之ヲ證ス
爾後ノ批准書寄託ハ和蘭國政府ニ宛テ且批准書ヲ添附シタル通告書ヲ以テ之ヲ爲ス
第一回ノ批准書寄託ニ關スル調書、前項ニ揭ケタル通告書及批准書ノ認證謄本ハ和蘭國政府ヨリ外交上ノ手續ヲ以テ直ニ之ヲ第二回平和會議ニ招請セラレタル諸國及本條約ニ加盟スル他ノ諸國ニ交付スヘシ前項ニ揭ケタル場合ニ於テハ和蘭國政府ハ同時ニ通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スヘシ

第十一條　記名國ニ非サル諸國ハ本條約ニ加盟スルコトヲ得
加盟セムト欲スル國ハ書面ヲ以テ其ノ意思ヲ和蘭國政府ニ通告シ且加盟書ヲ送付シ之ヲ和蘭國政府ノ文庫ニ寄託スヘシ
和蘭國政府ハ直ニ通告書及加盟書ノ認證謄本ヲ爾餘ノ諸國ニ送付シ且右通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スヘシ

第十二條　本條約ハ第一回ノ批准書寄託ニ加リタル諸國ニ對シテハ其ノ寄託ノ調書ノ日附ヨリ六十日ノ後又其ノ後ニ批准又ハ加盟スル諸國ニ對シテハ和蘭國政府カ右批准又ハ加盟ノ通告ヲ接受シタルトキヨリ六十日ノ後ニ其ノ效力ヲ生スルモノトス

第十三條　締約國中本條約ヲ廢棄セムト欲スルモノアルトキハ書面ヲ以テ其ノ旨和蘭國政府ニ通告スヘシ和蘭國政府ハ直ニ通告書ノ認證謄本ヲ爾餘ノ諸國ニ送付シ且右通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スヘシ
廢棄ハ其ノ通告カ和蘭國政府ニ到達シタルトキヨリ一年ノ後右通告ヲ爲シタル國ニ對シテノミ效力ヲ生スルモノトス

第十四條　和蘭國外務省ハ帳簿ヲ備ヘ置キ第十條第三項及第四項ニ依リ爲シタル批准書寄託ノ日竝加盟（第十一條第二項）又ハ廢棄（第十三條第一項）ノ通告ヲ接受シタル日ヲ記入スルモノトス
各締約國ハ右帳簿ヲ閱覽シ且其ノ認證抄本ヲ請求スルコトヲ得
右證據トシテ各全權委員本條約ニ署名ス
千九百七年十月十八日海牙ニ於テ本書一通ヲ作リ之ヲ和蘭國政府ノ文庫ニ寄託シ其ノ認證謄本ヲ外交上ノ手續ニ依リ第二回平和會議ニ招請セラレタル諸國ニ交付スヘキモノトス

第一獨逸國　マルシャル　クリーグ
第二亞米利加合衆國　ジョセフ、エッチ、チョート　ホレス、ポーター　ユー、エム、ローズ　デヴィッド、ジェーン、ヒル　シー、エス、スペリー　ウィリアム、アイ、ブカナン
第三亞爾然丁國　ロケ、サエンツ、ペニヤ　ルイス、エム、ドラゴ　セー、ロドリゲス、ラレタ
第四墺地利洪牙利國　メレー　男爵マッキオ　ア、ベルナール　ウアン、デン、ヒューベル　ギーヨーム　グラウダオ、ピニラ
第五白耳義國　ルイ、パルポサ　エー、リスボア
第六「ボリヴィア」國　陸軍少將ヴィナロフ　イヴァン、カランジューロフ
第七伯剌西爾國　ドミンゴ、ガナ　アウグスト、マッテ　カルロス、コンチャ
第八勃爾牙利國　ホルヘ、ホルヴィン　エス、ベレス、トリアナ　エム、ヴァルガス　アントニオ、エス、デ、ブスタマンテ　ゴンザロ、デ、クエサダ　マヌエル、サンクィリー
第九智利國　セー、ブロン　ドクトル、ヘンリクス、イ、カルヴァハル　アポリナル、デヘラ
第十「エクァドル」共和國　ヴィクトル、エム、レンドン　エ、ドルシ、イ、デ、アルスア
第十一格倫比亞國　ドアルヴェエル、デ、ヴィーリャウルーチャ　ホセ、デ、ラ、リカ、イ、カルヴォ　ガブリエル、マウラ　レオン、プールジョア　アスツールネル、ド、コンスタン　エル、ルノー　マルスラン、ペレ　エドワード、ブライ　アーネスト、サトウ　レー　ヘンリー、ハワード
第十二玖馬共和國　クレオン、リツテ、ランカベ　ジョールジュ、ストレイト
第十三丁抹國　ホセ、チアレ、マチャド　ダルベマル、ファン、ジョセフ
第十四「ドミニカ」共和國　ジー、エヌ、レジェー　ピエール、ユゲクール　ポンヒリ　ジェー、フジナト
第十五「エクァドル」共和國　佐藤愛麿　アイシエン　伯爵ド、ヴィレー　ジェー、ア、エステヴァ　エス、ペー、ド、ミエー　エフ、エル、デ、ラ、パラ
第十六西班牙國　エフ、ハーダルブ　ペー、ボラス　ジェー、ザ、モンソー　ドアルヴェアッシュ、ド、ボーフォール　テー、エム、セー、アッセル　アン、ベール、ポールチュゲール　ジー、アー、ローエル　ジー、アー、ロエフ　セー、ジェー、カンゲモ　モムタンスサルタネー、エム、サマド、カン　サザゲ、ウル、ムルク、エム、アーメッド、カン
第十七佛蘭西國　伯爵デ、ソヴェラル　伯爵デ、セリール　アルベルト、ドリヴェイラ　エドガール、マヴロコルダト
第十八大不列顛國　ベー、ジー、マテウ　エス、ペレス、トリアナ
第十九希臘國　エス、グルーイッチ　エム、ジェー、ミロヴァノヴィッチ
第二十「ゲッテマラ」國　モム、チャチデー、ウドム　セー、コラデオニ、ドレリ　ルアング、ピュヴァナルト、ナリュバル
第二十一「ハイチ」國　ヨハンネス、ヘルネル　カルラン　チュルカン　ホセ、パトレ、イ、オルドニエス　ジー、ヒル、フォルトウル

第二十二伊太利國　ポンヒリ　ジェー、フジナト
第二十三日本國　佐藤愛麿　アイシエン
第二十四盧森堡國　伯爵ド、ヴィレー
第二十五墨西哥國　ジェー、ア、エステヴァ　エス、ペー、ド、ミエー　エフ、エル、デ、ラ、パラ
第二十六「モンテネグロ」國　ジー、エヌ、レジェー　ピエール、ユゲクール　ポンヒリ　ジェー、フジナト
第二十七「ニカラグァ」國　エフ、ハーダルブ
第二十八諾威國　ペー、ボラス
第二十九巴奈馬國　ジェー、ザ、モンソー　ドアルヴェアッシュ、ド、ボーフォール　テー、エム、セー、アッセル　アン、ベール、ポールチュゲール　ジー、アー、ローエル　ジー、アー、ロエフ
第三十「パラグェー」國　セー、ジェー、カンゲモ　モムタンスサルタネー、エム、サマド、カン　サザゲ、ウル、ムルク、エム、アーメッド、カン
第三十一和蘭國　伯爵デ、ソヴェラル　伯爵デ、セリール　アルベルト、ドリヴェイラ　エドガール、マヴロコルダト
第三十二秘露國　ペー、ジー、マテウ　エス、ペレス、トリアナ
第三十三波斯國　エス、グルーイッチ　エム、ジェー、ミロヴァノヴィッチ
第三十四葡萄牙國　モム、チャチデー、ウドム　セー、コラデオニ、ドレリ　ルアング、ピュヴァナルト、ナリュバル
第三十五羅馬尼亞國　ヨハンネス、ヘルネル　カルラン　チュルカン
第三十六露西亞國　ホセ、パトレ、イ、オルドニエス
第三十七「サルヴァドル」國　ジー、ヒル、フォルトウル
第三十八塞爾比亞國
第三十九暹羅國
第四十瑞典國
第四十一瑞西國
第四十二土耳其國
第四十三「ウルグェー」國
第四十四「ヴェネズエラ」國

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

●權義ノ場合ニ於ケル中立國ノ條約

（明治四十二年十二月十三日）

（明治四十三年一月十日）

（外務大臣子爵内田康哉）

（外務大臣男爵本野一郎

械ヲ設置スルコトヲ得ス

第六條　中立國ハ如何ナル名義ヲ以テスルヲ問ハス交戰國ニ對シ直接又ハ間接ニ軍艦、彈藥又ハ一切ノ軍用材料ヲ交付スルコトヲ得ス

第七條　中立國ハ交戰者ノ一方又ハ他方ノ爲ニスル兵器、彈藥其ノ他軍隊又ハ艦隊ノ用ニ供シ得ヘキ一切ノ物件ノ輸出又ハ通過ヲ防止スルヲ要セサルモノトス

第八條　中立國政府ハ自己ト平和關係ヲ有スル國ニ對シ巡邏ノ用ニ供シ又ハ敵對行爲ニ加ルヘキモノト信スヘキ和當ノ理由アル一切ノ船舶カ其ノ管轄内ニ於テ艤裝又ハ武裝セラルルコトヲ防止スル爲施シ得ヘキ手段ヲ盡スコトヲ要ス中立國政府ハ又巡邏ノ用ニ供シ又ハ敵對行爲ニ加ルヘキ船舶ニシテ其ノ管轄内ニ於テ全部又ハ一部戰爭ノ用途ニ適合セシメタルモノハ總テ其ノ管轄外ニ出發スルコトヲ防止スル爲同樣ノ監視ヲ爲スコトヲ要ス

第九條　中立國ハ其ノ港、泊地又ハ領水ニ交戰國軍艦又ハ其ノ捕獲シタル船舶ヲ入ラシムルコトニ關シテ定メタル條件、制限又ハ禁止ヲ交戰者雙方ニ對シテ均等ニ適用スルコトヲ要ス

中立國ハ其ノ定メタル命令及規則ヲ遵守スルコトヲ怠リ又ハ中立ヲ侵害シタル交戰國艦船ニ對シ其ノ港又ハ泊地ニ入ルヲ禁スルコトヲ得

第十條　交戰國軍艦及其ノ捕獲シタル船舶カ阜ニ中立領水ヲ通過スルコトハ其ノ中立ヲ侵害スルモノニ非ス

第十一條　中立國ハ其ノ公許水先人ヲ交戰國軍艦ニ於テ使用スルニ任スコトヲ得

第十二條　中立國ノ法令中別段ノ規定ナキトキハ交戰國軍艦ハ本條約ニ規定シタル場合ヲ除クノ外二十四時間以上中立國ノ港、泊地又ハ領水ニ碇泊スルコトヲ得ス

第十三條　開戰ノ通知ヲ受ケタル國カ自國ノ港、泊地又ハ領水ニ交戰國軍艦ノ在ルコトヲ知リタルトキハ該國ハ右軍艦ニ對シ二十四時間内又ハ自國法令ニ規定シタル期間内ニ出發スヘキコトヲ通告スルコトヲ要ス

第十四條　交戰國軍艦ハ破損ノ爲又ハ海上ノ駄艇ニ因ル場合ヲ除クノ外法定期間以上中立港内ノ碇泊ヲ延長スルコトヲ得ス右軍艦ハ遲延ノ原因止ムトキハ直ニ出發スヘキモノトス

中立ノ港、泊地及領水ニ於ケル碇泊ノ制限ニ關スル規則ハ專ラ宗教、學術又ハ博愛ノ任務ヲ有スル軍艦ニ之ヲ適用セス

第十五條　中立國ノ法令中別段ノ規定ナキトキハ該國ノ港又ハ泊地ノ一ニ同時ニ滯在シ得ヘキ各交戰國軍艦ノ數ハ三隻ヲ超ユルコトヲ得ス

第十六條　交戰國雙方ノ軍艦カ同時ニ中立國ノ港又ハ泊地ノ一ニ在ルトキハ一方ノ軍艦ノ出發ト他方ノ軍艦ノ出發トノ間ニ少クモ二十四時間ヲ經過セシムルコトヲ要ス

出發ノ順序ハ到著ノ順序ニ依リテ之ヲ定ム但シ最初到著シタル軍艦ニシテ碇泊ノ法定期間ノ延長ヲ許可セラルル場合ニハ此ノ限ニ在ラス

交戰國軍艦ハ其ノ對手國ノ國旗ヲ揭ケル商船カ中立ノ港又ハ泊地ヲ出發シタル後二十四時間内ニ出發スルコトヲ得ス

第十七條　交戰國軍艦ハ中立ノ港及泊地ニ於テ航海ノ安全ニ缺クヘカラサル程度以上ニ其ノ破損ヲ修理シ且如何ナル方法ニ依ルヲ問ハス其ノ戰鬪力ヲ增加スルコトヲ得中立國官憲ハ其ノ實行スヘキ修理ノ範圍ヲ定メ爲シ得ル限速ニ之ヲ行ハシムヘシ

第十八條　交戰國軍艦ハ其ノ軍需品又ハ武裝ヲ更新又ハ增加スル爲及其ノ艦員ヲ補充スル爲中立ノ港、泊地及領水ヲ使用スルコトヲ得ス

第十九條　交戰國軍艦ハ平時ニ於ケル軍需品ノ通常搭載量ヲ補充スル場合ニ限中立ノ港又ハ泊地ニ於テ其ノ積入ヲ爲スコトヲ得ル量ニ限燃料ヲ積入ルルコトヲ得中立國カ供給スヘキ燃料額ヲ定ムルニ付軍艦ノ燃料齡ノ全容量ヲ補充スルヲ許スノ制ヲ採レル場合ニ於テハ交戰國軍艦ハ該中立國ニ在リテハ前記ノ量ヲ補充スルニ必要ナル燃料ヲ積入ルルコトヲ得

中立國ノ法規ニ依リ軍艦カ其ノ到著ヨリ二十四時間ノ後ニ非サレハ石炭ノ供給ヲ受クルヲ得サルトキハ法定ノ碇泊期間ヲ二十四時間延長スルモノトス

第二十條　交戰國軍艦ニシテ中立國ノ港ニ於テ燃料ヲ積入レタルモノハ三月ヲ經過スルニ非サレハ同一中立國ノ港ニ於テ再ヒ其ノ積入ヲ爲スコトヲ得ス

第二十一條　捕獲シタル船舶ハ航海ノ不能、海上ノ險惡又ハ燃料若ハ糧食ノ缺乏ノ事由ニ因ルニ非サレハ之ヲ中立港内ニ引致スルコトヲ得ス

右船舶ハ其ノ入港ヲ正當ナラシムルノ事由止ミタルトキハ直ニ出發スヘキモノトス出發セサルトキハ中立國ハ直ニ出發ヲ命スヘク之ニ從ハサルトキハ其ノ臨員及船員ト共ニ該船舶ヲ解放シ且捕獲者カ船内ニ乘組マシメタル艦員ヲ留置スル爲施シ得ヘキ手段ヲ盡スヘキモノトス

第二十二條　中立國ハ又捕獲セラレタル船舶ニシテ第二十一條ニ規定シタル條件ニ依ラスシテ引致セラレタルモノヲ解放スルコトヲ要ス

第二十三條　捕獲セラレタル船舶カ捕獲審檢所ノ檢定ヲ經ルヲ要スルコトヲ得ス

檢定ノ爲ニスル抑留ハ成ルヘク速ニ之ヲ行フヘシ

第二十四條　交戰國軍艦ハ其ノ捕獲シタル船舶ニ對シ主權ヲ行使スルノ權利ヲ有ス

第二十五條　中立國ハ其ノ港、泊地及領水ニ於テ交戰國ノ捕獲シタル船舶ニ對シ捕獲ノ條件ノ如何ヲ問ハス裁判ヲ爲ス權利ヲ有ス

第二十六條　中立國ハ捕獲審檢所ノ裁判ニ關シ交戰國ノ要求ニ依リ又ハ職權ヲ以テ其ノ裁判ノ全部又ハ一部ノ謄本ヲ交戰國ノ代表者ニ交付スヘシ

第二十七條　捕獲審檢所ハ中立國ノ港、泊地又ハ領水ニ於テ捕獲ノ條件ヲ檢定スルニ當リ捕獲ノ當時ニ於ケル一切ノ事實ヲ考慮シ且捕獲ノ當時ニ於ケル一切ノ關係國ノ法令及條約ヲ適用スヘシ

第二十八條　捕獲審檢所ハ中立國ノ港、泊地又ハ領水ニ於テ捕獲ノ條件ヲ檢定スルニ當リ捕獲ノ當時ニ於ケル一切ノ事實ヲ考慮シ且捕獲ノ當時ニ於ケル一切ノ關係國ノ法令及條約ヲ適用スヘシ

第二十九條　本條約ノ規定ハ交戰者カ悉ク本條約ノ當事者ナルトキニ限締約國間ニノミ之ヲ適用ス

第二十九條　本條約ハ成ルヘク速ニ批准スヘシ

批准書ハ海牙ニ寄託ス

第一回ノ批准書寄託ハ之ニ加ハリタル諸國ノ代表者及和蘭國外務大臣ノ署名シタル調書ヲ以テ之ヲ證ス

爾後ノ批准書寄託ハ和蘭國政府ニ宛テ且批准書ヲ添附シタル通告書ヲ以テ之ヲ爲ス

第一回ノ批准書寄託ニ關スル調書、前項ニ揭ケタル通告書及批准書ノ認證謄本ハ和蘭

國政府ヨリ外交上ノ手續ヲ以テ直ニ之ヲ第二回平和會議ニ招請セラレタル諸國及本條約ニ加盟スル他ノ諸國ニ交付スヘシ前項ニ揭ケタル場合ニ於テハ和蘭國政府ハ同時ニ通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スルモノトス

第三十條　記名國ニ非サル諸國ハ本條約ニ加盟スルコトヲ得

加盟セムト欲スル國ハ書面ヲ以テ其ノ意思ヲ和蘭國政府ニ通告シ且加盟書ヲ送付シ之ヲ和蘭國政府ノ文庫ニ寄託スヘシ

和蘭國政府ハ直ニ通告書及加盟書ノ認證謄本ヲ爾餘ノ諸國ニ送付シ且右通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スヘシ

第三十一條　本條約ハ第一回ノ批准書寄託ニ加リタル諸國ニ對シテハ其ノ寄託ノ調書ノ日附ヨリ六十日ノ後又其ノ後ニ批准シ又ハ加盟スル諸國ニ對シテハ和蘭國政府カ右批准又ハ加盟ノ通告ヲ接受シタル日ヨリ六十日ノ後ニ其ノ效力ヲ生スルモノトス

第三十二條　締約國中本條約ヲ廢棄セムト欲スルモノアルトキハ書面ヲ以テ其ノ旨和蘭國政府ニ通告スヘシ和蘭國政府ハ直ニ通告書ノ認證謄本ヲ爾餘ノ諸國ニ送付シ且右通告書ヲ接受シタル日ヲ通知スヘシ

廢棄ハ其ノ通告カ和蘭國政府ニ到達シタル日ヨリ一年ノ後右通告ヲ爲シタル國ニ對シテノミ效力ヲ生スルモノトス

第三十三條　和蘭國外務省ハ帳簿ヲ備ヘ置キ第二十九條第三項及第四項ニ依リ爲シタル批准書寄託ノ日竝加盟（第三十條第二項）又ハ廢棄（第三十二條第一項）ノ通告ヲ接受シタル日ヲ記入スルモノトス

各締約國ハ右帳簿ヲ閱覽シ且其ノ認證抄本ヲ請求スルコトヲ得

右證據トシテ各全權委員本條約ニ署名ス

千九百七年十月十八日海牙ニ於テ本書一通ヲ作リ之ヲ和蘭國政府ノ文庫ニ寄託シ其ノ認證謄本ヲ外交上ノ手續ニ依リ第二回平和會議ニ招請セラレタル諸國ニ交付スヘキモノトス

第一　獨逸國　マルシャル、（第十一條、第十二條、第十三條及第二十條クリーガー）ヲ留保ス

第二　亞米利加合衆國　ロク、サエンツ、ペニヤ

第三　亞爾然丁國　ルイス、エム、ドラゴ

セー、ロドリゲス、ラレタ

第四　墺地利洪牙利國　メレー

第五　白耳義國　アー、ベルナール

ウアン、デン、ヒューベル

ギーヨーム

第六「ボリヴィア」國　クラウデオ、ピニラ

第七　伯剌西爾國　ルイ、バルボサ

エー、リスボア

第八　勃爾牙利國　陸軍少將ヴィナロフ

第九　智利國　イヴァン、カランジューロフ

ドミシゴ、ガナ

アウグスト、マッテ

カルロス、コンチャ

第十　清國　第十一條ニ格倫比亞國　ホルヘ、ホルゲイン

第十二　玖馬共和國　エス、パレス、トリアナ

エム、ヴァルガス

第十三　丁抹國　アー、ヴェデルドクトル、ヘンリケス、イ、カルヴァハル

アポリナル、テヘラ　（第十二條ヲ留保ス）

ヴィクトル、エム、レンドン

エ、ドルン、イ、デ、アルスア

第十四「ドミニカ」共和國　レオン、ブールジョア

第十五「エクアドル」國　デスツールネル、ド、コンスタン

エル、ルノー

第十六西班牙國　マルスラン、ペレ

第十七佛蘭西國　エドワード、フライ

アーネスト、サトウ　（第十九條及第二十三條ヲ留保スレー）

ヘンリー、ハワード

第十九希臘國　クレオン、リツオ、ランガベ

ジョールジュ、ストレイト

第二十　「グァテマラ」國　ホセ、チプレ、マチャド

第二十一「ハイチ」國　ダルベマル、ジャン、ジョセフ

ジー、エヌ、レジェー

第二十二伊太利國　ピエール、エヤクール

ポンピリ

ジェー、ブジナト

第二十三日本國　佐藤愛麿（第十九條及第二十三條ヲ留保スレー）

第二十四盧森堡國　アイシェン

伯爵ド、ヴィレー

第二十五薩西哥國　ジェー、ア、エステヴァ

エス、ベー、ド、ミエー

第二十六「モンテネグロ」國　エフ、エル、デ、ラ、パラ

ネリドフ

第二十七「ニカラグァ」國　マルテンス

エヌ、チャリコフ

第二十八諾威國　エフ、ハーグルプ

第二十九巴奈馬國　ペー、ボラス

第三十「パラグェー」國　ジェー、デュ、モンソー

第三十一和蘭國　ドアルヴェ、アッシュ、ド、ボーフォール

テー、エム、セー、アッセル

デン、ベール、ボールチュゲール

ジー、アー、ローエル

第三十二　祕　露　國　ジー、アー、ロエフ
第三十三　波　斯　國　セー、ジェー、カンダモ
モムタズサルタネー、エム、サマド、カン
サヤク、ウル、ムルク、エム、アーメッド、カン　（第十二條、第十九條及第二十一條ヲ留保ス）
第三十四　葡　萄　牙　國　アルベルト、ドリヴェイラ
第三十五　羅　馬　尼　亞　國　エドガール、マヴロコルダト
第三十六　露　西　亞　國　ネリドフ
マルテンス
第三十七　「サルヴァドル」國　エス、ヂャリコフ
ペー、ジー、マテウ
第三十八　塞　爾　比　亞　國　エス、ペレス、トリアナ
エス、グルーイッチ
第三十九　暹　羅　國　エム、ジェー、ミロヴァノヴィッチ
モム、チャチデー、ウドム　（第十二條、第十九條及第二十三條ヲ留保）
セー、コラサオニ、ドレリ
第四十　瑞　典　國　ルアンゲ、ヒュヴァルト、ナリエーバルス
第四十一　瑞　西　國　ヨハンネス、ヘルネル
カルラン
第四十二　土　耳　其　國　チュルカン　（千九百七年十月九日ノ第八回總會議事錄ニ記入セラレタル第十條ニ關スル宣言ヲ留保ス）
第四十三　「ウルグェー」國　ホセ、パトレ、イ、オルドニエス
第四十四　「ヴェネズエラ」國　ジー、ヒル、フォルトウル

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

說明　治四十年十月十八日和蘭國海牙ニ於テ第二回萬國平和會議ニ贊同シタル帝國及各國全權委員ノ間ニ議定シ帝國全權委員カ第十九條及第二十三條ヲ留保シテ署名シタル海戰ノ場合ニ於ケル中立國ノ權利義務ニ關スル條約ヲ閱覽點檢シ其ノ留保ヲ存シテ之ヲ嘉納批准スヘキ旨ヲ鈐セシメ茲ニ

御名　國璽

外務大臣　子爵内田康哉

●千九百年十二月十四日菲律悉及千九百十一年六月二日華盛頓ニ於テ改正セラレタル工業所有權保護ニ關スル千八百八十三年三月二十日ノ巴里同盟條約及附屬議定書

大正二年四月十一日　官報第二百號

說　千九百年十二月十四日菲律悉及千九百十一年六月二日亞米利加合衆國華盛頓ニ於テ帝國全權委員カ關係各國全權委員ト共ニ署名シタル千九百年十二月十四日菲律悉及千九百十一年六月二日華盛頓ニ於テ改正セラレタル工業所有權保護ニ關スル千八百八十三年三月二十日ノ巴里同盟條約ハ獨立ナル千九百七年十月九日ノ第八回總會議事錄ニ記入セラレタル第十條ニ關スル宣言ヲ留保ス

明　治四十年十月十八日和蘭國海牙ニ於テ第二回萬國平和會議ニ贊同シタル帝國及各國全權委員ノ間ニ議定シ帝國全權委員カ第十九條及第二十三條ヲ留保シテ署名シタル海戰ノ場合ニ於ケル中立國ノ權利義務ニ關スル條約ヲ閱覽點檢シ其ノ留保ヲ存シテ之ヲ嘉納批准スヘキ旨ヲ鈐セシメ茲ニ

御名　國璽

外務大臣　子爵内田康哉

●千九百年十二月十四日菲律悉及千九百十一年六月二日華盛頓ニ於テ改正セラレタル工業所有權保護ニ關スル千八百八十三年三月二十日ノ巴里同盟條約及附屬議定書ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理大臣、外務大臣副署）

千九百年十二月十四日菲律悉及千九百十一年六月二日華盛頓ニ於テ改正セラレタル工業所有權保護ニ關スル千八百八十三年三月二十日ノ巴里同盟條約ノ名義ヲ以テスル獨逸皇帝普魯西國皇帝陛下、墺地利國皇帝「ボヘミヤ」國皇帝洪牙利國皇帝陛下、白耳義國皇帝陛下、伯剌西爾合衆國大統領、玖瑪共和國大統領、丁抹國皇帝陛下、「ドミニカ」共和國大統領、西班牙國皇帝陛下、亞米利加合衆國大統領、佛蘭西共和國大統領、大不列顛愛蘭聯合王國大不列顛海外領土皇帝印度皇帝陛下、伊太利國皇帝陛下、日本國皇帝陛下、和蘭國皇帝陛下、墨西哥合衆國大統領、諾威國皇帝陛下、瑞典國皇帝陛下、瑞西聯邦政府、突尼斯國政府ハ萬國工業所有權保護同盟ヲ創設シタル千八百八十三年三月二十日ノ萬國同盟條約ニシテ千九百年十二月十四日菲律悉ニ於テ改正セラレタルモノニ若干ノ變更及追加ヲ爲スノ必要アリト認メ各左ノ全權委員ヲ任命セリ

獨逸皇帝普魯西國皇帝陛下
米國駐劄大使館參事官「ドクトル」ハニエール、フォン、ハイム　ハウセン

「コンセイエー、ジュペリウール、ドレジャンス」內務省參事官　ロボルスキ

教授「ドクトル」アルベルト、オステルリート

墺地利國皇帝「ボヘミヤ」國皇帝洪牙利國皇帝陛下
宮中顧問官米國駐劄特命全權大使男爵ラディスラス、ヘンゲルミュルラー、ド、ヘンゲルヴォール（墺地利國及洪牙利國ノ爲メ）

宮中顧問官工部省部長及發明特許局長「ドクトル」ボール、ジュゲアリエー、ベック、ド、マンナゲッタ、エーレンケナウ（墺地利國ノ爲メ）

發明特許局參事官エルメール、ド、ボンベリー（洪牙利國ノ爲メ）

白耳義國皇帝陛下
外務省總務局長ジュール、アリュネ
馬德里及菲律悉工業所有權保護同盟會議白耳義代表者補充上院議員「リエージュ」控訴院附辯護士アルベール、カピテーヌ

伯剌西爾合衆國大統領
米國駐劄代理公使エル、デ、リマ、エ、ジルヴァ

玖瑪共和國大統領
米國駐劄特命全權公使リヴェロ

丁抹國皇帝陛下
紐育駐在總領事マルティン、ジェ、セ、デ、クラン

「ドミニカ」共和國大統領
米國駐劄特命全權公使エミリオ、セ、ジュベル

西班牙國皇帝陛下
米國駐劄特命全權公使ドン、ファン、リアニョ、イ、ガイヤンゴス

馬德里技術學校長ドン、ファン、プロレス、ボサダ

亞米利加合衆國大統領
特許局長　エドワード、アリュース、ムーア

合衆國高等法院及紐育州高等法院附辯護士　フレデリック、ピー、プイッシュ

前特許局長前「コロンビア」州控訴院判事合衆國高等法院及紐育州高等法院附辯護士チャールス、エッチ、デュエル

合衆國高等法院及「イリノイス」州高等法院附辯護士　ロバート、エッチ、パーキンソン

合衆國高等法院附辯護士　メルヴィル、チャーチ

佛蘭西共和國大統領

同盟條約及附屬議定書ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、外務、商務大臣副署）

千九百年十二月十四日菲律悉及千九百十一年六月二日華盛頓ニ於テ改正セラレタル工業所有權保護ニ關スル千八百八十三年三月二十日ノ巴里同盟條約ノ名義ヲ以テスル獨逸皇帝普魯西國皇帝陛下、墺地利國皇帝「ボヘミヤ」國皇帝洪牙利國皇帝陛下、白耳義國皇帝陛下、伯剌西爾合衆國大統領、玖瑪共和國大統領、丁抹國皇帝陛下、「ドミニカ」共和國大統領、西班牙國皇帝陛下、亞米利加合衆國大統領、佛蘭西共和國大統領、大不列顛愛蘭聯合王國大不列顛海外領土皇帝印度皇帝陛下、伊太利國皇帝陛下、日本國皇帝陛下、和蘭國皇帝陛下、墨西哥合衆國大統領、諾威國皇帝陛下、瑞典國皇帝陛下、瑞西聯邦政府、突尼斯國政府ハ萬國工業所有權保護同盟ヲ創設シタル千八百八十三年三月二十日ノ萬國同盟條約ニシテ千九百年十二月十四日菲律悉ニ於テ改正セラレタルモノニ若干ノ變更及追加ヲ爲スノ必要アリト認メ各左ノ全權委員ヲ任命セリ

獨逸皇帝普魯西國皇帝陛下
米國駐劄大使館參事官「ドクトル」ハニエール、フォン、ハイム　ハウセン

「コンセイエー、ジュペリウール、ドレジャンス」內務省參事官　ロボルスキ

教授「ドクトル」アルベルト、オステルリート

墺地利國皇帝「ボヘミヤ」國皇帝洪牙利國皇帝陛下
宮中顧問官米國駐劄特命全權大使男爵ラディスラス、ヘンゲルミュルラー、ド、ヘンゲルヴォール（墺地利國及洪牙利國ノ爲メ）

宮中顧問官工部省部長及發明特許局長「ドクトル」ボール、ジュゲアリエー、ベック、ド、マンナゲッタ、エーレンケナウ（墺地利國ノ爲メ）

發明特許局參事官エルメール、ド、ボンベリー（洪牙利國ノ爲メ）

白耳義國皇帝陛下
外務省總務局長ジュール、アリュネ
馬德里及菲律悉工業所有權保護同盟會議白耳義代表者補充上院議員「リエージュ」控訴院附辯護士アルベール、カピテーヌ

伯剌西爾合衆國大統領
米國駐劄代理公使エル、デ、リマ、エ、ジルヴァ

玖瑪共和國大統領
米國駐劄特命全權公使リヴェロ

丁抹國皇帝陛下
紐育駐在總領事マルティン、ジェ、セ、デ、クラン

「ドミニカ」共和國大統領
米國駐劄特命全權公使エミリオ、セ、ジュベル

西班牙國皇帝陛下
米國駐劄特命全權公使ドン、ファン、リアニョ、イ、ガイヤンゴス

馬德里技術學校長ドン、ファン、プロレス、ボサダ

亞米利加合衆國大統領
特許局長　エドワード、アリュース、ムーア

合衆國高等法院及紐育州高等法院附辯護士　フレデリック、ピー、プイッシュ

前特許局長前「コロンビア」州控訴院判事合衆國高等法院及紐育州高等法院附辯護士チャールス、エッチ、デュエル

合衆國高等法院及「イリノイス」州高等法院附辯護士　ロバート、エッチ、パーキンソン

合衆國高等法院附辯護士　メルヴィル、チャーチ

佛蘭西共和國大統領
米國駐劄大使館參事官　ルフェーヴル、ポンタリ

工業所有權局長　ジョールジュ、アルトン

最馬馬德里及菲律悉工業所有權保護同盟會議代表者巴里控訴院附辯護士　ミシェル、ペルティエ

巴里控訴院附辯護士　ジョールジュ、マイヤール

大不列顛愛蘭聯合王國大不列顛海外領土皇帝印度皇帝陛下
米國駐劄大使館參事官　アルフレド、ミッチェル、インネス

前商業勞働及統計局長「サー」アルフレッド、ベートマン

特許意匠及商標長官ダアルュ、チンプル、ブランクス

伊太利國皇帝陛下
米國駐劄大使館參事官ラザロ、デー、マルクシ、ネグロット、カンピアソ

農工商務省監督官技師　エミリオ、ヴェネチアン

米國駐劄大使館附商務官「ドクトル」ジオヴァンニ、パティス　ル、ジェフカト

日本國皇帝陛下
米國駐劄大使館參事官松井慶四郎

特許局長中松盛雄

墨西哥合衆國大統領
特許局長技師ホセ、デ、ラス、フエンテス

諾威國皇帝陛下
米國駐劄公使館書記官　エル、アウベルト

和蘭國皇帝陛下
工業所有權局長司法省參事官「ドクトル」エフ、ドアルヴェ、ジェ、ジス　ニーデル、ファン、ウイッセンケルク

葡萄牙國假政府大統領
米國駐劄特命全權公使子爵ド、アルメイダ、ガルレト

塞爾比亞國皇帝陛下
瑞典國皇帝陛下
米國駐劄特命全權公使伯爵アルベルト、エーレンスヴェルド

瑞西聯邦政府
米國駐劄特命全權公使バウル、リヂエ

「ベルヌ」聯邦智能所有權局次長ドアルヴェ、クラフト

米國駐劄公使館書記官　アシリー、マルタン

佛蘭西共和國大統領
米國駐劄大使館一等書記官ド、ベレッティ、ド、ラ、ロッカ（突尼斯國ノ爲メ）

因テ各全權委員ハ互ニ其ノ委任狀ヲ示シ之カ良好妥當ナルヲ認メタル後左ノ諸條ヲ協定セリ

第一條

締約國ハ工業所有權保護ノ爲玆ニ同盟ヲ組織ス

第二條

各締約國ノ臣民又ハ人民ハ他ノ總テノ同盟國内ニ於テ發明特許、實用新案、工業的意匠又ハ雛形、製造標又ハ商號、商號、原產地ノ表示及不正競爭ノ取締ニ關シ各其ノ國法カ內國人ニ對シ現ニ許與シ又ハ將來許與スヘキ利益ヲ享受スヘシ玆ニ該臣民又ハ人民ハ內國人ノ遵由スヘキ手續及條件ヲ遵守スルニ於テハ內國人ト同一ノ保護ヲ受ケ其ノ權利ノ侵害ニ對シテモ亦總テ內國人ト同一ノ訴權ヲ有スヘシ但シ保護ヲ受ケムトスル國內ニ住所又ハ營業所ヲ有スヘキ何等ノ義務ヲモ同盟國人ニ課スルコトヲ得ス

第三條

同盟ニ加入セサル國ノ臣民又ハ人民ニシテ同盟國中ノ一國ノ版圖內ニ住所ヲ有シ又ハ現實且眞誠ナル工業的若ハ商業的營業所ヲ有スル者ハ締約國ノ臣民又ハ人民ニ準スヘキモノトス

第四條

甲　締約國中ノ一國ニ於テ合式ニ發明ノ特許出願、實用新案、工業的意匠若ハ雛形又ハ製造標若ハ商標ノ登錄出願ヲ爲シタル者又ハ其ノ承繼人ハ他ノ締約國ニ於テ出願ヲ爲スニ當リ第三者ノ權利ヲ留保シテ下ニ定ムル期間優先權ヲ享有スヘシ

乙　前項ノ期間ハ其ノ中間ニ於テ爲シタル他ノ出願ノ爲メ又ハ發明ノ實施、意匠若ハ雛形ノ販賣、出版又ハ使用ニ因リ無效ト爲ラルコトナシ

丙　前記優先權ノ期間ハ發明特許及實用新案ニ在リテハ十二月、工業的意匠又ハ雛形及製造標又ハ商標ニ在リテハ四月トス

丁　先ノ出願ニ基ク優先權ヲ主張セムトスル者ハ該出願ノ日附及國名ヲ示シタル宣言ヲ爲スノ義務ヲ有ス各國ノ何時迄ニ右ノ宣言ヲ爲スヘキカヲ定ムヘシ其ノ宣言事項ハ當該官廳ヨリ發行スル刊行物殊ニ特許及其ノ明細書ニ關スル刊行物ニ揭載スヘシ各締約國ハ優先權ノ宣言ヲ爲ス者ヲシテ先ノ願書（明細書、圖面其ノ他）ノ謄本ニシテ之ヲ受理シタル官廳ノ認證アルモノヲ提出セシムルコトヲ得該謄本ニハ一切公證ヲ要セス但シ官廳ノ出願日附證明書及譯文ヲ添附セシムルコトヲ得出願ノ際ニ於ケル優先權ノ宣言ニ對シテハ右ノ外何等ノ手續ヲモ要求スルコトヲ得本條ニ定ムル手續ノ懈怠ノ效果ハ各締約國ノ定ムル所ニ依ル但シ優先權ノ喪失ヲ以テ限度トス

他ノ疎明書ハ其ノ後之ヲ提出セシムルコトヲ妨ケス

第四條ノ二

第二條及第三條ノ規定ニ依リ本條約ノ利益ヲ享受スル者カ各締約國ニ出願シテ得タル特許ノ發明ニ付他ノ締約國ノ特許ヲ得タル特許トハ互ニ獨立ノモノタルヘシ

前項ノ規定ハ絕對的ノ意味殊ニ無效及失權ノ原因ニ關スル普通ノ存續期間ニ關スルトヲ問ハス優先期間中ニ出願シタル特許ハ獨立ナリトノ意味ニ解釋スヘシ

第一項ノ規定ハ其ノ實施ノ際存在スル一切ノ特許ニ之ヲ適用ス

新ニ加入スル國ノ爲メ又ハ締約國ニ存在スル特許ニ付亦同シ

第五條

特許證主カ他ノ同盟國ニ於テ製造シタル物品ヲ特許ヲ得タル國ニ輸入スルモ之カ爲ニ特許ノ失權ヲ來スコトナシ

然レトモ特許證主ハ其ノ特許品ヲ輸入スル國ノ法律ニ從ヒ其ノ特許ヲ實施スルノ義務アルモノトス但シ特許ノ同盟國中ノ一國ニ於テハ其ノ國ニ出願ヲ爲シタル日ヨリ起算シテ三年ヲ經過シ且特許證主カ其ノ不作爲ノ事由ヲ疏明セサル場合ノ外ハ不實施ヲ理由トシテ失權ヲ受クルコトナシ

第六條

總テ本國ニ於テ合式ニ登錄ヲ受ケタル製造標又ハ商標ハ他ノ同盟國ニ於テモ其ノ儘出願ヲ許容シ且保護ヲ與フヘシ

然レトモ左ニ揭クル標章ハ之ヲ拒絕シ又ハ無效ト爲スコトヲ得

一　保護ヲ受ケムトスル國ニ於ケル第三者ノ既得權ヲ害スヘキ性質ノ標章

二　特別顯著ノ性質ヲ具備セサル標章及商品ノ種類、品質、分量、用途、價格、出所若ハ製產ノ時期ヲ示ス爲商業上使用スルコトヲ得ル記號若ハ表示又ハ保護ヲ受ケムトスル國ノ商業上ノ通用語若ハ其ノ國ノ公正且不變ナル商慣習ニ於テ常用ト爲リタル記號若ハ表示ヲ以テ專ラ組成シタル標章

標章ノ特別顯著ナル性質ヲ判別スルニ當リテハ事實上ノ一切ノ事情殊ニ標章ノ使用期間ヲ斟酌スヘシ

三　道德又ハ公ノ秩序ニ反スル標章

出願人ノ主タル營業所ノ所在國ハ之ヲ其ノ本國ト看做ス

主タル營業所カ同盟國中ノ一國ニ在ラサルトキハ

キハ出願人ノ屬スル國ヲ以テ本國ト看做ス

第七條

製造標又ハ商標ヲ附スヘキ製產物ノ性質ハ如何ナル場合ニ於テモ標章出願ノ妨害ト爲ルコトナシ

第七條ノ二

締約國ノ國體ニシテ其ノ存在カ本國法ニ違反セサルモノニ屬スル標章ノ出願ヲ許容シ且保護ヲ與フヘキコトヲ約ス其ノ工業的又ハ商業的營業所ヲ有セサルモノト雖亦同シ團體カ其ノ標章ノ保護ヲ受クルニ必要ナル特別條件ハ各其ノ國ノ定ムル所ニ依ル

第八條

商號ハ製造標又ハ商標ノ一部ヲ成スト否トニ拘ラス出願ヲ要スルコトナクシテ各同盟國內ニ於テ保護セラルヘシ

第九條

製造標若ハ商標又ハ商號ヲ不正ニ附シタル製產物ハ其ノ標章又ハ商號カ法律上ノ保護ヲ受クヘキ同盟國內ニ輸入ノ際之ヲ差押フヘシ法令ニ依リ輸入ノ際差押ヲ許ササル國ニ於テハ輸入禁止ヲ以テ輸入差押ニ代フヘシ

不正附著ノ行ハレタル國又ハ其ノ製產物ノ輸入セラレタル國ニ於テモ亦之ヲ差押フヘシ

差押ハ檢事局其ノ他ノ當該官廳又ハ利害關係者タル個人若ハ團體ノ請求ニ依リ各其ノ國法通過ノ場合ニ於テハ當該官廳ハ差押ノ義務ナキモノトス

國法上輸入差押、輸入禁止及內地差押ヲ認メサル國ニ於テハ其ノ國法カ同樣ノ場合ニ內國人ニ認ムル訴權及手續ヲ以テ此等ノ處置ニ代フルモノトス

第十條

前條ノ規定ハ製產地ノ表示トシテ虛僞ニ一定ノ地名ヲ附シタル總テノ製產物ニ之ヲ適用ス但シ此ノ表示ニ詐欺ノ意思ヲ以テ虛構又ハ僭用ノ商號ヲ附加シタルトキニ限ル

右製產物ノ生產、製造又ハ商業ニ從事スル生產者、製造者又ハ商人ニシテ產地トシテ詐稱セラレタル土地又ハ該地所在ノ地方ニ住居スル者ハ總之ヲ利害關係者ト看做ス

第十條ノ二

總テノ締約國ハ不正競爭ニ對シ有效ナル保護ヲ同盟國人ニ與フヘキコトヲ約ス

第十一條

各締約國ハ其ノ一國ノ版圖內ニ開設スル官設又ハ官許ノ萬國博覽會ニ出品スル製產物ニ對シ各其ノ國法ニ從ヒ特許ヲ受ケ得ヘキ發明、實用新案、工業的意匠又ハ雛形及製造標又ハ商標ニ假保護ヲ與フヘシ

第十二條

各締約國ハ工業所有權ニ關スル特別ノ事務所ヲ開設シ又發明特許、實用新案、工業的意匠又ハ雛形及製造標又ハ商標ヲ公衆ニ知ラシムル爲中央陳列所ヲ設置スルコトヲ約ス

前項ノ事務所ハ成ルヘク定期刊行ノ公報ヲ發行スヘシ

第十三條

萬國工業所有權保護同盟事務局ナル名稱ヲ以テ「ベルヌ」ニ設立セラレタル萬國事務局ハ瑞西聯邦政府ノ下ニ置カレ該政府ハ其ノ組織ヲ定メ且其ノ事務ヲ監督ス

萬國事務局ハ工業所有權ノ保護ニ關スル一切ノ報告ヲ蒐集シテ一般ノ統計ヲ調製シ之ヲ各國官廳ニ配付スヘシ該局ハ同盟ニ關スル一般有益ノ事項ヲ講究シ又諸國ノ官廳ヨリ受領シタル書類ヲ參照シ同盟ノ目的ニ關スル諸問題ヲ佛蘭西語ニテ記載シタル定期刊行物ヲ編纂スヘシ

右刊行物及萬國事務局ニ於テ發行スル他ノ一切ノ書類ハ下ニ記載スル經費分擔額ニ比例スル部數ヲ同盟國ノ官廳ニ配付スヘシ但シ右ノ部數以外ニ定期刊行物其ノ他ノ書類ヲ請求スル場合ニ於テハ前記官廳タルト團體又ハ個人タルトヲ問ハス別ニ代價ヲ支拂フヘキモノトス

萬國事務局ハ常ニ工業所有權ニ關スル國際事務問題ニ付同盟國ノ爲必要アル特殊報告ヲ供スルコトヲ怠ラサルヘク又其ノ所管事務ニ付每年報告書ヲ作リ之ヲ總テノ同盟國ニ報告スヘシ

萬國事務局ノ公用語ハ佛蘭西語トス

萬國事務局ノ經費ハ締約國ノ共同負擔トシ如何ナル場合ニ於テモ每年總額六萬法ヲ超過スルコトヲ得ス

各締約國ハ其ノ植民地、領土、屬地、保護領又ハ其ノ中ノ一部ノ爲何時ニテモ本條約ニ加入スルノ權利ヲ有ス

締約國ハ之カ爲其ノ總テノ植民地、領土、屬地及保護領ヲ概括的宣言ヲ以テ加入セシメ又ハ加入セシムル部分ヲ明示的ニ指定シ若ハ加入セシメサル部分ノミヲ指定スルコトヲ得

右ノ宣言ハ書面ヲ以テ之ヲ瑞西聯邦政府ニ通告シ該政府ハ之ヲ他ノ總テノ同盟國ニ通告ス

締約國ノ前項ノ條件ヲ以テ其ノ植民地、領土、屬地、保護領又ハ其ノ中ノ一部ノ爲本條約ヲ廢棄スルコトヲ得

第十七條

本條約ノ相互的約束ノ履行ニ付必要アルトキハ締約國ハ各其ノ憲法所定ノ條規ニ從ヒ成ルヘク速ニ相當ノ手續ヲ爲スヘシ

第十七條ノ二

本條約ハ廢棄ヲ爲シタル日ヨリ一年ノ期間滿了ニ至ル迄無期限ニ其ノ效力ヲ有ス

右廢棄ハ瑞西聯邦政府ニ之ヲ通知スヘシ廢棄ハ之ヲ爲シタル國ニ對シテノミ其ノ效力ヲ生シ其ノ他ノ締約國間ニ於テハ本條約ハ仍其ノ效力ヲ有ス

第十八條

本條約ハ批准ヲ要ス其ノ批准書ハ遲クトモ千九百十三年四月一日迄ニ華盛頓ニ之ヲ寄託スヘク本條約ハ右期限後一月ヲ經テ批准ヲ爲シタル國ノ間ニ實施セラルヘシ

本條約及最終議定書ハ之ヲ批准シタル國ノ間ニ於テハ千八百八十三年三月二十日ノ巴里條約同附屬最終議定書、萬國事務局ノ經費分擔ニ關スル千八百九十一年四月十五日ノ馬德里議定書及千九百年十二月十四日ノ菲律悉追加條約ニ代ハルモノトス但シ本條約ノ批准ヲ爲ササル國ノ間ニ於テハ前記諸條約ハ仍其ノ效力ヲ有ス

何ナル場合ニ於テモ每年總額六萬法ヲ超過スルコトヲ得ス

經費總額ニ對シ各國ノ擔出割合ヲ定ムル爲締約國及將來同盟ニ加入スヘキ國ヲ六等ニ區分シ各等ノ醵出スヘキ都數ノ比例ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一等　二十五部
第二等　二十部
第三等　十五部
第四等　十部
第五等　五部
第六等　三部

右ノ系數ニ各等ノ國數ヲ乘シテ得タル積ノ和ヲ部ノ總數トシ之ヲ以テ經費總額ヲ除シタルモノヲ一部ニ對スル經費分擔額トス

各締約國ハ加入ノ際自國ノ加ハラムトスル等級ヲ指定スヘシ

瑞西聯邦政府ハ萬國事務局ノ支出ヲ監督シ必要ト認ムル立替ヲ爲シ且每年出納ヲ計算シテ之ヲ他ノ總テノ締約國ノ官廳ニ報告スヘシ

第十四條

本條約ハ同盟制度ヲ完全ナラシムヘキ改良ヲ加ヘムカ爲時々改正ヲ施スヘシ

右ノ目的ヲ達スル爲締約國ノ委員ハ逐次其ノ一國ニ於テ會議ヲ開クヘキ國ノ官廳ハ萬國事務局ノ協力會議ヲ開クヘキ國ノ官廳ハ萬國事務局ノ協力ニ依リ該會議ノ準備ヲ爲スヘシ

萬國事務局長ハ會議ニ列席シテ討議ニ加ハルコトヲ得ルモ表決權ヲ有セス

第十五條

締約國ハ本條約ノ規定ニ牴觸セサル限リ各國間互ニ工業所有權ノ保護ニ關スル特殊ノ取極ヲ爲スノ權利ヲ留保スルモノトス

第十六條

本條約ニ加入セサル國ハ其ノ請求ニ依リ之ニ加入スルコトヲ得

右ノ加入ハ外交上ノ手續ニ依リ瑞西聯邦政府ニ之ヲ通告シ該政府ハ更ニ之ヲ他ノ締約國ニ通告スヘシ

新ニ加入スル國ハ當然本條約ノ全部ニ贊同シタルモノトシ本條約ニ規定スル一切ノ利益ヲ享受スヘシ該加入ハ瑞西聯邦政府カ他ノ締約國ニ對シテ爲シタル通告ヲ發送ヨリ一月ヲ經過セル後其ノ效力ヲ生ス但シ加入國ニ於テ其ノ以後ノ日付ヲ指定シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十六條ノ二

締約國ハ其ノ殖民地、領土、屬地、保護領又ハ其ノ中ノ一部ノ爲何時ニテモ本條約ニ加入スルノ權利ヲ有ス

締約國ハ之カ爲其ノ總テノ殖民地、領土、屬地及保護領ヲ概括的宣言ヲ以テ加入セシメ又ハ加入セシムル部分ヲ明示的ニ指定シ若ハ加入セシメサル部分ノミヲ指定スルコトヲ得

右ノ宣言ハ書面ヲ以テ之ヲ瑞西聯邦政府ニ通告シ該政府ハ之ヲ他ノ總テノ同盟國ニ通告ス

締約國ノ前項ノ條件ヲ以テ其ノ殖民地、領土、屬地、保護領又ハ其ノ中ノ一部ノ爲本條約ヲ廢棄スルコトヲ得

第十七條

本條約ノ相互的約束ノ履行ニ付必要アルトキハ締約國ハ各其ノ憲法所定ノ條規ニ從ヒ成ルヘク速ニ相當ノ手續ヲ爲スヘシ

第十七條ノ二

本條約ハ廢棄ヲ爲シタル日ヨリ一年ノ期間滿了ニ至ル迄無期限ニ其ノ效力ヲ有ス

右廢棄ハ瑞西聯邦政府ニ之ヲ通知スヘシ廢棄ハ之ヲ爲シタル國ニ對シテノミ其ノ效力ヲ生シ其ノ他ノ締約國間ニ於テハ本條約ハ仍其ノ效力ヲ有ス

第十八條

本條約ハ批准ヲ要ス其ノ批准書ハ遲クトモ千九百十三年四月一日迄ニ華盛頓ニ之ヲ寄託スヘク本條約ハ右期限後一月ヲ經テ批准ヲ爲シタル國ノ間ニ實施セラルヘシ

本條約及最終議定書ハ之ヲ批准シタル國ノ間ニ於テハ千八百八十三年三月二十日ノ巴里條約同附屬最終議定書、萬國事務局ノ經費分擔ニ關スル千八百九十一年四月十五日ノ馬德里議定書及千九百年十二月十四日ノ菲律悉追加條約ニ代ハルモノトス但シ本條約ノ批准ヲ爲ササル國ノ間ニ於テハ前記諸條約ハ仍其ノ效力ヲ有ス

第十九條

本條約ハ一通ノ正本ニ署名シテ之ヲ合衆國記錄局ニ寄託シ合衆國政府ハ其ノ認證謄本一通ヲ各同盟國政府ニ交付ス

右證據トシテ各全權委員本條約ニ署名ス

千九百十一年六月二日華盛頓ニ於テ本書一通ヲ作ル

獨逸國
ハニエール、フォン、ハイム　ハウセン
ハー、ロボルスキ
アルベルト、オステルリート

埃地利國及洪牙利國
埃地利國洪牙利國大使男爵ド、ヘンゲルミュルラー

埃地利國
部長及發明特許局長「ドクトル」ボール、シュヴァリエー、ベック、ド、マンナゲッタ、エレルケナウ

洪牙利國
發明特許局參事官エルメール、ド、ボンスリー

白耳義國
ジェ、プリュネ
ジョールジュ、ド、ロー

カピテーヌ

伯剌西爾國
エル、デ、リマ、エ、シルヴァ

玖瑪國
アントニオ、マルティン、リヴェロ

丁抹國
ジェ、クラン

「ドミニカ」共和國
エミリオ、セ、ジューベル

西班牙國
ファン、リアニョ、イ、ガイヤンゴス

亞米利加合衆國
エドワード、プリュース、ムーア
メルヴィル、チャーチ
チャールス、エッチ、デュエル

ロバート、エッチ、パーキンソン
フレデリック、ピー、フィッシュ

佛蘭西國
ピエール、ルフェーヴルボンタリ
ジ、ピ、ルアルトン
ミシエル、ベルティエ
ジョールジュ、マイヤール

大不列顛國
エ、ミッチェル、インネス
エ、イ、ペートマン
ダブルユ、テンプル、フランクス

伊太利國
ラザロ、ネグロット、カンピアソ
エミリオ、ヴェネチアン
ジ、ピ、ツェッカト

日本國
松井慶四郎
中松盛雄

墨西哥合衆國
ジェデ、ラス、フエンテス

諾威國
ルードウィッグ、ブウベルト

和蘭國
スニーデル、ファン、ウイッセンケルケ

葡萄牙國
子爵ジェ、エフ、アッシュ、エム、ダ、フランカ、ド、ブルト

塞爾比亞國
……

瑞典國
アルベルト、エーレンスヴェルド

瑞西國
ペ、リッテル
ドブルゲエクラフト
アンリー、マルタン

突尼斯國
エ、ド、パレッティ、ド、ラ、ロッカ

最終議定書

本日締結シタル本條約ニ署名スルニ當リ下ニ署名シタル全權委員ハ左ノ事項ヲ協定セリ

第一條ニ付

准セラルヘキモノニシテ右條約ノ一部ヲ成シ且之ト同一ノ效力、價值及期間ヲ有スルモノトス

右證據トシテ各全權委員本議定書ニ署名ス

千九百十一年六月二日華盛頓ニ於テ本書一通ヲ作ル

ハニエール、フォン、ハイム　ハウセン
ハー、ロボルスキ
アルベルト、オステルリート

男爵ド、ヘンゲルミュルラー
「ドクトル」ボール、シュヴァリエー、ベック、ド、マンナゲッタ、エ、レルケナウ
エル、デ、リマ、エ、シルヴァ
ジョールジュ、ド、ロー

エル、デ、リマ、エ、シルヴァ
ファン、リアニョ、イ、ガイヤンゴス
ファン、プロレス、ポサダ
エドワード、プリュース、ムーア
メルヴィル、チャーチ
チャールス、エッチ、デュエル
フレデリック、ピー、フィッシュ
ロバート、エッチ、パーキンソン
エミリオ、セ、ジューベル
ピエール、ルフェーヴルボンタリ
ミシエル、ベルティエ
ジ、プルトン
ジョールジュ、マイヤール
エ、ミッチェル、インネス
エ、イ、ペートマン
ダブルユ、テンプル、フランクス
ラザロ、ネグロット、カンピアソ
エミリオ、ヴェネチアン
ジ、ピ、ツエッカト
松井慶四郎
中松盛雄
ジェ、デ、ラス、フエンテス
スニーデル、ファン、ウイッセンケ

ルク
子爵ジエ、エフ、アッシュ、エム、ダ、ブランカド、アルト
アルベルト、エーレンスヴェルド
ベ、リッテル
ドフルゲエ、クラフト
アンリー、マルタン
エ、ド、ベレッティ、ド、ラ、ロッカ
ルードヴィッグ、アウベルト
アントニオ、マルティン、リヴェロ

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

誌明治四十四年六月二日亞米利加合衆國華盛頓ニ於テ帝國全權委員カ共ニ署名シタル千九百年十二月十四日菲律悉及千九百十一年六月二日華盛頓ニ於テ改正セラレタル工業所有權保護ニ關スル千八百八十三年三月二十日ノ巴里同盟條約及附屬議定書ヲ閱覽點檢シ之ヲ嘉納批准ス

神武天皇卽位紀元二千五百七十三年大正二年二月二十八日青山離宮ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名　國璽

外務大臣　男爵牧野伸顯

大正二年八月二十五日
農商務省告示第二百六十四號

大正二年四月十日條約第二號ヲ以テ公布セラレタル千九百年十二月十四日菲律悉、千九百十一年六月二日華盛頓ニ於テ改正セラレタル工業所有權保護ニ關スル千八百八十三年三月二十日ノ巴里同盟條約及同附屬最終議定書ハ白耳義、伯剌西爾、玖瑪、丁抹及瑞典ノ五國ヲ除キ他ノ署名國間ニ於テ本年五月一日ヨリ其效力ヲ生シタリ

（其ノ後ノ加入國略ス）

●世界戰爭ニ因リ影響セラレタル工業所有權ノ保存又ハ回復ニ關スル取極

大正九年十一月二十日
條約第七號

發明ノ特許出願又ハ實用新案、製造標若ハ商標又ハ意匠及雛形ノ登錄出願ニ關シ千九百十一年華盛頓ニ於テ改正セラレタル千八百六十三年三月二十日ノ巴里同盟條約第四條ニ規定シタル優先期間ニシテ千九百十四年八月一日ニ未タ滿了ニ至ラサリシモノ及戰時中進行ヲ開始シタルモノ又ハ若シ戰爭ナカリセハ之ヲ開始シ得ヘカリシモノノ各締約國ニ於テ右條約ニ依リ認メラレタル權利者又ハ其ノ承繼人ノ爲本取極實施ノトキヨリ六月ノ期間滿了ニ至ル迄之ヲ延長スヘシ

尤モ前項期間ノ延長ハ優先期間ヲ援用シテ出願スル工業所有權ト牴觸スル工業所有權ヲ本取極實施ノ際善意ニ占有中ナル各締約國又ハ其ノ國民ノ權利ヲ害スルコトナカルヘシ該國又ハ該國民ハ權利侵害者トシテ訴追セラレサルヘク勿論其ノ他何等ノ煩累ヲ受クルコトナク或ハ自國若ハ本人自身ニ於テ或ハ本取極實施前ニ權利ヲ讓與セラレタル代理人若ハ實施權者ニ由リ其ノ權利ノ享有ヲ繼續スヘシ

第二條

前記條約ニ依リ認メラレタル權利者ハ千九百十四年八月一日ニ於ケル其ノ既得ノ工業所有權又ハ若シ戰爭ナカリセハ戰爭前若ハ戰時中ノ出願ニ基キ同日以後ニ其ノ取得シ得ヘカリシ工業所有權ヲ保存又ハ取得スル爲本取極實施ノトキヨリ一年ノ期間內ハ何等ノ附加金又ハ過怠金ヲ徵收セラルルコトナク一切ノ行爲ヲ追完シ手續ヲ履行シ、幷金ヲ納付シ其ノ他當該國ノ法令規則ノ定ムル一切ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第三條

千九百十四年八月一日ヨリ本取極實施ノ日ニ至ル迄ノ期間ハ特許ノ實施ニ付又ハ製造標若ハ商標ノ使用若ハ工業的意匠及雛形ノ實施ニ付定メラレタル期間ニ之ヲ算入セス尙千九百十四年八月一日ニ於テ有效ナリシ特許、製造標若ハ商標又ハ工業的意匠若ハ雛形ハ本取極實施後二年ノ期間滿了前ハ單ニ其ノ不實施又ハ不使用ノ事由ノミニ因リ失效シ又ハ取消サルルコトナカルヘシ

第四條

本取極ノ規定ハ保護ノ最小限度ヲ定メタルモノニシテ締約國ノ內國法令ニ依リ定メラルルコトアルヘキ一層廣汎ナル規定ノ適用ヲ受クルヲ妨クス又署名國政府カ特別條約又ハ相互條款ノ形式ニ依リ其ノ間ニ締結シ又ハ締結スルコトアルヘキ一層有利ニシテ且抵觸セサル協定ヲ存續セシムルモノトス

第五條

本取極ノ規定ハ千九百十九年六月二十八日「ヴェルサイユ」ニ於テ及同年九月十日「サン、ジェルマン」ニ於テ署名セラレタル平和條約中交戰國間ニ締約シタル規定ニ對シ其ノ留保、除外例又ハ制限ニ關スル限リ何等影響ヲ及ホサヌルモノトス

本取極ハ批准ヲ要シ右批准書ハ三月ノ期間內ニ「ベルヌ」ニ之ヲ寄託スヘシ本取極ハ批准書寄託ニ關スル調書カ作成セラレタル當日ヨリ右批准ヲ爲シタル締約國ノ間ニ之ヲ實施スヘク他ノ國ニ付テハ其ノ國ノ批准書寄託ノ日ヨリ之ヲ實施スヘシ

本取極ニ署名セサル國ハ其ノ請求ニ依リテ之ニ加入スルコトヲ得加入ハ文書ニ依リ瑞西聯邦政府ニ之ヲ通告スヘク該政府ハ他ノ一切ノ國ニ之ヲ通告スヘシ加入ハ當然且直ニ本取極ヲ以テ定メタル一切ノ條項ニ對スル參加及一切ノ利益ノ許與ヲ爲ルヘシ

本取極ハ巴里同盟條約ト同等ノ效力ヲ有シ其ノ一時的目的ヲ達シタルトキハ會議（同條約第十四條）ノ單純決定ニ依リ失效スヘシ

本取極ハ瑞西聯邦政府ノ記錄ニ寄託セラルヘキ一通ニ對シテノミ署名セラルヘシ認證本ハ當該政府ヨリ各署名國政府ニ之ヲ送付スヘシ

千九百二十年六月三十日「ベルヌ」ニ於テ作成ス

獨逸國「キヨツヘル」
佛蘭西國「アッシュ、アリセ」
和蘭國「ファン、パンハイス」
波蘭國「ヤー、ベルロウスキー」
葡萄牙國「アー、エメ、パルソロメウ、フェレイラ」
瑞典國「ベー、デ、アドレルクレウツ」

（調書ニ記載セラレタル留保ノ下ニ）

瑞西國「モッタ」
「チェコ、スロヴァキア」國「ドクトル、ツィリル、ドウチェック」
「チュニジー」「アッシュ、アリセ」

署名調書

下記署名全權委員ハ正當ノ委任ヲ受ケ世界戰爭ニ因リ影響セラレタル工業所有權ノ保存又ハ回復ニ關スル取極ニ署名スル爲本日會合シタリ

右署名ニ先チ前記全權委員ハ瑞西國全權委員ヨリ爲サレタル左ノ說明的宣言ヲ領承シタリ

敎國政府ヨリ瑞西聯邦政府ニ對シ請求アリタルニ付千九百二十年五月二十九日附瑞西聯邦政府ヨリノ公文中ニ示サレタル如ク批准書ノ第一回交換ノ日ヲ以テ本取極ニ加入スル一切ノ國又ハ今後加入スヘキ一切ノ國ニ對シ本取極ニ規定スル諸期間ノ起算點ト看做スヘキ旨ヲ正式ニ表明ス

次テ瑞典國全權委員ハ左ノ宣言ヲ爲シタリ

瑞典國ノ製造標又ハ商標竝工業的意匠及雛

形ヲ除外シテ專ニ發明特許及實用新案ニ關シ且次ノ制限ノ下ニ本取極ニ加入ス

一　議會ノ協賛ヲ經サレハ變更シ得サル現行瑞典國法律ニ依リ本取極第一條ニ揭ケル優先期間ハ千九百二十年六月三十日ヲ以テ滿了ス

二　失效シ又ハ却下セラレタル發明ノ特許出願ノ再審並ニ關スル出願ハ千九百二十一年一月一日前ニ之ヲ、又失效又ハ却下ノ宣告カ千九百二十年六月三十日後ニ爲サルル場合ニハ該決定後六月以內ニ之ヲ提出スルコトヲ要ス

發明特許ノ同復ニ關スル出願ハ千九百二十一年一月一日前ニ之ヲ同法律ニ依リ提出スルコトヲ要ス

尤モ一般規定ニ依リ前記ノ期間ハ六月之ヲ延長スルコトヲ得

右證據トシテ下記署名全權委員ハ本調書ヲ採用シタリ

千九百二十年六月三十日「ベルヌ」ニ於テ作成ス

獨逸國「キヨツヘル」
佛蘭西國「アッシュ、アリセ」
和蘭國「ファン、パンハイス」
波蘭國「ヤー、ベルロウスキー」
葡萄牙國「アー、エメ、パルソロメウ、フェレイラ」
瑞典國「ベー、デ、アドレルクレウツ」
瑞西國「モッタ」
「チェコ、スロヴァキア」國「ドクトル、ツィリル、ドウチェック」
「チュニジー」「アッシュ、アリセ」

大正九年十二月九日
農商務省告示第二百七十五號

大正九年十一月十七日帝國ノ加入シタル西暦千九百二十年六月三十日瑞西國「ベルヌ」ニ於テ署名アリタル世界戰爭ニ因リ影響セラレタル工業所有權ノ保存又ハ回復ニ關スル取極ニ又ハ之ニ加入シタル左ノ國ハ左ノ如シ

一　獨逸國

一　佛蘭西國
一　波蘭國
一　瑞典國
一　チュニジー
一　英吉利國
一　摩洛哥國
一　西班牙國
一　伯剌西爾國
一　埃地利國

追テ本取極ニ規定スル諸期間ハ右ノ諸國竝今後加入スヘキ國ニ對シ一律ニ批准書ノ第一回交換ノ日タル本年九月三十日ヲ以テ其ノ起算點ト看做サルヘキモノナリ只英吉利國ハ本取極第一條及第二條所定ノ猶豫期間ハ同國ニ關スル限リ明年一月十日ヲ以テ滿了スヘク且千九百年十二月十四日菲律悉及千九百十一年六月二日華盛頓ニ於テ改正セラレタル工業所有權保護ニ關スル千八百八十三年三月二十日ノ巴里同盟條約ニ加入セル同國海外領土ニ關シテハ後日本件取極ニ參加スヘキ旨ヲ留保セリ尙瑞典國ノ留保ニ付テハ署名調書記載ノ如シ

（其ノ後批准又ハ加入セル國略ス）

●船舶衝突ニ付テノ規定ノ統一ニ關スル條約

大正三年二月十日
條約第一號

誌明治四十三年九月二十三日白耳義國比律悉ニ於テ帝國全權委員カ各國係各國全權委員ト共ニ署名シタル船舶衝突ニ付テノ規定ノ統一ニ關スル條約ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理大臣兼外務大臣兼內務大臣兼司法大臣臨時兼任內閣總理大臣伯爵大隈重信）

船舶衝突ニ付テノ規定ノ統一ニ關スル條約

獨逸帝國ノ名ヲ以テスル獨逸皇帝普魯西國皇帝陛下、亞爾然丁共和國大統領、墺地利國及洪牙利國ノ爲ニスル墺地利國皇帝「おへミヤ」國皇帝洪牙利國皇帝陛下、白耳義國皇帝陛下、伯剌西爾合衆國大統領、智利共和國大統領、丁抹國皇帝陛下、西班牙國皇帝陛下、亞米利加合衆國大統領、佛蘭西共和國大統領、大不列顛愛爾蘭聯合王國及大不列顛海外領土皇帝印度皇帝陛下、希臘國皇帝陛下、伊太利國皇帝陛下、日本國皇帝陛下、墨西哥合衆國大統領、「ニカラグヮ」共和國大統領、諾威國皇帝陛下、和蘭國皇帝陛下、葡萄牙國及「アルガルヴ」皇帝陛下、羅馬尼亞國皇帝陛下、全露西亞國皇帝陛下、瑞典國皇帝陛下、「ウルグエー」共和國大統領ハ共同一致シテ船舶衝突ニ關シ統一セル規則ヲ制定スルノ必要ヲ認メ之カ爲條約ヲ締結スルコトヲ決定シ各左ノ全權委員ヲ任命セリ

獨逸帝國ノ名ヲ以テスル獨逸皇帝普魯西國皇帝陛下
白耳義國駐劄代理公使　クラッケル、ド、シュワルツェンフェルト
「コンセイエー、アンチーム、シュペリウール、ド、レジャンス」帝國司法省參事官「ドクトル」ストルックマン

亞爾然丁共和國大統領
白耳義國駐劄特命全權公使ア、ブランカス

墺地利國皇帝「おへミヤ」國皇帝洪牙利國皇帝陛下
墺地利國及洪牙利國ノ爲
白耳義國駐劄特命全權公使伯爵ド、グラリー、エ、アルドリンゲン

墺地利國ノ爲
商務省參事官「ドクトル」スチフェン、ウォルムス

洪牙利國ノ爲
「スクレテール、デ、タ、アン、ルトレート」「アダベスト」大學敎授衆議院議員「ドクトル」フランソワ、ド、ナジイ

白耳義國皇帝陛下
國務大臣國際海事協會長ベルナール
特命全權公使外務省通商局長カッペル
國際海事協會副會長シャルル、ル、ジュネス
衆議院議員國際海事協會書記長ルイ、フランク

大不列顛愛爾蘭聯合王國及大不列顛海外領土皇帝印度皇帝陛下
白耳義國駐劄特命全權公使「サー」アーサー、ハーデング
倫敦高等法院判事「サー」ウィルリアム、ヒツクフオード
在倫敦「コンセイエー、チュロリ」レスリー、スコット
在倫敦辯護士ヒュー、ゴッドレー
希臘國皇帝陛下
猶典大學助教授ジョールジュ、ザオプニオチス
伊太利國皇帝陛下
白耳義國駐劄代理公使公爵デ、カスタニエト、カラチオロ
辯護士「セノア」大學教授フランソワ、ベルリンジェリ
「オーブルス」控訴院判事フランソワ、ミレルリ
羅馬大學教授チェザール、ヴィヴァンテ
日本國皇帝陛下
白耳義國駐劄特命全權公使鍋島桂次郎
司法省參事官檢事入江良之
遞信管理局海事部長石川武之
白耳義國在勤公使館二等書記官松田道一
墨西哥合衆國大統領
白耳義國駐劄特命全權公使オラルテ
辯護士上院議員ヴィクトル、マヌエル、カスチーヨ
「ニカラグッ」共和國大統領
在比律悉總領事エレ、ヴァエース
諾威國皇帝陛下
白耳義國駐劄特命全權公使「ドクトル」ジェー、エフ、ハーゲループ
船舶所有者グリスチャン、テオドール、ボー
和蘭國皇帝陛下
白耳義國駐劄代理公使「ヨンクヘール」ベー、エル、アー、メルフィル、ファン、カルンベー
「ウトレヒト」大學教授法律博士ウェー、エル、ベー、アー、モレングラアーフ
海牙大審院判事法律博士、ピー、チェー、ヨット、ローデル
在「アムステルダム」辯護士法律博士チェー、デー、アッセル
葡萄牙國及「アルガルヴ」皇帝陛下
白耳義國駐劄代理公使アントニオ、ダルテ、デ、オリヴェイラ、ソアレス
羅馬尼亞國皇帝陛下
白耳義國駐劄特命全權公使ザュヴァラ
全露西亞國皇帝陛下
在華盛頓大使館一等書記官セー、ナボコフ
瑞典國皇帝陛下
白耳義國駐劄特命全權公使伯爵ウェー、アー、エーレンスワルド
瑞典國汽船保險會社長アイナル、ランダ
「ウルグェー」共和國大統領
白耳義國駐劄特命全權公使ルイス、ガラベルリ

各締約國ハ本條約ニ加フルコトアルヘキ修正事項ヲ討究スル爲且出來得ヘクムハ特ニ其ノ適用ノ範圍ヲ擴張スル爲本條約實施ノ日ヨリ三年後ニ新ナル會議ノ開催ヲ提議スル權能ヲ有ス
此ノ權能ヲ行使セムトスル國ハ白耳義國政府ノ仲介ニ依リ其ノ意思ヲ他ノ諸國ニ通告シ白耳義國政府ハ六月内ニ會議ヲ招集スヘキモノトス

第十五條
本條約ニ署名セサル諸國ハ其ノ請求ニ因リ之ニ加盟スルコトヲ得此ノ加盟ハ外交上ノ手續ニ依リ白耳義國政府ニ通告シ該政府ハ之ヲ他ノ各締約國政府ニ通告スヘシ此ノ加盟ハ白耳義國政府ノ通告發送後一月ヲ經過シテ其ノ效力ヲ生スルモノトス

第十六條
本條約ハ批准ヲ要ス
本條約署名ノ日ヨリ遲クトモ一年内ニ白耳義國政府ハ本條約ヲ實施スヘキヤ否ヤヲ決定スル爲批准ノ準備成レリト宣言シタル締約國政府ト協議ヲ開始スヘシ
批准アリタルトキハ直ニ批准書ヲ比律悉ニ寄託スヘシ本條約ハ其ノ寄託後一月ヲ經過シテ其ノ效力ヲ生スルモノトス
寄託證書ハ比律悉ノ會議ニ參同シタル諸國ノ爲尚一年間之ヲ閉鎖セス此ノ期間經過ノ後ハ此等諸國ハ第十五條ノ規定ニ依ルニ非サレハ本條約ニ加盟スルコトヲ得ス

第十七條
締約國中ノ一國カ本條約ヲ廢棄スル場合ニ於テ其ノ營業ハ之ヲ白耳義國政府ニ通告シタル日ヨリ一年ノ後ニ非サレハ效力ヲ生スルコトナシ而シテ本條約ハ他ノ締約國ノ間ニハ引續キ其ノ效力ヲ存スルモノトス

追加條款
第十六條ノ規定ニ拘ラス强制水先人ノ過失ニ因リテ生シタル衝突ニ付責任ヲ定メタル第五條ノ規定ハ締約國カ船舶所有者ノ責任ノ制限ニ付一致スルニ至ル迄ハ實施セラレサルヘキコトヲ約ス
右證據トシテ各締約國ノ全權委員ハ本條約ニ署名調印ス
千九百十年九月二十三日比律悉ニ於テ本書一通ヲ作ル

獨逸國　クラッケル、フォン、ジュルツェンフェルト
亞爾然丁共和國　ドクトル、ゲー、ストルツマン
埃地利國及洪牙利國　アルベルト、ブランカス
墺地利國　エス、クラー、エ、アルドリンゲン
洪牙利國　ステフエン、サオルムス
白耳義國　ドクトル、フランソワ、ド、ナジイ
ア、ベルナール
カフベル
シャルル、ルジュース
ルイ、フランク
ボール、セージエル
ロドリゴ、オクタヴィオ、デ、ランガルド、メネセス
エフェ、ブーガーボネ
玖瑪共和國　ドクトル、エフェサヤス
丁抹國　ウエ、ガレフエンコップ、カステンスキョルド
ヘルマン、ハルキール
アルツロ、デ、バゲール
ファン、スポットルノ
亞米利加合衆國　ラモン、サンチェス、デ、オカニヤ
ファウスチノ、ア、デル、マンソノ
ウオルター、ジー、ノイエス
チャーレス、シー、パーリンガム
エー、ジェー、モンテーグ
エドウイン、ゲアルユー、スミス
ボー
シャルル、リヨンーカン
アーサー、エッチ、ハーデングア
アルユー、ヒックフオード
レスリー、スコット
ヒュー、ゴッドレー
ジー、ゲオプニオチス
公爵デ、カスタニエト
伊太利國　フランチエスコ、ベルリンジエリ
ブロフエツソル、チェザール、ヴィヴァンテ
日本國　鍋島桂次郎
入江良之
石川武之
松田道一
墨西哥合衆國　エンリーク、オラルテ
ヴィクトル、マヌエル、カスチーヨ
「ニカラグッ」國　レオン、ヴアエース
諾威國　ハーゲループ
クリスチヤン、テオドール、ボー
和蘭國　ベー、エル、アー、メルフィル、ファン、カルンベー
モレングラアーフ
ローデル
チエー、デー、アッセル
葡萄牙國　アー、デー、デ、オリヴェイラ、ソアレス
羅馬尼亞國　テー、ジー、ゲュヴラ
露西亞國　セー、ナボコフ
瑞典國　アルベルト、エーレンスワルド
「ウルグェー」國　アイナル、ランダ
ルイス、ガラベルリ

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス
陛明治四十三年九月二十三日白耳義國比律悉ニ於テ帝國全權委員カ國係各國全權委員ト共ニ署名シタル船舶衝突ニ付テノ規定ノ統一ニ關スル條約ヲ閱覽點檢シ之ヲ嘉納批准ス
神武天皇即位紀元二千五百七十三年大正二年十二月二十七日東京宮城ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム
御名　國璽

ニ依リ其ノ割合ヲ定ムルコト能ハサルトキ又ハ過失カ同等ナリト認ムヘキトキハ責任ハ平等トス
船舶若ハ其ノ積荷又ハ船員、旅客其ノ他船舶内ニ在ル者ノ手荷物其ノ他ノ財産ニ生シタル損害ハ第三者ニ對シテ連帶スルコトナク前項ノ割合ニ應シ過失アリタル船舶ニ於テ之ヲ負擔ス
過失アリタル船舶ハ死傷ニ因リテ生シタル損害ニ付テハ第三者ニ對シ連帶シテ義務ヲ負フ但シ第一項ニ從ヒ終局ニ負擔スルコトヲ要スル部分ヲ超過シテ支拂ヒタル船舶ノ求償ヲ妨ケス
前項ノ求償ニ關シ船舶内ニ在ル人ニ對スル船舶所有者ノ責任ヲ制限スル契約上又ハ法律上ノ條項カ如何ナル範圍ニ於テ如何ナル效力ヲ有スルカハ内國法ノ定ムル所ニ依ル

第五條
前數條ニ定メタル責任ハ衝突カ水先人ノ過失ニ因リテ生シタル場合ニ於テ其ノ水先人カ强制水先人ナルトキト雖亦存在ス

第六條
衝突ニ因リテ生シタル損害ノ賠償ノ請求權ハ船舶證書其ノ他一切ノ特別方式ニ羈束セラルルコトナシ
衝突ノ責任ニ關シテハ法律上過失ヲ推定スルコトナシ

第七條
損害賠償ノ請求權ハ事故アリタル日ヨリ二年ヲ以テ時效ニ罹ル
第四條第三項ニ依ル求償權ノ時效期間ハ一年トス此ノ時效ノ停止及中斷ノ事由ハ受訴裁判所所屬國ノ法律ノ定ムル所ニ依ル

第八條
衝突シタル各船舶ノ船長ハ衝突後其ノ船舶、船員及旅客ニ重大ナル危險ナクシテ爲シ得ヘキ限リ他ノ船舶、船員及旅客ヲ援助スルコトヲ要ス
船長ハ爲シ得ヘキ限リ其ノ船舶ノ名稱、船籍港、發シタル場所、著スヘキ場所ヲ他ノ船舶ニ告クルコトヲ要ス
船舶所有者ハ前二項ノ規定ノ違反ノミニ因リテ責任ヲ負フコトナシ

第九條
締約國ニシテ前條ニ違反スル行爲ヲ禁遏スル法令ナキモノハ其ノ行爲ヲ禁遏スル爲必要ナル措置ヲ爲シ又ハ各自ノ立法府ニ之ヲ提案スヘキコトヲ約ス
締約國ハ前項ニ定メタル事項ヲ實行スル爲其ノ國ニ於テ既ニ制定シ又ハ後ニ制定スル法律及規則ヲ遲滯ナク相互ニ通告スヘシ

第十條
本條約ノ規定ハ後ノ條約ヲ留保シ船舶所有者ノ責任ノ制限ニ付各國ニ於テ定メタル規定及運送契約其ノ他一切ノ契約ヨリ生スル債務ニ影響ヲ及ホササルモノトス

第十一條
本條約ハ軍艦及專ラ公用ニ供スル國ノ船舶ニハ之ヲ適用セス

第十二條
本條約ノ規定ハ訴訟ニ於ケル總テノ船舶カ締約國ニ屬スル場合及内國法ノ規定シタル其ノ他ノ場合ニ於テ總テノ利害關係人ニ之ヲ適用ス
仍左ノ如ク協定ス
一　非締約國ニ屬スル利害關係人ニ付テハ本條約ノ規定ノ適用ハ各締約國ニ於テ之ヲ相互ノ條件ニ繫ラシムルコトヲ得ヘキコト
二　總テノ利害關係人カ受訴裁判所所屬國ニ屬スルトキハ本條約ヲ適用スルコトナク内國法ヲ適用スヘキコト

第十三條
船舶カ其ノ運用上ノ作爲若ハ不作爲又ハ規則ノ違反ニ因リ他ノ船舶又ハ其ノ船舶内ニ在ル物若ハ人ニ生セシメタル損害ノ賠償ニ付テハ衝突アラサリシトキト雖仍本條約ヲ適用ス

第十四條
船舶衝突ニ付テノ刑事上ノ規則ハ各締約國ニ於テ之ヲ設ケス
船舶衝突ニ付テノ民事上ノ規則ハ各締約國ニ於テ裁判所ノ管轄ニ屬スル訴訟ニ之ヲ適用ス
裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ船舶ノ衝突ニ付テノ判決ヲ公告スル爲適當ト認ムル處分ヲ命スルコトヲ得
公告ノ費用ハ之ヲ請求シタル者ノ負擔トス

第十五條
本條約ハ批准ヲ要ス
本條約署名ノ日ヨリ遲クトモ一年内ニ白耳義國政府ハ本條約ヲ實施スヘキヤ否ヤヲ決定スル爲批准ノ準備成レリト宣言シタル締約國政府ト協議ヲ開始スヘシ
批准アリタルトキハ直ニ批准書ヲ比律悉ニ寄託スヘシ本條約ハ其ノ寄託後一月ヲ經過シテ其ノ效力ヲ生スルモノトス
寄託證書ハ比律悉ノ會議ニ參同シタル諸國ノ爲尚一年間之ヲ閉鎖セス此ノ期間經過ノ後ハ此等諸國ハ第十五條ノ規定ニ依ルニ非サレハ本條約ニ加盟スルコトヲ得ス

第十七條
締約國中ノ一國カ本條約ヲ廢棄スル場合ニ於テ其ノ營業ハ之ヲ白耳義國政府ニ通告シタル日ヨリ一年ノ後ニ非サレハ效力ヲ生スルコトナシ而シテ本條約ハ他ノ締約國ノ間ニハ引續キ其ノ效力ヲ存スルモノトス

追加條款
第十六條ノ規定ニ拘ラス强制水先人ノ過失ニ因リテ生シタル衝突ニ付責任ヲ定メタル第五條ノ規定ハ締約國カ船舶所有者ノ責任ノ制限ニ付一致スルニ至ル迄ハ實施セラレサルヘキコトヲ約ス
右證據トシテ各締約國ノ全權委員ハ本條約ニ署名調印ス
千九百十年九月二十三日比律悉ニ於テ本書一通ヲ作ル

大正三年一月十日 外務

一明治四十三年七月十二日 署名 大正三年一月十日 批准 大正三年二月十日 公布

二於テ帝國印セラレタル條約ノ規定ニ依リ左ノ通リ定ム

外國人ノ統一ニ關スル救助條約ニ付テ

●海難ニ於ケル救援

日耳曼國皇帝陛下

白耳義國王陛下

丁抹國王陛下

西班牙國王陛下

佛蘭西國大統領

希臘國王陛下

伊太利國王陛下

和蘭國女王陛下

諾威國王陛下

葡萄牙國王陛下

羅馬尼亞國王陛下

露西亞國皇帝陛下

瑞典國王陛下

瑞西國聯邦會議

土耳其國皇帝陛下

合衆國大統領

英國王陛下及印度皇帝陛下

墺太利匈牙利國皇帝陛下

日本國皇帝陛下

各其ノ全權委員ヲ任命セラレタルヲ以テ

其ノ全權委員ハ互ニ其ノ委任狀ヲ示シ之ヲ良且ツ正當ナリト認メタル後左ノ條款ヲ協定シタリ

第一條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第二條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第三條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第四條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第五條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第六條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第七條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第八條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第九條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第十條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第十一條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第十二條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第十三條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第十四條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第十五條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第十六條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第十七條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第十八條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第十九條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第二十條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第二十一條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第二十二條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第二十三條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第二十四條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第二十五條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第二十六條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第二十七條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第二十八條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第二十九條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第三十條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第三十一條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第三十二條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第三十三條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第三十四條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第三十五條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第三十六條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第三十七條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第三十八條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第三十九條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第四十條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第四十一條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第四十二條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第四十三條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第四十四條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第四十五條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第四十六條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第四十七條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第四十八條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第四十九條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第五十條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第五十一條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第五十二條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第五十三條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第五十四條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第五十五條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第五十六條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第五十七條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第五十八條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第五十九條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第六十條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第六十一條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第六十二條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第六十三條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第六十四條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第六十五條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第六十六條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第六十七條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第六十八條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第六十九條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第七十條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第七十一條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第七十二條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第七十三條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第七十四條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第七十五條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第七十六條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第七十七條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第七十八條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第七十九條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第八十條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第八十一條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第八十二條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第八十三條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第八十四條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第八十五條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第八十六條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第八十七條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第八十八條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第八十九條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第九十條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第九十一條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第九十二條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第九十三條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第九十四條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第九十五條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第九十六條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第九十七條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第九十八條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第九十九條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百一條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百二條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百三條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百四條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百五條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百六條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百七條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百八條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百九條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百十條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百十一條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百十二條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百十三條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百十四條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百十五條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百十六條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百十七條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百十八條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百十九條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百二十條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百二十一條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百二十二條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百二十三條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百二十四條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百二十五條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百二十六條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百二十七條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百二十八條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百二十九條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百三十條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百三十一條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百三十二條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百三十三條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百三十四條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百三十五條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ與フルコトヲ約ス

第百三十六條 各締約國ハ其ノ領土ニ於テ海難ニ遭ヒタル他ノ締約國ノ船舶ニ對シ及其ノ船舶ニ在ル人民ニ對シ其ノ國民ニ對スルト同一ノ救助ヲ

在紐育辯護士チャーレス、ジー、パーリンガム
前「ヴァージニア」州知事エー、ジェー、モンテーグ
在「ピッツバーグ」辯護士エドウィン、ダブルユー、スミス
佛蘭西共和國大統領
白耳義國駐劄特命全權公使ポー
學士會員巴里法科大學敎授政治學校敎授佛蘭西海法協會長リヨンーカン
大不列顚愛爾蘭聯合王國及大不列顚海外領土皇帝印度皇帝陛下
白耳義國駐劄特命全權公使「サー」アーサー、ハーヤング
倫敦高等法院判事「サー」ウィルリアム、ヒックフォード
在倫敦「コンセイエー、ダュ、ロア」レスリー、スコット
在倫敦辯護士ヒュー、ゴッドレー
希臘國皇帝陛下
雅典大學助敎授ジョールジュ、ダオアニオチス
伊太利國皇帝陛下
白耳義國駐劄代理公使公爵デ、カスタニエト、カラチオロ
辯護士「セノア」大學敎授フランソワ、ベルリンジエリ
「ネープルス」控訴院判事フランソワ、ミレルリ
羅馬大學敎授チェザール、ヴィヴァンチ
日本國皇帝陛下
白耳義國駐劄特命全權公使侯爵鳥桂次郎
司法省參事官兼檢事入江良之
遞信管理局海事部長石川武之
白耳義國在勤公使館二等書記官松田道一
墨西哥合衆國大統領
白耳義國駐劄特命全權公使オラルテ
辯護士上院議員ヴィクトル、マヌエル、カスチーヨ
「ニカラグヮ」共和國大統領
在此律悉總領事エレ、ヴァエース

諸威國皇帝陛下
白耳義國駐劄特命全權公使「ドクトル」ジエー、エフ、ハーグループ
船舶所有者クリスチャン、テオドール、ボー
和蘭國皇帝陛下
白耳義國駐劄代理公使「ヨンクヘール」ベー、エル、アー、メルフィル、ファン、カルンベー
「ウトレヒト」大學敎授法律博士ウェー、エル、ベー、アー、モレングラーフ
海牙大審院判事法律博士ピー、チェー、ヨット、ローデル
在「アムステルダム」辯護士法律博士チエー、デー、アッセル
葡萄牙國及「アルガルゲ」皇帝陛下
白耳義國駐劄代理公使アントニオ、ヴァルテ、デ、オリヴェイラ、ソアレス
羅馬尼亞國皇帝陛下
白耳義國駐劄特命全權公使ヂュヴァラ
全露西亞國皇帝陛下
在華盛頓大使館一等書記官セー、ナボコフ
瑞典國皇帝陛下
白耳義國駐劄特命全權公使伯爵ジェー、アー、エーレンスワルド
瑞典國汽船保險會社長アイナル、ランダ
「ウルグェー」共和國大統領
白耳義國駐劄特命全權公使ルイス、ガブベルリ

因テ各全權委員ハ正當ノ委任ヲ受ケ左ノ諸條ヲ協定セリ

第一條

危難ニ在ル航海船、船舶內ノ物、積荷ノ運送賃及旅客ノ運送賃ノ救援救助竝航海船ト內水航行船トノ間ニ爲サレタル同種ノ勞務ハ其ノ救援タルト救助タルトヲ區別スルコトナク又勞務カ爲サレタル水面ノ如何ヲ問ハス以下數條ノ規定ニ從フ

第二條

救援救助ノ行爲カ有益ナル結果ヲ生シタルトキハ相當ノ報酬ヲ請求スル權利ヲ生ス

救助カ有益ナル結果ヲ生セサルトキハ何等ノ報酬ヲ請求スル權利ヲ生スルコトナシ

如何ナル場合ニ於テモ支拂ハルヘキ金額ハ救助セラレタル目的物ノ價額ニ超ユルコトヲ得ス

第三條

救助セラレタル船舶ノ閂ポニシテ且理由アル拒絕アリタルニ拘ラス救助ノ仕事ニ協力シタル者ハ何等ノ報酬ヲ請求スル權利ヲ有セス

第四條

曳船ハ曳船契約ノ履行ト認ムルコトヲ得サル特別ノ勞務ヲ爲シタルトキニ非サレハ被曳船又ハ其ノ積荷ノ救援救助ニ付報酬ヲ請求スル權利ヲ有セス

第五條

報酬ハ同一ノ所有者ニ屬スル船舶間ニ救援救助アリタル場合ニ於テモ之ヲ支拂フヘキモノトス

第六條

報酬ノ額ハ當事者ノ契約ニ依リ契約ナキトキハ裁判所之ヲ定ム

救助者間ニ分配スヘキ報酬ノ割合ニ付亦同シ

救助船ノ所有者、船長其ノ他ノ服役者ノ間ニ於ケル報酬ノ分配ハ其ノ船舶ノ本國法ノ定ムル所ニ依ル

第七條

危難ノ際其ノ影響ノ下ニ爲サレタル救援救助ノ契約ハ裁判所ニ於テ其ノ契約ノ條件カ衡平ナラスト認ムルトキハ當事者ノ一方ノ申立ニ因リ之ヲ無效トシ又ハ變更スルコトヲ得

如何ナル場合ヲ問ハス詐欺若ハ隱蔽ノ爲當事者ノ一方ノ同意ニ瑕疵アルコトノ證明アリタルトキ又ハ報酬カ勞務ニ比シ著シク不權衡ナルトキハ裁判所ハ利害關係アル當事者ノ申立ニ因リ契約ヲ無效トシ又ハ變更スルコトヲ得

第八條

報酬ハ左ノ事項ヲ基本トシ各場合ノ事情ヲ斟酌シテ裁判所之ヲ定ム

（イ）第一位ニ於テハ得タル結果、援助者ノ盡力及功績、被援助船其ノ旅客船員積荷及援助者援助船ノ遭遇シタル危難、援助者ノ費シタル時間費用及受ケタル損害、援助者ノ冒シタル責任負擔ノ危險及其ノ他ノ危險竝援助者ノ供用シタル物件ニシテ危險ニ置カレタルモノノ價額但シ援助船舶カ特別ノ設備ヲ有スルモノナルトキハ之ヲ斟酌ス

（ロ）第二位ニ於テハ援助セラレタル目的物ノ價額

第六條第二項ニ定メタル分配ニ付テモ亦前項ノ規定ニ從フ

裁判所ハ援助者カ其ノ過失ニ因リテ救援救助ヲ必要トスルニ至ラシメ又ハ盜取、隱匿其ノ他不正ノ行爲ヲ犯シタリト認ムルトキハ報酬ノ額ヲ減シ又ハ其ノ請求ヲ許ササルコトヲ得

第九條

生命ノ救助ヲ受ケタル者ハ報酬ヲ支拂フノ義務ナシ但シ內國法ノ規定ニ影響ヲ及ホサス

救援救助ノ行ハレタル事變ニ際シテ人命ヲ救助シタル者ハ船舶、積荷及其ノ附隨ノモノヲ救助シタル者ニ與ヘラルル報酬ニ付相當ノ分配ヲ受クル權利ヲ有ス

第十條

報酬ノ請求權ハ救援救助ノ仕事ノ終リタル日ヨリ二年ヲ以テ時效ニ罹ル

時效ノ停止及中斷ノ事由ハ受訴裁判所所屬國ノ法律ノ定ムル所ニ依ル

締約國ハ原告ノ住所又ハ主タル營業所ノ所在國ノ領水內ニ於テ被援助船ヲ差押フルコト能ハサリシ事實ヲ以テ第一項ニ定メタル期間ノ伸長ノ事由ト爲スコトヲ其ノ法律ニ定ムル權利ヲ留保ス

第十一條

海上ニ於テ生命ノ危難ニ在ル者アルトキハ船長ハ船舶、船員及旅客ニ重大ナル危險ヲ及ホササル限リ敵人ト雖之ヲ救助スルコトヲ要ス

船舶所有者ハ前項ノ規定ノ違反ニ因リテ何等ノ責任ヲ負フコトナシ

第十二條

締約國ニシテ前條ニ違反スル行爲ヲ禁遏スル法令ナキモノハ其ノ行爲ヲ禁遏スル爲必要ナル措置ヲ爲シ又ハ各自ノ立法府ニ之ヲ提案スヘキコトヲ約ス

締約國ハ前項ニ定メタル事項ヲ實行スル爲其ノ國ニ於テ既ニ制定シ又ハ後ニ制定スル法律及規則ヲ遲滯ナク相互ニ通告スヘシ

第十三條

本條約ハ官公署ノ經營ニ係リ又ハ其ノ監督ニ屬スル救援救助事務ノ組織及殊ニ漁業器械ノ救助ニ關スル內國法又ハ國際條約ノ規定ニ影響ヲ及ホスコトナシ

第十四條

本條約ハ軍艦及專ラ公用ニ供スル國ノ船舶ニハ之ヲ適用セス

第十五條

本條約ノ規定ハ援助船又ハ被援助船カ締約國ニ屬スル場合及內國法ノ規定シタル其ノ他ノ場合ニ於テ總テノ利害關係人ニ之ヲ適用ス

仍左ノ如ク協定ス

一　非締約國ニ屬スル利害關係人ニ付テハ本條約ノ規定ノ適用ハ各締約國ニ於テ之ヲ相互ノ條件ニ繫ラシムルコトヲ得ヘキコト

二　總テノ利害關係人カ受訴裁判所所屬國ニ屬スルトキハ本條約ヲ適用スルコトナク內國法ヲ適用スヘキコト

三　第十一條ハ締約國ニ屬スル船舶相互ノ間ニノミ之ヲ適用スヘキコト但シ內國法ニ於テ之ヨリ廣キ規定ヲ爲スコトヲ妨ケス

第十六條

各締約國ハ本條約ニ加フルコトアルヘキ修正事項ヲ討究スル爲且出來得ヘクムハ特ニ其ノ適用ノ範圍ヲ擴張スル爲本條約實施ノ日ヨリ三年後ニ新ナル會議ノ開催ヲ提議スル權能ヲ有ス

調印國

亞爾然丁共和國	ドクトル、ゲー、ストルツマン
埃地利國及洪牙利國	アルベルト、アランカス
埃地利國	エス、クラー、エ、アルドリンゲン
洪牙利國	ステフエン、ウォルムス
	ドクトル、フランソワ、ド、ナジイ
白耳義國	アー、ベルナール
	加ツベル
	シャルル、ルジューヌ
	ルイ、フランク
	ボール、セージエル
	ロドリゴ、オクタヴィオ、デ、ランガルド、メネセス
伯剌西爾合衆國	エフエ、ブーガーボルネ
智利國	ドクトル、エフエ、サヤス
玖瑪共和國	ウエ、グレフェンコップ、カステンスキョルド
丁抹國	ヘルマン、ハルキール
西班牙國	アルツロ、デ、バケール
	ファン、ボットルノ
亞米利加合衆國	ラモン、サンチェス、デ、オカニヤ
	ファウスチノ、デ、デル、マンソノ
	ウオルター、ジー、ノイエス
	チャーレス、ジー、パーリンガム
	エー、ジエー、モンテーグ
佛蘭西國	エドウィン、ダブルユー、スミス
	ポー
大不列顚國	シャルル、リヨンーカン
	アーサー、エッチ、ハーヤングダブルユー、ヒックフォード
	レスリー、スコット
	ヒュー、ゴッドレー
希臘國	ジー、ダオアニオチス
伊太利國	公爵デ、カスタニエト
	フランチェスコ、ベルリンジエリ
	フランチェスコ、エメ、ミレルリ
	プロフェッソル、チエザール、ヴィヴァンチ
日本國	鍋島桂次郎
	入江良之
	石川武之
墨西哥合衆國	松田道一
「ニカラグヮ」國	エンリーケ、オラルテ
諾威國	ヴィクトル、マヌエル、カスチーヨ
	レオン、ヴァエース
和蘭國	ハーゲループ
	クリスチャン、テオドール、ボー
	ベー、エル、アー、メルフィル、ファン、カルンベー
	鳴レングラーフ
	ローデル
	チエー、デー、アッセル

第一章　不和條約及萬國條約　第三款　萬國條約

第七輯　第三類　第一章　第一節　第二款　第三款　第四款　第五款　第六款　第七款　第八款　第九款　第十款　第十一款　第十二款　第十三款　第十四款　第十五款　第十六款　第十七款　第十八款　第十九款　第二十款　第二十一款　第二十二款　第二十三款　第二十四款　第二十五款　第二十六款　第二十七款　第二十八款　第二十九款　第三十款　第三十一款　第三十二款　第三十三款　第三十四款　第三十五款　第三十六款　第三十七款　第三十八款　第三十九款　第四十款　第四十一款　第四十二款　第四十三款　第四十四款　第四十五款　第四十六款　第四十七款　第四十八款　第四十九款　第五十款　第五十一款　第五十二款　第五十三款　第五十四款　第五十五款　第五十六款　第五十七款　第五十八款　第五十九款　第六十款　第六十一款　第六十二款　第六十三款　第六十四款　第六十五款　第六十六款　第六十七款　第六十八款　第六十九款　第七十款　第七十一款　第七十二款　第七十三款　第七十四款　第七十五款　第七十六款　第七十七款　第七十八款　第七十九款　第八十款　第八十一款　第八十二款　第八十三款　第八十四款　第八十五款　第八十六款　第八十七款　第八十八款　第八十九款　第九十款　第九十一款　第九十二款　第九十三款　第九十四款　第九十五款　第九十六款　第九十七款　第九十八款　第九十九款　第百款　第百一款　第百二款　第百三款　第百四款　第百五款　第百六款　第百七款　第百八款　第百九款　第百十款　第百十一款　第百十二款　第百十三款　第百十四款　第百十五款　第百十六款　第百十七款　第百十八款　第百十九款　第百二十款　第百二十一款　第百二十二款　第百二十三款　第百二十四款　第百二十五款　第百二十六款　第百二十七款　第百二十八款　第百二十九款　第百三十款　第百三十一款　第百三十二款　第百三十三款　第百三十四款　第百三十五款　第百三十六款　第百三十七款　第百三十八款　第百三十九款　第百四十款　第百四十一款　第百四十二款　第百四十三款　第百四十四款　第百四十五款　第百四十六款　第百四十七款　第百四十八款　第百四十九款　第百五十款　第百五十一款　第百五十二款　第百五十三款　第百五十四款　第百五十五款　第百五十六款　第百五十七款　第百五十八款　第百五十九款　第百六十款　第百六十一款　第百六十二款　第百六十三款　第百六十四款　第百六十五款　第百六十六款　第百六十七款　第百六十八款　第百六十九款　第百七十款　第百七十一款　第百七十二款　第百七十三款　第百七十四款　第百七十五款　第百七十六款　第百七十七款　第百七十八款　第百七十九款　第百八十款　第百八十一款　第百八十二款　第百八十三款　第百八十四款　第百八十五款　第百八十六款　第百八十七款　第百八十八款　第百八十九款　第百九十款　第百九十一款　第百九十二款　第百九十三款　第百九十四款　第百九十五款　第百九十六款　第百九十七款　第百九十八款　第百九十九款　第二百款　第二百一款　第二百二款　第二百三款　第二百四款　第二百五款　第二百六款　第二百七款　第二百八款　第二百九款　第二百十款　第二百十一款　第二百十二款　第二百十三款　第二百十四款　第二百十五款　第二百十六款　第二百十七款　第二百十八款　第二百十九款　第二百二十款　第二百二十一款　第二百二十二款　第二百二十三款　第二百二十四款　第二百二十五款　第二百二十六款　第二百二十七款　第二百二十八款　第二百二十九款　第二百三十款　第二百三十一款　第二百三十二款　第二百三十三款　第二百三十四款　第二百三十五款　第二百三十六款　第二百三十七款　第二百三十八款　第二百三十九款　第二百四十款　第二百四十一款　第二百四十二款　第二百四十三款　第二百四十四款　第二百四十五款　第二百四十六款　第二百四十七款　第二百四十八款　第二百四十九款　第二百五十款　第二百五十一款　第二百五十二款　第二百五十三款　第二百五十四款　第二百五十五款　第二百五十六款　第二百五十七款　第二百五十八款　第二百五十九款　第二百六十款　第二百六十一款　第二百六十二款　第二百六十三款　第二百六十四款　第二百六十五款　第二百六十六款　第二百六十七款　第二百六十八款　第二百六十九款　第二百七十款　第二百七十一款　第二百七十二款　第二百七十三款　第二百七十四款　第二百七十五款　第二百七十六款　第二百七十七款　第二百七十八款　第二百七十九款　第二百八十款　第二百八十一款　第二百八十二款　第二百八十三款　第二百八十四款　第二百八十五款　第二百八十六款　第二百八十七款　第二百八十八款　第二百八十九款　第二百九十款　第二百九十一款　第二百九十二款　第二百九十三款　第二百九十四款　第二百九十五款　第二百九十六款　第二百九十七款　第二百九十八款　第二百九十九款　第三百款　第三百一款　第三百二款　第三百三款　第三百四款　第三百五款　第三百六款　第三百七款　第三百八款　第三百九款　第三百十款　第三百十一款　第三百十二款　第三百十三款　第三百十四款　第三百十五款　第三百十六款　第三百十七款　第三百十八款　第三百十九款　第三百二十款　第三百二十一款　第三百二十二款　第三百二十三款　第三百二十四款　第三百二十五款　第三百二十六款　第三百二十七款　第三百二十八款　第三百二十九款　第三百三十款　第三百三十一款　第三百三十二款　第三百三十三款　第三百三十四款　第三百三十五款　第三百三十六款　第三百三十七款　第三百三十八款　第三百三十九款　第三百四十款　第三百四十一款　第三百四十二款　第三百四十三款　第三百四十四款　第三百四十五款　第三百四十六款　第三百四十七款　第三百四十八款　第三百四十九款　第三百五十款　第三百五十一款　第三百五十二款　第三百五十三款　第三百五十四款　第三百五十五款　第三百五十六款　第三百五十七款　第三百五十八款　第三百五十九款　第三百六十款　第三百六十一款　第三百六十二款　第三百六十三款　第三百六十四款　第三百六十五款　第三百六十六款　第三百六十七款　第三百六十八款　第三百六十九款　第三百七十款　第三百七十一款　第三百七十二款　第三百七十三款　第三百七十四款　第三百七十五款　第三百七十六款　第三百七十七款　第三百七十八款　第三百七十九款　第三百八十款　第三百八十一款　第三百八十二款　第三百八十三款　第三百八十四款　第三百八十五款　第三百八十六款　第三百八十七款　第三百八十八款　第三百八十九款　第三百九十款　第三百九十一款　第三百九十二款　第三百九十三款　第三百九十四款　第三百九十五款　第三百九十六款　第三百九十七款　第三百九十八款　第三百九十九款　第四百款　第四百一款　第四百二款　第四百三款　第四百四款　第四百五款　第四百六款　第四百七款　第四百八款　第四百九款　第四百十款　第四百十一款　第四百十二款　第四百十三款　第四百十四款　第四百十五款　第四百十六款　第四百十七款　第四百十八款　第四百十九款　第四百二十款　第四百二十一款　第四百二十二款　第四百二十三款　第四百二十四款　第四百二十五款　第四百二十六款　第四百二十七款　第四百二十八款　第四百二十九款　第四百三十款　第四百三十一款　第四百三十二款　第四百三十三款　第四百三十四款　第四百三十五款　第四百三十六款　第四百三十七款　第四百三十八款　第四百三十九款　第四百四十款　第四百四十一款　第四百四十二款　第四百四十三款　第四百四十四款　第四百四十五款　第四百四十六款　第四百四十七款　第四百四十八款　第四百四十九款　第四百五十款　第四百五十一款　第四百五十二款　第四百五十三款　第四百五十四款　第四百五十五款　第四百五十六款　第四百五十七款　第四百五十八款　第四百五十九款　第四百六十款　第四百六十一款　第四百六十二款　第四百六十三款　第四百六十四款　第四百六十五款　第四百六十六款　第四百六十七款　第四百六十八款　第四百六十九款　第四百七十款　第四百七十一款　第四百七十二款　第四百七十三款　第四百七十四款　第四百七十五款　第四百七十六款　第四百七十七款　第四百七十八款　第四百七十九款　第四百八十款　第四百八十一款　第四百八十二款　第四百八十三款　第四百八十四款　第四百八十五款　第四百八十六款　第四百八十七款　第四百八十八款　第四百八十九款　第四百九十款　第四百九十一款　第四百九十二款　第四百九十三款　第四百九十四款　第四百九十五款　第四百九十六款　第四百九十七款　第四百九十八款　第四百九十九款　第五百款　第五百一款　第五百二款　第五百三款　第五百四款　第五百五款　第五百六款　第五百七款　第五百八款　第五百九款　第五百十款　第五百十一款　第五百十二款　第五百十三款　第五百十四款　第五百十五款　第五百十六款　第五百十七款　第五百十八款　第五百十九款　第五百二十款　第五百二十一款　第五百二十二款　第五百二十三款　第五百二十四款　第五百二十五款　第五百二十六款　第五百二十七款　第五百二十八款　第五百二十九款　第五百三十款　第五百三十一款　第五百三十二款　第五百三十三款　第五百三十四款　第五百三十五款　第五百三十六款　第五百三十七款　第五百三十八款　第五百三十九款　第五百四十款　第五百四十一款　第五百四十二款　第五百四十三款　第五百四十四款　第五百四十五款　第五百四十六款　第五百四十七款　第五百四十八款　第五百四十九款　第五百五十款　第五百五十一款　第五百五十二款　第五百五十三款　第五百五十四款　第五百五十五款　第五百五十六款　第五百五十七款　第五百五十八款　第五百五十九款　第五百六十款　第五百六十一款　第五百六十二款　第五百六十三款　第五百六十四款　第五百六十五款　第五百六十六款　第五百六十七款　第五百六十八款　第五百六十九款　第五百七十款　第五百七十一款　第五百七十二款　第五百七十三款　第五百七十四款　第五百七十五款　第五百七十六款　第五百七十七款　第五百七十八款　第五百七十九款　第五百八十款　第五百八十一款　第五百八十二款　第五百八十三款　第五百八十四款　第五百八十五款　第五百八十六款　第五百八十七款　第五百八十八款　第五百八十九款　第五百九十款　第五百九十一款　第五百九十二款　第五百九十三款　第五百九十四款　第五百九十五款　第五百九十六款　第五百九十七款　第五百九十八款　第五百九十九款　第六百款　第六百一款　第六百二款　第六百三款　第六百四款　第六百五款　第六百六款　第六百七款　第六百八款　第六百九款　第六百十款　第六百十一款　第六百十二款　第六百十三款　第六百十四款　第六百十五款　第六百十六款　第六百十七款　第六百十八款　第六百十九款　第六百二十款　第六百二十一款　第六百二十二款　第六百二十三款　第六百二十四款　第六百二十五款　第六百二十六款　第六百二十七款　第六百二十八款　第六百二十九款　第六百三十款　第六百三十一款　第六百三十二款　第六百三十三款　第六百三十四款　第六百三十五款　第六百三十六款　第六百三十七款　第六百三十八款　第六百三十九款　第六百四十款　第六百四十一款　第六百四十二款　第六百四十三款　第六百四十四款　第六百四十五款　第六百四十六款　第六百四十七款　第六百四十八款　第六百四十九款　第六百五十款　第六百五十一款　第六百五十二款　第六百五十三款　第六百五十四款　第六百五十五款　第六百五十六款　第六百五十七款　第六百五十八款　第六百五十九款　第六百六十款　第六百六十一款　第六百六十二款　第六百六十三款　第六百六十四款　第六百六十五款　第六百六十六款　第六百六十七款　第六百六十八款　第六百六十九款　第六百七十款　第六百七十一款　第六百七十二款　第六百七十三款　第六百七十四款　第六百七十五款　第六百七十六款　第六百七十七款　第六百七十八款　第六百七十九款　第六百八十款　第六百八十一款　第六百八十二款　第六百八十三款　第六百八十四款　第六百八十五款　第六百八十六款　第六百八十七款　第六百八十八款　第六百八十九款　第六百九十款　第六百九十一款　第六百九十二款　第六百九十三款　第六百九十四款　第六百九十五款　第六百九十六款　第六百九十七款　第六百九十八款　第六百九十九款　第七百款　第七百一款　第七百二款　第七百三款　第七百四款　第七百五款　第七百六款　第七百七款　第七百八款　第七百九款　第七百十款　第七百十一款　第七百十二款　第七百十三款　第七百十四款　第七百十五款　第七百十六款　第七百十七款　第七百十八款　第七百十九款　第七百二十款　第七百二十一款　第七百二十二款　第七百二十三款　第七百二十四款　第七百二十五款　第七百二十六款　第七百二十七款　第七百二十八款　第七百二十九款　第七百三十款　第七百三十一款　第七百三十二款　第七百三十三款　第七百三十四款　第七百三十五款　第七百三十六款　第七百三十七款　第七百三十八款　第七百三十九款　第七百四十款　第七百四十一款　第七百四十二款　第七百四十三款　第七百四十四款　第七百四十五款　第七百四十六款　第七百四十七款　第七百四十八款　第七百四十九款　第七百五十款　第七百五十一款　第七百五十二款　第七百五十三款　第七百五十四款　第七百五十五款　第七百五十六款　第七百五十七款　第七百五十八款　第七百五十九款　第七百六十款　第七百六十一款　第七百六十二款　第七百六十三款　第七百六十四款　第七百六十五款　第七百六十六款　第七百六十七款　第七百六十八款　第七百六十九款　第七百七十款　第七百七十一款　第七百七十二款　第七百七十三款　第七百七十四款　第七百七十五款　第七百七十六款　第七百七十七款　第七百七十八款　第七百七十九款　第七百八十款　第七百八十一款　第七百八十二款　第七百八十三款　第七百八十四款　第七百八十五款　第七百八十六款　第七百八十七款　第七百八十八款　第七百八十九款　第七百九十款　第七百九十一款　第七百九十二款　第七百九十三款　第七百九十四款　第七百九十五款　第七百九十六款　第七百九十七款　第七百九十八款　第七百九十九款　第八百款　第八百一款　第八百二款　第八百三款　第八百四款　第八百五款　第八百六款　第八百七款　第八百八款　第八百九款　第八百十款　第八百十一款　第八百十二款　第八百十三款　第八百十四款　第八百十五款　第八百十六款　第八百十七款　第八百十八款　第八百十九款　第八百二十款　第八百二十一款　第八百二十二款　第八百二十三款　第八百二十四款　第八百二十五款　第八百二十六款　第八百二十七款　第八百二十八款　第八百二十九款　第八百三十款　第八百三十一款　第八百三十二款　第八百三十三款　第八百三十四款　第八百三十五款　第八百三十六款　第八百三十七款　第八百三十八款　第八百三十九款　第八百四十款　第八百四十一款　第八百四十二款　第八百四十三款　第八百四十四款　第八百四十五款　第八百四十六款　第八百四十七款　第八百四十八款　第八百四十九款　第八百五十款　第八百五十一款　第八百五十二款　第八百五十三款　第八百五十四款　第八百五十五款　第八百五十六款　第八百五十七款　第八百五十八款　第八百五十九款　第八百六十款　第八百六十一款　第八百六十二款　第八百六十三款　第八百六十四款　第八百六十五款　第八百六十六款　第八百六十七款　第八百六十八款　第八百六十九款　第八百七十款　第八百七十一款　第八百七十二款　第八百七十三款　第八百七十四款　第八百七十五款　第八百七十六款　第八百七十七款　第八百七十八款　第八百七十九款　第八百八十款　第八百八十一款　第八百八十二款　第八百八十三款　第八百八十四款　第八百八十五款　第八百八十六款　第八百八十七款　第八百八十八款　第八百八十九款　第八百九十款　第八百九十一款　第八百九十二款　第八百九十三款　第八百九十四款　第八百九十五款　第八百九十六款　第八百九十七款　第八百九十八款　第八百九十九款　第九百款　第九百一款　第九百二款　第九百三款　第九百四款　第九百五款　第九百六款　第九百七款　第九百八款　第九百九款　第九百十款　第九百十一款　第九百十二款　第九百十三款　第九百十四款　第九百十五款　第九百十六款　第九百十七款　第九百十八款　第九百十九款　第九百二十款　第九百二十一款　第九百二十二款　第九百二十三款　第九百二十四款　第九百二十五款　第九百二十六款　第九百二十七款　第九百二十八款　第九百二十九款　第九百三十款　第九百三十一款　第九百三十二款　第九百三十三款　第九百三十四款　第九百三十五款　第九百三十六款　第九百三十七款　第九百三十八款　第九百三十九款　第九百四十款　第九百四十一款　第九百四十二款　第九百四十三款　第九百四十四款　第九百四十五款　第九百四十六款　第九百四十七款　第九百四十八款　第九百四十九款　第九百五十款　第九百五十一款　第九百五十二款　第九百五十三款　第九百五十四款　第九百五十五款　第九百五十六款　第九百五十七款　第九百五十八款　第九百五十九款　第九百六十款　第九百六十一款　第九百六十二款　第九百六十三款　第九百六十四款　第九百六十五款　第九百六十六款　第九百六十七款　第九百六十八款　第九百六十九款　第九百七十款　第九百七十一款　第九百七十二款　第九百七十三款　第九百七十四款　第九百七十五款　第九百七十六款　第九百七十七款　第九百七十八款　第九百七十九款　第九百八十款　第九百八十一款　第九百八十二款　第九百八十三款　第九百八十四款　第九百八十五款　第九百八十六款　第九百八十七款　第九百八十八款　第九百八十九款　第九百九十款　第九百九十一款　第九百九十二款　第九百九十三款　第九百九十四款　第九百九十五款　第九百九十六款　第九百九十七款　第九百九十八款　第九百九十九款　第一千款　第一千一款　第一千二款　第一千三款　第一千四款　第一千五款　第一千六款　第一千七款　第一千八款　第一千九款　第一千十款　第一千十一款　第一千十二款　第一千十三款　第一千十四款　第一千十五款　第一千十六款　第一千十七款　第一千十八款　第一千十九款　第一千二十款　第一千二十一款　第一千二十二款　第一千二十三款　第一千二十四款　第一千二十五款　第一千二十六款　第一千二十七款　第一千二十八款　第一千二十九款　第一千三十款　第一千三十一款　第一千三十二款　第一千三十三款　第一千三十四款　第一千三十五款　第一千三十六款　第一千三十七款　第一千三十八款　第一千三十九款　第一千四十款　第一千四十一款　第一千四十二款　第一千四十三款　第一千四十四款　第一千四十五款　第一千四十六款　第一千四十七款　第一千四十八款　第一千四十九款　第一千五十款　第一千五十一款　第一千五十二款　第一千五十三款　第一千五十四款　第一千五十五款　第一千五十六款　第一千五十七款　第一千五十八款　第一千五十九款　第一千六十款　第一千六十一款　第一千六十二款　第一千六十三款　第一千六十四款　第一千六十五款　第一千六十六款　第一千六十七款　第一千六十八款　第一千六十九款　第一千七十款　第一千七十一款　第一千七十二款　第一千七十三款　第一千七十四款　第一千七十五款　第一千七十六款　第一千七十七款　第一千七十八款　第一千七十九款　第一千八十款　第一千八十一款　第一千八十二款　第一千八十三款　第一千八十四款　第一千八十五款　第一千八十六款　第一千八十七款　第一千八十八款　第一千八十九款　第一千九十款　第一千九十一款　第一千九十二款　第一千九十三款　第一千九十四款　第一千九十五款　第一千九十六款　第一千九十七款　第一千九十八款　第一千九十九款　第一千百款　第一千百一款　第一千百二款　第一千百三款　第一千百四款　第一千百五款　第一千百六款　第一千百七款　第一千百八款　第一千百九款　第一千百十款　第一千百十一款　第一千百十二款　第一千百十三款　第一千百十四款　第一千百十五款　第一千百十六款　第一千百十七款　第一千百十八款　第一千百十九款　第一千百二十款　第一千百二十一款　第一千百二十二款　第一千百二十三款　第一千百二十四款　第一千百二十五款　第一千百二十六款　第一千百二十七款　第一千百二十八款　第一千百二十九款　第一千百三十款　第一千百三十一款　第一千百三十二款　第一千百三十三款　第一千百三十四款　第一千百三十五款　第一千百三十六款　第一千百三十七款　第一千百三十八款　第一千百三十九款　第一千百四十款　第一千百四十一款　第一千百四十二款　第一千百四十三款　第一千百四十四款　第一千百四十五款　第一千百四十六款　第一千百四十七款　第一千百四十八款　第一千百四十九款　第一千百五十款　第一千百五十一款　第一千百五十二款　第一千百五十三款　第一千百五十四款　第一千百五十五款　第一千百五十六款　第一千百五十七款　第一千百五十八款　第一千百五十九款　第一千百六十款　第一千百六十一款　第一千百六十二款　第一千百六十三款　第一千百六十四款　第一千百六十五款　第一千百六十六款　第一千百六十七款　第一千百六十八款　第一千百六十九款　第一千百七十款　第一千百七十一款　第一千百七十二款　第一千百七十三款　第一千百七十四款　第一千百七十五款　第一千百七十六款　第一千百七十七款　第一千百七十八款　第一千百七十九款　第一千百八十款　第一千百八十一款　第一千百八十二款　第一千百八十三款　第一千百八十四款　第一千百八十五款　第一千百八十六款　第一千百八十七款　第一千百八十八款　第一千百八十九款　第一千百九十款　第一千百九十一款　第一千百九十二款　第一千百九十三款　第一千百九十四款　第一千百九十五款　第一千百九十六款　第一千百九十七款　第一千百九十八款　第一千百九十九款　第一千二百款　第一千二百一款　第一千二百二款　第一千二百三款　第一千二百四款　第一千二百五款　第一千二百六款　第一千二百七款　第一千二百八款　第一千二百九款　第一千二百十款　第一千二百十一款　第一千二百十二款　第一千二百十三款　第一千二百十四款　第一千二百十五款　第一千二百十六款　第一千二百十七款　第一千二百十八款　第一千二百十九款　第一千二百二十款　第一千二百二十一款　第一千二百二十二款　第一千二百二十三款　第一千二百二十四款　第一千二百二十五款　第一千二百二十六款　第一千二百二十七款　第一千二百二十八款　第一千二百二十九款　第一千二百三十款　第一千二百三十一款　第一千二百三十二款　第一千二百三十三款　第一千二百三十四款　第一千二百三十五款　第一千二百三十六款　第一千二百三十七款　第一千二百三十八款　第一千二百三十九款　第一千二百四十款　第一千二百四十一款　第一千二百四十二款　第一千二百四十三款　第一千二百四十四款　第一千二百四十五款　第一千二百四十六款　第一千二百四十七款　第一千二百四十八款　第一千二百四十九款　第一千二百五十款　第一千二百五十一款　第一千二百五十二款　第一千二百五十三款　第一千二百五十四款　第一千二百五十五款　第一千二百五十六款　第一千二百五十七款　第一千二百五十八款　第一千二百五十九款　第一千二百六十款　第一千二百六十一款　第一千二百六十二款　第一千二百六十三款　第一千二百六十四款　第一千二百六十五款　第一千二百六十六款　第一千二百六十七款　第一千二百六十八款　第一千二百六十九款　第一千二百七十款　第一千二百七十一款　第一千二百七十二款　第一千二百七十三款　第一千二百七十四款　第一千二百七十五款　第一千二百七十六款　第一千二百七十七款　第一千二百七十八款　第一千二百七十九款　第一千二百八十款　第一千二百八十一款　第一千二百八十二款　第一千二百八十三款　第一千二百八十四款　第一千二百八十五款　第一千二百八十六款　第一千二百八十七款　第一千二百八十八款　第一千二百八十九款　第一千二百九十款　第一千二百九十一款　第一千二百九十二款　第一千二百九十三款　第一千二百九十四款　第一千二百九十五款　第一千二百九十六款　第一千二百九十七款　第一千二百九十八款　第一千二百九十九款　第一千三百款　第一千三百一款　第一千三百二款　第一千三百三款　第一千三百四款　第一千三百五款　第一千三百六款　第一千三百七款　第一千三百八款　第一千三百九款　第一千三百十款　第一千三百十一款　第一千三百十二款　第一千三百十三款　第一千三百十四款　第一千三百十五款　第一千三百十六款　第一千三百十七款　第一千三百十八款　第一千三百十九款　第一千三百二十款　第一千三百二十一款　第一千三百二十二款　第一千三百二十三款　第一千三百二十四款　第一千三百二十五款　第一千三百二十六款　第一千三百二十七款　第一千三百二十八款　第一千三百二十九款　第一千三百三十款　第一千三百三十一款　第一千三百三十二款　第一千三百三十三款　第一千三百三十四款　第一千三百三十五款　第一千三百三十六款　第一千三百三十七款　第一千三百三十八款　第一千三百三十九款　第一千三百四十款　第一千三百四十一款　第一千三百四十二款　第一千三百四十三款　第一千三百四十四款　第一千三百四十五款　第一千三百四十六款　第一千三百四十七款　第一千三百四十八款　第一千三百四十九款　第一千三百五十款　第一千三百五十一款　第一千三百五十二款　第一千三百五十三款　第一千三百五十四款　第一千三百五十五款　第一千三百五十六款　第一千三百五十七款　第一千三百五十八款　第一千三百五十九款　第一千三百六十款　第一千三百六十一款　第一千三百六十二款　第一千三百六十三款　第一千三百六十四款　第一千三百六十五款　第一千三百六十六款　第一千三百六十七款　第一千三百六十八款　第一千三百六十九款　第一千三百七十款　第一千三百七十一款　第一千三百七十二款　第一千三百七十三款　第一千三百七十四款　第一千三百七十五款　第一千三百七十六款　第一千三百七十七款　第一千三百七十八款　第一千三百七十九款　第一千三百八十款　第一千三百八十一款　第一千三百八十二款　第一千三百八十三款　第一千三百八十四款　第一千三百八十五款　第一千三百八十六款　第一千三百八十七款　第一千三百八十八款　第一千三百八十九款　第一千三百九十款　第一千三百九十一款　第一千三百九十二款　第一千三百九十三款　第一千三百九十四款　第一千三百九十五款　第一千三百九十六款　第一千三百九十七款　第一千三百九十八款　第一千三百九十九款　第一千四百款　第一千四百一款　第一千四百二款　第一千四百三款　第一千四百四款　第一千四百五款　第一千四百六款　第一千四百七款　第一千四百八款　第一千四百九款　第一千四百十款　第一千四百十一款　第一千四百十二款　第一千四百十三款　第一千四百十四款　第一千四百十五款　第一千四百十六款　第一千四百十七款　第一千四百十八款　第一千四百十九款　第一千四百二十款　第一千四百二十一款　第一千四百二十二款　第一千四百二十三款　第一千四百二十四款　第一千四百二十五款　第一千四百二十六款　第一千四百二十七款　第一千四百二十八款　第一千四百二十九款　第一千四百三十款　第一千四百三十一款　第一千四百三十二款　第一千四百三十三款　第一千四百三十四款　第一千四百三十五款　第一千四百三十六款　第一千四百三十七款　第一千四百三十八款　第一千四百三十九款　第一千四百四十款　第一千四百四十一款　第一千四百四十二款　第一千四百四十三款　第一千四百四十四款　第一千四百四十五款　第一千四百四十六款　第一千四百四十七款　第一千四百四十八款　第一千四百四十九款　第一千四百五十款　第一千四百五十一款　第一千四百五十二款　第一千四百五十三款　第一千四百五十四款　第一千四百五十五款　第一千四百五十六款　第一千四百五十七款　第一千四百五十八款　第一千四百五十九款　第一千四百六十款　第一千四百六十一款　第一千四百六十二款　第一千四百六十三款　第一千四百六十四款　第一千四百六十五款　第一千四百六十六款　第一千四百六十七款　第一千四百六十八款　第一千四百六十九款　第一千四百七十款　第一千四百七十一款　第一千四百七十二款　第一千四百七十三款　第一千四百七十四款　第一千四百七十五款　第一千四百七十六款　第一千四百七十七款　第一千四百七十八款　第一千四百七十九款　第一千四百八十款　第一千四百八十一款　第一千四百八十二款　第一千四百八十三款　第一千四百八十四款　第一千四百八十五款　第一千四百八十六款　第一千四百八十七款　第一千四百八十八款　第一千四百八十九款　第一千四百九十款　第一千四百九十一款　第一千四百九十二款　第一千四百九十三款　第一千四百九十四款　第一千四百九十五款　第一千四百九十六款　第一千四百九十七款　第一千四百九十八款　第一千四百九十九款　第一千五百款　第一千五百一款　第一千五百二款　第一千五百三款　第一千五百四款　第一千五百五款　第一千五百六款　第一千五百七款　第一千五百八款　第一千五百九款　第一千五百十款　第一千五百十一款　第一千五百十二款　第一千五百十三款　第一千五百十四款　第一千五百十五款　第一千五百十六款　第一千五百十七款　第一千五百十八款　第一千五百十九款　第一千五百二十款　第一千五百二十一款　第一千五百二十二款　第一千五百二十三款　第一千五百二十四款　第一千五百二十五款　第一千五百二十六款　第一千五百二十七款　第一千五百二十八款　第一千五百二十九款　第一千五百三十款　第一千五百三十一款　第一千五百三十二款　第一千五百三十三款　第一千五百三十四款　第一千五百三十五款　第一千五百三十六款　第一千五百三十七款　第一千五百三十八款　第一千五百三十九款　第一千五百四十款　第一千五百四十一款　第一千五百四十二款　第一千五百四十三款　第一千五百四十四款　第一千五百四十五款　第一千五百四十六款　第一千五百四十七款　第一千五百四十八款　第一千五百四十九款　第一千五百五十款　第一千五百五十一款　第一千五百五十二款　第一千五百五十三款　第一千五百五十四款　第一千五百五十五款　第一千五百五十六款　第一千五百五十七款　第一千五百五十八款　第一千五百五十九款　第一千五百六十款　第一千五百六十一款　第一千五百六十二款　第一千五百六十三款　第一千五百六十四款　第一千五百六十五款　第一千五百六十六款　第一千五百六十七款　第一千五百六十八款　第一千五百六十九款　第一千五百七十款　第一千五百七十一款　第一千五百七十二款　第一千五百七十三款　第一千五百七十四款　第一千五百七十五款　第一千五百七十六款　第一千五百七十七款　第一千五百七十八款　第一千五百七十九款　第一千五百八十款　第一千五百八十一款　第一千五百八十二款　第一千五百八十三款　第一千五百八十四款　第一千五百八十五款　第一千五百八十六款　第一千五百八十七款　第一千五百八十八款　第一千五百八十九款　第一千五百九十款　第一千五百九十一款　第一千五百九十二款　第一千五百九十三款　第一千五百九十四款　第一千五百九十五款　第一千五百九十六款　第一千五百九十七款　第一千五百九十八款　第一千五百九十九款　第一千六百款　第一千六百一款　第一千六百二款　第一千六百三款　第一千六百四款　第一千六百五款　第一千六百六款　第一千六百七款　第一千六百八款　第一千六百九款　第一千六百十款　第一千六百十一款　第一千六百十二款　第一千六百十三款　第一千六百十四款　第一千六百十五款　第一千六百十六款　第一千六百十七款　第一千六百十八款　第一千六百十九款　第一千六百二十款　第一千六百二十一款　第一千六百二十二款　第一千六百二十三款　第一千六百二十四款　第一千六百二十五款　第一千六百二十六款　第一千六百二十七款　第一千六百二十八款　第一千六百二十九款　第一千六百三十款　第一千六百三十一款　第一千六百三十二款　第一千六百三十三款　第一千六百三十四款　第一千六百三十五款　第一千六百三十六款　第一千六百三十七款　第一千六百三十八款　第一千六百三十九款　第一千六百四十款　第一千六百四十一款　第一千六百四十二款　第一千六百四十三款　第一千六百四十四款　第一千六百四十五款　第一千六百四十六款　第一千六百四十七款　第一千六百四十八款　第一千六百四十九款　第一千六百五十款　第一千六百五十一款　第一千六百五十二款　第一千六百五十三款　第一千六百五十四款　第一千六百五十五款　第一千六百五十六款　第一千六百五十七款　第一千六百五十八款　第一千六百五十九款　第一千六百六十款　第一千六百六十一款　第一千六百六十二款　第一千六百六十三款　第一千六百六十四款　第一千六百六十五款　第一千六百六十六款　第一千六百六十七款　第一千六百六十八款　第一千六百六十九款　第一千六百七十款　第一千六百七十一款　第一千六百七十二款　第一千六百七十三款　第一千六百七十四款　第一千六百七十五款　第一千六百七十六款　第一千六百七十七款　第一千六百七十八款　第一千六百七十九款　第一千六百八十款　第一千六百八十一款　第一千六百八十二款　第一千六百八十三款　第一千六百八十四款　第一千六百八十五款　第一千六百八十六款　第一千六百八十七款　第一千六百八十八款　第一千六百八十九款　第一千六百九十款　第一千六百九十一款　第一千六百九十二款　第一千六百九十三款　第一千六百九十四款　第一千六百九十五款　第一千六百九十六款　第一千六百九十七款　第一千六百九十八款　第一千六百九十九款　第一千七百款　第一千七百一款　第一千七百二款　第一千七百三款　第一千七百四款　第一千七百五款　第一千七百六款　第一千七百七款　第一千七百八款　第一千七百九款　第一千七百十款　第一千七百十一款　第一千七百十二款　第一千七百十三款　第一千七百十四款　第一千七百十五款　第一千七百十六款　第一千七百十七款　第一千七百十八款　第一千七百十九款　第一千七百二十款　第一千七百二十一款　第一千七百二十二款　第一千七百二十三款　第一千七百二十四款　第一千七百二十五款　第一千七百二十六款　第一千七百二十七款　第一千七百二十八款　第一千七百二十九款　第一千七百三十款　第一千七百三十一款　第一千七百三十二款　第一千七百三十三款　第一千七百三十四款　第一千七百三十五款　第一千七百三十六款　第一千七百三十七款　第一千七百三十八款　第一千七百三十九款　第一千七百四十款　第一千七百四十一款　第一千七百四十二款　第一千七百四十三款　第一千七百四十四款　第一千七百四十五款　第一千七百四十六款　第一千七百四十七款　第一千七百四十八款　第一千七百四十九款　第一千七百五十款　第一千七百五十一款　第一千七百五十二款　第一千七百五十三款　第一千七百五十四款　第一千七百五十五款　第一千七百五十六款　第一千七百五十七款　第一千七百五十八款　第一千七百五十九款　第一千七百六十款　第一千七百六十一款　第一千七百六十二款　第一千七百六十三款　第一千七百六十四款　第一千七百六十五款　第一千七百六十六款　第一千七百六十七款　第一千七百六十八款　第一千七百六十九款　第一千七百七十款　第一千七百七十一款　第一千七百七十二款　第一千七百七十三款　第一千七百七十四款　第一千七百七十五款　第一千七百七十六款　第一千七百七十七款　第一千七百七十八款　第一千七百七十九款　第一千七百八十款　第一千七百八十一款　第一千七百八十二款　第一千七百八十三款　第一千七百八十四款　第一千七百八十五款　第一千七百八十六款　第一千七百八十七款　第一千七百八十八款　第一千七百八十九款　第一千七百九十款　第一千七百九十一款　第一千七百九十二款　第一千七百九十三款　第一千七百九十四款　第一千七百九十五款　第一千七百九十六款　第一千七百九十七款　第一千七百九十八款　第一千七百九十九款　第一千八百款　第一千八百一款　第一千八百二款　第一千八百三款　第一千八百四款　第一千八百五款　第一千八百六款　第一千八百七款　第一千八百八款　第一千八百九款　第一千八百十款　第一千八百十一款　第一千八百十二款　第一千八百十三款　第一千八百十四款　第一千八百十五款　第一千八百十六款　第一千八百十七款　第一千八百十八款　第一千八百十九款　第一千八百二十款　第一千八百二十一款　第一千八百二十二款　第一千八百二十三款　第一千八百二十四款　第一千八百二十五款　第一千八百二十六款　第一千八百二十七款　第一千八百二十八款　第一千八百二十九款　第一千八百三十款　第一千八百三十一款　第一千八百三十二款　第一千八百三十三款　第一千八百三十四款　第一千八百三十五款　第一千八百三十六款　第一千八百三十七款　第一千八百三十八款　第一千八百三十九款　第一千八百四十款　第一千八百四十一款　第一千八百四十二款　第一千八百四十三款　第一千八百四十四款　第一千八百四十五款　第一千八百四十六款　第一千八百四十七款　第一千八百四十八款　第一千八百四十九款　第一千八百五十款　第一千八百五十一款　第一千八百五十二款　第一千八百五十三款　第一千八百五十四款　第一千八百五十五款　第一千八百五十六款　第一千八百五十七款　第一千八百五十八款　第一千八百五十九款　第一千八百六十款　第一千八百六十一款　第一千八百六十二款　第一千八百六十三款　第一千八百六十四款　第一千八百六十五款　第一千八百六十六款　第一千八百六十七款　第一千八百六十八款　第一千八百六十九款　第一千八百七十款　第一千八百七十一款　第一千八百七十二款　第一千八百七十三款　第一千八百七十四款　第一千八百七十五款　第一千八百七十六款　第一千八百七十七款　第一千八百七十八款　第一千八百七十九款　第一千八百八十款　第一千八百八十一款　第一千八百八十二款　第一千八百八十三款　第一千八百八十四款　第一千八百八十五款　第一千八百八十六款　第一千八百八十七款　第一千八百八十八款　第一千八百八十九款　第一千八百九十款　第一千八百九十一款　第一千八百九十二款　第一千八百九十三款　第一千八百九十四款　第一千八百九十五款　第一千八百九十六款　第一千八百九十七款　第一千八百九十八款　第一千八百九十九款　第一千九百款　第一千九百一款　第一千九百二款　第一千九百三款　第一千九百四款　第一千九百五款　第一千九百六款　第一千九百七款　第一千九百八款　第一千九百九款　第一千九百十款　第一千九百十一款　第一千九百十二款　第一千九百十三款　第一千九百十四款　第一千九百十五款　第一千九百十六款　第一千九百十七款　第一千九百十八款　第一千九百十九款　第一千九百二十款　第一千九百二十一款　第一千九百二十二款　第一千九百二十三款　第一千九百二十四款　第一千九百二十五款　第一千九百二十六款　第一千九百二十七款　第一千九百二十八款　第一千九百二十九款　第一千九百三十款　第一千九百三十一款　第一千九百三十二款　第一千九百三十三款　第一千九百三十四款　第一千九百三十五款　第一千九百三十六款

組織ニ關スル規則附屬
（第五條）
第一號樣式

國
名稱
(1)

千九百十——年
輸出入品表
特別貿易

輸入

商品			共通品目	
統計番號 (2)	品名 (3)		類 (4)	項目番號 (5)

	數 (6)	重量		價額		摘要
		(7)	百キログラム (8)	(9)	法 (10)	
輸入總計						

輸出

商品			共通品目	
統計番號 (2)	(※) 品名 (3)		類 (4)	項目番號 (5)

	數 (6)	重量		價額		摘要
		(7)	百キログラム (8)	(9)	法 (10)	
輸出總計						

（※）輸出品名カ輸入品名ト同シカラサル場合ニ限リ記入スルコト
（1）本表統計報告ヲ供給スル國ノ名稱ヲ記入スルコト
（2）本表統計報告ヲ供給スル國ノ外國貿易表ニ於テ其ノ商品ニ附シタル統計番號
（3）本表統計報告ヲ供給スル國ノ外國貿易表ニ揭ケル名稱
（4）本表ニ揭記スル商品ノ屬スル共通品目ノ類ヲ數字ニテ指示スルコト
（5）本表ニ揭記スル商品ノ屬スル共通品目ノ項目ノ番號ヲ數字ニテ指示スルコト但シ共通品目ノ何レノ項目ニモ分類スヘカラサル商品ニ付テハ各類中分類シアラサル卽チ特殊ノ項目ヲ有セサル商品ニ對スル項目ノ番號ヲ指示スルコト
（6）第一類（活キタル動物）ニ付テノミ記入スルコト　但シ第七項（其ノ他ノ生キタル動物）ヲ除ク
（7）重量ノ單位キログラムニ依ラサル國ノミ記入スルコト此ノ場合ニ於テハ其ノ單位ヲ本欄ノ上部ニ指示スルコト
（8）重量ノ單位キログラムニ依ル國ノミ記入スルコト
（9）價額ノ單位法ニ非サル國ノミ記入スルコト此ノ場合ニ於テハ其ノ單位ヲ本欄ノ上部ニ指示シ且金銀又ハ紙幣ノ何レノ價額ニ依ルカヲ明ニスルコト
（10）價額ノ單位法ナル國ノミ記入スルコト

組織ニ關スル規則附屬
（第五條）
第二號樣式

國
名稱　人口
住民
(1)　調査時日

千九百十……年
輸出入總計表
特別貿易

輸入總計				輸出總計			
重量		價額		重量		價額	
	百キログラム		法		百キログラム		法
(2)	(3)	(4)	(5)	(2)	(3)	(4)	(5)

（1）本表統計報告ヲ供給スル國ノ名稱ヲ記入スルコト
（2）重量ノ單位キログラムニ依ラサル國ノミ記入スルコト此ノ場合ニ於テハ其ノ單位ヲ本欄ノ上部ニ指示スルコト
（3）重量ノ單位キログラムニ依ル國ノミ記入スルコト
（4）價額ノ單位法ニ非サル國ノミ記入スルコト此ノ場合ニ於テハ其ノ單位ヲ本欄ノ上部ニ指示シ且金銀又ハ紙幣ノ何レノ價額ニ依ルカヲ明ニスルコト
（5）價額ノ單位法ナル國ノミ記入スルコト

第一表

共通品目五類別ニ依ル輸出入品一覧表

特別貿易

千九百十……年

輸入

國	類 I 活キタル動物 重量 噸	類 I 活キタル動物 價額 千法	類 II 飲食物 重量 噸	類 II 飲食物 價額 千法	類 III 未製品又ハ粗製ナルモノ及ハ加工ヲ要スルモノ 重量 噸	類 III 未製品又ハ粗製ナルモノ及ハ加工ヲ要スルモノ 價額 千法	類 IV 製品 重量 噸	類 IV 製品 價額 千法	類 V 加工セサル金銀貨及地金 重量 噸	類 V 加工セサル金銀貨及地金 價額 千法	計 重量 噸	計 價額 千法
1.												
2.												
3.												
4.												
5.												
6.												
7.												
8.												
9.												
10.												
11.												
12.												
13.												
14.												
15.												
16.												
17.												
18.												
19.												
20.												
21.												
22.												
23.												
24.												
25.												
26.												
27.												
28.												
29.												
30.												
31.												
32.												
33.												
34.												
35.												
36.												
37.												
38.												
39.												
40.												

輸出

國	類 I 活キタル動物 重量 噸	類 I 活キタル動物 價額 千法	類 II 飲食物 重量 噸	類 II 飲食物 價額 千法	類 III 未製品又ハ粗製ナルモノ及ハ加工ヲ要スルモノ 重量 噸	類 III 未製品又ハ粗製ナルモノ及ハ加工ヲ要スルモノ 價額 千法	類 IV 製品 重量 噸	類 IV 製品 價額 千法	類 V 加工セサル金銀貨及地金 重量 噸	類 V 加工セサル金銀貨及地金 價額 千法	計 重量 噸	計 價額 千法
1.												
2.												
3.												
4.												
5.												
6.												
7.												
8.												
9.												
10.												
11.												
12.												
13.												
14.												
15.												
16.												
17.												
18.												
19.												
20.												
21.												
22.												
23.												
24.												
25.												
26.												
27.												
28.												
29.												
30.												
31.												
32.												
33.												
34.												
35.												
36.												
37.												
38.												
39.												
40.												

附則ニ關スル提ニ綴組
（第三條）

第一表

共通品目五類別ニ依ル輸出入品一覧表

特別貿易

千九百十……年

第二表

共通品目百八十六項目ニ依ル輸出入品品別表

特別貿易

千九百十……年

1 活キタル動物——1 馬類

國	輸入 重量 噸	輸入 價額 千法	輸出 重量 噸	輸出 價額 千法
1.				
2.				
3.				
4.				
5.				
6.				
7.				
8.				
9.				
10.				
11.				
12.				
13.				
14.				
15.				
16.				
17.				
18.				
19.				
20.				
21.				
22.				
23.				
24.				
25.				
26.				
27.				
28.				
29.				
30.				
31.				
32.				
33.				
34.				
35.				
36.				
37.				
38.				
39.				
40.				

1 活キタル動物——2 牛類

國	輸入 重量 噸	輸入 價額 千法	輸出 重量 噸	輸出 價額 千法
1.				
2.				
3.				
4.				
5.				
6.				
7.				
8.				
9.				
10.				
11.				
12.				
13.				
14.				
15.				
16.				
17.				
18.				
19.				
20.				
21.				
22.				
23.				
24.				
25.				
26.				
27.				
28.				
29.				
30.				
31.				
32.				
33.				
34.				
35.				
36.				
37.				
38.				
39.				
40.				

1 活キタル動物——3 綿羊類

國	輸入 重量 噸	輸入 價額 千法	輸出 重量 噸	輸出 價額 千法
1.				
2.				
3.				
4.				
5.				
6.				
7.				
8.				
9.				
10.				
11.				
12.				
13.				
14.				
15.				
16.				
17.				
18.				
19.				
20.				
21.				
22.				
23.				
24.				
25.				
26.				
27.				
28.				
29.				
30.				
31.				
32.				
33.				
34.				
35.				
36.				
37.				
38.				
39.				
40.				

1 活キタル動物——4 山羊類

國	輸入 重量 噸	輸入 價額 千法	輸出 重量 噸	輸出 價額 千法
1.				
2.				
3.				
4.				
5.				
6.				
7.				
8.				
9.				
10.				
11.				
12.				
13.				
14.				
15.				
16.				
17.				
18.				
19.				
20.				
21.				
22.				
23.				
24.				
25.				
26.				
27.				
28.				
29.				
30.				
31.				
32.				
33.				
34.				
35.				
36.				
37.				
38.				
39.				
40.				

第二表

共通品目百八十六項目ニ依ル輸出入品品別表

特別貿易

千九百十……年

第三表

共通品目百八十六項目ニ依ル

輸出入品國別表

特別貿易

千九百十……年

商品	輸入 重量 噸	輸入 重量 千法	輸入 價額	輸出 重量 噸	輸出 重量 千法	輸出 價額
邊						
III—未製品又ハ簡單ナル加工ヲ爲シタル物品						
50 生、鹽漬及單ニタンニンシタル獸皮竝生ノ毛皮						
51 象牙						
52 骨及コルニヨン						
53 肥料(化學肥料ヲ含ム)						
54 毛及羽毛						
55 生活力ヲ有スル植物及天然ノ花						
56 軟穀物及飼料(飼料用甜菜ヲ含ム)						
57 穀及糠						
58 油糟						
59 ホップ						
60 製糖用甜菜						
61 種子						
62 カウチュウク						
63 樹脂、護謨及植物蠟						
64 煙草						
65 各種木材(撓キタルモノヲ含ム)						
66 木炭						
67 染色用木材、鞣皮用樹皮及其ノ他ノ染色用又ハ鞣皮用材料						
68 木製パルプ						
鑛						
69 銅鑛						
70 鐵鑛						
71 鉛鑛(含銀鑛ヲ含ム)						
72 亞鉛鑛						
73 滿俺鑛						
74 錫鑛						
75 其ノ他						
卑金屬						
76 アルミニウム						
77 銅						
78 錫						
79 鐵及鋼						
80 ニッケル						
81 鉛						
82 亞鉛						
83 其ノ他						
84 加工セス又ハ單ニ切リタルノミニシテ嵌作セサル貴石及半貴石(瑠璃及眞珠ヲ含ム)						
85 大理石及アラバスター						
86 其ノ他ノ石						
87 礦油及其ノ誘導物						
88 石炭(コークス及磚炭ヲ含ム)						
89 石灰						
90 セメント						
91 硫黄						
織物材料						
92 軟毛						
93 繭、生絲、眞綿及各種屑絲						
94 綿						
95 黄麻						
96 大麻及亞麻						
97 ラミー、ヘネケン及其ノ他ノ織物用纖維						
98 其ノ他ノ材料						
計						

商品	輸入 重量 噸	輸入 重量 千法	輸入 價額	輸出 重量 噸	輸出 重量 千法	輸出 價額
獨						
IV—製品						
99 澱粉						
100 石鹼						
101 蠟燭						
102 薫香類及コスメチック						
103 顏料、染料及ヴァニシュ						
104 化學製品(飲料ニ供セサル酒精ヲ含ム)						
105 調合藥						
106 葉卷煙草及紙卷煙草						
107 其ノ他ノ煙草(煙草莖屑ヲ含ム)						
108 調製又ハ加工シタル毛皮						
109 調製シタル獸皮						
110 革製ノ履物						
111 革製ノ手袋						
112 其ノ他ノ革製品						
絲						
113 毛絲						
114 絹絲又ハ人造絹絲						
115 綿絲						
116 黄麻絲						
117 大麻絲、亞麻絲、ラミー絲其ノ他ノ織物用纖維ノ絲						
118 綱索						
織物						
119 毛織物						
120 絹織物又ハ人造絹織物						
121 綿織物						
122 黄麻織物						
123 大麻、亞麻、ラミー其ノ他ノ織物用纖維ノ織物						
124 刺繍品、レース、パスマントリー及刺繍シタルチュール						
125 メリヤス製品						
126 裝飾シタル婦人帽						
127 其ノ他ノ各種ノ帽						
128 シヤツ、手巾、ナプキン、シーツ等洗濯シ得ヘキモノ						
129 婦人用衣服						
130 男子用衣服						
131 其ノ他ノ出來合品						
132 各種カウチュウク製品(カウチュウク製ノ履物、織物、衣服及各種タイヤーヲ含ム)						
133 木製家具(木製以外ノモノハ其ノ材料ニ從ヒ相當製品ノ項ニ屬セシム)						
134 其ノ他ノ木製品						
紙類						
135 壁紙						
136 其ノ他ノ紙及板紙(罫引シタル手帳ハ製品ト看做ス)						
137 紙製品及板紙製品						
138 書籍及彫刻シ又ハ印刷シタル樂譜						
139 其ノ他ノ印刷物						
140 大理石、石膏、セメント及石ノ製品						
141 陶磁製ニ非サル瓦、煉瓦、敷瓦及土管						
142 陶磁器						
143 其ノ他ノ窯業製品						
144 鏡						
145 電氣子						
146 硝子器(ホーローウェヤー)						

商品	輸入 重量 噸	輸入 重量 千法	輸入 價額	輸出 重量 噸	輸出 重量 千法	輸出 價額
邊						
IV—製品(續)						
147 其ノ他ノ硝子製品						
148 單ニ鍛ヒ引伸シ又ハ板ト爲シタル鐵及鋼						
149 其ノ他ノ鐵製品及鋼製品						
金屬製品						
150 アルミニウム製品						
151 銅製品						
152 錫製品						
153 ニッケル製品						
154 鉛製品						
155 亞鉛製品						
156 貴金屬製細貨類、金銀器及類似ノ貴金屬製品						
157 其ノ他ノ細貨類(金銀ニッケル等ヲ鍍シタルモノヲ含ム)						
158 機關車及機關車用炭水車						
159 ロコモビル						
160 電氣機械及電氣裝置						
161 發動機(機關車、ロコモビル及電氣機械ヲ除ク)汽罐、タービン、噴筒等						
162 マシンツール						
163 布帛、リボン等ノ製織、仕上、漂白、捺染及染色機械、カーヂングマシン、コーミングマシン、ハックリングマシン、スピンニングマシン、刺繍機械其ノ他ノ織物工業用諸機械						
164 手動又ハ足動ノ縫衣機、刺繍機及メリヤス機械						
165 砂糖ノ製造場及精製場用、蒸餾場用、酢製造場用、麥酒釀造場用竝麥芽製造場用諸機械						
166 農業機械						
167 其ノ他ノ機械及同部分品						
168 工匠具(手工用ノモノニ限リマシンツールヲ除ク)						
169 鐵道用及軌道用客車及貨車(各種ノ貨車及土工車ヲ含ム)						
170 自動車						
171 機關附自轉車其ノ他同種類ノ車輛						
172 自轉車						
173 其ノ他ノ各種ノ車輛(飛行機ヲ含ム)						
174 船舶						
175 樂器						
176 學術用器械及器具						
177 時計類及同部分品(懷中時計及同部分品ヲ含ム)						
178 兵器及彈藥						
179 火藥其ノ他ノ爆發物						
180 燐寸						
181 其ノ他ノ一切ノ製造品						
182 美術品、賞玩品、博物標本等						
計						
V—加工セサル金銀、金貨及銀貨						
183 加工セサル金(塊、粉、條及屑ヲ含ム)						
184 加工セサル銀(塊、粉、條及屑ヲ含ム)						
185 金貨						
186 銀貨						
計						
總計						

第三表

共通品目百八十六項目ニ依ル

輸出入品國別表

特別貿易

千九百十……年

●燐寸製造ニ於ケル黄燐使用ノ禁止ニ關スル國際條約

（大正十年十月二十九日　條約第五號）

脫稿密願間ノ諮詢ヲ經テ帝國ノ加入シタル西曆千九百六年九月二十六日「ベルヌ」ニ於テ署名セラレタル燐寸製造ニ於ケル黄燐使用ノ禁止ニ關スル國際條約ヲ玆ニ公布セシム

（內閣總理大臣兼外務大臣兼農商務大臣　男爵　牧野伸顯）

獨逸皇帝普魯西國皇帝陛下、丁抹國皇帝陛下、佛蘭西共和國大統領、伊太利國皇帝陛下、盧森堡國大公「ナッソー」公殿下、和蘭國皇帝陛下、瑞西聯邦政府ハ共通ノ規定ヲ採用シ以テ勞働者保護ノ發達ヲ容易ナラシメムコトヲ希望シ之カ爲燐寸製造業ニ於ケル白（黄）燐使用ニ關スル條約ヲ締結スルコトニ決定シ各左ノ全權委員ヲ任命セリ

獨逸皇帝普魯西國皇帝陛下

「ジァンベラン、エ、コンセイエー、アンティーム、アクチュエル」瑞西國駐劄特命全權公使「アルフレッド、ド、ピュロー」

帝國內務省局長「カスパル」

「コンセイエー、アンティーム、ジュベリウール、ド、グヴェルヌマン」普魯西國商工務省「コンセイエー、ラッポルトゥール」「フリック」

「コンセイエー、ド、レガシオン、アクチュエル」帝國外務省「コンセイエー、ラッポルトゥール」「エッカルト」

丁抹國皇帝陛下

內務省局長「ヘンリック、ヴェデル」

佛蘭西共和國大統領

瑞西國駐劄特命全權大使「ポール、レヴィオア」

商工勞務省勞働局長「アルテュール、フォンテーヌ」

伊太利國皇帝陛下

瑞西國駐劄特命全權公使伯爵「ロベルト、マイアーノ、ディ、ヴィラール、サン・マルコ」

農商務省勞働局長　教授「ジョヴァンニ、モンテマルティーニ」

盧森堡國大公「ナッソー」公殿下

「コンセイエー、デタ」「アンリー、ノイマン」

和蘭國皇帝陛下

「ジァンベラン」瑞西國駐劄　辨理公使伯爵「ド、レヒテレン、リンブルグ、アルメロ」

國會第一院議員「ドクトル、ルハウト」

瑞西聯邦政府

前聯邦國務大臣「エミール、フレー」

聯邦商工農務省工務部長「ドクトル、ブランツ、カウフマン」

前聯邦國務大臣　聯邦議會議員「アドリエン、ラシェナル」

國民議會議員「ジョセフ、ジョーピンダル」

國民議會議員「アンリー、ジェルレル」

瑞西紡織業組合長「ジョン、ジーツ」

右各員ハ其ノ全權委任狀ヲ示シタル良好妥當ナルヲ認メタル後左ノ如ク協定セリ

第一條

締約國ハ白（黄）燐ヲ含有スル燐寸ノ製造、輸入及販賣ヲ其ノ領土內ニ於テ禁止スルコトヲ約ス

第二條

各締約國ハ本條約ノ規定ノ屬行ヲ其ノ領土內ニ於テ確保スルニ付必要ナル行政上ノ措置ヲ執ルノ義務ヲ有ス

各國政府ハ本條約ノ事項ニ關スル法令及規則ニシテ自國內ニ於テ既ニ實施シ又ハ將來實施スルコトアルヘキモノ竝右法令及規則ノ適用ニ關スル報告ヲ外交上ノ手續ニ依リ相互ニ通知スヘシ

第三條

本條約ノ規定ノ殖民地、屬地又ハ保護國ニ適用アルヤ右ノ名ニ於テ本國政府カ其ノ旨瑞西聯邦政府ニ通告シタル場合ニ限ル

第四條

本條約ハ批准ヲ要ス批准書ハ遲クモ千九百八年十二月三十一日ニ瑞西聯邦政府ニ之ヲ寄託スヘシ

右寄託ニ付テハ調書ヲ作成スヘク其ノ認證謄本ハ外交上ノ手續ニ依リ各締約國ニ之ヲ交付スヘシ

本條約ハ寄託調書ノ閉鎖後三年ヲ經テ之ヲ實施スヘシ

第五條

本條約ニ署名セサル諸國ハ瑞西聯邦政府宛ノ書面ヲ以テ其ノ加入ヲ宣言スルコトヲ得該聯邦政府ハ他ノ各締約國ニ右ノ加入ヲ通知スヘシ

本條約ノ實施ニ關シ第四條ニ定ムル期間ハ署名セサル諸國ニ付テハ其ノ加入ノ通告ノ時ヨリ五年トス殖民地、屬地又ハ保護國ニ付亦同シ

第六條

本條約ハ署名國タルト後ニ加入シタル國、殖民地、屬地又ハ保護國タルトヲ問ハス批准書寄託調書ノ閉鎖後五年ノ期間滿了前ニ於テハ之ヲ廢棄スルコトヲ得

本條約ハ爾後何時タリトモ之ヲ廢棄スルコトヲ得

廢棄ハ當該政府ヨリ又ハ殖民地、屬地若ハ保護國ニ付テハ本國政府ヨリ書面ヲ以テ瑞西聯邦政府ニ之ヲ通告シタル時ヨリ一年後ニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス聯邦政府ハ他ノ各締約國ノ政府ニ直ニ之ヲ通知スヘキモノトス

廢棄ハ其ノ名ニ於テ通告アリタル國、殖民地、屬地又ハ保護國ニ關シテノミ效力ヲ生スヘシ

右證據トシテ各全權委員ハ本條約ニ署名ス

千九百六年九月二十六日「ベルヌ」ニ於テ本書一通ヲ作成シ之ヲ瑞西聯邦ノ記錄ニ寄託保存スル其ノ認證謄本ハ外交上ノ手續ニ依リ之ヲ各締約國ニ交付スヘシ

（署名）

（大正十年十月二十九日　外務省告示第三十六號）

大正十年十月十四日ヲ以テ在瑞西有吉公使ハ帝國政府ニ於テハ西曆千九百六年九月二十六日「ベルヌ」ニ於テ署名セラレタル燐寸製造ニ於ケル黄燐使用ノ禁止ニ關スル國際條約ニ加入スル旨瑞西聯邦政府宛通告ヲ了シタル趣ヲ以テ本日ヨリ實施ス

●阿弗利加ニ於ケル火酒類取締ニ關スル條約及附屬議定書

（大正十一年四月十八日　條約第二號）

脫稿密願間ノ諮詢ヲ經テ大正八年九月十日佛蘭西國サン、ジェルマン、アン、レーイニ於テ帝國全權委員ノ亞米利加合衆國、白耳義國、英帝國、佛蘭西國、伊太利國及葡萄牙國全權委員ト共ニ署名調印シタル阿弗利加ニ於ケル火酒類取締ニ關スル條約及附屬議定書ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム

（外務大臣　伯爵　內田康哉）

亞米利加合衆國、白耳義國、英帝國、佛蘭西國、伊太利國、日本國及葡萄牙國

此等諸國ハ其ノ施政ノ下ニ在ル阿弗利加各地ニ於テ酒精中毒ノ危險ヲ防止スルノ事業ヲ火酒類ニ漸次ニ高ムヘキ稅金ヲ課スルコトニ依リ遂行スルノ必要ナルコトヲ思ヒ尙蒸餾酒類ハ其ノ成分中ニ含有スル物質ノ性質ニ因リ又ハ其ノ貯藏ノ低廉ナル爲傳播ノ容易ナルコトニ因リ土著人民ニ特ニ危害ヲ與フルモノナルヲ以テ之カ輸入ヲ禁止スルノ必要ナルコトヲ思ヒ

終ニ火酒類ノ輸入ニ對シテ行フ防遏ハ之ト相竝ヒテ蒸溜酒類ノ製造ヲ嚴ニ取締ルニ非サレハ依然效果ナカルヘキコトヲ思ヒ

左ノ如ク其ノ全權委員ヲ任命セリ

亞米利加合衆國大統領

國務次官「フランク、ライオン、ポーク」

前伊太利國及佛蘭西國駐劄亞米利加合衆國特命全權大使「ヘンリー、ホワイト」

最高軍事會議亞米利加合衆國軍事代表者陸軍大將「タスカー、エッチ、ブリス」

白耳義國皇帝陛下

外務大臣　國務大臣「ポール、イーマンス」

特命全權公使國務大臣「ジュール、ヴァン、デン、ユーゲル」

司法大臣國務大臣「エミル、ヴァンデルヴェルド」

大不列顛愛蘭聯合王國及大不列顛海外領土皇

第四表

獨逸ヲ除ク外國貿易ニ於ケル各國順位表

特別貿易

千九百十……年

商品	輸入 重量	輸入 價額	輸出 重量	輸出 價額
	噸	千法	噸	千法
I—活キタル動物				
1 馬類				
2 牛類				
3 綿羊類				
4 山羊類				
5 豚類				
6 家禽類				
7 其ノ他ノ活キタル動物（活キタル魚類及甲殼類ヲ含マス）				
計				
II—飮食物				
8 鮮肉（冷藏肉ヲ含ム）				
9 死シタル家禽類及死シタル獵獲物				
10 調理シ又ハ貯藏シタル肉（貯藏シタル脂肉、家禽類、獵獲物ヲ含ム）				
11 食用脂類				
12 マルガリン及人造バター				
13 乳（コンデンスドミルク及乳粉ヲ含ム）				
14 バター				
15 チース				
16 カヴィヤー				
17 魚類甲殼類及貝類				
18 家禽野禽ノ卵				
19 蜂蜜				
20 小麥				
21 ライ麥				
22 大麥				
23 オート				
24 玉蜀黍				
25 其ノ他ノ穀類（スペルト竝ライ麥及小麥ノ混合物ヲ含ム）				
26 米				
27 穀粉				
28 其ノ他ノ製粉				
29 麥芽				
30 麵				
31 生蔬菜				
乾蔬菜				
32 豆類（莢ヲ去リ又ハ搗碎シタル等ノ豌豆、蠶豆、扁豆等）				
33 其ノ他				
34 馬鈴薯				
35 果實（乾果ヲ含ム）				
36 咖啡（炒リタルモノヲ含ム）				
37 未製ノコーコー				
38 調製シタルコーコー（チヨコレートヲ含ム）				
39 茶				
40 粗糖及精糖				
41 香味料（珠ニ胡椒、ピメント、サフラン、ヴァニラ及桂皮ヲ含ム）				
42 植物性油（食用ト否トヲ別タス但シエフセンシアル、オイルヲ除ク）				
43 食鹽				
44 其ノ他ノ食物（珠ニ植物性生產物ノ貯藏品ヲ含ム）				
45 葡萄酒				
46 麥酒				
47 酒精含有飮料（エスプリドヴェン、オードヴィ、リキュール等）				
48 水及天然又ハ人造ノ礦水、瓦斯ヲ含メルト否トヲ別タス				
49 其ノ他ノ飮料（シトロン汁及オレンジ汁、リモナード等）				
計				

第四表

表位順國各ケル於ニ易貿國外

特別貿易

千九百十……年

國	人口	特別貿易 計	特別貿易 輸出	特別貿易 輸入	千ニ付特別貿易額	順位 全部ニ付	順位 千ニ付（人口ニ對スル輸出ノモノ）
		千法	千法	千法	千法		

目次

日本國與佛蘭西國間平和條約　一
日本國特命全權大使子爵井上馨　一
佛蘭西國特命全權大使松井慶四郎　一
日本國與佛蘭西國間平和條約ノ批准書ノ交換ニ關スル議定書　一
日本國與佛蘭西國間平和條約ノ批准書寄託ノ日　一
日本國與佛蘭西國間平和條約　二
日本國特命全權大使子爵井上馨　二
佛蘭西國特命全權大使松井慶四郎　二

日本國與佛蘭西國間平和條約

日本國皇帝陛下及佛蘭西國大統領ハ兩國間ノ平和ヲ鞏固ニシ且永久ニ維持スルノ目的ヲ以テ兩國ノ間ニ平和ノ關係ヲ恢復シ且將來ニ於テ兩國ノ間ニ平和ノ關係ヲ維持スルノ條約ヲ締結スルノ必要ヲ認メ此目的ノ爲メ左ノ如ク其ノ全權委員ヲ任命セリ

日本國皇帝陛下ハ特命全權大使從二位勳一等子爵井上馨ヲ

佛蘭西國大統領ハ特命全權大使松井慶四郎ヲ

各其ノ全權委員ノ會同シ其ノ委任狀ヲ交換シ且左ノ條款ヲ協定シタリ

第一條

日本國皇帝陛下及佛蘭西國大統領ハ兩國間ノ

海外派遣軍大臣「サー、アルバート、エドワード、ケムプ」
漆太利駐剳
國防大臣「ウヨージ、フォスカーリ、ピアス」
南阿弗利加聯邦
子爵「ミルナー」
新西蘭
聯合王國駐在新西蘭辨務長官「サー、トーマス、マッケンジー」
印度
印度次官男爵「シンハ」
佛蘭西共和國大統領
內閣議長陸軍大臣「ジョルジ、クレマンソー」
外務大臣「スチファン、ピション」
大藏大臣「ルイ、リュシアン、クロッツ」
佛米軍事辨務長官「アンドレ、タルデュー」
特命全權大使「ジュール、カンボン」
伊太利國皇帝陛下
外務大臣參議院議員「トムマソ、ティットーニ」
參議院議員「ヴィットリオ、ジアローヤ」
參議院議員「マッジョーリノ、フェラーリス」
參議院議員「アイエルモ、マルコーニ」
衆議院議員「シルヴィオ、クレスピ」
日本國皇帝陛下
英國駐剳日本國特命全權大使子爵珍田捨巳
佛蘭西國駐剳日本國特命全權大使松井慶四郎
伊太利國駐剳日本國特命全權大使伊集院彥吉
葡萄牙共和國大統領
前內閣議長「ドクトル、アフォンソ、ダコスタ」
前外務大臣「ドクトル、アウグスト、ルイス、ヴィエイラ、ソアレス」

右各員ハ其ノ全權委任狀ヲ示シ之カ良好妥當ナルヲ認メタル後左ノ如ク協定セリ

第一條

署名國ハ本條附屬書ニ揭クル千八百八十五年二月二十六日ノ伯林一般議定書第一條所定ノ境界內其ノ權力ノ下ニ置カレタル地域ニ於テ各自國民及本條約ニ加入スル國際聯盟國タル諸國ノ國民ノ間ニ通商上ノ完全ナル均等ヲ維持スルコトヲ約ス但シ該條末項ノ規定ハ之ヲ留保ス

附屬書

千八百八十五年二月二十六日ノ伯林一般議定書第一條

一切ノ國民ハ左ノ地域ニ於テ通商ノ完全ナル自由ヲ享有スヘシ

一「コンゴー」河及其ノ支流ノ流域ヲ形成スル一切ノ地方

右流域ハ北方ニ於テハ隣接諸流域殊ニ「ニアサ」及「ニール」ノ諸流域ノ分水嶺ヲ境界トシ、東方ニ於テハ「タンガンイーカ」湖ニ注ク諸河ノ東部山嶺線ヲ境界トシ、南方ニ於テハ「ザンベーズ」及「ローデ」ノ兩河流域ノ分水嶺ヲ境界トス即チ右流域ハ「コンゴー」河及其ノ支流(タンガンイーカ」湖及之ニ注ク東部諸河ヲ含ム)ノ灌漑スル一切ノ地方ヲ抱擁スルモノトス

二　南緯二度三十分ノ緯度線ヨリ「ローデ」河口ニ至ル迄ノ間ノ大西洋ニ沿フ海岸地帶

北方境界ハ海岸ヨリ二度三十分ノ緯度線カ「コンゴー」河ノ地理學上ノ流域ニ會スル地點ニ至ル迄ノ間同緯度線ニ從フ但シ本議定書規定ノ適用ナキ「オゴウェ」河流域ヲ避クルモノトス

南方境界ハ「ローデ」河ノ水源ニ至ル迄ノ間同河ノ河流ニ依リ次テ東方ニ向ヒ「コンゴー」河ノ地理學上ノ流域トノ接合點ニ至ル

三　右ニ定メタル「コンゴー」河流域ヨリ東方ニ展開シテ印度洋ニ至リ北緯五度ヨリ南方「ザンベーズ」河口ニ至ル迄ノ地帶、右「ザンベーズ」河口ヨリ限界線ハ「ジレ」河トノ會流點ノ上流五哩ニ至ル迄ノ間同河ニ沿ヒ次テ「ニアサ」湖ニ注ク諸川ト「ザンベーズ」河ノ支流トヲ分ツ山嶺線カ「ザンベーズ」及「コンゴー」ノ兩河ノ分水線ニ接合スル迄ノ間右山嶺線ヲ辿ルモノトス

右東方地帶ニ對シ通商自由ノ原則ヲ及ホスニ付テハ本會議ニ代表セラルル諸國間ニ於テノミ之ヲ約定スルコト及右原則ハ現ニ獨立主權ノ國ニ屬スル地域ニ付テハ當該國カ同意ヲ與フル場合ニ限リ之ヲ適用スルモノナルコトヲ玆ニ明白ニス該諸國ハ右同意ヲ得ル樣且一切ノ場合ニ各國國民ノ通過ニ對シ最惠待件ヲ保障スル樣印度洋ニ面スル阿弗利加海岸ニ設立セラレタル政府ニ對シ周旋ヲ爲スコトヲ約ス

第二條

署名國國民及本條約ニ加入スル國際聯盟國タル諸國ノ國民ニ屬スル商品ハ第一條ニ揭クル地方內ニ自由ニ之ヲ輸入スルコトヲ得ヘシ右商品ニ對シテハ輸入又ハ輸出ニ際シ何等差別的待遇ヲ爲スコトナカルヘク且其ノ通過ニ付テハ之カ手數ノ爲徵收スルモノ以外ノ一切ノ稅金、料金又ハ課金ヲ免除スヘキモノトス

前記諸國中ノ一國ノ國旗ヲ揭揚スル船舶モ亦第一條ニ揭クル地域ノ一切ノ海岸ヲ通航シ且其ノ一切ノ海港ニ寄港スルコトヲ得ヘク之ニ對シ何等差別的待遇ヲ爲スコトナカルヘシ

右ノ諸規定ヲ留保シ關係國ハ其ノ地域內ニ適用スヘキ稅關又ハ航海ノ規則及稅率ヲ自由ニ決定スルノ權利ヲ保有ス

第三條

署名國中ノ一國ノ權力ノ下ニ在ル第一條所揭ノ地域ニ於テハ署名國國民又ハ本條約ニ加入スル國際聯盟國タル諸國ノ國民ハ其ノ身體財產ノ保護及動產不動產ノ取得移轉ニ關シ並其ノ職業ノ實行ニ關シ右地域ニ權力ヲ行使スル國ノ國民ト何等ノ差別ナク同一ノ待遇及權利ヲ享有スヘシ但シ公共ノ安全及秩序ヲ維持スルニ必要ナル制限ニ限リ之ニ從フモノトス

第四條

各國ハ自由ニ其ノ財產ヲ處分シ且右地域ノ天然富源開發ノ爲利權ヲ付與スルノ權利ヲ保有ス但シ右ニ關スル規則ニ於テ署名國國民及本條約ニ加入スル國際聯盟國タル諸國ノ國民ニ對シ最モ均等ナル條件ヲ供與スヘシ

第五條

署名國ハ本條附屬書ニ揭クル千八百八十五年二月二十六日ノ伯林一般議定書第一條所定ノ境界內其ノ權力ノ下ニ置カレタル地域ニ於テ各自國民及本條約ニ加入スル國際聯盟國タル諸國ノ國民ノ間ニ通商上ノ完全ナル均等ヲ維持スルコトヲ約ス但シ該條末項ノ規定ハ之ヲ留保ス

附屬書

千八百八十五年二月二十六日ノ伯林一般議定書第一條

一切ノ國民ハ左ノ地域ニ於テ通商ノ完全ナル自由ヲ享有スヘシ

一「コンゴー」河及其ノ支流ノ流域ヲ形成スル一切ノ地方

右流域ハ北方ニ於テハ隣接諸流域殊ニ「ニアサ」、「オゴウェ」及「シアリ」及「ニール」ノ諸流域ノ分水嶺ヲ境界トシ、東方ニ於テハ「タンガンイーカ」湖ニ注ク諸河ノ東部山嶺線ヲ境界トシ、南方ニ於テハ「ザンベーズ」及「ローデ」ノ兩河流域ノ分水嶺ヲ境界トス即チ右流域ハ「コンゴー」河及其ノ支流(タンガンイーカ」湖及之ニ注ク東部諸河ヲ含ム)ノ灌漑スル一切ノ地方ヲ抱擁スルモノトス

二　南緯二度三十分ノ緯度線ヨリ「ローデ」河口ニ至ル迄ノ間ノ大西洋ニ沿フ海岸地帶

北方境界ハ海岸ヨリ二度三十分ノ緯度線カ「コンゴー」河ノ地理學上ノ流域ニ會スル地點ニ至ル迄ノ間同緯度線ニ從フ但シ本議定書規定ノ適用ナキ「オゴウェ」河流域ヲ避クルモノトス

南方境界ハ「ローデ」河ノ水源ニ至ル迄ノ間同河ノ河流ニ依リ次テ東方ニ向ヒ「コンゴー」河ノ地理學上ノ流域トノ接合點ニ至ル

三　右ニ定メタル「コンゴー」河流域ヨリ東方ニ展開シテ印度洋ニ至リ北緯五度ヨリ南方「ザンベーズ」河口ニ至ル迄ノ地帶、右「ザンベーズ」河口ヨリ限界線ハ「ジレ」河トノ會流點ノ上流五哩ニ至ル迄ノ間河ニ沿ヒ次テ「ニアサ」湖ニ注ク諸川ト「ザンベーズ」河ト

自耳義國皇帝陛下
外務大臣國務大臣「ポール、イーマンス」
「ボリヴィア」共和國大統領
佛蘭西國特命全權公使「ポリヴィア」
伯剌西爾合衆國大統領
佛蘭西國共和國大統領
公使「エンリケ、ダ、クニヤ、ペレイラ」
加奈陀
「ロイド、ジヨージ」
英吉利國王國及大不列顛愛蘭海峽各王國外務大臣「エドワード、ヘンリー、ジヨージ、ファイフ」
帝國皇帝陛下
樞密院議長貴族院議員「デ、ラ、ウオール、ヘンリー、ストラトフオード、レデスデール」
南亞非利加聯邦
國會合王國駐在新西蘭辦務長官「サー、トーマス、マクケンジー」
新西蘭
聯合王國駐在
印度皇帝陛下
樞密院議長貴族院議員「ヒス、ハイネス、ジ、ヒス、ハイネス、ザ、アガ、カーン、ジー、シー、ビー、エム、ジー、エス、アイ」
印度
印度皇帝陛下
外務大臣「ニコラス、ポポフ」
支那共和國大總統領
「ヘクトル、ヘルナンデス、ロペス」
古巴共和國大總統領
全權公使「マヌエル、サンギリー、ヴエルテス」
佛蘭西共和國大統領
公使「エンリケ、ヘンリー、ドルー、ジユニヤー」
全權公使「リヨクアテ、ドルー、ルスイ、デ、アルレマン」
佛蘭西
內閣總理大臣兼外務大臣「ジヨルジユ、クレマンソー」
丁抹國皇帝陛下
外務大臣「ニコラス、ポポフ」
多明尼加共和國大統領
「ヘクトル、ヘルナンデス、ロペス」
厄瓜多爾共和國大統領
全權公使「リヨクアテ、ドルー、ルスイ、デ、アルレマン」
佛蘭西共和國大統領
內閣總理兼外務大臣「ジヨルジユ、クレマンソー」
佛蘭西
全權公使「ヘクトル、ヘルナンデス、ロペス」
希臘國皇帝陛下
外務大臣「ニコラス、ポポフ」
瓜地馬拉共和國大統領
「エクトル、ヘルナンデス、ロペス」
海地共和國大統領
「ヘクトル、ヘルナンデス、ロペス」
洪都拉斯共和國大統領
「ヘクトル、ヘルナンデス、ロペス」
匈牙利國皇帝陛下
外務大臣「ニコラス、ポポフ」
意大利國王陛下
外務大臣「ニコラス、ポポフ」
日本國天皇陛下
外國大臣從二位勳一等男爵「ヨシアキラ、ヤマザワ」
墨西哥合衆國大統領
「ヘクトル、ヘルナンデス、ロペス」
尼加拉瓜共和國大統領
「ヘクトル、ヘルナンデス、ロペス」
巴拿馬共和國大統領
「ヘクトル、ヘルナンデス、ロペス」
巴拉圭共和國大統領
「ヘクトル、ヘルナンデス、ロペス」
波斯國皇帝陛下
外務大臣「ニコラス、ポポフ」
秘魯共和國大統領
「ヘクトル、ヘルナンデス、ロペス」
葡萄牙國王陛下
外務大臣「ニコラス、ポポフ」
羅馬尼亞國皇帝陛下
外務大臣「ニコラス、ポポフ」
俄羅斯帝國皇帝陛下
外務大臣「ニコラス、ポポフ」
塞爾維亞國皇帝陛下
外務大臣「ニコラス、ポポフ」
暹羅國皇帝陛下
外務大臣「ニコラス、ポポフ」
瑞西聯邦
外務大臣「ニコラス、ポポフ」
土耳其國皇帝陛下
外務大臣「ニコラス、ポポフ」
烏拉圭東方共和國大統領
「ヘクトル、ヘルナンデス、ロペス」
委內瑞拉共和國大統領
「ヘクトル、ヘルナンデス、ロペス」
前記各國全權委員ハ其ノ全權委任狀ヲ交換シ其ノ良好且正當ナルヲ認メタル後左ノ條款ヲ協定セリ

第一章　不和條約及萬國條約

第一款　萬國條約

第一條　締約國ハ各自ノ國際關係ニ於テ國際紛爭ヲ平和的手段ニ依リ解決スルノ義務ヲ負擔ス

第二條　締約國ハ國際紛爭ニシテ外交ノ手段ニ依リ解決スルヲ得サルモノハ之ヲ仲裁裁判ニ附スルコトヲ約ス

第三條　締約國ハ國際紛爭ニシテ仲裁裁判ニ附スルヲ得サルモノハ之ヲ國際審査會ニ附スルコトヲ約ス

第四條　國際審査會ハ締約國ノ各ヨリ任命スル委員各一名ヲ以テ組織ス

第五條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第六條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第七條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第八條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第九條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第十條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第十一條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第十二條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第十三條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第十四條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第十五條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第十六條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第十七條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第十八條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第十九條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第二十條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第二十一條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第二十二條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第二十三條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第二十四條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第二十五條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第二十六條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第二十七條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第二十八條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第二十九條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第三十條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第三十一條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第三十二條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第三十三條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第三十四條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第三十五條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第三十六條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第三十七條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第三十八條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第三十九條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第四十條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第四十一條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第四十二條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第四十三條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第四十四條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第四十五條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第四十六條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第四十七條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第四十八條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第四十九條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第五十條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第五十一條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第五十二條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第五十三條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第五十四條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第五十五條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第五十六條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第五十七條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第五十八條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第五十九條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第六十條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第六十一條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第六十二條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第六十三條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第六十四條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第六十五條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第六十六條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第六十七條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第六十八條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第六十九條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第七十條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第七十一條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第七十二條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第七十三條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第七十四條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第七十五條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第七十六條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第七十七條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第七十八條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第七十九條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第八十條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第八十一條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第八十二條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第八十三條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第八十四條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第八十五條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第八十六條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第八十七條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第八十八條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第八十九條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第九十條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第九十一條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第九十二條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第九十三條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第九十四條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第九十五條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第九十六條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第九十七條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第九十八條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第九十九條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

第百條　國際審査會ハ其ノ會議ヲ開クニ當リ自ラ其ノ場所ヲ定ム

（イ）

示ス國籍ノ記載ハ羅馬字ノ大文字ヲ以テ之ヲ表ス

（ロ）

第一條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第二條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第三條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第四條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第五條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第六條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第七條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第八條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第九條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第十條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第十一條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第十二條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第十三條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第十四條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第十五條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第十六條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第十七條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第十八條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第十九條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第二十條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第二十一條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第二十二條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第二十三條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第二十四條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第二十五條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第二十六條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第二十七條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第二十八條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第二十九條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第三十條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第三十一條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第三十二條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第三十三條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第三十四條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第三十五條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第三十六條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第三十七條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第三十八條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第三十九條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第四十條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第四十一條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第四十二條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第四十三條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第四十四條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第四十五條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第四十六條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第四十七條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第四十八條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第四十九條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第五十條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第五十一條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第五十二條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第五十三條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第五十四條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第五十五條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第五十六條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第五十七條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第五十八條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第五十九條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第六十條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第六十一條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第六十二條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第六十三條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第六十四條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第六十五條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第六十六條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第六十七條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第六十八條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第六十九條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第七十條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第七十一條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第七十二條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第七十三條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第七十四條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第七十五條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第七十六條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第七十七條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第七十八條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第七十九條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第八十條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第八十一條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第八十二條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第八十三條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第八十四條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第八十五條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第八十六條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第八十七條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第八十八條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第八十九條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第九十條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第九十一條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第九十二條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第九十三條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第九十四條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第九十五條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第九十六條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第九十七條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第九十八條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第九十九條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

第百條　締約國ハ其ノ領土ノ一部ヲ構成スル地方ニ於ケル一切ノ權力ヲ行使スルノ主權ヲ有スルコトヲ承認ス

（ハ）

（ニ）

（ホ）

（ヘ）

（ト）

（チ）

（リ）

（ヌ）

（ル）

（ヲ）

（ワ）

（カ）

（ヨ）

（タ）

（レ）

（ソ）

（ツ）

（ネ）

（ナ）

（ラ）

（ム）

（ウ）

（ヰ）

（ノ）

（オ）

（ク）

（ヤ）

（マ）

（ケ）

（フ）

（コ）

（エ）

（テ）

（ア）

（サ）

（キ）

（ユ）

（メ）

（ミ）

（シ）

（ヱ）

（ヒ）

（モ）

（セ）

（ス）

（ン）

（ロ）

（イ）

羅馬尼亞國	C	Rヲ始メノ文字トスル一切ノ組合セ
「ウルグァイ」國	C	Uヲ始メノ文字トスル一切ノ組合セ
「チェッコ、スロヴァキア」國	L	Bヲ始メノ文字トスル一切ノ組合セ
「アルテマラ」國	L	Gヲ始メノ文字トスル一切ノ組合セ
「リベリア」國	L	Lヲ始メノ文字トスル一切ノ組合セ
伯剌西爾國	P	Bヲ始メノ文字トスル一切ノ組合セ
波蘭國	P	Pヲ始メノ文字トスル一切ノ組合セ
白耳義國	O	Bヲ始メノ文字トスル一切ノ組合セ
緬甸國	O	Pヲ始メノ文字トスル一切ノ組合セ
支那國	X	Cヲ始メノ文字トスル一切ノ組合セ
「ホンヂュラス」國	X	Hヲ始メノ文字トスル一切ノ組合セ
「セルブ、クロアート、スロヴェーヌ」國	X	Sヲ始メノ文字トスル一切ノ組合セ
「ハイチ」國	H	Hヲ始メノ文字トスル一切ノ組合セ
暹羅國	H	Sヲ始メノ文字トスル一切ノ組合セ
「エクアドル」國	E	Eヲ始メノ文字トスル一切ノ組合セ
希臘國	S	Gヲ始メノ文字トスル一切ノ組合セ
巴奈馬國	S	Pヲ始メノ文字トスル一切ノ組合セ
「ヘザァーズ」國	A	Hヲ始メノ文字トスル一切ノ組合セ
「ニカラグァ」國	A	Nヲ始メノ文字トスル一切ノ組合セ

第二附屬書

堪航證明書ノ發給ニ要スル主タル條件左ノ如シ

一　安全ニ關シ航空機ノ設計ハ一定ノ最低標準規格ニ準據スヘシ

二　受驗航空機ハ各型種ニ付實際飛行能力ノ飛行實地試驗ニ於テ滿足ナル成績ヲ表スモノタルコトヲ要ス但シ爾後製造セラルル航空機ニシテ試驗ニ合格シタル型種ニ準據スルモノハ右實地試驗ヲ受クルコトヲ要セス實地試驗ハ一定ノ最低標準規格ニ準據スヘシ

三　各航空機ノ製作ハ技功及材料ニ付認證監督ハ一定ノ最低標準規格ニ從ヒ之ヲ行フヘシ

四　航空機ハ航空ノ安全ニ必要ナル器械ヲ裝備スルコトヲ要ス

五　第一號乃至第三號ニ定ムル最低標準規格ハ國際航空委員會之ヲ決定スヘシ右標準規格ノ決定セラルルニ至ル迄ハ各締約國ハ堪航證明書ノ下付又ハ效力保持ニ關スル規則ヲ劃定スヘシ

第三附屬書

日誌

第一款　航空日誌

一切ノ航空機ニハ航空日誌ヲ備ヘ之ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

(イ)　航空機ノ種類、航空機ノ國籍及登錄ノ記號、所有者ノ名國籍及住所、製作者ノ名

(ロ)　右ノ外各航空機ノ積載量

(一)　各乘員ノ名、國籍及住所

(二)　出發ノ場所及日時、航空シタル路程

第二款　航空機日誌

航空機日誌ハ旅客又ハ貨物ヲ有償ニテ運送スル航空機ニ限リ之ヲ備フルコトヲ要シ之ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

(イ)　航空機ノ種類、航空機ノ國籍及登錄ノ記號、所有者ノ名國籍及住所、製作者ノ名

(ロ)　發動機ノ型種及製作番號竝螺旋機ノ型種、番號、節、直徑及製作者ノ名

(ハ)　備附無線電信機ノ型種

(ニ)　航空機ノ取扱及保存ノ任ニ當ル者ノ爲

(ホ)　必要ナル整備要項ヲ指示スル表

一切ノ受領試驗、分解、組裝、修理其ノ他之ニ類スル諸作業ヲ含ム航空機ノ經歷ニ關スル完全且詳細ナル技術的記錄

第三款　發動機日誌

發動機日誌ハ旅客又ハ貨物ヲ有償ニテ運送スル航空機ニ備附ノ發動機ニ限リ之ヲ備フルコトヲ要ス此ノ場合各發動機毎ニ各別ノ日誌ヲ備ヘ當ニ有發動機ニ附屬セシムヘシ日誌ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

(イ)　發動機ノ型種、製作者名、力、規準最大週轉數、製作日及使用開始日

(ロ)　發動機ヲ備附ケタル航空機ノ登錄記號及型種

(ハ)　一切ノ受領試驗、使用時間、分解、組裝、修理其ノ他之ニ類スル諸作業ヲ含ム發動機ノ經歷ニ關スル完全且詳細ナル技術的記錄

第四款　信號日誌

信號日誌ハ旅客又ハ貨物ヲ有償ニテ運送スル航空機ニ限リ之ヲ備フルコトヲ要シ之ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

(イ)　航空機ノ種類、航空機ノ國籍及登錄ノ記號、所有者ノ名國籍及住所

(ロ)　一切ノ信號ヲ發受ノ場所及日時

信號ヲ受ケ又ハ發スル人又ハ局ノ名又ハ其ノ他ノ表示

第五款　日誌使用心得

(イ)　製作者ハ能フ限リ日誌ニ第一記入ヲ爲シ且之ニ署名スヘシ爾後ノ記入ハ操縱者又ハ其ノ他ノ資格アル者ニ於テ之ヲ行ヒ且之ニ署名スヘシ

(ロ)　航空機日誌ノ盜込ニ堪航證明書ノ寫ヲ收ムヘシ

(ハ)　一切ノ記入ニハ「インキ」ヲ使用スヘシ尤モ航空日誌及信號日誌ニ在リテハ假手帳ニ鉛筆ヲ以テ記入シ置クコトヲ得此ノ場合ニハ二十四時間毎ニ「インキ」ヲ以テ本日誌ニ記入スヘシ官憲ノ檢査アルトキハ假手帳ノ提出ヲ要求セラルルコトアルヘシ

(ニ)　一切ノ日誌ニハ抹殺ヲ爲シ又ハ頁ヲ除去スヘカラサルモノトス

(ホ)　一切ノ日誌ニハ本心得ノ寫ヲ挿入スヘシ

第四附屬書

燈火規則、信號規則及飛行規則

定義

「航空機」トハ一切ノ繫留氣球、自由氣球、凧、航空船及飛行機ヲ總稱ス

「氣球」トハ繫留ト自由トヲ問ハス空中ニ浮揚スル爲空氣ヨリ輕キ瓦斯ヲ用ヰ且推進裝置ヲ備ヘサル航空機ヲ謂フ

「航空船トハ」空中ニ浮揚スル爲空氣ヨリ輕キ瓦斯ヲ用ヰ且推進裝置ヲ備フル航空機ヲ謂フ

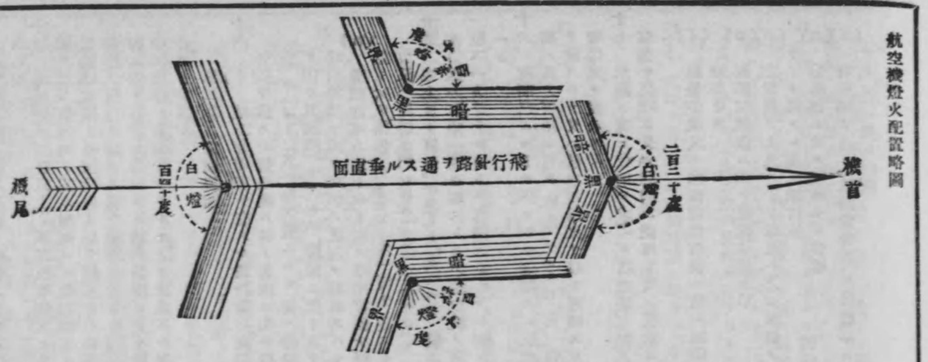
「飛行機」トハ一切ノ陸上飛行機、水上飛行機、飛行艇及空氣ヨリ重キ其ノ他ノ航空機ニシテ推進裝置ヲ備フルモノヲ謂フ

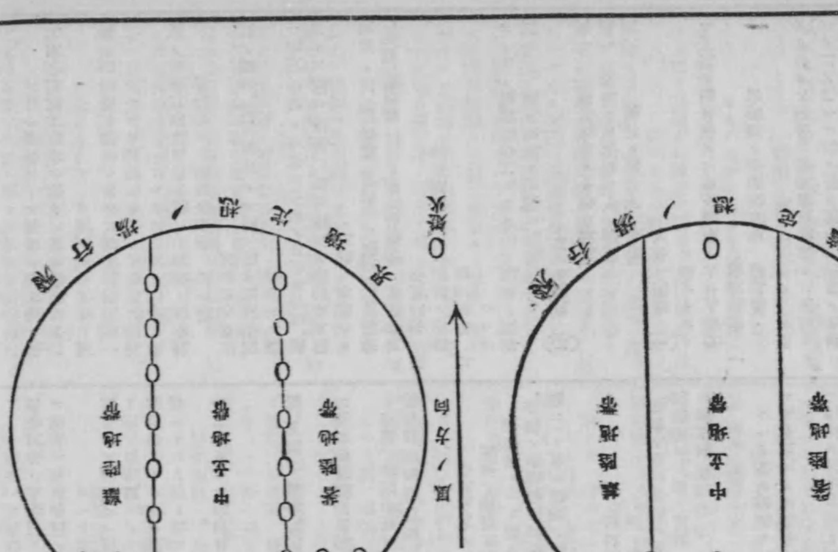
土地又ハ陸上若ハ水上ノ物體ニ繫留セサル航空船ハ本規則ニ於テハ之ヲ「航行中」ノモノト看做ス

第一款　燈火規則

本規則ニ於テ燈火ニ關シ「認メ得」トハ大氣ノ清澄ナル晴夜ニ認メ得ルコトヲ謂フ本規則ニ於ケル角度ノ制限ハ左記略圖ノ如ク航空機ノ水平ニ直線飛行スル常態ニ付之ヲ定ムヘシ

航空機燈火配置略圖


機首
機尾
飛行針路ヲ通スル垂直面
三百三十度
百四十度
白燈
白燈
暗
暗
暗



米ノ飛行場ヘ着陸スル一切ノ飛行機ハ二千米以上ノ高度ニ於テ飛行スル場合ヲ除ノ外前記ノ離同法ニ依ルベシ

四十五　國際空中交通ノ爲使用ヲ禁ゼラルル緯度三十九　國際飛行場ニ於テ地技的著陸ヲ禁ズル航空機ハ國ノ飛行場ニ於ケル地技的著陸ヲ禁ズル航空機ハ其ノ國ノ飛行場ニ於テ地技的著陸ヲ爲スノ義務ヲ負フ

四十一　著陸ノ爲飛行場ニ近接シテ飛行スル航空機ハ其ノ飛行場ニ於ケル地技的著陸ヲ爲スノ義務ヲ負フ

四十二　航空機ハ著陸ノ爲飛行場ニ近接シテ飛行スル場合ニ於テハ其ノ飛行場ノ管理者ノ指揮ニ從フベシ

四十三　遭難信號ヲ爲シ又ハ爲シタルモノト認ムル航空機ハ一切ノ飛行機ニ對シ其ノ最寄ノ飛行場ニ著陸スベキ旨ノ指令ヲ與フルコトヲ得

四十四　一切ノ飛行機ハ國際空中交通ノ爲使用セラルル航空標識、照明信號、風向表示器、信號燈及地技的著陸ヲ爲スベキ飛行場ニ於ケル一切ノ施設ニ關スル規則ヲ遵守スベシ

四十五　遭難信號ヲ爲シ又ハ之ヲ見又ハ聽キタル飛行機ハ一切ノ飛行機ニ向ヒ之ヲ見又ハ聽キタル時ニ於テ自己ノ飛行ヲ中止スベシ

四十六　飛行機ハ規則ノ飛行機ニ非ザレバ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

四十七　各飛行機ハ國際空中交通ニ關スル規則ヲ遵守スベシ

第四章　外國ノ航空機ニ關スル特別規定

四十八　各國ハ其ノ領土ノ上空ニ於ケル他國ノ航空機ノ通過ニ關シ左ノ規定ヲ遵守スベシ

（イ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ロ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ハ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ニ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ホ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ヘ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ト）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（チ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（リ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ヌ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ル）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ヲ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ワ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（カ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ヨ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（タ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（レ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ソ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ツ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ネ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ナ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ラ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ム）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ウ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ヰ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ノ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（オ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ク）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ヤ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（マ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ケ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（フ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（コ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（エ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（テ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ア）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（キ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ユ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（メ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ミ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（シ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ヒ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（モ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（セ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ス）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ン）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ー）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ヽ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（ゝ）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（〃）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（々）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（〆）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（〇）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（一）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（二）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（三）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（四）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（五）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（六）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（七）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（八）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（九）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（十）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（十一）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（十二）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（十三）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（十四）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（十五）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（十六）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（十七）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（十八）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（十九）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（二十）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（二十一）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（二十二）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（二十三）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（二十四）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（二十五）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（二十六）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（二十七）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（二十八）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（二十九）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（三十）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（三十一）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（三十二）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（三十三）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（三十四）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（三十五）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（三十六）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（三十七）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（三十八）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（三十九）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（四十）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（四十一）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（四十二）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（四十三）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（四十四）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（四十五）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（四十六）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（四十七）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（四十八）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（四十九）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（五十）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（五十一）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（五十二）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（五十三）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（五十四）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（五十五）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（五十六）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（五十七）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（五十八）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（五十九）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（六十）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（六十一）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（六十二）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（六十三）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（六十四）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（六十五）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（六十六）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（六十七）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（六十八）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（六十九）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（七十）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（七十一）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（七十二）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（七十三）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（七十四）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（七十五）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（七十六）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（七十七）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（七十八）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（七十九）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（八十）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（八十一）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（八十二）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（八十三）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（八十四）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（八十五）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（八十六）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（八十七）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（八十八）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（八十九）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（九十）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（九十一）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（九十二）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（九十三）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（九十四）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（九十五）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（九十六）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（九十七）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（九十八）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（九十九）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百一）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百二）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百三）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百四）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百五）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百六）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百七）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百八）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百九）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百十）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百十一）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百十二）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百十三）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百十四）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百十五）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百十六）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百十七）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百十八）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百十九）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百二十）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百二十一）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百二十二）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百二十三）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百二十四）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百二十五）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百二十六）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百二十七）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百二十八）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百二十九）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百三十）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百三十一）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百三十二）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百三十三）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百三十四）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百三十五）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百三十六）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百三十七）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百三十八）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百三十九）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百四十）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百四十一）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百四十二）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百四十三）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百四十四）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百四十五）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百四十六）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百四十七）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百四十八）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百四十九）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百五十）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百五十一）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百五十二）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百五十三）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百五十四）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百五十五）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百五十六）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百五十七）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百五十八）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百五十九）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百六十）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百六十一）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百六十二）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百六十三）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百六十四）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百六十五）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百六十六）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百六十七）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百六十八）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百六十九）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百七十）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百七十一）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百七十二）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百七十三）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保障スベシ

（百七十四）各國ハ其ノ領土ノ上空ヲ通過スル他國ノ航空機ニ對シ其ノ航空機ノ安全ヲ保

航空機ノ物的性能及氣象學ノ試驗

一　航空機ノ物的性能及航空運動ニ於ケル氣象ノ影響ニ關スル一般的知識

二　航空機ノ構造、取扱、點檢、修理及使用ニ關スル知識

三　航空機ノ力學的性能ニ關スル知識

四　航空機ノ安定性及操縱性ニ關スル知識

五　航空機ノ發動機ニ關スル知識

六　航空機ノ計器ニ關スル知識

七　航空機ノ無線電信電話ニ關スル知識

八　航空機ノ目的ニ關スル知識

航空ノ法規及條約ニ關スル試驗

一　航空ニ關スル國際法、國內法及條約ノ概要

二　航空ニ關スル國內法規ノ概要

三　航空ニ關スル國際條約ノ概要

四　航空ニ關スル國內法規ノ概要

五　航空ニ關スル國際條約ノ概要

航空ノ氣象及地文學ニ關スル試驗

一　航空ニ關スル氣象學及地文學ノ概要

二　航空ニ關スル氣象學及地文學ノ概要

三　航空ニ關スル氣象學及地文學ノ概要

航空ノ地理及航法ニ關スル試驗

一　航空ニ關スル地理及航法ノ概要

二　航空ニ關スル地理及航法ノ概要

三　航空ニ關スル地理及航法ノ概要

航空ノ實地試驗

一　航空ニ關スル實地試驗ノ概要

二　航空ニ關スル實地試驗ノ概要

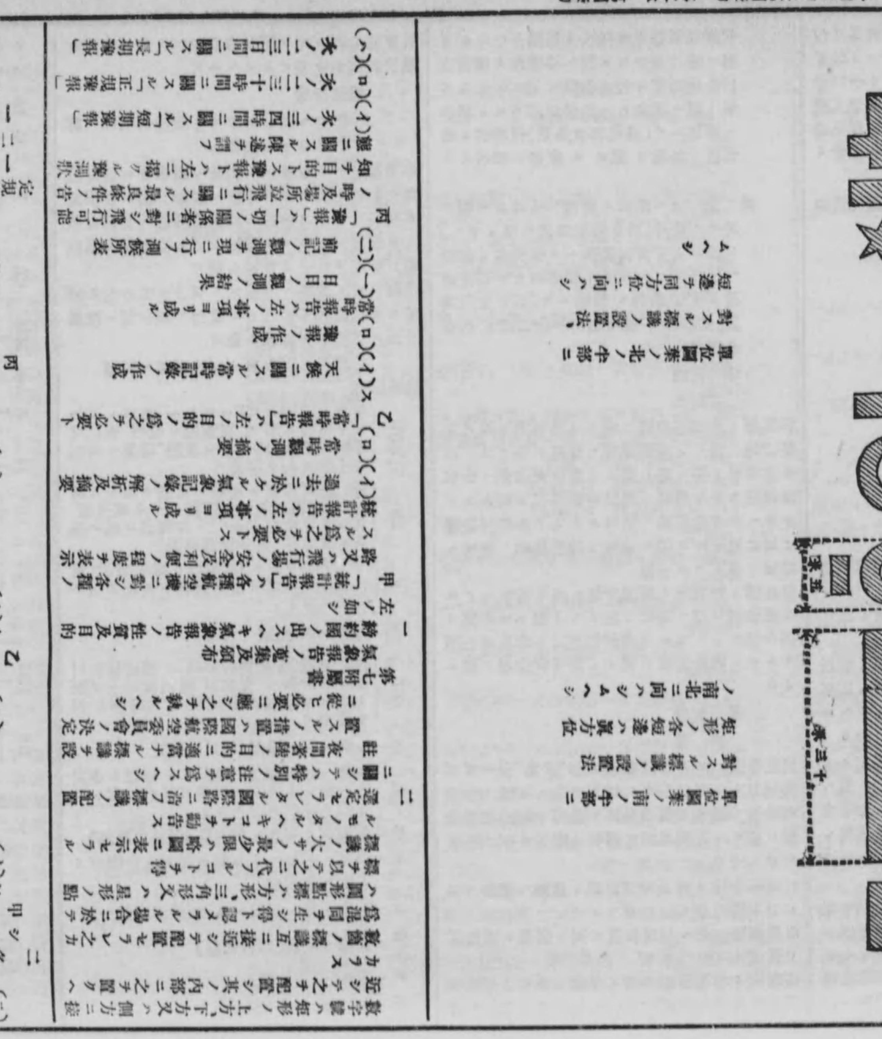
三　航空ニ關スル實地試驗ノ概要

航空ノ學術試驗

一　航空ニ關スル學術試驗ノ概要

二　航空ニ關スル學術試驗ノ概要

三　航空ニ關スル學術試驗



短形ノ各短邊ノ距方位

對スル標識ノ設置法

單位圖素ノ南ノ半部ニ

短邊ノ同方位ニ向ハシメヘ

對スル標識ノ設置法、單位圖素ノ北ノ半部ニ

短形ノ南北ニ向ハシメヘ

符號	符號字	
一	一	一
二	二	二
三	三	三
四	四	四
五	五	五
六	六	六
七	七	七
八	八	八
九	九	九
〇	〇	〇
十	十	十
百	百	百
千	千	千
万	万	万
上	上	上
下	下	下
中	中	中
大	大	大
小	小	小
地	地	地
天	天	天
気	気	気
雨	雨	雨
雪	雪	雪
雲	雲	雲
風	風	風
晴	晴	晴
曇	曇	曇
霧	霧	霧
雷	雷	雷
霰	霰	霰
霜	霜	霜
露	露	露
虹	虹	虹
暖	暖	暖
寒	寒	寒
冷	冷	冷
熱	熱	熱
温	温	温
涼	涼	涼
湿	湿	湿
乾	乾	乾
燥	燥	燥
度	度	度
分	分	分
秒	秒	秒
時	時	時
日	日	日
月	月	月
年	年	年
週	週	週
間	間	間
昨	昨	昨
今	今	今
明	明	明
後	後	後
前	前	前
午	午	午
夜	夜	夜
朝	朝	朝
夕	夕	夕
昼	昼	昼
北	北	北
東	東	東
南	南	南
西	西	西
強	強	強
弱	弱	弱
烈	烈	烈
微	微	微
甚	甚	甚
少	少	少
多	多	多
稀	稀	稀
密	密	密
濃	濃	濃
淡	淡	淡
高	高	高
低	低	低
上	上	上
下	下	下
中	中	中
小	小	小
大	大	大
中小	中小	中小
大中小	大中小	大中小
降	降	降
降雨	降雨	降雨
降雪	降雪	降雪
降霰	降霰	降霰
降霜	降霜	降霜
降雹	降雹	降雹
降雷	降雷	降雷
降露	降露	降露
降虹	降虹	降虹
降雨雪	降雨雪	降雨雪
降雨霰	降雨霰	降雨霰
降雨霜	降雨霜	降雨霜
降雨雹	降雨雹	降雨雹
降雨雷	降雨雷	降雨雷
降雨露	降雨露	降雨露
降雨虹	降雨虹	降雨虹
降雪霰	降雪霰	降雪霰
降雪霜	降雪霜	降雪霜
降雪雹	降雪雹	降雪雹
降雪雷	降雪雷	降雪雷
降雪露	降雪露	降雪露
降雪虹	降雪虹	降雪虹
降霰霜	降霰霜	降霰霜
降霰雹	降霰雹	降霰雹
降霰雷	降霰雷	降霰雷
降霰露	降霰露	降霰露
降霰虹	降霰虹	降霰虹
降霜雹	降霜雹	降霜雹
降霜雷	降霜雷	降霜雷
降霜露	降霜露	降霜露
降霜虹	降霜虹	降霜虹
降雹雷	降雹雷	降雹雷
降雹露	降雹露	降雹露
降雹虹	降雹虹	降雹虹
降雷露	降雷露	降雷露
降雷虹	降雷虹	降雷虹
降露虹	降露虹	降露虹
降雨雪霰	降雨雪霰	降雨雪霰
降雨雪霜	降雨雪霜	降雨雪霜
降雨雪雹	降雨雪雹	降雨雪雹
降雨雪雷	降雨雪雷	降雨雪雷
降雨雪露	降雨雪露	降雨雪露
降雨雪虹	降雨雪虹	降雨雪虹
降雨霰霜	降雨霰霜	降雨霰霜
降雨霰雹	降雨霰雹	降雨霰雹
降雨霰雷	降雨霰雷	降雨霰雷
降雨霰露	降雨霰露	降雨霰露
降雨霰虹	降雨霰虹	降雨霰虹
降雨霜雹	降雨霜雹	降雨霜雹
降雨霜雷	降雨霜雷	降雨霜雷
降雨霜露	降雨霜露	降雨霜露
降雨霜虹	降雨霜虹	降雨霜虹
降雨雹雷	降雨雹雷	降雨雹雷
降雨雹露	降雨雹露	降雨雹露
降雨雹虹	降雨雹虹	降雨雹虹
降雨雷露	降雨雷露	降雨雷露
降雨雷虹	降雨雷虹	降雨雷虹
降雨露虹	降雨露虹	降雨露虹
降雪霰霜	降雪霰霜	降雪霰霜
降雪霰雹	降雪霰雹	降雪霰雹
降雪霰雷	降雪霰雷	降雪霰雷
降雪霰露	降雪霰露	降雪霰露
降雪霰虹	降雪霰虹	降雪霰虹
降雪霜雹	降雪霜雹	降雪霜雹
降雪霜雷	降雪霜雷	降雪霜雷
降雪霜露	降雪霜露	降雪霜露
降雪霜虹	降雪霜虹	降雪霜虹
降雪雹雷	降雪雹雷	降雪雹雷
降雪雹露	降雪雹露	降雪雹露
降雪雹虹	降雪雹虹	降雪雹虹
降雪雷露	降雪雷露	降雪雷露
降雪雷虹	降雪雷虹	降雪雷虹
降雪露虹	降雪露虹	降雪露虹
降霰霜雹	降霰霜雹	降霰霜雹
降霰霜雷	降霰霜雷	降霰霜雷
降霰霜露	降霰霜露	降霰霜露
降霰霜虹	降霰霜虹	降霰霜虹
降霰雹雷	降霰雹雷	降霰雹雷
降霰雹露	降霰雹露	降霰雹露
降霰雹虹	降霰雹虹	降霰雹虹
降霰雷露	降霰雷露	降霰雷露
降霰雷虹	降霰雷虹	降霰雷虹
降霰露虹	降霰露虹	降霰露虹
降霜雹雷	降霜雹雷	降霜雹雷
降霜雹露	降霜雹露	降霜雹露
降霜雹虹	降霜雹虹	降霜雹虹
降霜雷露	降霜雷露	降霜雷露
降霜雷虹	降霜雷虹	降霜雷虹
降霜露虹	降霜露虹	降霜露虹
降雹雷露	降雹雷露	降雹雷露
降雹雷虹	降雹雷虹	降雹雷虹
降雹露虹	降雹露虹	降雹露虹
降雷露虹	降雷露虹	降雷露虹
降雨雪霰霜	降雨雪霰霜	降雨雪霰霜
降雨雪霰雹	降雨雪霰雹	降雨雪霰雹
降雨雪霰雷	降雨雪霰雷	降雨雪霰雷
降雨雪霰露	降雨雪霰露	降雨雪霰露
降雨雪霰虹	降雨雪霰虹	降雨雪霰虹
降雨雪霜雹	降雨雪霜雹	降雨雪霜雹
降雨雪霜雷	降雨雪霜雷	降雨雪霜雷
降雨雪霜露	降雨雪霜露	降雨雪霜露
降雨雪霜虹	降雨雪霜虹	降雨雪霜虹
降雨雪雹雷	降雨雪雹雷	降雨雪雹雷
降雨雪雹露	降雨雪雹露	降雨雪雹露
降雨雪雹虹	降雨雪雹虹	降雨雪雹虹
降雨雪雷露	降雨雪雷露	降雨雪雷露
降雨雪雷虹	降雨雪雷虹	降雨雪雷虹
降雨雪露虹	降雨雪露虹	降雨雪露虹
降雨霰霜雹	降雨霰霜雹	降雨霰霜雹
降雨霰霜雷	降雨霰霜雷	降雨霰霜雷
降雨霰霜露	降雨霰霜露	降雨霰霜露
降雨霰霜虹	降雨霰霜虹	降雨霰霜虹
降雨霰雹雷	降雨霰雹雷	降雨霰雹雷
降雨霰雹露	降雨霰雹露	降雨霰雹露
降雨霰雹虹	降雨霰雹虹	降雨霰雹虹
降雨霰雷露	降雨霰雷露	降雨霰雷露
降雨霰雷虹	降雨霰雷虹	降雨霰雷虹
降雨霰露虹	降雨霰露虹	降雨霰露虹
降雨霜雹雷	降雨霜雹雷	降雨霜雹雷
降雨霜雹露	降雨霜雹露	降雨霜雹露
降雨霜雹虹	降雨霜雹虹	降雨霜雹虹
降雨霜雷露	降雨霜雷露	降雨霜雷露
降雨霜雷虹	降雨霜雷虹	降雨霜雷虹
降雨霜露虹	降雨霜露虹	降雨霜露虹
降雨雹雷露	降雨雹雷露	降雨雹雷露
降雨雹雷虹	降雨雹雷虹	降雨雹雷虹
降雨雹露虹	降雨雹露虹	降雨雹露虹
降雨雷露虹	降雨雷露虹	降雨雷露虹
降雪霰霜雹	降雪霰霜雹	降雪霰霜雹
降雪霰霜雷	降雪霰霜雷	降雪霰霜雷
降雪霰霜露	降雪霰霜露	降雪霰霜露
降雪霰霜虹	降雪霰霜虹	降雪霰霜虹
降雪霰雹雷	降雪霰雹雷	降雪霰雹雷
降雪霰雹露	降雪霰雹露	降雪霰雹露
降雪霰雹虹	降雪霰雹虹	降雪霰雹虹
降雪霰雷露	降雪霰雷露	降雪霰雷露
降雪霰雷虹	降雪霰雷虹	降雪霰雷虹
降雪霰露虹	降雪霰露虹	降雪霰露虹
降雪霜雹雷	降雪霜雹雷	降雪霜雹雷
降雪霜雹露	降雪霜雹露	降雪霜雹露
降雪霜雹虹	降雪霜雹虹	降雪霜雹虹
降雪霜雷露	降雪霜雷露	降雪霜雷露
降雪霜雷虹	降雪霜雷虹	降雪霜雷虹
降雪霜露虹	降雪霜露虹	降雪霜露虹
降雪雹雷露	降雪雹雷露	降雪雹雷露
降雪雹雷虹	降雪雹雷虹	降雪雹雷虹
降雪雹露虹	降雪雹露虹	降雪雹露虹
降雪雷露虹	降雪雷露虹	降雪雷露虹
降霰霜雹雷	降霰霜雹雷	降霰霜雹雷
降霰霜雹露	降霰霜雹露	降霰霜雹露
降霰霜雹虹	降霰霜雹虹	降霰霜雹虹
降霰霜雷露	降霰霜雷露	降霰霜雷露
降霰霜雷虹	降霰霜雷虹	降霰霜雷虹
降霰霜露虹	降霰霜露虹	降霰霜露虹
降霰雹雷露	降霰雹雷露	降霰雹雷露
降霰雹雷虹	降霰雹雷虹	降霰雹雷虹
降霰雹露虹	降霰雹露虹	降霰雹露虹
降霰雷露虹	降霰雷露虹	降霰雷露虹
降霜雹雷露	降霜雹雷露	降霜雹雷露
降霜雹雷虹	降霜雹雷虹	降霜雹雷虹
降霜雹露虹	降霜雹露虹	降霜雹露虹
降霜雷露虹	降霜雷露虹	降霜雷露虹
降雹雷露虹	降雹雷露虹	降雹雷露虹
降雨雪霰霜雹	降雨雪霰霜雹	降雨雪霰霜雹
降雨雪霰霜雷	降雨雪霰霜雷	降雨雪霰霜雷
降雨雪霰霜露	降雨雪霰霜露	降雨雪霰霜露
降雨雪霰霜虹	降雨雪霰霜虹	降雨雪霰霜虹
降雨雪霰雹雷	降雨雪霰雹雷	降雨雪霰雹雷
降雨雪霰雹露	降雨雪霰雹露	降雨雪霰雹露
降雨雪霰雹虹	降雨雪霰雹虹	降雨雪霰雹虹
降雨雪霰雷露	降雨雪霰雷露	降雨雪霰雷露
降雨雪霰雷虹	降雨雪霰雷虹	降雨雪霰雷虹
降雨雪霰露虹	降雨雪霰露虹	降雨雪霰露虹
降雨雪霜雹雷	降雨雪霜雹雷	降雨雪霜雹雷
降雨雪霜雹露	降雨雪霜雹露	降雨雪霜雹露
降雨雪霜雹虹	降雨雪霜雹虹	降雨雪霜雹虹
降雨雪霜雷露	降雨雪霜雷露	降雨雪霜雷露
降雨雪霜雷虹	降雨雪霜雷虹	降雨雪霜雷虹
降雨雪霜露虹	降雨雪霜露虹	降雨雪霜露虹
降雨雪雹雷露	降雨雪雹雷露	降雨雪雹雷露
降雨雪雹雷虹	降雨雪雹雷虹	降雨雪雹雷虹
降雨雪雹露虹	降雨雪雹露虹	降雨雪雹露虹
降雨雪雷露虹	降雨雪雷露虹	降雨雪雷露虹
降雨霰霜雹雷	降雨霰霜雹雷	降雨霰霜雹雷
降雨霰霜雹露	降雨霰霜雹露	降雨霰霜雹露
降雨霰霜雹虹	降雨霰霜雹虹	降雨霰霜雹虹
降雨霰霜雷露	降雨霰霜雷露	降雨霰霜雷露
降雨霰霜雷虹	降雨霰霜雷虹	降雨霰霜雷虹
降雨霰霜露虹	降雨霰霜露虹	降雨霰霜露虹
降雨霰雹雷露	降雨霰雹雷露	降雨霰雹雷露
降雨霰雹雷虹	降雨霰雹雷虹	降雨霰雹雷虹
降雨霰雹露虹	降雨霰雹露虹	降雨霰雹露虹
降雨霰雷露虹	降雨霰雷露虹	降雨霰雷露虹
降雨霜雹雷露	降雨霜雹雷露	降雨霜雹雷露
降雨霜雹雷虹	降雨霜雹雷虹	降雨霜雹雷虹
降雨霜雹露虹	降雨霜雹露虹	降雨霜雹露虹
降雨霜雷露虹	降雨霜雷露虹	降雨霜雷露虹
降雨雹雷露虹	降雨雹雷露虹	降雨雹雷露虹
降雪霰霜雹雷	降雪霰霜雹雷	降雪霰霜雹雷
降雪霰霜雹露	降雪霰霜雹露	降雪霰霜雹露
降雪霰霜雹虹	降雪霰霜雹虹	降雪霰霜雹虹
降雪霰霜雷露	降雪霰霜雷露	降雪霰霜雷露
降雪霰霜雷虹	降雪霰霜雷虹	降雪霰霜雷虹
降雪霰霜露虹	降雪霰霜露虹	降雪霰霜露虹
降雪霰雹雷露	降雪霰雹雷露	降雪霰雹雷露
降雪霰雹雷虹	降雪霰雹雷虹	降雪霰雹雷虹
降雪霰雹露虹	降雪霰雹露虹	降雪霰雹露虹
降雪霰雷露虹	降雪霰雷露虹	降雪霰雷露虹
降雪霜雹雷露	降雪霜雹雷露	降雪霜雹雷露
降雪霜雹雷虹	降雪霜雹雷虹	降雪霜雹雷虹
降雪霜雹露虹	降雪霜雹露虹	降雪霜雹露虹
降雪霜雷露虹	降雪霜雷露虹	降雪霜雷露虹
降雪雹雷露虹	降雪雹雷露虹	降雪雹雷露虹
降霰霜雹雷露	降霰霜雹雷露	降霰霜雹雷露
降霰霜雹雷虹	降霰霜雹雷虹	降霰霜雹雷虹
降霰霜雹露虹	降霰霜雹露虹	降霰霜雹露虹
降霰霜雷露虹	降霰霜雷露虹	降霰霜雷露虹
降霰雹雷露虹	降霰雹雷露虹	降霰雹雷露虹
降霜雹雷露虹	降霜雹雷露虹	降霜雹雷露虹
降雨雪霰霜雹雷	降雨雪霰霜雹雷	降雨雪霰霜雹雷
降雨雪霰霜雹露	降雨雪霰霜雹露	降雨雪霰霜雹露
降雨雪霰霜雹虹	降雨雪霰霜雹虹	降雨雪霰霜雹虹
降雨雪霰霜雷露	降雨雪霰霜雷露	降雨雪霰霜雷露
降雨雪霰霜雷虹	降雨雪霰霜雷虹	降雨雪霰霜雷虹
降雨雪霰霜露虹	降雨雪霰霜露虹	降雨雪霰霜露虹
降雨雪霰雹雷露	降雨雪霰雹雷露	降雨雪霰雹雷露
降雨雪霰雹雷虹	降雨雪霰雹雷虹	降雨雪霰雹雷虹
降雨雪霰雹露虹	降雨雪霰雹露虹	降雨雪霰雹露虹
降雨雪霰雷露虹	降雨雪霰雷露虹	降雨雪霰雷露虹
降雨雪霜雹雷露	降雨雪霜雹雷露	降雨雪霜雹雷露
降雨雪霜雹雷虹	降雨雪霜雹雷虹	降雨雪霜雹雷虹
降雨雪霜雹露虹	降雨雪霜雹露虹	降雨雪霜雹露虹
降雨雪霜雷露虹	降雨雪霜雷露虹	降雨雪霜雷露虹
降雨雪雹雷露虹	降雨雪雹雷露虹	降雨雪雹雷露虹
降雨霰霜雹雷露	降雨霰霜雹雷露	降雨霰霜雹雷露
降雨霰霜雹雷虹	降雨霰霜雹雷虹	降雨霰霜雹雷虹
降雨霰霜雹露虹	降雨霰霜雹露虹	降雨霰霜雹露虹
降雨霰霜雷露虹	降雨霰霜雷露虹	降雨霰霜雷露虹
降雨霰雹雷露虹	降雨霰雹雷露虹	降雨霰雹雷露虹
降雨霜雹雷露虹	降雨霜雹雷露虹	降雨霜雹雷露虹
降雪霰霜雹雷露	降雪霰霜雹雷露	降雪霰霜雹雷露
降雪霰霜雹雷虹	降雪霰霜雹雷虹	降雪霰霜雹雷虹
降雪霰霜雹露虹	降雪霰霜雹露虹	降雪霰霜雹露虹
降雪霰霜雷露虹	降雪霰霜雷露虹	降雪霰霜雷露虹
降雪霰雹雷露虹	降雪霰雹雷露虹	降雪霰雹雷露虹
降雪霜雹雷露虹	降雪霜雹雷露虹	降雪霜雹雷露虹
降霰霜雹雷露虹	降霰霜雹雷露虹	降霰霜雹雷露虹
降雨雪霰霜雹雷露	降雨雪霰霜雹雷露	降雨雪霰霜雹雷露
降雨雪霰霜雹雷虹	降雨雪霰霜雹雷虹	降雨雪霰霜雹雷虹
降雨雪霰霜雹露虹	降雨雪霰霜雹露虹	降雨雪霰霜雹露虹
降雨雪霰霜雷露虹	降雨雪霰霜雷露虹	降雨雪霰霜雷露虹
降雨雪霰雹雷露虹	降雨雪霰雹雷露虹	降雨雪霰雹雷露虹
降雨雪霜雹雷露虹	降雨雪霜雹雷露虹	降雨雪霜雹雷露虹
降雨霰霜雹雷露虹	降雨霰霜雹雷露虹	降雨霰霜雹雷露虹
降雪霰霜雹雷露虹	降雪霰霜雹雷露虹	降雪霰霜雹雷露虹

三

一國内ノ稅關飛行場ニ關スル必要ナル一切ノ情報（表ノ變更、該變更ニ伴ヒ必要ナル航空地圖上ノ一切ノ變更、右變更ノ效力ヲ生スル日及設置セラルルコトアルヘキ國際飛行場ニ關スル他ノ一切ノ情報ヲ含ム）ハ關係國ニ依リ國際航空委員會ニ通報セラルヘシ同委員會ハ右通報ヲ一切ノ締約國ニ移牒スヘシ締約國ハ二國以上ニ對スル稅關事務ヲ共同ニ取扱フ爲國際飛行場ノ設置ニ付取極ヲ爲スコトヲ得

四

航空機カ不可抗力（適法ニ是認セラルルコトヲ要スル）ノ場合ヲ理由トシテ指定地點外ノ地點ニ於テ國境ヲ通過スルトキハ其ノ航空路ニ於ケル最寄ノ稅關飛行場ニ著陸スヘシ該航空機カ右飛行場ニ到達スル以前已ムコトヲ得スシテ著陸スルトキハ最寄ノ警察官憲又ハ稅關官憲ニ通知スヘシ

該航空機ハ右官憲ノ許可アル場合ニ於テノミ再ヒ出發スルコトヲ許サルヘシ同官憲ハ檢査ノ後本附屬書五ニ規定スル日誌及積荷目錄ニ押印シ操縱者カ通關手續ノ履行ヲ爲スコトヲ必要トスル稅關飛行場ヲ其ノ者ニ指示スヘシ

五

操縱者ハ外國ニ赴クトキハ出發前ニ、外國ヨリ來ルトキハ到著後直ニ其ノ日誌ヲ且必要アルトキハ其ノ運送スル貨物及旅行用品ノ積荷目錄ヲ飛行場ノ官憲ニ提示スヘシ

六

積荷目錄ハ附屬樣式第一號ニ準據シ作成セラルルコトヲ要ス

貨物ニ付テハ荷送人ニ於テ附屬樣式第二號ニ準據シ詳細ナル申告書ヲ作成シ從フコトヲ要ス

各締約國ハ必要ト認ムルトキハ補足項目ヲ積荷目錄又ハ稅關申告書ニ挿入スルコトヲ定ムルノ權利ヲ有ス

七

貨物ヲ運送スル航空機ノ場合ニ於テハ其ノ出發前稅關官吏ハ積荷目錄及申告書ヲ檢閱シ規定ノ檢査ヲ爲シ且日誌及積荷目錄ニ署名スヘシ右官吏ハ其ノ署名ニ押印シ施封手續ヲ必要トスル貨物ニ封印スヘシ

到著ノ場合ニ於テ稅關官吏ハ封印破損ノ有無ヲ確メ貨物ヲ通關セシメ日誌ニ署名シ且積荷目錄ヲ留置スヘシ

貨物ヲ運送セサル航空機ノ場合ニ於テ警察及稅關ノ官吏ハ日誌ノミ署名スヘシ

積載燃料ハ日誌ニ記載スル旅行ニ必要ナル量ヲ超エサル限リ關稅ヲ課セラルルコトナカルヘシ

八

一定ノ種類ノ航空機殊ニ郵便用航空機、適法ニ設立且認許セラレタル空中運送會社ニ屬スル航空機及公認旅行協會ノ會員ニ屬シ旅客又ハ貨物ノ公衆運送ニ從事セサル航空機ハ本則ノ除外例トシテ稅關飛行場ニ著陸スルノ義務ヲ免除セラレ且稅關手續ヲ爲スタメ各國ノ稅關官憲及警察官憲ノ指定スル國内飛行場ニ於テ其ノ旅行ヲ終始スルコトヲ許サルルコトアルヘシ

尤モ右航空機ハ正規ノ航空路ヲ取リ國境ヲ通過スルニ當リ協定信號ニ依リ自機ヲ識別セシムヘシ

航空機及貨物ニ適用スル規則

九

外國ニ著陸スル航空機ハ關稅ノ存スル場合ニハ原則トシテ之ヲ負擔ス

右航空機カ再輸出セラルヘキ場合ニハ保證ヲ以テスル免除又ハ稅金ノ供託ニ關スル法規ノ便益ヲ享クヘシ

二國以上ノ間ニ旅行協會ノ聯合ヲ組織スル場合ニハ當該國ノ航空機ハ「トゥリプティック」ニ關スル法規ノ便益ヲ享クヘシ

十

航空機ニ依リ到著スル貨物ハ日誌及積荷目錄ニ依リ署名セラレタル國ヨリ來ルモノト看做サルヘシ

貨物ノ原產地及各種ノ關稅制度ニ關シ右貨物ハ陸路又ハ海路ニ依リ輸入貨物ニ適用スル同一ノ法規ノ適用ヲ受クヘシ

十一

一時輸入貨物、保稅貨物又ハ內國稅ヲ課セラルヘキ貨物ニシテ輸出セラレタルモノニ付テハ荷送人ハ仕向地ノ稅關カ下付スル證明書ノ提出ニ依リ右貨物ノ輸出ヲ證據立ツヘシ

空中通過

十二

航空機カ其ノ目的地ニ到達スル爲各締約國ノ主權ヲ犯スコトナク其ノ國ノ一又ハ二以上ノ上ヲ飛行スルコトヲ要スルトキハ左ノ二箇ノ場合ヲ區別スルコトヲ要ス

（一）航空機ハ旅客又ハ貨物ヲ積卸セサルトキハ單ニ正規ノ航空路ヲ取リ且其ノ爲指定セラレタル地點ノ上ヲ通過スルニ當リ信號ヲ以テ自機ヲ知ラシムルノ義務アルモノトス

（二）其ノ他ノ場合ニハ稅關飛行場ニ著陸スルノ義務アルヘク右飛行場ノ名稱ハ出發前ニ日誌ニ之ヲ記入スヘシ右著陸ニ當リ稅關官憲ハ書類及積荷ヲ檢査シ且必要アルトキハ該航空機及貨物ノ再輸出又ハ稅金納付ヲ確保スルニ必要ナル措置ヲ執ルヘシ

本附屬書九ノ第二項ノ規定ハ再輸出セラルヘキ貨物ニ之ヲ適用ス

航空機カ貨物ヲ積卸シタルトキハ稅關官吏ハ積荷目錄ニ右事實ヲ正當ニ記載セラレタリヤ否ヤヲ檢査シ且必要アルトキハ新ニ封印スヘシ

雜則

十三

各航空機ハ飛行中場所ノ如何ヲ問ハス其ノ飛行スル國ノ警察又ハ稅關及警察用又ハ稅關用ノ航空機ノ命令ニ從フコトヲ要ス

十四

稅關官吏、敎稅官吏及一般ニ官憲ノ代表者ハ航空機カ出發及著陸スル一切ノ場所ニ出入スルノ自由ヲ有スルノミナラス又其ノ監視權ヲ行使スル爲一切ノ航空機及其ノ積荷ヲ點檢スルコトヲ得

十五

郵便用航空機ノ場合ヲ除クノ外飛行中一切ノ荷卸又ハ投下ハ之ヲ禁止スルコトヲ得但シ「パラスト」ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

十六

前記法規ノ違反ニ對シ地方ノ法令ニ依リ科セラルルコトアルヘキ一切ノ刑罰ノ外右違反事實ハ該航空機ノ登錄國ニ通告セラルヘク當該國ハ犯行航空機ノ登錄證明書ヲ一定期間又ハ永久ニ停權スヘシ

十七

本附屬書ノ規定ハ軍用航空機ニシテ特別ノ許可ヲ受ケ一國ヲ訪問スルモノ（本條約第三十一條、第三十二條及第三十三條）又ハ警察用及稅關用ノ航空機（本條約第三十一條及第三十四條）ニハ之ヲ適用セス

航空

積荷目錄

又ハ積荷ノ一覽申告書

機……（登錄記號……

稅關官吏記入ノ爲ノ空白

機長……（名……住所……國籍……免狀ノ番號……

貨物……（仕出地……仕向地……附屬申告書ノ番號……國……國

發送番號	包裝ノ記號及番號	包裝ノ個數（數字及文字ヲ以テス）及種類	貨物ノ性質	重量	備考

機長ノ本積荷目錄ノ內容ノ正確ナルコトヲ保障シ之ニ違反スルトキハ法律ノ規定スル刑罰ヲ受クヘキモノトス依テ本目錄末尾ニ日附ヲ記入シ且署名ス

第二號

航空

仕出地

仕向地

稅關申告書

貨物內譯

作成者

記號及番號 包裝 箇數	貨物ノ性質	內容ノ詳記	原產國	價額	重量 總量	重量 純量	備考

千九百　年　月　日

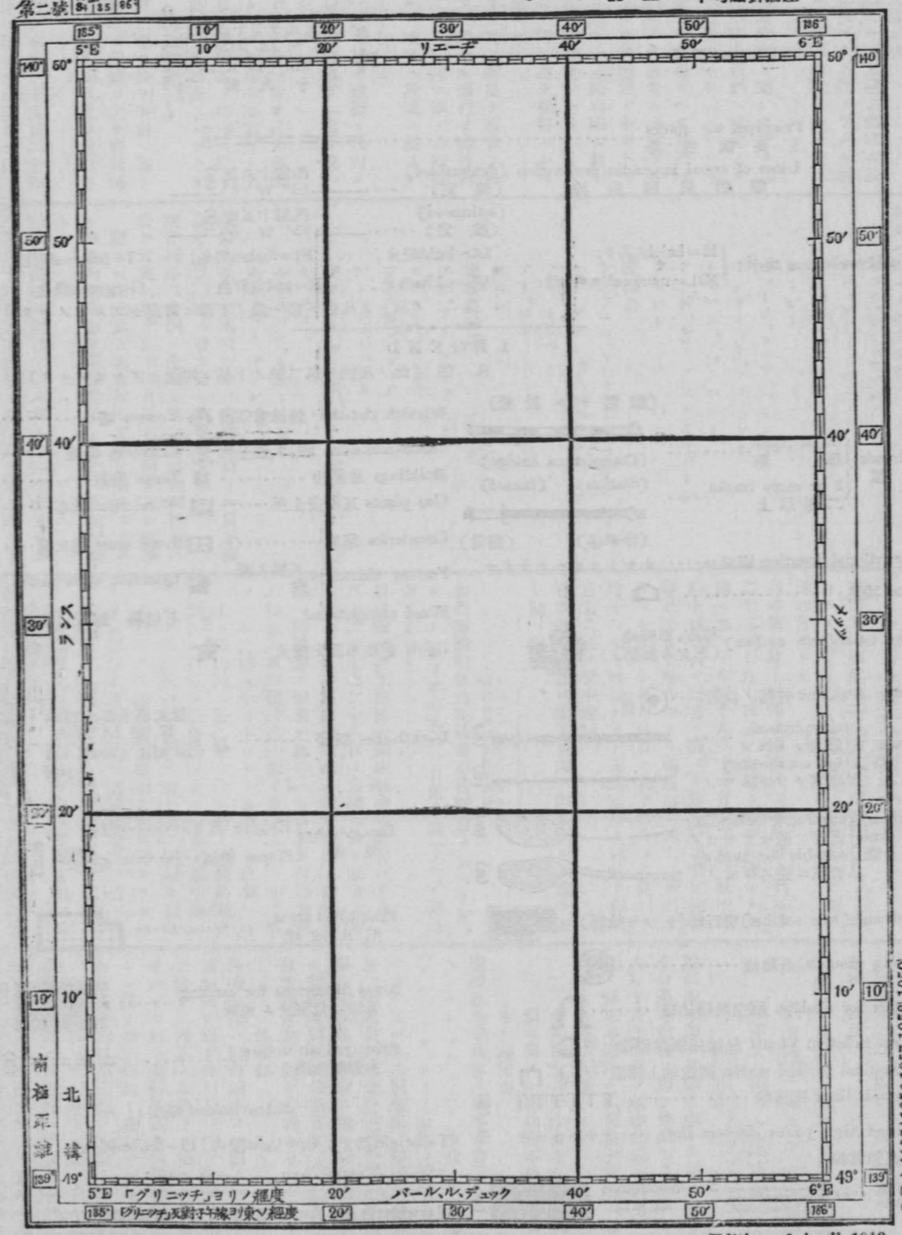
荷送人　ニ於テ

CARTE NORMALE AÉRONAUTIQUE INTERNATIONALE

國際航空地方圖

ヴェルダン　139–185　18　12′–　平均磁針偏差　1919

第二號



Published by
○發行者

二十万分一掃尺

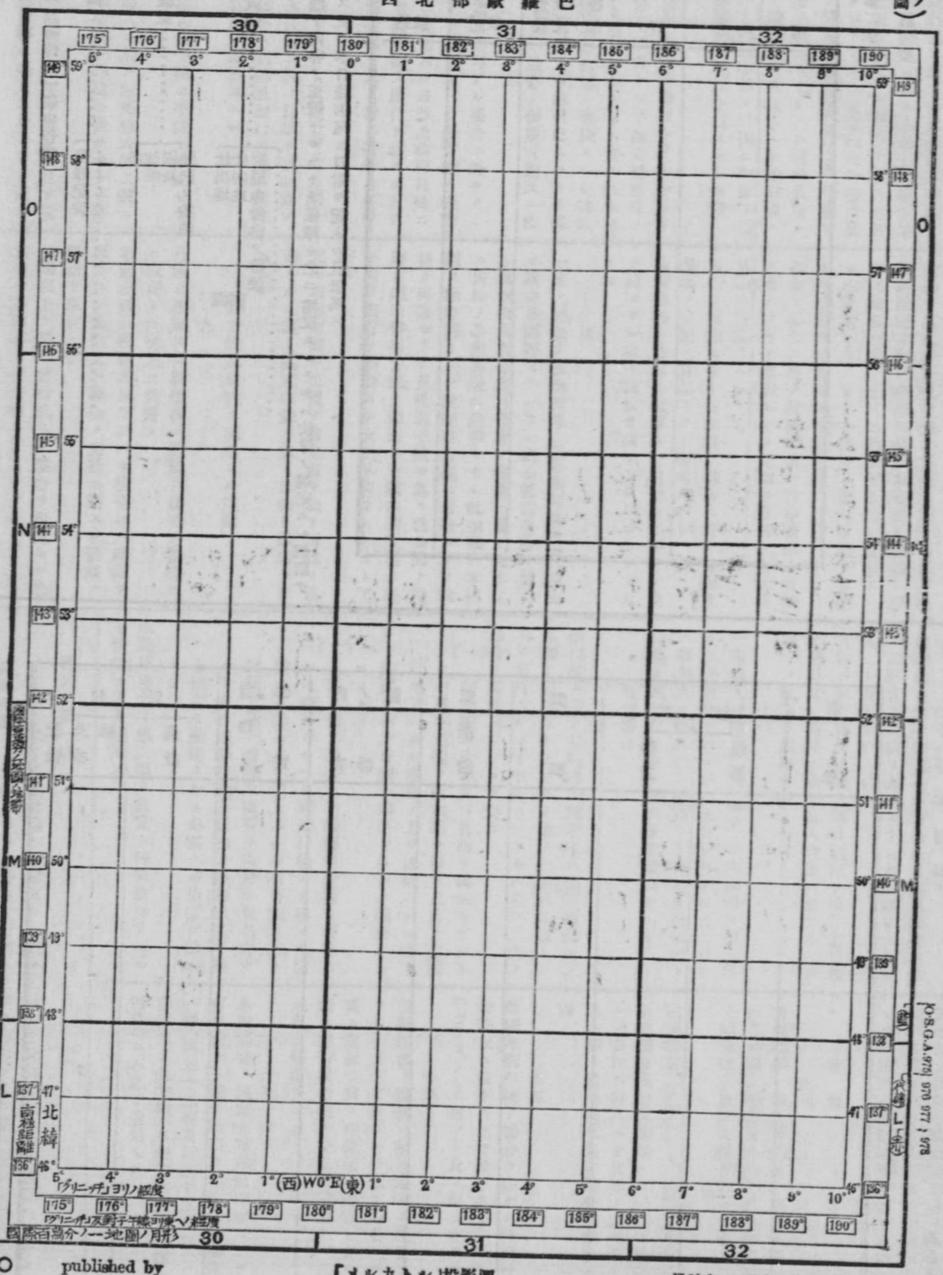
Edition of April 1919
發行一九一九年四月

CARTE GÉNÉRALE AÉRONAUTIQUE INTERNATIONALE

國際航空一般圖

西北部歐羅巴

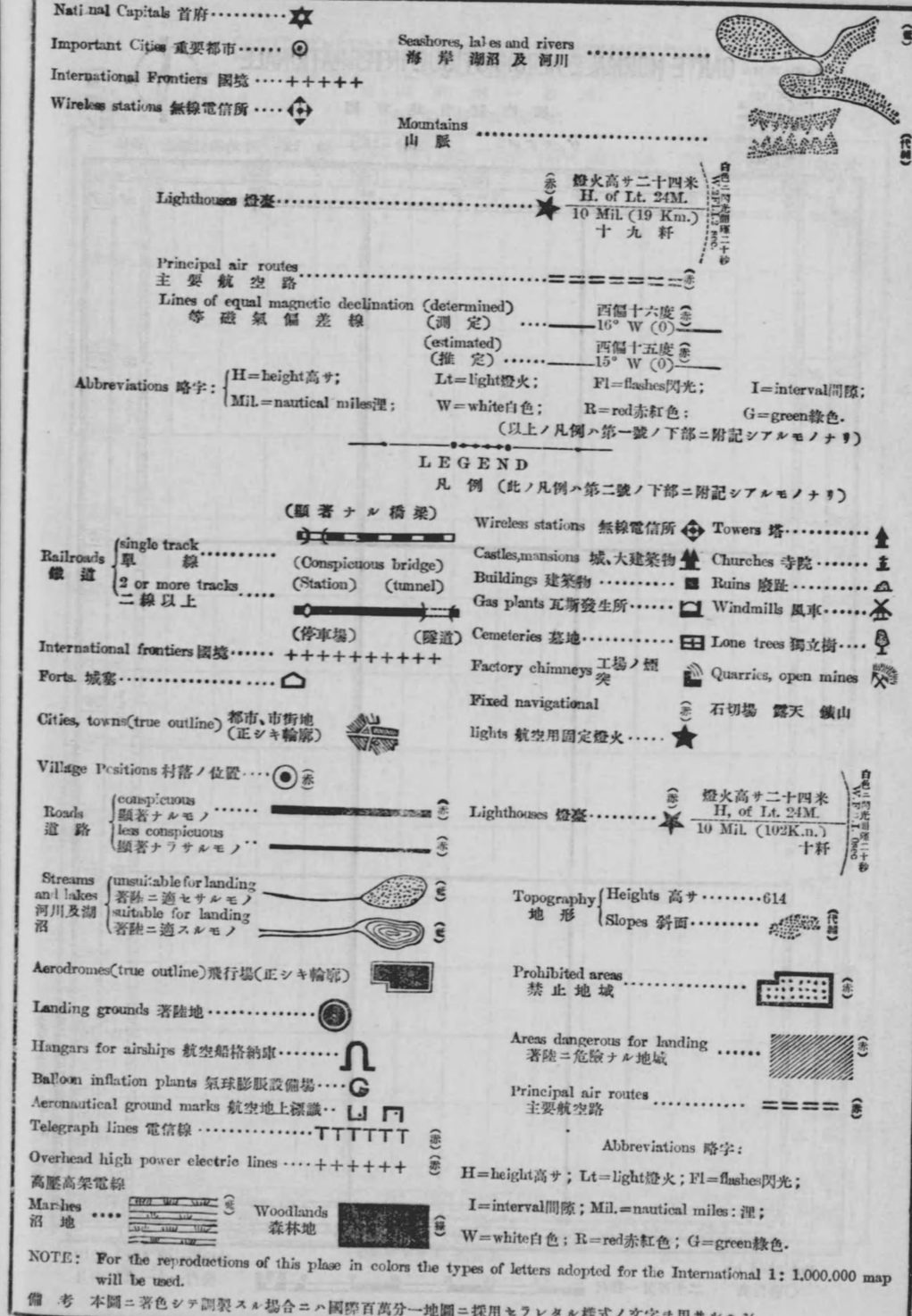
第一號



○ published by
發行者

「メルカトル」投影圖

Edition of April 1919
發行一九一九年四月



航空法規ニ關スル千九百十九年十月十三日ノ條約追加議定書

締約國ハ國係ノ署名國又ハ加入國ノ要求ニ基キ其ノ理由カ考量ノ價値アリト認メラルル場合ニ限リ條約第五條ニ除外例ヲ設クルコトニ異議ナキ旨ヲ聲明ス

右ノ要求ハ佛蘭西共和國政府ニ對シテノミ之ヲ爲スヘク國際航空委員會ニ之ヲ通告スヘシ

國際航空委員會ハ各要求ヲ審査スヘク表決可能總數即チ一切ノ締約國ノ代表者カ出席シタル場合ニ表示セラレ得ル表決總數ノ少クトモ三分ノ二ノ贊成アルニ非サレハ締約國ニ對シ之カ採擇ヲ提議スルコトヲ得サルヘシ

各除外例ハ締約國ニ於テ明ニ之ヲ採擇スルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

除外例ヲ設クタルトキハ其ノ利益ヲ享受スヘキ締約國ハ其ノ版圖上ニ於ケル飛行ヲ除外例設定ノ決定本文中ニ定ムル期間ニ限リ非締約國中ノ指定セラレタル一國又ハ數國ニ屬スル航空機ニ許可スルコトヲ得ヘシ

除外例ハ締約國中ノ一國カ其ノ更新ニ反對ノ聲明ヲ爲ササル限リ右ノ期間滿了ニ當リ同一期間暗默ニ更新セラルヘシ

右締約國ハ千九百二十年六月一日ヲ以テ本議定書ノ署名期限ト定ムルコト及本議定書ト千九百十九年十月十三日ノ條約トノ關係ニ鑑ミ該條約ノ署名期間ヲ此ノ日迄延長スルコトヲ決定ス

千九百二十年五月一日巴里ニ於テ本書一通ヲ作成シ佛蘭西共和國政府ノ記錄ニ之ヲ寄託保存ス本書ノ認證謄本ハ各締約國ニ之ヲ送付スヘシ

上記ノ日附ヲ有スル右ノ本書ハ千九百二十年六月一日以前ニ於テ之ニ署名スルコトヲ得

右證據トシテ左記全權委員ハ各其ノ全權委任狀ノ良好妥當ナルヲ認メ本議定書ニ署名セリ

本議定書ノ佛蘭西語、英吉利語及伊太利語各本文ハ同一ノ效力ヲ有スヘシ

ヒュー、シー、ウォレス
エド、ダーフィエ
ホタ、セー、アルテアガ
ダービー
ジョージ、エッチ、パーレー
アンドリュー、フィッシャー
トーマス、マッケンジー
アール、エー、ブランクンバーグ
ダービー
顯繼鈞
ラファエル、マルティーネス、オルティス
エー、ドルン、イ、デ、アルスーア
アー、ミルラン
アー、ロマノス
ポニン
松井慶四郎
エル、ブー、アマドール
エラスメ、ピルツ
ジョアウン、ジアガス
アー、ジェー、ギカ
ドクトル、アント、トルンビック
シアルーン
ステファン、オスースキー
ホタ、セー、アランコ

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝(御名)此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

聯帝國外二十國ノ全權委員カ佛蘭西國巴里ニ於テ大正八年十月十三日署名調印シタル航空ニ關スル條約及大正九年五月一日署名アリタル右條約議定書ヲ閱覽點檢シ之ヲ嘉納批准シ

神武天皇即位紀元二千五百八十一年大正十年六月二十八日東京宮城ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名 國璽

外務大臣　伯爵内田康哉

大正十一年十月二十八日 外務省告示第四十三號

在巴里國際航空委員會事務總長「アルベール、ロベー」ヨリ本年八月三十一日附ヲ以テ左ノ通通告アリタリ

以書翰致啓上候陳者國際航空委員會ノ千九百二十二年七月十三日ノ會議ニ於テ採決セル決議ニ依リ千九百十九年十一月十三日ノ航空條約中航空機ノ記號ニ關スル第一附屬書規定登錄記號文字集合中ヨリ國際的ニ特定ノ意義ヲ有スルSOS及PRBノ文字組合セノ使用ヲ除外スルヲ利益ナリト思惟致候ニ付玆ニ御注意迄ニ其ノ旨申進候

右申進旁〻玆ニ閣下ニ向テ深甚ナル敬意ヲ表シ候　敬具

大正十一年十月二十八日 外務省告示第四十四號

在巴里國際航空委員會事務總長「アルベール、ロベー」ヨリ本年九月一日附ヲ以テ左ノ通通告アリタリ

以書翰致啓上候陳者國際航空委員會ハ千九百二十二年七月二十八日ノ會議ニ於テ航空法規ニ關スル條約第三十四條ノ規定ニ依リ該條約第一附屬書ニ變更ヲ加フヘキコトヲ付議致候右變更ハ該附屬書第一款(イ)號ノ末項トシテ左ノ一項ヲ挿入セムトシタルモノニ有之候

尤モ締約國ニ於テ航空器ニ由リ非締約國ノ國民ニ引渡スカ爲製造シタル一切ノ航空機ニシテ國際航空委員會ニ於テ其ノ國籍及登錄ノ記號ヲ各締約國ニ告知スルニ至ラサルモノハ當該製造國ニ於テ之カ假登記ヲ爲スヘキモノトス國籍記號ハ當該製造國ノ記號トシW字及之ニ續ク三字ヲ以テ登錄記號ノ文字集合ト爲ス

右變更ハ委員會全會一致ノ承認ヲ經且第三十四條規定ノ定足數ヲ得タル次第ニ有之候

依而玆ニ該變更カ本通告ノ日以後各締約國ニ對シ完全ナル效力ヲ發生スヘキコトヲ御通告ニ及ヒ候

右申進旁〻玆ニ閣下ニ向テ深甚ナル敬意ヲ表シ候　敬具

○千九百十九年十月十三日ノ航空法規ニ關スル條約第五條ノ修正ニ關スル議定書

大正十五年十二月二十日 條約彙纂第七號

駐桜密顧問ノ諮詢ヲ經テ大正十一年十月二十七日英國倫敦ニ於テ作成セラレタル千九百十九年十月十三日ノ航空法規ニ關スル條約第五條ノ修正ニ關スル議定書ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム(樞密院ノ諮詢ヲ經ス)

千九百十九年十月十三日ノ航空法規ニ關スル條約第五條ノ修正ニ關スル議定書

國際航空委員會ハ陸軍少將「サー、ダアリュー、セフトン、ブランカー」議長ノ下ニ事務總長「アルベール、ロベー」之ヲ補佐シ倫敦ニ集會シタル其ノ第二回會議ノ際千九百二十二年十月二十五日ノ會合ニ於テ航空法規ニ關スル條約第三十四條ノ規定ニ從ヒ同條約第五條ノ變更ニ贊成シ同條ハ佛蘭西語、英吉利語及伊太利語ヲ以テ左ノ如ク作成セラルルコトト爲レリ

第五條

各締約國ハ締約國中ノ一國ノ國籍ヲ有セサル航空機ニ對シ特別且一時ノ許可ヲ與フル場合ヲ除クノ外其ノ版圖上ニ於ケル飛行ヲ許可セサルヘシ但シ同締約國カ該航空機ノ登錄セラルル國ト特別條約ヲ締結シタルトキハ此ノ限ニ在ラス右特別條約ノ規定ハ本條約ノ締約國ノ權利ヲ害セサルコトヲ要ス且本條約及其ノ附屬書ノ定ムル規則ニ準據スルコトヲ要ス右特別條約ハ之ヲ國際航空委員會ニ通報スヘク該委員會ハ他ノ締約國ニ之ヲ通知スヘシ

正當ノ委任ヲ受ケタル下名ハ締約國ノ決定的

（ロ）十九歳未滿ノ者又ハ四十五歳ヲ超ユル者ハ公衆運送ニ從事スル操縦者及航空者タルコトヲ得ス

、、、、、（變更ナシ）

三　各締約國ハ試驗ノ細目及最低標準要件カ附屬書規定ノ變更ニ關スル第三十四條所定ノ多數ヲ以テ採擇セル國際航空委員會ノ決議ニ依リ決定セラルルニ至ル迄當分ノ中各自國ノ檢査方法ヲ定ムヘシ右細目及ヒ最低要件ハ同一ノ多數ヲ以テ國際航空委員會ニ依リ變更セラルルコトヲ得

四　、、、、、（變更ナシ）

五　、、、、、（變更ナシ）

六　千九百十九年一月一日前ニ免狀ヲ受ケ千九百二十二年七月一日ニ於テ公衆運送會社ニ勤務スル航空從事者ハ最終健康檢査ノ際確證セラレタル身體ノ狀態ヲ保持シ且突發的ノ災厄ノ因ヲ爲ス理メラルヘキ病理的缺陷ナキ限リ其ノ資格ヲ保持シ得ルモノトス

國際航空委員會ハ航空條約第三附屬書第五款ノ條項ニ代フルニ左ノ條項ヲ以テスルコトニ決定シタリ

第五款

日誌ノ形式、作成及使用心得

條約所定ノ諸日誌ハ之ヲ合シテ一ト爲スコトヲ得合本日誌又ハ分冊各日誌ノ樣式、其ノ作成ニ關スル規則及使用心得ハ附屬書變更ニ關スル第三十四條所定ノ多數ヲ以テ航空委員會之ヲ決定シ又ハ變更スヘシ

大正十二年五月二十三日
外務省告示第二十七號

國際航空委員會ハ本年二月二十八日乃至三月二日「プリュッセル」ニ開催セル會議ニ於テ會員一致ヲ以テ左ノ決議ヲ採擇シタル旨本年四月十日附ヲ以テ該委員會事務總長ヨリ通告アリタリ

決議第七十六

委員會ハ第一附屬書乃至第七附屬書ニ對スル變更カ委員會ノ各會期後ニ於テ事務總長ニ依リ理滯ナク締約國ニ通報セラルヘキコト竝條約第三十四條ニ依ル該變更ニ關スル通告ハ右通報ヨリ四月後ニ效力ヲ生スルモノナルコトヲ決議ス

大正十三年五月七日
外務省告示第三十號

國際航空委員會ハ客年六月二十六日乃至三十日倫敦ニ開催セル會議ニ於テ國際航空條約第三十四條ノ規定ニ從ヒ左ノ通同條約附屬書ノ變更ヲ決議シタル旨及該變更決議ハ大正十三年二月十日ヨリ效力ヲ發生スヘキ旨該委員會事務總長ヨリ通告アリタリ

決議第九十四

國際航空委員會ハ航空條約第六附屬書第一款ノ第五號乃至第十二號ヲ左ノ如ク變更スルコトニ決定セリ

第六附屬書

（千九百二十四年二月十日ヨリ效力ヲ發生スヘキ本文）

第一款

一　、、、、、（變更ナシ）

二　、、、、、（變更ナシ）

三　、、、、、（變更ナシ）

四　、、、、、（變更ナシ）

五　一般國ハ「メルカトル」投影法ニ依リ描畫スヘク經度一度ハ三糎ノ梯尺ニ之ヲ均シカラシムヘシ圖葉ノ限界子午線ハ「グリニッチ」ヨリ之ヲ起算シ限界ノ併行圏ハ之ヲ赤道ヨリ起算スヘシ一般國ニ於ケル緯度ノ子午線及併行圏ハ細線ヲ以テ記シ又百萬分一世界地圖ノ各單位區劃ヲ限界スル子午線及併行圏ハ太線ヲ以テ記スヘシ各單位區劃ノ表號ハ百萬分一地圖ニ使用セラレタルモノト均シカルヘシ隣接圖葉ニ對シ緯度一度及經度二度ノ重複部分ヲ設クヘシ

六　一般（メルカトル）圖ノ各圖葉ニハ佛蘭西語ノ表題 Carte Générale Aéronautique Internationale（第一號圖參照）ヲ附スヘシ其ノ下部ニ圖葉發行國ノ言語ヲ以テ右表題ノ譯語ヲ附スヘシ各圖葉ハ適當ナル地理的名稱及前項ノ重複部分ヲ含マサル圖葉ノ西南角ノ新座標（第十號ニ規定スルモノ）ヲ以テ名附クラルヘシ

各圖葉ニハ少クトモ左ノ事項ヲ記載スヘシ

段層式彩色及協定記號ノ方式ヲ以テ現示スル主要ナル地文的形狀、地理的名稱、無線電信所、航海用燈臺（高サ、燭光、燈火ノ色及性質）、國境、禁止地域、等磁偏差線、分ニ目盛シタル外緣尺、南極距離、緯度、新舊經度（第十號參照）、百萬分一地圖ノ索引文字號及數字號ヲ記載スル外部、圖葉ノ中央緯度ニ於ケル數字ニ依ル梯尺、「キロメートル」及圖葉發行國ノ單位ニ依ル梯尺、名稱及略數字號（第十號參照）ニ依リ周圍ノ八圖葉ヲ示ス索引圖（必要アルトキハ當該地方圖葉ノ梯尺及區劃線ヲモ記載ス）、圖葉ニ含マルル國ノ境界及名稱竝海、地方、其ノ他ノ名稱ヲ示ス見出圖、段層式彩色ノ梯尺、目標點ヲ附記セル公定航空路表、英吉利語又ハ佛蘭西語及圖葉發行國ノ言語ヲ以テスル協定記號ノ凡例、地圖ノ構成ニ使用セル投影法、發行者ノ名及發行ノ日附竝爾後諸版ノ日附、圖葉構成ノ主要資料ノ表、公定價格

七　地方圖ハ二十萬分一梯尺ニ依リ之ヲ作製スヘシ

註　人口稀薄ナル地方ノ航空地方圖ハ五十萬分一又ハ百萬分一梯尺中適當ト認ムルモノヲ使用スルコトヲ得

（第二項削除）

八　航空地方圖ノ各單位圖葉ニハ佛蘭西語ノ表題 Carte Normale Aéronautique Internationale（第二圖參照）ヲ附スヘク且其ノ下部ニ地圖發行國ノ言語ヲ以テ右表題ノ譯語ヲ附スヘシ各單位圖葉ハ緯度一度及緯度一度ヲ包含スヘク且適當ナル地方名ヲ以テ及圖葉ノ組カ一度ヲ含ム圖葉ヨリ成ル場合ニ於テハ圖葉ノ西南角ノ新座標（第十號ニ規定スルモノ）ヲ以テ名附クラルヘシ

（例示ノ二項削除）

九　航空地方圖ノ各單位圖葉ニハ既知要項ニ付左ノ事項ヲ記載スヘシ

（イ）限界ノ子午線及併行圏ノ內部　每二十分ノ投影子午線及投影併行圏、道路、各種ノ鐵道、都市及市街ノ輪郭竝之ヲ橫斷スル主要ナル公道ノ圖形（若シ實行シ得ルトキハ村落ニ付モ同樣、然ラサルトキハ其ノ位置ノ表示）、地表面ニ於ケル水系ノ主要形狀、森林地其ノ他著陸ニ不適當ナル地域、飛行場及水上飛行場（格納庫及需品其ノ他ニ關スル常置施設ヲ示スヘシ）、不時著陸場、航空地上標識、立標及航空用固定燈火、航海用燈臺（高サ、燭光、燈火ノ色及性質）、無線電信所、氣象觀測所、架空電力線、顯著ナル物體、國境及岡稜上ノ目的ヲ以テ第八附屬書（二）ニ規定スル國境通過地點、禁止地域、主要航空路、主要ナル水體ノ名稱、市街及重要村落、彙流法ニ依ル土地ノ起伏、高サノ百米單位ヲ以テ之ヲ示シ實際ノ高サノ百米未滿ノ端數ハ之ヲ百米ト シテ切上クヘシ最高點ハ千位ヲ示ス數字ノ次ニ附スル一箇ノ點ニ依リ之ヲ示スヘシ（例ヘハ2·5）示スヘキ高サノ等深線ノ深度ハ墨色數字ニ依リ「メートル」及（望マシキトキハ）地圖發行國ノ單位ヲ以テ之ヲ指示スヘシ海流ノ方向ハ有用ナリト認メル場合ニ於テハ藍色ノ矢ヲ以テ之ヲ示シ其ノ速度ハ黑色數字ヲ以テ之ヲ記載スヘシ

ロ　土地ノ彩色ハ其ノ表示カ航空者ニ對シ有益ナル場合ニ於テノミ之ヲ使用スルコトヲ得不毛ノ地ニハ淡キ淺黃色ヲ又植物ヲ以テ蔽ハル土地ニハ淡綠色ヲ使用スヘシ

ハ　土地ノ起伏ニ關シテハ一般圖ハ之ヲ段階式地圖（即チ順次ノ高度ハ順次ノ段階間ニ明ニ區別アル色別ケ方式ニ依リ之ヲ指示スヘシ）ト爲スヘシ等高線ハ中等潮位ヨリ起算シテ五百米、千米、二千米及三千米ノ高度ニ該當セシムル樣之ヲ描畫スヘシ彩色ノ梯尺ハ三色ニ分ケ（五百米乃至一千米、一千米乃至二千米及二千米乃至三千米ノ段層式彩色ハ五百米未滿及三千米ヲ超ユル地方ニ對シテハ之ヲ使用セス等高線ニ依リ示サレサル重要地形ハ特殊ノ記號ヲ以テ之ヲ表示スヘシ

ニ　鐵道ハ之ヲ線路ノ數ニ拘ラス單一ナル線ヲ使用スヘシ

一般圖ニ於テハ線路ノ數ニ拘ラス單一ナル線ヲ使用スヘシ

地方圖ニ於テハ單線ハ細線ヲ以テ之ヲ指示スヘシ複線以上ノ線路ハ太線ヲ以テ之ヲ指示シ實際ノ線路ノ數ハ黑色ノ羅馬數字ヲ以テ之ヲ示スヘシ

左記ノ間ニハ區別テ設クヘシ

（一）現ニ使用スル鐵道

（二）敷設中ノ鐵道

（三）廢棄シタル鐵道

ホ　輕便鐵道ハ地圖ノ梯尺ノ許ス限リ栗色ノ細線ヲ以テ之ヲ示シ望マシキトキハ間隔ヲ置キテL又ハ黑色文字ヲ記入スヘシ線路數ハ之ヲ記載スヘカラス輕便鐵道カ道路ニ沿フトキハL又ハ文字ノミヲ記載シ其ノ道路トノ分岐點ハ明ニ之ヲ示スヘシ

鐵道ノ停車場ハ之ヲ栗色ト爲シ航空者ニ對シ特ニ重要ナル場合ニ限リ一般圖ニ

カ千米以下ナル場合ニ於テハ零ヲ讀點ノ左ニ置クヘカラス（例ヘハ3·3）

（ロ）外郭ノ內部　分ニ目盛シタル外緣尺、緯度、南極距離、經度ノ新舊記法（第十號參照）

（ハ）外郭ノ外部　圖葉ヲ指示スル爲ニ選定セラレタル地方ノ名稱及略番號ヲ使用スル場合ニハ略番號、「キロメートル」及圖葉發行國ノ單位ニ依ル梯尺、英吉利語又ハ佛蘭西語及圖葉發行國ノ言語ヲ以テスル協定記號ノ凡例、磁針偏差圖及年差、名稱及略番號（後者ヲ使用スル場合ニハ）ニ依リ周圍ノ圖葉ヲ示ス索引圖、國及海ニシテ其ノ部分カ索引圖ニ含マルルモノノ境界及名稱ヲ示ス見出圖、圖葉ノ構成ニ使用セル投影法、發行者ノ名及發行ノ日附、圖葉ノ構成ニ關スル主要資料ノ表、公定價格

航空一般圖及航空地方圖ノ圖葉ニハ常用ノ經度及緯度ノ記號ヲ附スルノ外更ニ「グリニッチ」反對子午線及南極ヲ起點トシテ數フル新座標ニ相當スル矩形內ニ入ル數字號ヲ附スヘシ緯度ニ關シ新分格算定法ハ南極ニ於テ百八十度ニ至ル經度ニ關シテハ北極ニ於テ百八十度ニ至ル經度ニ關シテハ「グリニッチ」ノ反對子午線ヲ零トシ東方ニ進ムニ從ヒ度分ヲ增加シ三百六十度ニ至ル右ノ新座標ニ依リ圖葉ヲ指示スルニハ國葉ノ西南角ノ座標ヲ用フヘク南極距離ニ關スル數字ハ之ヲ常ニ之ヲ最初ニ記載シ又單位數字ハ之ヲ大書スヘシ

例　北緯四十九度（即チ南極距離百三十九度）ヲ南邊トシ東經二度（即チ「グリニッチ」反對子午線ヨリ百八十二度）ヲ西邊トスル圖葉ニハ $\frac{49}{131}$—$\frac{52}{128}$ノ數字號ヲ附スヘシ又南緯三十六度（即チ南極距離五十四度）ヲ南邊トシ西經七度（即チ「グリニッチ」反對子午線ヨリ百七十三度）ヲ西邊トスル圖葉ニハ $\frac{54}{173}$—$\frac{57}{177}$ノ數字ヲ附スヘシ

十一　一般及地方ノ圖ノ形狀竝表題、欄外記載事項、圖及凡例ハ附屬雛形ニ示ス通タルヘシ（訂正第一號圖及訂正第二號圖）

十二　一般及地方ノ航空圖竝案內書ニシテ國際取極ニ依リ設定セラルルコトアルヘキ最重要路ノ通スル地域ニ關スルモノハ最初ニ之ヲ作製スヘシ

註　通常ノ測圖法ハ航空地圖作製ノ爲不適當ナルヲ以テ最重要國際路ニ沿フ地域ハ空中ヨリ之ヲ測量スル手段ヲ講スヘキコトヲ特ニ勸告ス右測量ハ航空從事者ノ使用ニ供スヘキ地圖ニ記載ヲ要スル事項ニ關シ緊要ナル情報ヲ提供スヘシ

第二款

一　、、、、、（變更ナシ）

二　、、、、、（變更ナシ）

決議第九十五

國際航空委員會ハ航空條約第六附屬書ノ規定ハ一層的確ニ之ヲ定義スルコトヲ要シ、一切ノ國カ國際航空地圖ニ使用スヘキ同一形式ノ協定記號表ヲ採用スルコトヲ要シ及國際航空一般圖用索引方式ヲモ採用スルコトヲ要ストノ意見ナルニ因リ左記方法ニ依リ航空條約第六附屬書ヲ變更スルコトニ決定セリ

一　後ニ揭クル附錄ヲ追加スルコト

二　航空表示用協定記號表ヲ第一號圖中ニ包含セシムルコト

三　國際航空一般圖用索引方式ヲ追加スルコト

四　現ニ航空條約附屬書ノ後ニ添付セラルル佛蘭西語及英吉利語ノ第二號圖（國際航空地方圖）ニ代フルニ二國語ニ依ル單一ノ圖面ヲ以テスルコト

第六附屬書附錄

一　投影法及梯尺

イ　一般圖　一般圖ハ北緯六十八度ト南緯六十八度トノ間ニ於テハ「メルカトル」投影法ニ依リ描畫スヘク經度一度ハ三糎ノ梯尺ニ之ヲ均シカラシムヘシ

ロ　地方圖　地方圖ニ關シテハ一定ノ投影法ヲ規定セス

ハ　航空路圖　一般國ノ圖葉ヲ作製セサル世界ノ各部分（例ヘハ太洋橫斷航空路其ノ他）ニ關シテハ附屬保證圖ハ「メルカトル」投影法及適當ナル梯尺ニ依ル航空路

レル文字ニ依リ黒色ヲ以テ之ヲ示スヘシ

四　航空協定記號

一切ノ航空表示ハ黒色ヲ以テ之ヲ示スヘシ

五　空中及海上ノ燈火ノ說明ニ使用スル略語

右燈火ニ對シテ使用スヘキ略語ハ之ヲ協定記號表中ニ揭ク

六　名稱ノ綴字法及移音法ニ關シテハ

國際百萬分一地圖ニ使用セラルル規則ヲ採用スヘシ記載スヘキ表示カ國際航空ノ見地上重要ナラサルトキハ自國語ヲ以テスル地名ノ記入ノミヲ以テ足ルモノトス

七　羅針方位ノ記載カ細密事項ヲ不明ナラシメサル場合ニ於テハ「メルカトル」投影法ニ依ル地圖ニ羅針方位ヲ示スヘシ外郭ニ眞方位ト羅針方位トノ偏角分劃ヲ望マシキトキハ示スコトヲ得

大正十三年五月七日
外務省告示第三十一號

國際航空委員會ハ客年六月二十六日乃至三十日倫敦ニ開催セル會議ニ於テ國際航空條約第十三條ニ準據シ及第十四條ニ依リ付與セラレタル權能ニ基キ夫々左記決議ヲ採擇シタル旨竝該決議ノ大正十三年二月十日ヨリ效力ヲ發生スヘキ旨該委員會事務總長ヨリ通告アリタリ

決議第百二

國際航空委員會ハ航空條約第十三條ニ依リ左ノ如ク決定セリ

一　第三回會期ノ際採擇セラレタル決議第七十二ヲ取消ス

二　堪航證明書竝私ノ操縱者、旅客飛行機又ハ貨物飛行機ノ操縱者(公衆運送)、航空者、航空機技師及自由氣球操縱者ノ技倆證明書及免狀ニハ本決議附屬ノ雛形ヲ採用ス

三　採用セラレタル雛形ニ依ラサル技倆證明書又ハ免狀ハ千九百二十四年一月一日以後一切之ヲ下付スルコトヲ得ス又現在使用スル技倆證明書及免狀ハ漸次右新雛形ヲ以テ之ニ代ヘ以テ千九百二十五年一月一日迄ニ

四　航空條約第十三條ニ揭クル堪航證明書、技倆證明書及免狀ノ作製ニ關スル左記規則ヲ採用スルコト

規則

締約諸國ハ一國語又ハ二以上ノ國語ヲ以テ記載セル堪航證明書、技倆證明書及免狀トシテ採用スル各自由ニ下付スルコトヲ得

右堪航證明書、技倆證明書及免狀トシテ採用セラレタル雛形ハ左記規定ニ依リ之ヲ作製シ且之ニ記入スルコトヲ要ス

堪航證明書

本證明書ハ强制ナル紙葉ニシテ折疊ミ易ク且之ヲ容ルル爲航空日誌中ニ設ケタル差込ニ敎メ易キモノニ之ヲ印刷スヘシ

航空機ノ寫眞(大サ九糎對十二糎)

本寫眞ハ之ヲ塞紙ニ貼付スヘカラス且側面寫眞ニテ航空機ノ正確ナル型式又ハ航空機自體ヲ登錄記號其ノ他ト共ニ示スモノタルコトヲ要ス

所有者ノ名等　此等ノ詳細事項ハ登錄證明書ニ依リ之ヲ記入スヘシ

技術者ハ成ルヘク代表機ニ據ラシテ航空記述

航空機自體ニ基キ本記述ヲ爲スコトヲ要ス殊ニ重量ノ指示ニ付然リトス

航空機ノ種別　航空機ニ對シ定メラレタル分類及小分類ニ依ル種別ハ此ノ處ニ記入スヘシ

強制條件　本條件ハ當該官憲(飛行場長其ノ他)カ常ニ檢査スヘキモノニシテ特ニ安全ニ關係アルモノナリ

表題第三十五ノ「檢査及分解」ニハ第四頁(定期分解)ヲ參照セシムルコトヲ得

表題第三十六ニハ貨物ノ積込ニ關シ固定、支持其ノ他ノ方法ヲ明記スルコトヲ得

表題第三十七ニハ必要アル場合重心點ノ變更ニ依ル危險ナカラシムル爲積荷ノ配置方法ヲ記スヘシ例ヘハ前室ニ發廷後室ニ養廷

以下空白ノ表題ハ航空機ノ安全ニ必要ナル其ノ他ノ强制條件ニ關スルモノタルコトヲ得例ヘハ「某飛行機ハ旅客又ハ貨物ヲ搭載セシテ飛行スル場合ニ於テハ百廷ノ「パラスト」ヲ

ハ新雛形ノミ使用セラルルコトヲ要ス

四　航空條約第十三條ニ揭クル堪航證明書、技倆證明書及免狀ノ作製ニ關スル左記規則ヲ採用スルコト

規則

締約諸國ハ一國語又ハ二以上ノ國語ヲ以テ記載セル堪航證明書、技倆證明書及免狀トシテ採用スル各自由ニ下付スルコトヲ得

右堪航證明書、技倆證明書及免狀トシテ採用セラレタル雛形ハ左記規定ニ依リ之ヲ作製シ且之ニ記入スルコトヲ要ス

堪航證明書

本證明書ハ强制ナル紙葉ニシテ折疊ミ易ク且之ヲ容ルル爲航空日誌中ニ設ケタル差込ニ敎メ易キモノニ之ヲ印刷スヘシ

航空機ノ寫眞(大サ九糎對十二糎)

本寫眞ハ之ヲ塞紙ニ貼付スヘカラス且側面寫眞ニテ航空機ノ正確ナル型式又ハ航空機自體ヲ登錄記號其ノ他ト共ニ示スモノタルコトヲ要ス

所有者ノ名等　此等ノ詳細事項ハ登錄證明書ニ依リ之ヲ記入スヘシ

技術者ハ成ルヘク代表機ニ據ラシテ航空記述

航空機自體ニ基キ本記述ヲ爲スコトヲ要ス殊ニ重量ノ指示ニ付然リトス

航空機ノ種別　航空機ニ對シ定メラレタル分類及小分類ニ依ル種別ハ此ノ處ニ記入スヘシ

强制條件　本條件ハ當該官憲(飛行場長其ノ他)カ常ニ檢査スヘキモノニシテ特ニ安全ニ關係アルモノナリ

表題第三十五ノ「檢査及分解」ニハ第四頁(定期分解)ヲ參照セシムルコトヲ得

表題第三十六ニハ貨物ノ積込ニ關シ固定、支持其ノ他ノ方法ヲ明記スルコトヲ得

表題第三十七ニハ必要アル場合重心點ノ變更ニ依ル危險ナカラシムル爲積荷ノ配置方法ヲ記スヘシ例ヘハ前室ニ發廷後室ニ養廷

以下空白ノ表題ハ航空機ノ安全ニ必要ナル其ノ他ノ强制條件ニ關スルモノタルコトヲ得例ヘハ「某飛行機ハ旅客又ハ貨物ヲ搭載セシテ飛行スル場合ニ於テハ百廷ノ「パラスト」ヲ

之ヲ示スヘシ地方國ニ於テハ一切ノ停車場ヲ示スヘク單ニ一ノ乘降場ヲ有スル停車場ト二以上ノ乘降場ヲ有スル停車場トノ間ニ區別ヲ設クヘシ

軌道ハ地圖ノ縮尺ノ許ス限リ聚色ノ細線ヲ以テ之ヲ示シ望マシキトキハTナル黑色文字ヲ記入スヘシ線路數ハ之ヲ示スヘカラス軌道カ道路ニ沿フトキハTナル文字ノミヲ記載シ得ヘク其ノ道路トノ分岐點ハ明ニ之ヲ示スヘシ

電信線ハ之ヲ示ス場合ニ於テハ聚色ノ點線ト爲スヘシ鐵道ニハ之ニ沿フ電信線存在スルモノト推定セラルヘシ鐵道又ハ軌道ノ方向ニ沿ハサル架空電力線ハ縮尺ノ許ス限リ電信線ノ協定記號ヲ以テ之ヲ示シ間隔ヲ置キテPナル黑色文字ヲ附記スヘシ

道路ハ之ヲ黃色ヲ基本トスル色ト爲スヘシ道路ハ之ヲ分類スヘカラス尤モ航空者ニ對スル指針トシテ特ニ重要ナル道路ハ其ノ色ノ濃度ヲ强ムルカ又ハ其ノ幅員ヲ增加スルコトニ依リ之ヲ見易カラシムヘシ

小徑ハ之ヲ破線ト爲スヘシ

都市、村落及建物ハ之ヲ鮮紅色ト爲スヘシ都市又ハ村落ノ實際ノ輪廓及主要路ハ縮尺ノ許ス限リ之ヲ示スヘシ

森林、果樹園、樹叢、ホップ畑、葡萄畑、栽植地其ノ他ハ之ヲ示ス場合ニ於テハ綠色ト爲スヘシ密生セル森林及樹叢ハ無地ニテ之ヲ示シ樹木ノ密度比較的疎ナル地域ヲ示スニハ綠色點彩法ヲ用ヰ且之ニ變化アラシムヘシ綠色無地カ段層式彩色ヲ不明ナラシムル場合ニ於テハ點彩法ヲ用フヘシ

沙漠、漂砂、砂丘及砂洲ハ特殊ノ記號ヲ以テ之ヲ示スヘシ

懸崖、岩石及採石場ハ特殊ノ記號ヲ以テ之ヲ示スヘシ

一切ノ文字記入ハ黑色又ハ暗色ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

一切ノ航空表示ハ其ノ他ノ表示ト全然異

三　免狀ノ頁數ハ任意トス全頁數中ノ若干ハ必ス之ヲ備フヘク此ノ頁ハ雛形ニ準據シテ之ニ各國同一ナル頁ノ番號ヲ亞剌比亞數字ニテ記入シ其ノ前ニ「免狀」ナル文字ヲ附スヘシ此ノ必備ノ頁ハ左上隅ヨリ右下隅ニ向ヒテ之ヲ斜線ス一種ノ輻ヲ有スル一條ノ聚色線ヲ有スヘシ右以外ノ方法ヲ以テ番號ヲ附シ且斜線色線ヲ附セサル補足頁ヲ個個ノ國ニ關スル規定ヲ挿入スル爲附加スルコトヲ得

四　免狀ハ取扱ヒ得ル樣作ルコトヲ得免狀ハ其ノ最初ノ紙面又ハ最後ノ紙面ヲ見ル場合ニ於テハ技倆證明書ノ一頁ハ之カ爲ニ藏ハルル樣之ヲ技倆證明書ノ內側ニ藏ハルル樣ニ對スル技倆證明書ノ第一頁及免狀ノ第一頁ニハ操縱者カ操縱ノ許可ヲ得タル飛行機ノ型式(陸上飛行機ノ型式、水上飛行機ノ型式、其ノ他ノ)ノ詳細事項ヲ記載スル爲メ餘白ヲ設クヘシ該詳細事項ハ之ヲ本頁ニ記入スルコトヲ得ヘク又ハ右型式ノ列擧セラルル補足頁ヲ參照スヘキコトヲ本頁中ニ記入スルコトヲ得

各國ハ其ノ希望スル場合ニ於テハ陸上飛行機及水上飛行機ノ一切ノ型式ニ對シ、陸上飛行機若ハ水上飛行機ノ一切ノ型式ニ對シ又ハ或ル型式ノ飛行機ニ對シ單一ノ證明書ヲ下付スルコトヲ得左記ノ規定形式ニ依ルヘシ

左記型式ノ飛行機ニ對シ、、、、

一切ノ陸上飛行機及水上飛行機

又ハ

、、、、飛行機

又ハ

(第、、、頁參照)

六　免狀ノ有效期間ハ國カ免狀ニ對シ永久ノ效力ヲ付與スル場合ニ於テハ直接之ヲ第一頁ニ記入スヘク又ハ免狀ノ更新ヲ記入スヘキ必備ノ頁ヲ參照スヘキコトヲ記入スヘシ

七　免狀更新ノ爲ニ保留セラルル頁ハ左記ヲ含ムヘシ

(一)　健康檢査ヲ記入スル二欄即チ檢査ノ

日附及結果、檢査醫官ハ其ノ行ヘル檢査ノ結果ノ下ニ署名スルコトヲ得

(二)　責任アル官憲ノ署名又ハ捺印ノ下ニ免狀ノ有效期間ヲ記入スヘキ右以外ノ三欄

(三)　免狀ノ正規ノ有效期間內ニ發生スルコトアルヘキ病氣又ハ事故ニ因ル臨時檢査ノ場合ニ於テ健康檢査ノ好結果ヲルコトノ記入ハ該免狀ノ有效ナルコトヲ確認スルニ充分ニシテ責任アル官憲ニ於テ有效ナルコトヲ更ニ記入スルノ必要ナキモノトス

(堪航證明書ノ雛形)

(第二頁卽チ左側內面)

航空機ノ種別　(十三　分類
十四　小分類

十五　全幅(飛行狀態ニ於ケル)
十六　全長(飛行狀態ニ於ケル)
十七　全高(水上飛行機ニ付テハ臺車ト共ニ

十八　據付臺數
十九　製造所名
二十　型式
二十一　地上ニ於ケル馬力(各發動機ノ)每分、、回轉ニ於テ、、馬力

發動機

前記馬力ノ場合地上(二十二　燃料
ニ於ケル每時消費量(各發動機ノ)　(二十三　滑油

二十四　螺旋機　裝備個數　型式　番號
ヒツチ

二十五　冷却器ヲ包含スル無積載航空機ノ自重(判明セルトキ)

二十六　燃料及滑油ノ重(二十七　燃料
量(滿槽ノトキ)　(二十七　滑油

二十八　乘員ニ對シ許サレタル重量
二十九　無線機以外ノ裝備ニ對シ許サレタル重量
三十　無線機ノ重量
三十一　滿槽ノトキニ於ケル公認積載量(旅客、貨物)
三十二　公認最大總重量
三十三　强制條件
公認最大總重量(文字ヲ以テ記載スヘシ)
三十四　必要ナル最少乘員數
三十五　檢査及分解
三十六　積込ノ方法
三十七　積荷ノ配置
三十八　、、、、
三十九　、、、、

チ考量シ

前記航空機ニ付千九百十九年十月十三日附航空法規ニ關スル條約第二附屬書及、、、ニ準據シ本堪航證明書ヲ下付ス

(堪航證明書ノ雛形)

(第二頁卽チ左側內面)

航空機ノ寫眞(側面寫眞)

大サ九糎對十二糎

、、、國、、、省、、、局又ハ、、、部

堪航證明書又ハ堪航免狀第　發
(空氣ヨリ重キ航空機)

第一部

所有者又ハ所有會社ノ名稱、名稱、住所及國籍

一　所有者ノ姓(又ハ會社ノ名)
二　名
三　住所
四　國籍
五　姓名又ハ名稱　製造者ノ名
國籍及登錄記號
六　、、、、航空機ニ關スル記述
七　型式　製造番號
八　航空機製作ノ場所及年
九　陸上機、水上機又ハ水陸兩用機
裝設
發動機ノ數
座席ノ設(乘員席ヲ含ム)

(十)
(十一)
(十二)
航空機ノ種類

本證明書ハ前記强制條件ノ履行セラルル限リ且本雛形ノ第四頁ニ揭クル日迄有效トス

千九百、、年、月、日、ニ於テ下付ス

(署名)

(堪航證明書ノ雛形)

(第三頁卽チ右側內面)

第二部

航空安全ノ爲ニ爲スヘキ注意事項

イ　航空機カ航空ノ爲裝備スルコトヲ要シ且完全ニ使用シ得ヘキ免狀トニアルコトヲ要スル計器及材料ノ種類及位置

註　裝備ノ目錄、種類

ロ　飛行中ノ火災ノ豫防又ハ消火ニ必要ナル裝備

事故ノ場合ニ於ケル應急處置施行ニ必要ナル裝備

註　裝備ノ目錄、種類

(堪航證明書ノ雛形)

(第四頁)

定期分解

分解ノ日附及場所	分解ノ結果(註)	證明書ノ有效期限	技術者ノ署名

註　堪航證明書ノ效力停止ノ期間及理由竝其ノ取消ハ特ニ本欄ニノミ之ヲ記載スヘシ

決議第百四

國際航空委員會ハ航空條約第十四條ニ依リ付與セラレタル權能ニ基キ左ノ如ク決定セリ

一　第二回會期ノ際採擇セラレタル決議第三十八(公報第二號第二十九頁)ヲ取消スコト

二　左記ノ規則ヲ採用スルコト

航空機上ニ於ケル無線機使用方法ニ關

本文ヲ左ノ通變更スルコトニ決定セリ

現在ノ本文

第六號第二項　豪（高サ、燭光、）

同　上　（緯度、南極距離、新舊經度、）

第九號（イ）　（其ノ位置ノ表示）

同　上　（標識、立標及航空用固定燈火、航海用燈臺（高サ、燭光、）

第九號（ハ）　（針偏差圖及年差、）

第十號　（更ニ「アリニツ」及南極ヲ起點トシテ反對子午線ニ至ル又經度ニ關シテハ「グリニツチ」ヲ起點トシテ東方ニ進ミ西方ニ進ミ各ニ百八十度ニ至ル）

第十一號　一較及地方圖ノ形狀（一較及地方圖ノ圖葉ノ數表題、關外記載事項、關外附屬書ノ數及凡例ハ附屬書ニ示ス通リ）

第四號第十一號　（使用セラルル公認飛行場ニ於テ）

第四號第十二號　（飛行場ニ近接スル飛行場ニ於テ）

第四號第十六號各「L」字ノ前ニ　（「L」字）

第四號第十六號第四十六號（イ）　（飛行場ノ最近ノ地點ニ在ラシムルモノ）

第四號第五十號　（使用セラルル公認飛行場ニ於テ）

第四號第五十號　（前記規則ノ何レノ規定ト雖モ）

第四號第五十一號　（前記規則ノ何レノ規定ト雖モ）

第四號第五十二號　（飛行場ニ近接スル飛行場ニ接近スル場合ニハ）

第四號第五十二號　（飛行場ニ近接スル飛行場ニ於テ）

第四號第五十號　（本規則ノ何レノ規定ト雖モ）

第四號第五十號　（燈火ノ携帶使用ノ儘）

第四號第五十一號　（本規則ノ何レノ規定ト雖モ）

第五號第一款甲　（飛行規則）

第五號第一款乙（一）（飛行規則）

第五號第一款乙（二）（飛行規則）

第五號第二款三　（飛行規則）

第五號第一款甲二　（飛行規則）

第五號第一款甲　（特別飛行規則）

第五號第一款乙（一）（飛行規則）

第五號第一款乙（二）（特別飛行規則）

第三十四號　（遵守及解釋スルニ當リテハ）

第四號第五款標題　（規則）

第四號第四十號　（公認セラレタル各飛行場ニ於テハ）

第四號第四十一號　（飛行場ニ於ケル最近ノ地點タラシムルモノ）

第四號第四十六號第四十六號（イ）　（飛行場ノ最近ノ地點ニ在ラシムルモノ）

第四號第四十二號　（飛行場ニ於テハ）

第四號第四十一號　（使用セラルル公認飛行場ニ於テハ）

第四號第四十二號　（飛行場ニ於テハ）

第四號第五十號　（本規則ノ何レノ規定ト雖モ）

第四號第五十號　（燈火ノ使用ノ儘）

第四號第五十一號　（本規則ノ何レノ規定ト雖モ）

第五號第一款甲　（飛行規則）

第五號第一款乙（一）（飛行規則）

第五號第一款乙（二）（飛行規則）

第五號第二款三　（飛行規則）

第五號第一款甲二　（飛行規則）

第五號第一款甲　（特別飛行規則）

第五號第一款乙（一）（飛行規則）

第五號第一款乙（二）（特別飛行規則）

第五號第二款三　（特別飛行規則）

第五號第一款乙（一）（試驗員）

第五號第一款乙（二）（試驗官）

第五號第一款乙（ロ）（檢査官）

第五號第一款乙（ロ）（主翼、尾翼、方向舵、昇降舵及螺旋翼ニ對スル機ニ對スル空氣抵抗ノ效果ニ關スル學理的智識）

第五號第二款標題　（氣球操縱者）

第五號第三款標題　（航空船操縱士）

第五號第三款第一項　（操縱士）

第五號第三款第二項　（操縱者）

第五號第二款標題　（自由氣球操縱者）

第五號第三款標題　（航空船操縱者）

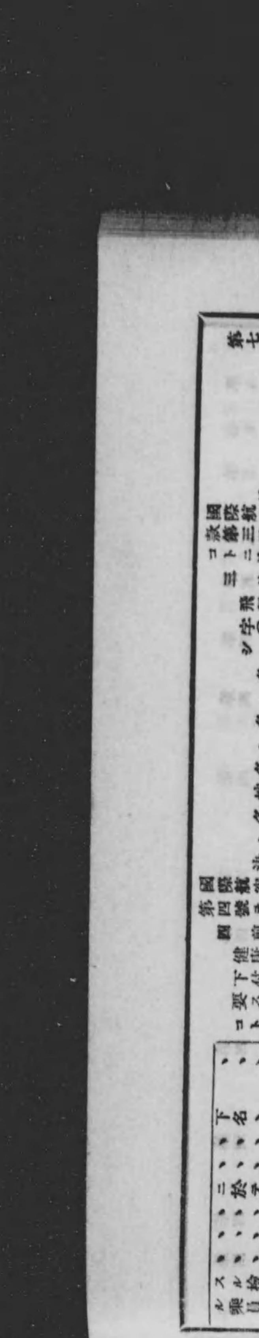
第五號第三款第一項　（操縱者）

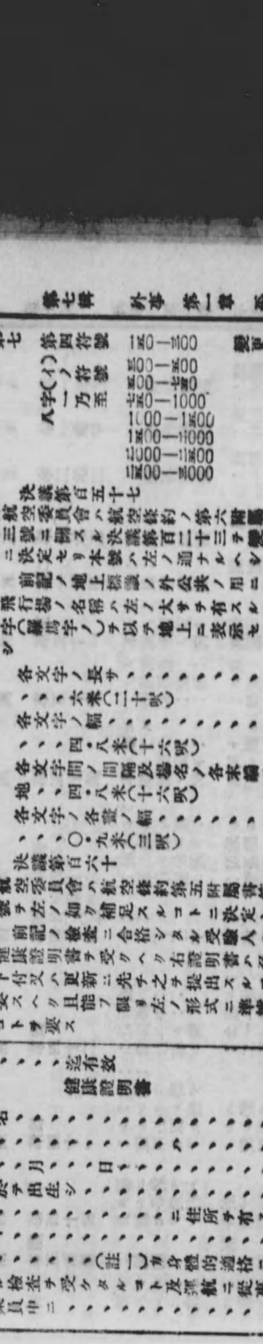
第五號第三款第二項　（操縱者）

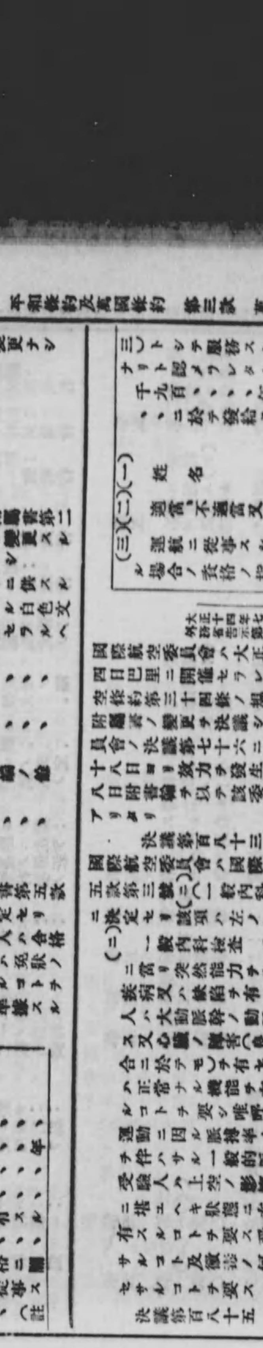
第五號第三款三等證明書ニ對スル資格（イ）　（空船ノ下受驗人自ラ）

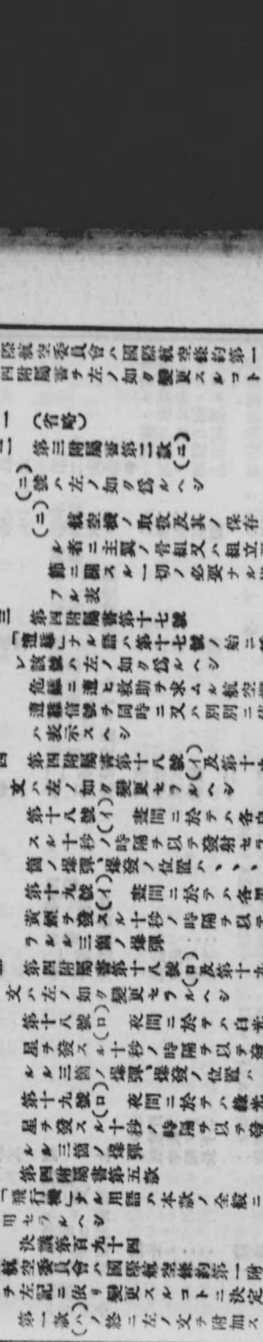
第五號第三款三等證明書ニ對スル資格（ロ）　（實地試驗一學理試驗二）

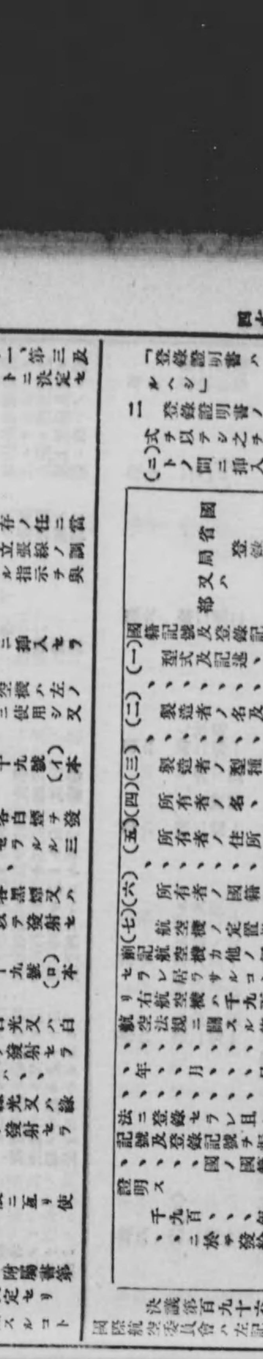
第五號第三款三等證明書ニ對スル資格（イ）　（四回ノ飛行時間ニ超エサル航空船操縱者ノ

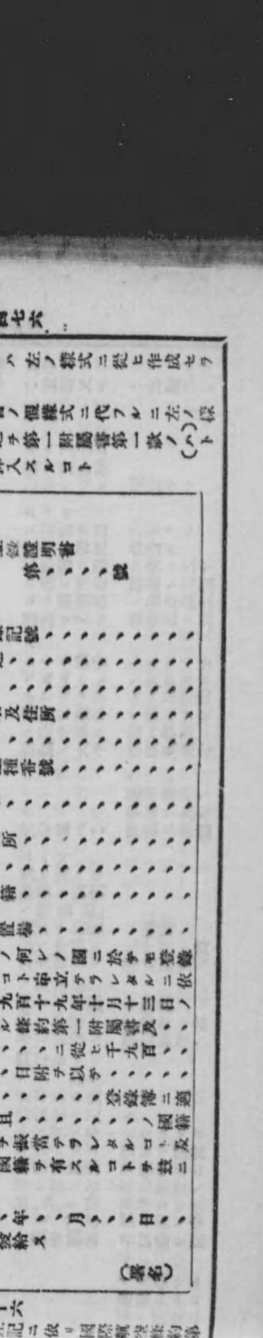


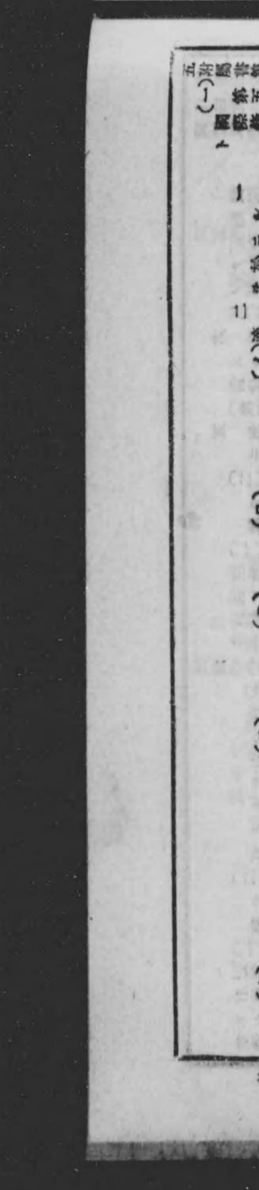


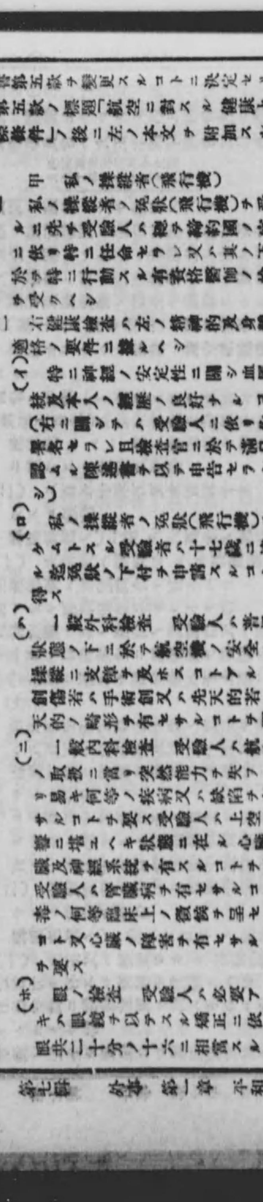


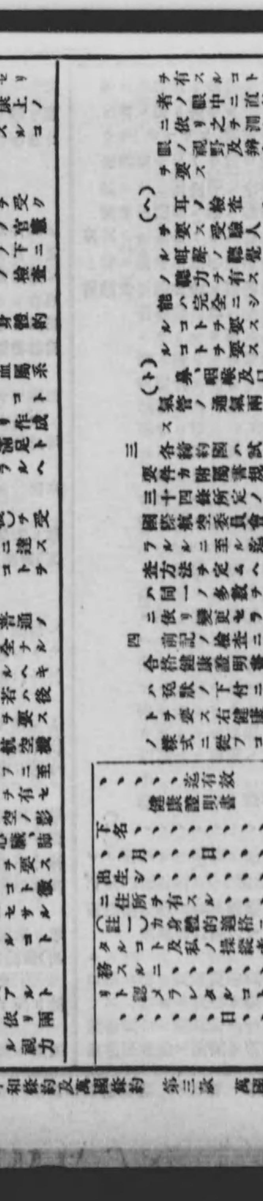


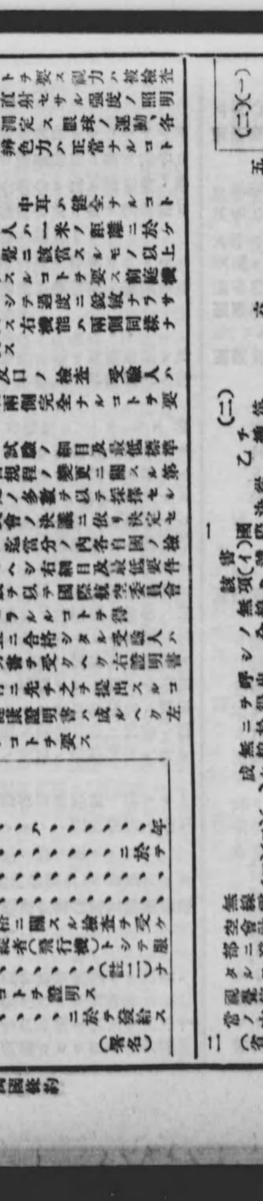


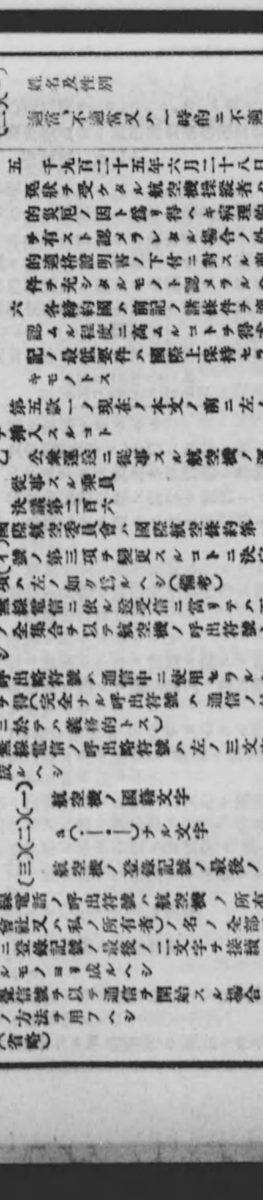


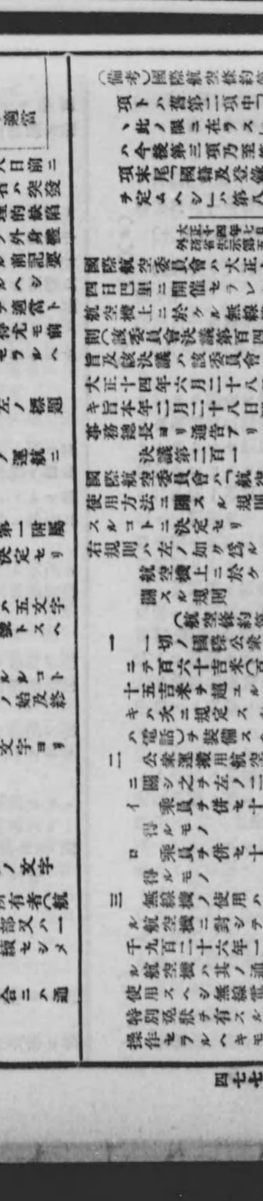


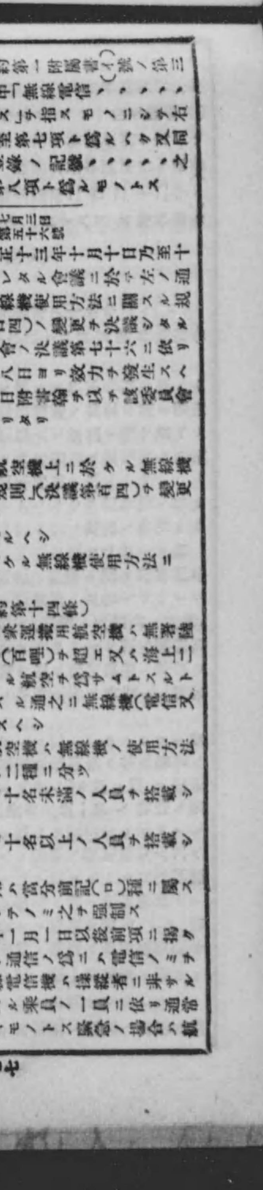




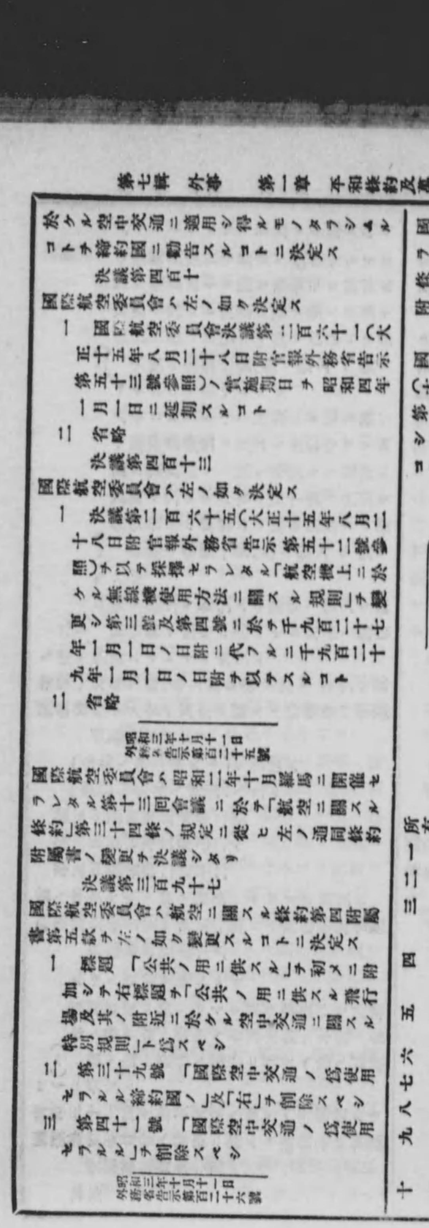


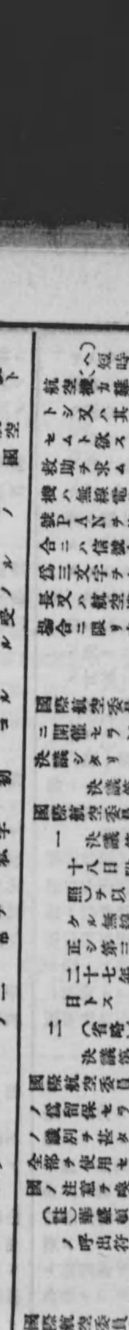






事項
決議第三百九十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約ノ修正ニ付テハ
決議第三百九十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第三百九十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第三百九十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第三百九十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百二十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百二十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百二十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百二十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百二十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百二十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百二十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百二十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百二十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百二十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百三十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百三十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百三十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百三十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百三十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第四十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百三十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第四十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百三十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第四十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百三十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第四十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百三十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第四十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百三十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第四十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百四十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第四十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百四十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第四十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百四十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第四十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百四十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第四十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百四十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第五十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百四十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第五十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百四十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第五十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百四十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第五十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百四十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第五十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百四十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第五十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百五十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第五十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百五十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第五十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百五十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第五十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百五十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第五十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百五十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第六十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百五十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第六十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百五十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第六十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百五十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第六十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百五十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第六十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百五十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第六十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百六十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第六十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百六十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第六十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百六十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第六十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百六十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第六十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百六十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第七十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百六十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第七十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百六十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第七十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百六十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第七十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百六十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第七十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百六十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第七十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百七十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第七十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百七十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第七十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百七十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第七十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百七十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第七十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百七十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第八十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百七十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第八十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百七十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第八十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百七十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第八十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百七十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第八十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百七十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第八十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百八十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第八十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百八十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第八十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百八十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第八十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百八十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第八十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百八十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第九十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百八十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第九十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百八十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第九十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百八十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第九十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百八十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第九十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百八十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第九十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百九十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第九十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百九十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第九十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百九十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第九十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百九十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第九十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百九十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百九十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百九十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百九十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百九十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第四百九十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百二十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百二十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百二十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百二十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百二十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百二十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百二十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百二十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百二十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百二十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百二十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百二十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百二十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百二十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百二十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百三十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百二十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百三十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百二十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百三十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百二十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百三十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百二十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百三十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百二十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百三十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百三十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百三十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百三十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百三十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百三十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百三十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百三十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百三十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百三十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百四十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百三十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百四十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百三十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百四十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百三十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百四十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百三十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百四十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百三十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百四十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百四十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百四十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百四十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百四十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百四十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百四十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百四十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百四十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百四十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百五十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百四十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百五十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百四十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百五十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百四十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百五十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百四十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百五十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百四十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百五十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百五十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百五十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百五十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百五十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百五十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百五十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百五十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百五十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百五十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百六十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百五十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百六十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百五十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百六十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百五十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百六十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百五十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百六十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百五十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百六十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百六十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百六十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百六十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百六十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百六十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百六十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百六十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百六十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百六十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百七十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百六十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百七十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百六十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百七十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百六十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百七十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百六十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百七十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百六十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百七十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百七十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百七十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百七十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百七十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百七十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百七十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百七十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百七十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百七十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百八十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百七十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百八十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百七十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百八十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百七十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百八十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百七十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百八十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百七十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百八十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百八十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百八十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百八十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百八十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百八十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百八十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百八十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百八十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百八十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百九十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百八十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百九十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百八十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百九十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百八十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百九十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百八十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百九十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百八十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百九十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百九十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百九十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百九十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百九十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百九十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百九十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百九十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第百九十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百九十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百九十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百九十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百九十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百九十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第五百九十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百二十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百二十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百二十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百二十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百二十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百二十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百二十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百二十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百二十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百二十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百二十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百二十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百二十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百二十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百二十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百三十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百二十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百三十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百二十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百三十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百二十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百三十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百二十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百三十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百二十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百三十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百三十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百三十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百三十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百三十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百三十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百三十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百三十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百三十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百三十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百四十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百三十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百四十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百三十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百四十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百三十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百四十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百三十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百四十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百三十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百四十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百四十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百四十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百四十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百四十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百四十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百四十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百四十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百四十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百四十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百五十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百四十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百五十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百四十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百五十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百四十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百五十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百四十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百五十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百四十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百五十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百五十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百五十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百五十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百五十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百五十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百五十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百五十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百五十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百五十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百六十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百五十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百六十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百五十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百六十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百五十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百六十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百五十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百六十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百五十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百六十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百六十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百六十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百六十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百六十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百六十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百六十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百六十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百六十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百六十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百七十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百六十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百七十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百六十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百七十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百六十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百七十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百六十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百七十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百六十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百七十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百七十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百七十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百七十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百七十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百七十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百七十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百七十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百七十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百七十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百八十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百七十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百八十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百七十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百八十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百七十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百八十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百七十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百八十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百七十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百八十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百八十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百八十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百八十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百八十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百八十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百八十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百八十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百八十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百八十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百九十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百八十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百九十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百八十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百九十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百八十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百九十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百八十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百九十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百八十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百九十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百九十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百九十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百九十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百九十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百九十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百九十八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百九十三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第二百九十九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百九十四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三百附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百九十五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三百一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百九十六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三百二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百九十七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三百三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百九十八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三百四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第六百九十九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三百五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第七百
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三百六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第七百一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三百七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第七百二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三百八附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第七百三
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三百九附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第七百四
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三百十附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第七百五
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三百十一附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第七百六
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三百十二附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第七百七
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三百十三附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第七百八
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三百十四附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第七百九
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三百十五附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第七百十
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三百十六附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第七百十一
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三百十七附屬書ノ修正ニ付テハ
決議第七百十二
國際航空委員會ハ航空ニ關スル條約第三百十八附屬書





客年十一月華盛頓ニ於テ採擇セラレタル失業及失業保險ニ關スル條約及勸告ノ海員ニ對スル適用」ニ關スル提案ノ採擇ヲ決議シ且

該提案ハ國際條約案ノ形式ニ依ルヘキモノナルコトヲ決定シ

國際勞働機關ノ締盟國ニ依リ批准セラルルカ爲千九百十九年六月二十八日ノ「ヴェルサイユ」條約、千九百十九年九月十日ノ「サン、ジェルマン」條約、千九百十九年十一月二十七日ノ「ヌイイー」條約及千九百二十年六月四日ノ「グラン、トリアノン」條約ノ勞働編ノ規定ニ鑑ミ左ノ條約案ヲ採擇ス

第一條

本條約ニ於テ「海員」ト稱スルハ海洋航海ニ從事スル船舶ノ乘組員トシテ使用セラルル一切ノ者ヲ包含ス但シ職員ハ之ヲ除ク

第二條

海員ニ對スル職業紹介業ハ個人、會社其ノ他ノ紹介所ニ依リ營利ヲ目的トスル業務トシテ經營セラルルコトヲ得ス又個人、會社其ノ他ノ紹介所ハ船舶ノ海員ノ職業紹介ニ付直接ニ又ハ間接ニ何等ノ手數料ヲ課スルコトヲ得

各國ハ法令ヲ以テ本條ノ規定ノ違反ニ對スル罰則ヲ定ムヘシ

第三條

營利ヲ目的トスル業務トシテ海員ノ職業紹介業ヲ現ニ經營スル個人、會社其ノ他ノ紹介所ハ第二條ノ規定ニ拘ラス政府ノ免許ノ下ニ其ノ業務ヲ一時繼續スルコトヲ得但シ右ノ事業ハ一切ノ關係人ノ權利ヲ保護スル爲政府ノ監督ノ下ニ經營セラルルモノトス

本條約ヲ批准スル各締盟國ハ營利ヲ目的トスル業務タル海員職業紹介業ヲ能フ限リ速ニ廢止スル爲實行シ得ヘキ一切ノ措置ヲ執ルコトヲ約ス

大正十一年十二月九日
外務省告示第五十四號

大正十一年十一月二十三日附ヲ以テ聯盟事務總長ハ大正九年「セノア」ニ於テ開催ノ第二回國際勞働總會ノ採擇ニ係ル海員ニ對スル職業紹介所設置ニ關スル條約ニ對スル帝國ノ批准ノ登錄ヲ了シタル旨大正十一年十一月二十九日國際勞働理事會ニ於ケル帝國政府代表者ヨリ電報アリタリ

●海軍軍備制限ニ關スル條約

大正十二年八月十七日
勅諭第二號

（總理、外務、海軍大臣副署）

枢密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國、亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國及伊太利國ノ各全權委員カ大正十一年二月六日亞米利加合衆國華盛頓ニ於テ署名調印シタル海軍軍備制限ニ關スル條約ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國、伊太利國及日本國ハ一般ノ平和ノ維持ニ貢獻シ且軍備競爭ノ負擔ヲ輕減セムコトヲ望ミ右目的ヲ達成スル爲各自ノ海軍軍備ヲ制限スルノ條約ヲ締結スルコトニ決シ之カ爲左ノ如ク其ノ全權委員ヲ任命セリ

亞米利加合衆國大統領
合衆國人民「チャールス、エヴァンス、ヒューズ」
同　「ヘンリー、カボット、ロッヂ」
同　「オスカー、ダブリュー、アンダウッド」
同　「エリヒュー、ルート」

大不列顛愛蘭聯合王國及大不列顛海外領土皇帝印度皇帝陛下
枢密院議長國會議員「アーサー、ジェームス、バルフォア」
海軍大臣男爵「リー、オヴ、フェアラム」
亞米利加合衆國駐劄特命全權大使「サー、オークランド、キャンプル、ゲデス」
加奈陀
「ロバート、レアド、ボーデン」
濠太利聯邦
内務大臣上院議員「ジョージ、フォスター、ピアス」
新西蘭
新西蘭最高法院判事「サー、ジョージ、ウィリアム、サルモンド」
南阿弗利加聯邦
國會議員「アーサー、ウェーム ス、バルフォア」
印度
印度參議院議員「ヴァリングマン、サンカラナラヤナ、スリニヴァサ、サストリ」
佛蘭西共和國大統領
殖民大臣下院議員「アルベール、サロー」
亞米利加合衆國駐劄特命全權大使「ジュール、ジー、ジュスラン」
伊太利國皇帝陛下
參議院議員「カルロ、ジアンツェル」
亞米利加合衆國駐劄特命全權大使參議院議員「ヴィットリオ、ロランディ、リッチ」
參議院議員「ルイジ、アルベルティニ」
日本國皇帝陛下
海軍大臣男爵加藤友三郎
亞米利加合衆國駐劄特命全權大使男爵幣原喜重郎
外務次官埴原正直
右各委員ハ互ニ其ノ全權委任狀ヲ示シ之カ良好妥當ナルヲ認メタル後左ノ如ク協定セリ

第一章　海軍軍備ノ制限ニ關スル一般規定

第一條

締約國ハ本條約ノ規定ニ從ヒ各自ノ海軍軍備ヲ制限スヘキコトヲ約定ス

第二條

締約國ハ第二章第一節ニ揭ケル主力艦ヲ各自保有スルコトヲ得本條約實施ノ上ハ合衆國、英帝國及日本國ノ既成又ハ建造中ノ他ノ一切ノ主力艦ハ第二章第二節ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ但シ本條中ノ左ノ諸規定ヲ留保ス

合衆國ハ第二章第一節ニ揭ケル主力艦ノ外現シタル日ヨリ效力ヲ發生スヘク且該事務局ニ其ノ批准ヲ登錄シタル締盟國ノミヲ拘束スヘシ但從後本條約ハ他ノ何レノ締盟國ニ付テモ右事務局ニ其ノ批准ヲ登錄シタル日ヨリ效力ヲ發生スルモノトス

第十五條

本條約ヲ批准スル各締盟國ハ千九百二十二年七月一日迄ニ其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ實施スルニ必要ナルヘキ措置ヲ執ルコトヲ約ス尤モ第十四條ノ規定ニ從フモノトス

第十六條

本條約ヲ批准シタル締盟國ハ本條約ノ最初ノ效力發生ノ日ヨリ五年ノ期間滿了後ニ於テ國際聯盟事務總長宛登錄ノ爲ニスル通告ニ依リ之ヲ廢棄スルコトヲ得右ノ廢棄ハ該事務局ニ登錄アリタル日以後一年間ハ其ノ效力ヲ生セス

第十七條

國際勞働事務局ノ理事會ハ少クトモ十年ニ一回本條約ノ施行ニ關スル報告ヲ總會ニ提出スヘク且其ノ改正又ハ變更ニ關スル問題ヲ總會ノ會議事項ニ揭クヘキヤ否ヤヲ審議スヘシ

第十八條

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ共ニ正文トス

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示

駿大正九年「セノア」ニ於テ開催ノ第二回國際勞働總會ノ採擇ニ係ル海員ニ對スル職業紹介所設置ニ關スル條約ヲ閱覽點檢シ之ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百八十二年大正十一年十月十八日東京宮城ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名　國璽

攝政名

外務大臣　伯爵内田康哉

二建造中ノ「ウェスト、ヴァージーニア」級二隻ヲ完成シ之ヲ保有スルコトヲ得右二隻完成ノ上ハ「ノース、ダコータ」及「デラウェーア」ハ第二章第二節ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ

英帝國ハ第二章第三節ノ代換表ニ從ヒ基準排水量各三萬五千噸（三萬五千五百六十「メートル」式噸）ヲ超エサル新主力艦二隻ヲ建造スルコトヲ得右二隻完成ノ上ハ「サンダラー」、「キングゲオージ」、「ジョージ五世」、「エージァクス」及「センチューリオン」ハ第二章第二節ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ

第三條

第二條ノ規定ヲ留保シ締約國ハ各自ノ主力艦建造計畫ヲ廢止スヘク又締約國ハ第二章第三節ニ揭ケル所ニ從ヒ建造シ又ハ取得スルコトヲ得ヘキ代換噸數以外ニ新主力艦ヲ建造シ又ハ取得スルコトヲ得ス

第二章第三節ニ從ヒ代換セラレタル軍艦ハ同章第二節ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ

第四條

各締約國ノ主力艦合計代換噸數ハ基準排水量ニ於テ合衆國五十二萬五千噸（五十三萬三千四百「メートル」式噸）、英帝國五十二萬五千噸（五十三萬三千四百「メートル」式噸）、佛蘭西國十七萬五千噸（十七萬七千八百「メートル」式噸）、伊太利國十七萬五千噸（十七萬七千八百「メートル」式噸）、日本國三十一萬五千噸（三十二萬四千「メートル」式噸）ヲ超ユルコトヲ得ス

第五條

基準排水量三萬五千噸（三萬五千五百六十「メートル」式噸）ヲ超ユル主力艦ノ何レノ締約國モ之ヲ取得シ又ハ之ヲ建造シ、建造セシメ若ハ其ノ法域内ニ於テ之カ建造ヲ許スコトヲ得ス

第六條

締約國ハ第二章第一節ニ揭ケル主力艦ヲ各自保有スルコトヲ得本條約實施ノ上ハ合衆國、英帝國及日本國ノ既成又ハ建造中ノ他ノ一切ノ主力艦ハ第二章第二節ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ但シ本條中ノ左ノ諸規定ヲ留保ス

合衆國ハ第二章第一節ニ揭ケル主力艦ノ外現シタル日ヨリ效力ヲ發生スヘク且該事務局ニ其ノ批准ヲ登錄シタル締盟國ノミヲ拘束スヘシ但從後本條約ハ他ノ何レノ締盟國ニ付テモ右事務局ニ其ノ批准ヲ登錄シタル日ヨリ效力ヲ發生スルモノトス

第十五條

本條約ヲ批准スル各締盟國ハ千九百二十二年七月一日迄ニ其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ實施スルニ必要ナルヘキ措置ヲ執ルコトヲ約ス尤モ第十四條ノ規定ニ從フモノトス

第十六條

本條約ヲ批准シタル締盟國ハ本條約ノ最初ノ效力發生ノ日ヨリ五年ノ期間滿了後ニ於テ國際聯盟事務總長宛登錄ノ爲ニスル通告ニ依リ之ヲ廢棄スルコトヲ得右ノ廢棄ハ該事務局ニ登錄アリタル日以後一年間ハ其ノ效力ヲ生セス

第十七條

國際勞働事務局ノ理事會ハ少クトモ十年ニ一回本條約ノ施行ニ關スル報告ヲ總會ニ提出スヘク且其ノ改正又ハ變更ニ關スル問題ヲ總會ノ會議事項ニ揭クヘキヤ否ヤヲ審議スヘシ

第十八條

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ共ニ正文トス

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示

駿大正九年「セノア」ニ於テ開催ノ第二回國際勞働總會ノ採擇ニ係ル海員ニ對スル職業紹介所設置ニ關スル條約ヲ閱覽點檢シ之ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百八十二年大正十一年十月十八日東京宮城ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名　國璽

攝政名

外務大臣　伯爵内田康哉

「メートル」式噸）、英帝國十三萬五千噸（十三萬七千百六十「メートル」式噸）、佛蘭西國六萬噸（六萬九百六十「メートル」式噸）、伊太利國六萬噸（六萬九百六十「メートル」式噸）、日本國八萬一千噸（八萬二千二百九十六「メートル」式噸）ヲ超エルコトヲ得ス

第八條

航空母艦ノ代換ハ第二章第三節ノ規定ニ從フノ外之ヲ行フコトヲ得ス但シ千九百二十一年十一月十二日ニ現存シ又ハ建造中ノ一切ノ航空母艦ノ之ヲ試驗的ノモノト看做スヘク且其ノ艦齡ノ如何ニ拘ラス第七條ニ規定スル合計噸數ノ範圍内ニ於テ之ヲ代換スルコトヲ得

第九條

基準排水量二萬七千噸（二萬七千四百三十二「メートル」式噸）ヲ超ユル航空母艦ハ何レノ締約國モ之ヲ取得シ又ハ之ヲ建造シ、建造セシメ若ハ其ノ法域内ニ於テ之カ建造ヲ許スコトヲ得ス

尤モ各締約國ハ其ノ航空母艦ノ割當合計噸數ヲ超エサル限リ基準排水量各三萬三千噸（三萬三千五百二十八「メートル」式噸）ヲ超エサル航空母艦二隻以内ヲ建造スルコトヲ得ヘク又經費節約ノ爲各締約國ハ第二條ノ規定ニ依リ廢棄スヘキ既成又ハ建造中ノ主力艦中ノ二隻ヲ右目的ニ利用スルコトヲ得基準排水量二萬七千噸（二萬七千四百三十二「メートル」式噸）ヲ超ユル航空母艦ノ武裝ハ第十條ノ規定ニ準據スヘシ但シ備砲中ニ口徑六吋（百五十二「ミリメートル」）ヲ超ユル砲ヲ裝備スルコトヲ得ス備砲中ニ口徑六吋（百五十二「ミリメートル」）ヲ超ユル砲ヲ裝備スルコトヲ得ス但シ其ノ備砲ノ數ハ合計八門ヲ超ユルコトヲ得ス

第十條

何レノ締約國ノ航空母艦モ口徑八吋（二百三「ミリメートル」）ヲ超ユル砲ヲ裝備スルコトヲ得ス備砲中ニ口徑六吋（百五十二「ミリメートル」）ヲ超ユルモノアルトキハ航空機防禦砲及口徑五吋（百二十七「ミリメートル」）以下ノ砲ヲ除クノ外備砲ノ數ハ合計十門ヲ超ユルコトヲ得ス但シ第九條ノ規定ノ適用ヲ妨クルコトナシ又備砲中ニ口徑六吋（百五十二「ミリメートル」）ヲ超ユルモノナキトキハ砲ノ數ハ制

年度	起工代艦	完成代艦	艦號（括弧内ノ數字ハ前ドレッド級ノ型ニ屬スル艦數ヲ示ス）	保有艦總數 前ノ型	保有艦總數 後ノ型
一九一一					
一九一二					
一九一三					
一九一四					
一九一五					
一九一六					
一九一七					
一九一八					
一九一九					
一九二〇					
一九二一					
一九二二					
一九二三					
一九二四					
一九二五					
一九二六					
一九二七					
一九二八					
一九二九					
一九三〇					
一九三一					
一九三二					
一九三三					
一九三四					
一九三五					
一九三六					
一九三七					
一九三八					
一九三九					
一九四〇					
一九四一					
一九四二					
一九四三					
一九四四					
一九四五					
一九四六					
一九四七					
一九四八					
一九四九					
一九五〇					

（註一）英帝國ハ第二節第三號（ロ）ノ規定ニ準據シ及イリノイヲ保有スルコトヲ得

（註二）非戰鬪用トシテ保有スル二隻

備考——「いろは」ニ等ハ當該年度ニ於テ起工シ及完成スベキ排水量三萬五千噸ノ各主力艦ヲ示ス

主力艦ノ代艦及廢棄

英帝國

年度	起工代艦	完成代艦	艦號（括弧内ノ數字ハ前ドレッド級ノ型ニ屬スル艦數ヲ示ス）	保有艦總數 前ノ型	保有艦總數 後ノ型
一九一一					
一九一二					
一九一三					
一九一四					
一九一五					
一九一六					
一九一七					
一九一八					
一九一九					
一九二〇					
一九二一					
一九二二					
一九二三					
一九二四					
一九二五					
一九二六					
一九二七					
一九二八					
一九二九					
一九三〇					
一九三一					
一九三二					
一九三三					
一九三四					
一九三五					
一九三六					
一九三七					
一九三八					
一九三九					
一九四〇					
一九四一					
一九四二					
一九四三					
一九四四					
一九四五					
一九四六					
一九四七					
一九四八					
一九四九					
一九五〇					

（註一）英帝國ハ第二節第三號（ロ）ノ規定ニ準據シ及コロッサスヲ保有スルコトヲ得

（註二）非戰鬪用トシテ保有スル二隻

備考——「いろは」ニ等ハ當該年度ニ於テ起工シ及完成スベキ排水量三萬五千噸ノ各主力艦ヲ示ス

主力艦ノ代艦及廢棄

佛國

年度	起工代艦	完成代艦	艦號（括弧内ノ數字ハ前ドレッド級ノ型ニ屬スル艦數ヲ示ス）	保有艦總數 前ノ型	保有艦總數 後ノ型
一九一一					
一九一二					
一九一三					
一九一四					
一九一五					
一九一六					
一九一七					
一九一八					
一九一九					
一九二〇					
一九二一					
一九二二					
一九二三					
一九二四					
一九二五					
一九二六					
一九二七					
一九二八					
一九二九					
一九三〇					
一九三一					
一九三二					
一九三三					
一九三四					
一九三五					
一九三六					
一九三七					
一九三八					
一九三九					
一九四〇					
一九四一					
一九四二					
一九四三					
一九四四					
一九四五					
一九四六					
一九四七					
一九四八					
一九四九					
一九五〇					

備考——佛國ハ主力艦噸數割當ヲ其ノ領土ノ通當ト認ムル所ニ從ヒ使用スルノ權利ヲ有ス

（註）噸數制限ノ範圍内ニ於テ建艦ス任意トス

（二）

英帝國ハ第二節第三號（ロ）ノ規定ニ準據シ及イリノイヲ保有スルコトヲ得

佛國ハ主力艦噸數割當ヲ其ノ領土ノ通當ト認ムル所ニ從ヒ使用スルノ權利ヲ有ス

第二款　主力艦ノ代換及廢棄

ルシー時中止シタル艦更ニ夢ヲ完アス

合衆國

年度	起工代艦	完成代艦	艦號（括弧内ノ數字ハ前ドレッド級ノ型ニ屬スル艦數ヲ示ス）	保有艦總數 前ノ型	保有艦總數 後ノ型
一九一一					
一九一二					
一九一三					
一九一四					
一九一五					
一九一六					
一九一七					
一九一八					
一九一九					
一九二〇					
一九二一					
一九二二					
一九二三					
一九二四					
一九二五					
一九二六					
一九二七					
一九二八					
一九二九					
一九三〇					
一九三一					
一九三二					
一九三三					
一九三四					
一九三五					
一九三六					
一九三七					
一九三八					
一九三九					
一九四〇					
一九四一					
一九四二					
一九四三					
一九四四					
一九四五					
一九四六					
一九四七					
一九四八					
一九四九					
一九五〇					

日本國

主力艦ノ代換及廢棄

年度	起工代噸	完成代噸	艦數（括弧内ノ數字ハ前ドレッドノート型ノ艦數）	保有艦總噸數
一九一一				
一九一二				
一九一三				
一九一四				
一九一五				
一九一六				
一九一七				
一九一八				
一九一九				
一九二〇				
一九二一				
一九二二				
一九二三				
一九二四				
一九二五				
一九二六				
一九二七				
一九二八				
一九二九				
一九三〇				
一九三一				
一九三二				
一九三三				
一九三四				
一九三五				
一九三六				
一九三七				
一九三八				
一九三九				
一九四〇				
一九四一				
一九四二				
一九四三				
一九四四				
一九四五				
一九四六				
一九四七				
一九四八				
一九四九				
一九五〇				
一九五一				
一九五二				
一九五三				
一九五四				
一九五五				
一九五六				
一九五七				
一九五八				
一九五九				
一九六〇				
一九六一				
一九六二				
一九六三				
一九六四				
一九六五				
一九六六				
一九六七				
一九六八				
一九六九				
一九七〇				
一九七一				
一九七二				
一九七三				
一九七四				
一九七五				
一九七六				
一九七七				
一九七八				
一九七九				
一九八〇				
一九八一				
一九八二				
一九八三				
一九八四				
一九八五				
一九八六				
一九八七				
一九八八				
一九八九				
一九九〇				
一九九一				
一九九二				
一九九三				
一九九四				
一九九五				
一九九六				
一九九七				
一九九八				
一九九九				
二〇〇〇				
二〇〇一				
二〇〇二				
二〇〇三				
二〇〇四				
二〇〇五				
二〇〇六				
二〇〇七				
二〇〇八				
二〇〇九				
二〇一〇				
二〇一一				
二〇一二				
二〇一三				
二〇一四				
二〇一五				
二〇一六				
二〇一七				
二〇一八				
二〇一九				
二〇二〇				
二〇二一				
二〇二二				
二〇二三				
二〇二四				
二〇二五				
二〇二六				
二〇二七				
二〇二八				
二〇二九				
二〇三〇				
二〇三一				
二〇三二				
二〇三三				
二〇三四				
二〇三五				
二〇三六				
二〇三七				
二〇三八				
二〇三九				
二〇四〇				
二〇四一				
二〇四二				
二〇四三				
二〇四四				
二〇四五				
二〇四六				
二〇四七				
二〇四八				
二〇四九				
二〇五〇				
二〇五一				
二〇五二				
二〇五三				
二〇五四				
二〇五五				
二〇五六				
二〇五七				
二〇五八				
二〇五九				
二〇六〇				
二〇六一				
二〇六二				
二〇六三				
二〇六四				
二〇六五				
二〇六六				
二〇六七				
二〇六八				
二〇六九				
二〇七〇				
二〇七一				
二〇七二				
二〇七三				
二〇七四				
二〇七五				
二〇七六				
二〇七七				
二〇七八				
二〇七九				
二〇八〇				
二〇八一				
二〇八二				
二〇八三				
二〇八四				
二〇八五				
二〇八六				
二〇八七				
二〇八八				
二〇八九				
二〇九〇				
二〇九一				
二〇九二				
二〇九三				
二〇九四				
二〇九五				
二〇九六				
二〇九七				
二〇九八				
二〇九九				
二一〇〇				
二一〇一				
二一〇二				
二一〇三				
二一〇四				
二一〇五				
二一〇六				
二一〇七				
二一〇八				
二一〇九				
二一一〇				
二一一一				
二一一二				
二一一三				
二一一四				
二一一五				
二一一六				
二一一七				
二一一八				
二一一九				
二一二〇				
二一二一				
二一二二				
二一二三				
二一二四				
二一二五				
二一二六				
二一二七				
二一二八				
二一二九				
二一三〇				
二一三一				
二一三二				
二一三三				
二一三四				
二一三五				
二一三六				
二一三七				
二一三八				
二一三九				
二一四〇				
二一四一				
二一四二				
二一四三				
二一四四				
二一四五				
二一四六				
二一四七				
二一四八				
二一四九				
二一五〇				
二一五一				
二一五二				
二一五三				
二一五四				
二一五五				
二一五六				
二一五七				
二一五八				
二一五九				
二一六〇				
二一六一				
二一六二				
二一六三				
二一六四				
二一六五				
二一六六				
二一六七				
二一六八				
二一六九				
二一七〇				
二一七一				
二一七二				
二一七三				
二一七四				
二一七五				
二一七六				
二一七七				
二一七八				
二一七九				
二一八〇				
二一八一				
二一八二				
二一八三				
二一八四				
二一八五				
二一八六				
二一八七				
二一八八				
二一八九				
二一九〇				
二一九一				
二一九二				
二一九三				
二一九四				
二一九五				
二一九六				
二一九七				
二一九八				
二一九九				
二二〇〇				
二二〇一				
二二〇二				
二二〇三				
二二〇四				
二二〇五				
二二〇六				
二二〇七				
二二〇八				
二二〇九				
二二一〇				
二二一一				
二二一二				
二二一三				
二二一四				
二二一五				
二二一六				
二二一七				
二二一八				
二二一九				
二二二〇				
二二二一				
二二二二				
二二二三				
二二二四				
二二二五				
二二二六				
二二二七				
二二二八				
二二二九				
二二三〇				
二二三一				
二二三二				
二二三三				
二二三四				
二二三五				
二二三六				
二二三七				
二二三八				
二二三九				
二二四〇				
二二四一				
二二四二				
二二四三				
二二四四				
二二四五				
二二四六				
二二四七				
二二四八				
二二四九				
二二五〇				
二二五一				
二二五二				
二二五三				
二二五四				
二二五五				
二二五六				
二二五七				
二二五八				
二二五九				
二二六〇				
二二六一				
二二六二				
二二六三				
二二六四				
二二六五				
二二六六				
二二六七				
二二六八				
二二六九				
二二七〇				
二二七一				
二二七二				
二二七三				
二二七四				
二二七五				
二二七六				
二二七七				
二二七八				
二二七九				
二二八〇				
二二八一				
二二八二				
二二八三				
二二八四				
二二八五				
二二八六				
二二八七				
二二八八				
二二八九				
二二九〇				
二二九一				
二二九二				
二二九三				
二二九四				
二二九五				
二二九六				
二二九七				
二二九八				
二二九九				
二三〇〇				
二三〇一				
二三〇二				
二三〇三				
二三〇四				
二三〇五				
二三〇六				
二三〇七				
二三〇八				
二三〇九				
二三一〇				
二三一一				
二三一二				
二三一三				
二三一四				
二三一五				
二三一六				
二三一七				
二三一八				
二三一九				
二三二〇				
二三二一				
二三二二				
二三二三				
二三二四				
二三二五				
二三二六				
二三二七				
二三二八				
二三二九				
二三三〇				
二三三一				
二三三二				
二三三三				
二三三四				
二三三五				
二三三六				
二三三七				
二三三八				
二三三九				
二三四〇				
二三四一				
二三四二				
二三四三				
二三四四				
二三四五				
二三四六				
二三四七				
二三四八				
二三四九				
二三五〇				
二三五一				
二三五二				
二三五三				
二三五四				
二三五五				
二三五六				
二三五七				
二三五八				
二三五九				
二三六〇				
二三六一				
二三六二				
二三六三				
二三六四				
二三六五				
二三六六				
二三六七				
二三六八				
二三六九				
二三七〇				
二三七一				
二三七二				
二三七三				
二三七四				
二三七五				
二三七六				
二三七七				
二三七八				
二三七九				
二三八〇				
二三八一				
二三八二				
二三八三				
二三八四				
二三八五				
二三八六				
二三八七				
二三八八				
二三八九				
二三九〇				
二三九一				
二三九二				
二三九三				
二三九四				
二三九五				
二三九六				
二三九七				
二三九八				
二三九九				
二四〇〇				
二四〇一				
二四〇二				
二四〇三				
二四〇四				
二四〇五				
二四〇六				
二四〇七				
二四〇八				
二四〇九				
二四一〇				
二四一一				
二四一二				
二四一三				
二四一四				
二四一五				
二四一六				
二四一七				
二四一八				
二四一九				
二四二〇				
二四二一				
二四二二				
二四二三				
二四二四				
二四二五				
二四二六				
二四二七				
二四二八				
二四二九				
二四三〇				
二四三一				
二四三二				
二四三三				
二四三四				
二四三五				
二四三六				
二四三七				
二四三八				
二四三九				
二四四〇				
二四四一				
二四四二				
二四四三				
二四四四				
二四四五				
二四四六				
二四四七				
二四四八				
二四四九				
二四五〇				
二四五一				
二四五二				
二四五三				
二四五四				
二四五五				
二四五六				
二四五七				
二四五八				
二四五九				
二四六〇				
二四六一				
二四六二				
二四六三				
二四六四				
二四六五				
二四六六				
二四六七				
二四六八				
二四六九				
二四七〇				
二四七一				
二四七二				
二四七三				
二四七四				
二四七五				
二四七六				
二四七七				
二四七八				
二四七九				
二四八〇				
二四八一				
二四八二				
二四八三				
二四八四				
二四八五				
二四八六				
二四八七				
二四八八				
二四八九				
二四九〇				
二四九一				
二四九二				
二四九三				
二四九四				
二四九五				
二四九六				
二四九七				
二四九八				
二四九九				
二五〇〇				
二五〇一				
二五〇二				
二五〇三				
二五〇四				
二五〇五				
二五〇六				
二五〇七				
二五〇八				
二五〇九				
二五一〇				
二五一一				
二五一二				
二五一三				
二五一四				
二五一五				
二五一六				
二五一七				
二五一八				
二五一九				
二五二〇				
二五二一				
二五二二				
二五二三				
二五二四				
二五二五				
二五二六				
二五二七				
二五二八				
二五二九				
二五三〇				
二五三一				
二五三二				
二五三三				
二五三四				
二五三五				
二五三六				
二五三七				
二五三八				
二五三九				
二五四〇				
二五四一				
二五四二				
二五四三				
二五四四				
二五四五				
二五四六				
二五四七				
二五四八				
二五四九				
二五五〇				
二五五一				
二五五二				
二五五三				
二五五四				
二五五五				
二五五六				
二五五七				
二五五八				
二五五九				
二五六〇				
二五六一				
二五六二				
二五六三				
二五六四				
二五六五				
二五六六				
二五六七				
二五六八				
二五六九				
二五七〇				
二五七一				
二五七二				
二五七三				
二五七四				
二五七五				
二五七六				
二五七七				
二五七八				
二五七九				
二五八〇				
二五八一				
二五八二				
二五八三				
二五八四				
二五八五				
二五八六				
二五八七				
二五八八				
二五八九				
二五九〇				
二五九一				
二五九二				
二五九三				
二五九四				
二五九五				
二五九六				
二五九七				
二五九八				
二五九九				
二六〇〇				
二六〇一				
二六〇二				
二六〇三				
二六〇四				
二六〇五				
二六〇六				
二六〇七				
二六〇八				
二六〇九				
二六一〇				
二六一一				
二六一二				
二六一三				
二六一四				
二六一五				
二六一六				
二六一七				
二六一八				
二六一九				
二六二〇				
二六二一				
二六二二				
二六二三				
二六二四				
二六二五				
二六二六				
二六二七				
二六二八				
二六二九				
二六三〇				
二六三一				
二六三二				
二六三三				
二六三四				
二六三五				
二六三六				
二六三七				
二六三八				
二六三九				
二六四〇				
二六四一				
二六四二				
二六四三				
二六四四				
二六四五				
二六四六				
二六四七				
二六四八				
二六四九				
二六五〇				
二六五一				
二六五二				
二六五三				
二六五四				
二六五五				
二六五六				
二六五七				
二六五八				
二六五九				
二六六〇				
二六六一				
二六六二				
二六六三				
二六六四				
二六六五				
二六六六				
二六六七				
二六六八				
二六六九				
二六七〇				
二六七一				
二六七二				
二六七三				
二六七四				
二六七五				
二六七六				
二六七七				
二六七八				
二六七九				
二六八〇				
二六八一				
二六八二				
二六八三				
二六八四				
二六八五				
二六八六				
二六八七				
二六八八				
二六八九				
二六九〇				
二六九一				
二六九二				
二六九三				
二六九四				
二六九五				
二六九六				
二六九七				
二六九八				
二六九九				
二七〇〇				
二七〇一				
二七〇二				
二七〇三				
二七〇四				
二七〇五				
二七〇六				
二七〇七				
二七〇八				
二七〇九				
二七一〇				
二七一一				
二七一二				
二七一三				
二七一四				
二七一五				
二七一六				
二七一七				
二七一八				
二七一九				
二七二〇				
二七二一				
二七二二				
二七二三				
二七二四				
二七二五				
二七二六				
二七二七				
二七二八				
二七二九				
二七三〇				
二七三一				
二七三二				
二七三三				
二七三四				
二七三五				
二七三六				
二七三七				
二七三八				
二七三九				
二七四〇				
二七四一				
二七四二				
二七四三				
二七四四				
二七四五				
二七四六				
二七四七				
二七四八				
二七四九				
二七五〇				
二七五一				
二七五二				
二七五三				
二七五四				
二七五五				
二七五六				
二七五七				
二七五八				
二七五九				
二七六〇				
二七六一				
二七六二				
二七六三				
二七六四				
二七六五				
二七六六				
二七六七				
二七六八				
二七六九				
二七七〇				
二七七一				
二七七二				
二七七三				
二七七四				
二七七五				
二七七六				
二七七七				
二七七八				
二七七九				
二七八〇				
二七八一				
二七八二				
二七八三				
二七八四				
二七八五				
二七八六				
二七八七				
二七八八				
二七八九				
二七九〇				
二七九一				
二七九二				
二七九三				
二七九四				
二七九五				
二七九六				
二七九七				
二七九八				
二七九九				
二八〇〇				
二八〇一				
二八〇二				
二八〇三				
二八〇四				
二八〇五				
二八〇六				
二八〇七				
二八〇八				
二八〇九				
二八一〇				
二八一一				
二八一二				
二八一三				
二八一四				
二八一五				
二八一六				
二八一七				
二八一八				
二八一九				
二八二〇				
二八二一				
二八二二				
二八二三				
二八二四				
二八二五				
二八二六				
二八二七				
二八二八				
二八二九				
二八三〇				
二八三一				
二八三二				
二八三三				
二八三四				
二八三五				
二八三六				
二八三七				
二八三八				
二八三九				
二八四〇				
二八四一				
二八四二				
二八四三				
二八四四				
二八四五				
二八四六				
二八四七				
二八四八				
二八四九				
二八五〇				
二八五一				
二八五二				
二八五三				
二八五四				
二八五五				
二八五六				
二八五七				
二八五八				
二八五九				
二八六〇				
二八六一				
二八六二				
二八六三				
二八六四				
二八六五				
二八六六				
二八六七				
二八六八				
二八六九				
二八七〇				
二八七一				
二八七二				
二八七三				
二八七四				
二八七五				
二八七六				
二八七七				
二八七八				
二八七九				
二八八〇				
二八八一				
二八八二				
二八八三				
二八八四				
二八八五				
二八八六				
二八八七				
二八八八				
二八八九				
二八九〇				
二八九一				
二八九二				
二八九三				
二八九四				
二八九五				
二八九六				
二八九七				
二八九八				
二八九九				
二九〇〇				
二九〇一				
二九〇二				
二九〇三				
二九〇四				
二九〇五				
二九〇六				
二九〇七				
二九〇八				
二九〇九				
二九一〇				
二九一一				
二九一二				
二九一三				
二九一四				
二九一五				
二九一六				
二九一七				
二九一八				
二九一九				
二九二〇				
二九二一				
二九二二				
二九二三				
二九二四				
二九二五				
二九二六				
二九二七				
二九二八				
二九二九				
二九三〇				
二九三一				
二九三二				
二九三三				
二九三四				
二九三五				
二九三六				
二九三七				
二九三八				
二九三九				
二九四〇				
二九四一				
二九四二				
二九四三				
二九四四				
二九四五				
二九四六				
二九四七				
二九四八				
二九四九				
二九五〇				
二九五一				
二九五二				
二九五三				
二九五四				
二九五五				
二九五六				
二九五七				
二九五八				
二九五九				
二九六〇				
二九六一				
二九六二				
二九六三				
二九六四				
二九六五				
二九六六				
二九六七				
二九六八				
二九六九				
二九七〇				
二九七一				
二九七二				
二九七三				
二九七四				
二九七五				
二九七六				
二九七七				
二九七八				
二九七九				
二九八〇				
二九八一				
二九八二				
二九八三				
二九八四				
二九八五				
二九八六				
二九八七				
二九八八				
二九八九				
二九九〇				
二九九一				
二九九二				
二九九三				
二九九四				
二九九五				
二九九六				
二九九七				
二九九八				
二九九九				
三〇〇〇				
三〇〇一				
三〇〇二				
三〇〇三				
三〇〇四				
三〇〇五				
三〇〇六				
三〇〇七				
三〇〇八				
三〇〇九				
三〇一〇				
三〇一一				
三〇一二				
三〇一三				
三〇一四				
三〇一五				
三〇一六				
三〇一七				
三〇一八				
三〇一九				
三〇二〇				
三〇二一				
三〇二二				
三〇二三				
三〇二四				
三〇二五				
三〇二六				
三〇二七				
三〇二八				
三〇二九				
三〇三〇				
三〇三一				
三〇三二				
三〇三三				
三〇三四				
三〇三五				
三〇三六				
三〇三七				
三〇三八				
三〇三九				
三〇四〇				
三〇四一				
三〇四二				
三〇四三				
三〇四四				
三〇四五				
三〇四六				
三〇四七				
三〇四八				
三〇四九				
三〇五〇				
三〇五一				
三〇五二				
三〇五三				
三〇五四				
三〇五五				
三〇五六				
三〇五七				
三〇五八				
三〇五九				
三〇六〇				
三〇六一				
三〇六二				
三〇六三				
三〇六四				
三〇六五				
三〇六六				
三〇六七				
三〇六八				
三〇六九				
三〇七〇				
三〇七一				
三〇七二				
三〇七三				
三〇七四				
三〇七五				
三〇七六				
三〇七七				
三〇七八				
三〇七九				
三〇八〇				
三〇八一				
三〇八二				
三〇八三				
三〇八四				
三〇八五				
三〇八六				
三〇八七				
三〇八八				
三〇八九				
三〇九〇				
三〇九一				
三〇九二				
三〇九三				
三〇九四				
三〇九五				
三〇九六				

●太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル四國條約竝同條約追加協定

（大正十一年八月十七日　條約第三號）

脫楓密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國、亞米利加合衆國、英帝國及佛蘭西國ノ各全權委員カ大正十年十二月十三日亞米利加合衆國華盛頓ニ於テ署名調印シタル太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル四國條約竝大正十一年二月六日同市ニ於テ前記各國全權委員カ署名調印シタル同條約追加協定ヲ批准シ玆ニ公布セシム（總理大臣外務大臣臨時署事）

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國及日本國皇帝（御名）ハ其ノ屬地及島嶼タル領地ニ關シ太平洋方面ニ於テ有効ニ締結セラレタル四國條約ノ追加トシテ有効ニ締結セラレタル左ノ協定ニ於テ其ノ代表者タル左ノ全權委員ヲ經由シテ其ノ全權委員カ左ノ如ク協定シタリ

一　太平洋ニ於ケル屬地ニ關スル四國條約ハ太平洋ニ於ケル委任統治諸島ニ之ヲ適用スル但シ該條約ノ締結ハ之ヲ以テ亞米利加合衆國カ右委任統治ニ對シ同意ヲ與ヘタルモノト認ムルコトヲ得ス且亞米利加合衆國ト當該受任國トノ間ニ右委任統治諸島ニ關スル協定ノ締結ヲ勸クルモノニ非ス

二　太平洋ニ於ケル屬地ニ關スル四國條約第一條第二項ニ揭ケル爭議ハ國際法ノ原則ニ依リ專ラ當該國ノ國內法權ニ屬スル問題ヲ含ムモノト解スヘカラス

提出セラレタル批准書ハ之ヲ寄托シ其ノ爰當ナルヲ認メタルヲ以テ國務省ノ記錄ニ寄託スル爲亞米利加合衆國政府ニ之ヲ通告シタリ

右證據トシテ本調書ニ署名セリ其ノ認證謄本ハ亞米利加合衆國政府之ヲ前記條約ノ各署名國ニ送付スヘシ

千九百二十三年八月十七日正午華盛頓ニ於テ

亞米利加合衆國　チャールス、エヴァンス、ヒューズ　（印）

英帝國　エッチ、ジー、チルトン　（印）

佛蘭西國　アンドレー、ド、ラプレーイ　（印）

伊太利國　アウゲスト、ロッソ　（印）

日本國　埴原正直　（印）

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國及日本國間ニ千九百二十一年十二月十三日華盛頓ニ於テ締結セラレタル太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル條約ノ追加トシテ有効ニ締結セラレタル左ノ協定ニ於テ其ノ代表者タル左ノ全權委員ヲ經由シテ其ノ全權委員カ左ノ如ク協定シタリ

一　太平洋ニ於ケル屬地ニ關スル四國條約ハ太平洋ニ於ケル委任統治諸島ニ之ヲ適用スル但シ該條約ノ締結ハ之ヲ以テ亞米利加合衆國カ右委任統治ニ對シ同意ヲ與ヘタルモノト認ムルコトヲ得ス且亞米利加合衆國ト當該受任國トノ間ニ右委任統治諸島ニ關スル協定ノ締結ヲ勸クルモノニ非ス

二　太平洋ニ於ケル屬地ニ關スル四國條約第一條第二項ニ揭ケル爭議ハ國際法ノ原則ニ依リ專ラ當該國ノ國內法權ニ屬スル問題ヲ含ムモノト解スヘカラス

提出セラレタル批准書ハ之ヲ寄托シ其ノ爰當ナルヲ認メタルヲ以テ國務省ノ記錄ニ寄託スル爲亞米利加合衆國政府ニ之ヲ通告シタリ

右證據トシテ本調書ニ署名セリ其ノ認證謄本ハ亞米利加合衆國政府之ヲ前記條約ノ各署名國ニ送付スヘシ

千九百二十三年八月十七日正午華盛頓ニ於テ

亞米利加合衆國　チャールス、エヴァンス、ヒューズ　（印）

英帝國　エッチ、ジー、チルトン　（印）

佛蘭西國　アンドレー、ド、ラプレーイ　（印）

日本國　埴原正直　（印）

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國及日本國間ニ千九百二十一年十二月十三日華盛頓ニ於テ締結セラレタル太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル條約ノ追加協定ヲ批准シ玆ニ公布セシム（總理大臣外務大臣臨時署事）

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國及日本國皇帝（御名）ハ其ノ屬地及島嶼タル領地ニ關シ太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル條約ノ批准書寄託調書

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國、伊太利國及日本國間ニ千九百二十二年二月六日華盛頓ニ於テ締結セラレタル太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル條約第四條ニ從ヒ亞米利加合衆國ニ於テ寄託セラレタル左ノ批准書ハ千九百二十二年八月十七日華盛頓ニ於テ寄託セラレタル通リ玆ニ公布セシム

英帝國ノ批准書

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國、伊太利國及日本國間ニ千九百二十二年二月六日華盛頓ニ於テ締結セラレタル太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル條約第四條ニ從ヒ亞米利加合衆國ニ於テ寄託セラレタル英帝國ノ批准書ハ千九百二十二年八月十七日華盛頓ニ於テ寄託セラレタル通リ玆ニ公布セシム

（總理大臣外務大臣臨時署事）

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國、伊太利國及日本國間ニ千九百二十二年二月六日華盛頓ニ於テ締結セラレタル太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル條約第四條ニ從ヒ亞米利加合衆國ニ於テ寄託セラレタル日本國ノ批准書ハ千九百二十二年八月十七日華盛頓ニ於テ寄託セラレタル通リ玆ニ公布セシム

（總理大臣外務大臣臨時署事）

太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル四國條約竝同條約追加協定

（大正十一年八月十七日　條約第三號）

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國及日本國間ニ千九百二十一年十二月十三日華盛頓ニ於テ締結セラレタル太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル條約ノ批准書寄託調書

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國、伊太利國及日本國間ニ千九百二十二年二月六日華盛頓ニ於テ締結セラレタル太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル條約第四條ニ從ヒ亞米利加合衆國ニ於テ寄託セラレタル英帝國ノ批准書ハ千九百二十二年八月十七日華盛頓ニ於テ寄託セラレタル通リ玆ニ公布セシム

（總理大臣外務大臣臨時署事）

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國、伊太利國及日本國間ニ千九百二十二年二月六日華盛頓ニ於テ締結セラレタル太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル條約第四條ニ從ヒ亞米利加合衆國ニ於テ寄託セラレタル伊太利國ノ批准書ハ千九百二十二年八月十七日華盛頓ニ於テ寄託セラレタル通リ玆ニ公布セシム

（總理大臣外務大臣臨時署事）

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國、伊太利國及日本國間ニ千九百二十二年二月六日華盛頓ニ於テ締結セラレタル太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル條約第四條ニ從ヒ亞米利加合衆國ニ於テ寄託セラレタル日本國ノ批准書ハ千九百二十二年八月十七日華盛頓ニ於テ寄託セラレタル通リ玆ニ公布セシム

（總理大臣外務大臣臨時署事）

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國、伊太利國及日本國間ニ千九百二十二年二月六日華盛頓ニ於テ締結セラレタル太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル條約第四條ニ從ヒ亞米利加合衆國ニ於テ寄託セラレタル伊太利國ノ批准書ハ千九百二十二年八月十七日華盛頓ニ於テ寄託セラレタル通リ玆ニ公布セシム

（總理大臣外務大臣臨時署事）

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國、伊太利國及日本國間ニ千九百二十二年二月六日華盛頓ニ於テ締結セラレタル太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル條約第四條ニ從ヒ亞米利加合衆國ニ於テ寄託セラレタル英帝國ノ批准書ハ千九百二十二年八月十七日華盛頓ニ於テ寄託セラレタル通リ玆ニ公布セシム

（總理大臣外務大臣臨時署事）

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國、伊太利國及日本國間ニ千九百二十二年二月六日華盛頓ニ於テ締結セラレタル太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル條約第四條ニ從ヒ亞米利加合衆國ニ於テ寄託セラレタル伊太利國ノ批准書ハ千九百二十二年八月十七日華盛頓ニ於テ寄託セラレタル通リ玆ニ公布セシム

（總理大臣外務大臣臨時署事）

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國、伊太利國及日本國間ニ千九百二十二年二月六日華盛頓ニ於テ締結セラレタル太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル條約第四條ニ從ヒ亞米利加合衆國ニ於テ寄託セラレタル日本國ノ批准書ハ千九百二十二年八月十七日華盛頓ニ於テ寄託セラレタル通リ玆ニ公布セシム

（總理大臣外務大臣臨時署事）

島タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル四國條約及同條約追加協定ノ批准書寄託調書左ノ如シ

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國、伊太利國及日本國間ニ千九百二十二年二月六日華盛頓ニ於テ締結セラレタル條約第二十四條ニ從ヒ亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國、伊太利國及日本國ノ代表者タル下名ハ其ノ代表スル政府ノ前記條約ノ批准書ヲ亞米利加合衆國政府ニ寄託スル爲本日華盛頓ニ於ケル國務省ニ會合セリ

佛蘭西共和國政府ノ代表者ハ左ノ聲明ヲ爲シタリ

佛蘭西國政府ハ各締約國ニ割當テラレタル主力艦及航空母艦ノ總噸數ノ比率ハ右各國ノ海ニ關スル利害關係ノ重要ノ程度ヲ示スモノニ非ス又此率ヲ明白ニ定メラレタルモノト以外ノ艦種ニ之ヲ及ホスコトヲ得スト思惟シ又當ニ思惟シタリ

提出セラレタル批准書ハ之ヲ審査シ其ノ妥當ナルヲ認メタルヲ以テ國務省ノ記錄ニ寄託スル爲亞米利加合衆國政府ニ之ヲ通告シタリ

右證據トシテ本調書ニ署名セリ其ノ認證謄本ハ亞米利加合衆國政府之ヲ前記條約ノ各署名國ニ送付スヘシ

千九百二十三年八月十七日正午華盛頓ニ於テ

亞米利加合衆國　チャールス、エヴァンス、ヒューズ　（印）

英帝國　エッチ、ジー、チルトン　（印）

佛蘭西國　アンドレー、ド、ラプレーイ　（印）

伊太利國　アウゲスト、ロッソ　（印）

日本國　埴原正直　（印）

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國及日本國間ニ千九百二十一年十二月十三日華盛頓ニ於テ締結セラレタル太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル條約ノ追加トシテ有効ニ締結セラレタル左ノ協定ニ於テ其ノ代表者タル左ノ全權委員ヲ經由シテ其ノ全權委員カ左ノ如ク協定シタリ

一　太平洋ニ於ケル屬地ニ關スル四國條約ハ太平洋ニ於ケル委任統治諸島ニ之ヲ適用スル但シ該條約ノ締結ハ之ヲ以テ亞米利加合衆國カ右委任統治ニ對シ同意ヲ與ヘタルモノト認ムルコトヲ得ス且亞米利加合衆國ト當該受任國トノ間ニ右委任統治諸島ニ關スル協定ノ締結ヲ勸クルモノニ非ス

二　太平洋ニ於ケル屬地ニ關スル四國條約第一條第二項ニ揭ケル爭議ハ國際法ノ原則ニ依リ專ラ當該國ノ國內法權ニ屬スル問題ヲ含ムモノト解スヘカラス

提出セラレタル批准書ハ之ヲ寄托シ其ノ爰當ナルヲ認メタルヲ以テ國務省ノ記錄ニ寄託スル爲亞米利加合衆國政府ニ之ヲ通告シタリ

右證據トシテ本調書ニ署名セリ其ノ認證謄本ハ亞米利加合衆國政府之ヲ前記條約ノ各署名國ニ送付スヘシ

千九百二十三年八月十七日正午華盛頓ニ於テ

亞米利加合衆國　チャールス、エヴァンス、ヒューズ　（印）

英帝國　エッチ、ジー、チルトン　（印）

佛蘭西國　アンドレー、ド、ラプレーイ　（印）

日本國　埴原正直　（印）

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國及日本國間ニ千九百二十一年十二月十三日華盛頓ニ於テ締結セラレタル太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル條約ノ追加協定ノ批准書寄託調書左ノ如シ

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國及日本國間ニ千九百二十一年十二月十三日華盛頓ニ於テ締結セラレタル條約ノ批准書寄託調書

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國及日本國間ニ千九百二十一年十二月十三日華盛頓ニ於テ締結セラレタル太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル條約第四條ニ從ヒ亞米利加合衆國ニ於テ寄託セラレタル英帝國ノ批准書ハ千九百二十二年八月十七日華盛頓ニ於テ寄託セラレタル通リ玆ニ公布セシム

（總理大臣外務大臣臨時署事）

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國及日本國間ニ千九百二十一年十二月十三日華盛頓ニ於テ締結セラレタル太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル條約ノ批准書寄託調書

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ其ノ他ノ同盟國ノ語ニ翻訳シタルモノヲ添フルモノトス

第三條

義務ニ何等ノ影響ヲ及ホスコトナシ

本條約ハ現ニ締盟國ノ間ニ存在スル諸條約ニ依リ生スル權利及義務ニ

第二條

本條約ハ千九百十九年六月二十八日「ヴェルサイユ」ニ於テ署名セラレタル平和條約又ハ其ノ同盟國ノ諸條約ノ署名國又ハ爰ニ國ニ

及條件ニ從ヒ同現程ノ義務及約定ヲ受諾スルコトヲ茲ニ宣言ス

第二條

本條約ハ千九百十九年六月二十八日「ヴェルサイユ」ニ於テ署名セラレタル平和條約又ハ其ノ同盟國ノ諸條約ノ規定ニ依リ採擇セラレタル本條約附屬ノ通現ノ自由ニ關スル規程ヲ受諾スルコトヲ宣言ス

第一條

右各員ハ其ノ全權委任狀ヲ示シ之カ良好妥當ナルヲ認メタル後左ノ如ク協定セリ

「ヴェネズエラ」合衆國大統領

「ミンフエルナンデス、イ、メディナ」

西班牙國駐箚特命全權公使「ペレンシア」

「サルアイ」共和國大統領

「オワトカール、ラシンカス」

纖維名參事官兼臨時代理公使「ドクトル、ビセンテ、ロペス」

「チエコ、スロヴアキア」共和國大統領

セツプ、モラヴエク」

瑞西聯邦大統領

「ホツトン、ヒンセン」

聯邦政務官長官聯邦參事院議官「ヴエ

ー、ハンセン」

本力及國有運河總監「フレドリク、ヴイ

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ其ノ他ノ同盟國ノ語ニ翻訳シタルモノヲ添フルモノトス

第三條

義務ニ何等ノ影響ヲ及ホスコトナシ

本條約ハ現ニ締盟國ノ間ニ存在スル諸條約ニ依リ生スル權利及

第二條

本條約ハ千九百十九年六月二十八日「ヴエルサイユ」ニ於テ署名セラレタル平和條約又ハ其ノ同盟國ノ諸條約ノ署名國又ハ爰ニ國ニ

及條件ニ從ヒ同現程ノ義務及約定ヲ受諾スルコトヲ茲ニ宣言ス

第一條

右各員ハ其ノ全權委任狀ヲ示シ之カ良好妥當ナルヲ認メタル後左ノ如ク協定セリ

「ヴエネズエラ」合衆國大統領

「ミンフエルナンデス、イ、メディナ」

西班牙國駐箚特命全權公使「ペレンシア」

「サルアイ」共和國大統領

「オワトカール、ラシンカス」

纖維名參事官兼臨時代理公使「ドクトル、ビセンテ、ロペス」

「チエコ、スロヴアキア」共和國大統領

セツプ、モラヴエク」

瑞西聯邦大統領

「ホツトン、ヒンセン」

聯邦政務官長官聯邦參事院議官「ヴエ

ー、ハンセン」

本力及國有運河總監「フレドリク、ヴイ

ニ正文トシテ千九百二十一年十二月一日ニ至ルマテニ署名スルコトヲ得

ヘシ

第四條

本條約ハ批准セラルヘキ要ス

ノ聯盟國及本條約ニ署名セル批准書ハ國際聯盟事務總長ノ許サレタル國ニ通知ノ方法ニ依リ本條約ニ加入スルノ義務ヲ有スル

第五條

國際聯盟ニ關シテ千九百二十一年十二月一日

前ニ本條約ニ署名セサリシモノハ之ニ加入スルコトヲ得

聯盟理事會カ正式ニ本條約ヲ承付スルモノトス

決定スルコトアヘキ非聯盟國ニ付亦同シ

加入ハ聯盟事務總長ニ之ヲ通告スヘカラス

宣言ス

第三條

本條約ハ五國ニ依リ批准セラルヘシ其ノ實施ノ日ハ國際聯盟事務總長カ第五ノ批准書ヲ受領シタル後九十日目トス

第四條

本條約ハ其ノ實施ノ日ヨリ九十日後ニ各當該國ニ對シ效力ヲ生スヘシ

第五條

本條約ハ聯盟ニ加入スル國ノ加入書ヲ受領シタル後ニ於テ其ノ國ニ對シ效力ヲ生スヘシ

第六條

本條約ハ五國ニ依リ批准セラルヘシ其ノ實施ノ日ハ國際聯盟事務總長カ第五ノ批准書ヲ受領シタル後九十日目トス

第四條

本條約ハ批准セラルヘキ要ス

ノ聯盟國及本條約ニ署名セル批准書ハ國際聯盟事務總長ノ許サレタル國ニ通知ノ方法ニ依リ本條約ニ加入スルノ義務ヲ有スル

第五條

國際聯盟ニ關シテ千九百二十一年十二月一日

前ニ本條約ニ署名セサリシモノハ之ニ加入スルコトヲ得

聯盟理事會カ正式ニ本條約ヲ承付スルモノトス

決定スルコトアヘキ非聯盟國ニ付亦同シ

加入ハ聯盟事務總長ニ之ヲ通告スヘカラス

宣言ス

第三

ノ貨物ハ積換ヲ爲ササルトキハ其ノ船舶ニ許與セラルル利益ヲ享受スヘキモノトス

第七條

締約國カ其ノ國ノ安全又ハ緊切ナル利益ニ影響スル事變ノ場合ニ於テ執ルノ已ムナキニ至リタル一般的又ハ特別的性質ノ措置ニ在リテハ例外トシテ且成ルヘク短期間ニ限リ前諸條ノ規定ニ違反スルコトヲ得但シ通過自由ノ原則ハ成ルヘク廣キ範圍ニ於テ之ヲ遵守スルコトヲ要スルモノトス

第八條

本規程ハ戰時ニ於ケル交戰國及中立國ノ權利及義務ヲ規定スルモノニ非ス尤モ本規程ハ戰時ニ於テ右權利及義務ノ許ス限度ニ於テ其ノ效力ヲ持續スヘシ

第九條

本規程ハ締約國ニ對シ國際聯盟ノ聯盟國トシテノ其ノ權利及義務ト牴觸スル何等ノ義務ヲ課スルモノニ非ス

第十條

千九百二十一年五月一日前ニ締約國ノ締結シタル通過問題ニ關スル條約及協定ハ本規程ノ實施ニ依リ廢棄セラルルモノニ非ス

右諸協定カ效力ヲ持續スルコトニ鑑ミ右諸協定ノ終了ニ際シ又ハ事情ノ許ス場合ニ於テ締約國ハ右效力ヲ持續シタル諸協定ニシテ本規程ノ條項ニ牴觸スルモノニ對シ關係國又ハ關係地方ノ地理的、經濟的又ハ技術的事情ノ許ス限リ該條項ト調和セシムル爲ニ必要ナル修正ヲ加フルコトヲ約ス

締約國ハ又將來本規程ノ條項ト相容レサル條約又ハ協定ヲ締結セサルコトヲ約ス但シ地理的、經濟的又ハ技術的理由ニ因リ右條項ニ對スル例外的ノ違反ヲ至當トスルトキハ此ノ限ニ在ラス

爲締約國ハ通過ニ關シ本規程ノ原則ニ合致スル地域的了解ヲ遂クルコトヲ得

第十一條

本規程ハ本規程ニ規定セラルルモノヨリモ一層大ナル便益ニシテ締約國ノ主權又ハ權力ノ下ニ在ル地域上ノ通過運輸ニ對シ本規程ノ原則ニ合致スル條件ヲ以テ許與セラレタルモノノ撤廢ヲ何等爲サヽルモノニ非ス本規程ハ又將來ニ於テ右ノ如キ一層大ナル便益ノ許與ノ禁止ヲ爲スモノニ非ス

第十二條

國際聯盟規約第二十三條(ホ)ニ準據シ締約國ニシテ千九百十四年乃至千九百十八年ノ戰役中其ノ土地ニ於テ行ハレタル破壞行爲ニ甚タ重大ナル經濟狀態ヲ理由トシテ其ノ領土ノ一部又ハ全部ニ本規程ノ或條項ノ適用ヲ暫キ困リ生スル義務ヲ一時免除セラルルモノト認メラルヘシ但シ通過自由ノ原則ハ成ルヘク廣キ範圍ニ於テ之ヲ遵守スルコトヲ要スルモノトス

第十三條

本規程ノ解釋又ハ適用ニ關シ生スルコトアルヘキ紛爭ニシテ當事國相互間ニ於テ直接ニ解決セラレサルモノハ常設國際司法裁判所ニ付託セラルヘシ尤モ特別協定又ハ一般的仲裁裁判條項ニ基キ仲裁裁判又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ紛爭解決ニ關スル措置ノ執ラルル場合ハ此ノ限ニ在ラス

手續ハ當該國際司法裁判所規程第四十條ニ規定セラレタル方法ニ依リ開始セラル

尤モ右ノ紛爭ヲ成ルヘク友誼的方法ニ依リ解決セムカ爲締約國ハ司法手續ニ訴フルニ先チ且聯盟理事會及聯盟總會ノ權能及職權ヲ害スルコトナクシテ右紛爭ヲ交通及通過ニ關スル聯盟國ノ諮問及專門機關トシテ國際聯盟ニ依リ設置セラルル機關ニ其ノ意見ヲ徵スル爲付託スヘキコトヲ約ス緊急ノ場合ニ於テハ假意見トシテ紛爭ノ原因ト爲リシ行爲又ハ事實ノ前ニ存在シタル通過自由ニ關スル便益ヲ回復スルコトヲ該中目的トスル一時的措置ヲ勸告スルコトヲ得

第十四條

或締約國ノ領土內ニ在リ又ハ其ノ領土ニ接續シ且右領土ニ比シ面積狹クシテ人口少キ地方又ハ袋地ニシテ其ノ本國タル別國ノ隔在セル部分又ハ殖民地ヲ形成シ且行政上ノ理由ニ因リ之ニ本規程ノ條項ヲ適用スルコト能ハサル場合アルコトヲ慮リ右條項ハ之ヲ該地方又ハ袋地ニ適用セサルヘキコトヲ約ス

前項ノ規定ハ殖民地又ハ屬領カ其ノ面積ニ比シ非常ニ長キ境界線ヲ有シ其ノ結果必要ナル稅關上及警察上ノ監視ヲ爲スコト實際上不可能ナル場合ニ之ヲ適用ス

尤モ前二項ノ場合ニ於テ關係國ハ本規程ノ原則ヲ尊重スル制度ニシテ爲シ得ル限リ通過及交通ヲ容易ナラシムヘキモノヲ適用スヘシ

第十五條

本規程ハ同一主權國ノ部分ヲ構成シ又ハ其ノ保護ノ下ニ置カルル地域相互間ノ權利及義務ニ付テハ此等ノ地域カ各別ニ國際聯盟ノ聯盟國タルト否トヲ問ハス何等之ヲ規律シタルモノト解釋スヘカラサルモノトス

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝(御名)此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕大正十年四月二十日西班牙國「パルセロナ」ニ於テ帝國全權委員カ關係各國全權委員ト共ニ署名シタル通過ノ自由ニ關スル條約及規程ヲ閱覽點檢シ之ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百八十三年大正十二年十二月二十四日東京宮城ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名　國璽

攝政宮

外務大臣　男爵伊集院彥吉

大正十三年二月二十日
外務省告示第四號

大正十年四月二十日西班牙國「パルセロナ」ニ於テ帝國全權委員ノ關係各國全權委員ト共ニ左ノ交通及通過ノ自由ニ關スル總會ノ最終議定書ニ署名シタリ

國際聯盟總會ノ決議ニ從ヒ招集セラレタル交通及通過ニ關スル總會ハ千九百二十一年三月十日「パルセロナ」市市會議事堂ニ集會シタリ

總會ハ聯盟規約第二十三條(ホ)中交通及通過ノ自由ニ關スル部分ヲ實行スルニ付聯盟諸國カ

執ルコトヲ要スル措置竝千九百十九年六月二十八日「ヴェルサイユ」ニ於テ署名セラレタル條約ノ第三百十八條及第三百七十九條(及其ノ他ノ平和諸條約中ノ對當條項ニ掲ケタル通過、港、水路及鐵道ノ國際制度ニ關スル一般條約ヲ專門機關竝國際聯盟ノ理事會及總會間ノ關係ニ關スル決議中ニ定ムル條件ノ下ニ立案スルノ任務ヲ千九百二十年十二月九日ノ聯盟總會ノ決議ニ依リ委託セラレタリ

聯盟理事會ハ聯盟諸國ニ總會ノ會議事項ヲ其ノ討議ノ基礎トシテ用ヰラルヘキ草案ト共ニ配付シタリ右會議事項及草案ノ作成ハ當該目的ノ爲設置セラレタル臨時委員會ニ依リ爲サレタルモノナリ

聯盟理事會ハ總會ノ議長トシテ左ノ者ヲ任命セリ

佛蘭西共和國前外務大臣佛蘭西國學士院會員「ガブリエル、アノトー」

副議長トシテ左ノ者ヲ任命セリ

在維納帝國公使「サー、セシル、ハースト」、商務省法律顧問「サー、セシル、ハースト」、商務院勤務「エッチ、オー、マンス」、運輸省勤務「サー、エル、コルヴィン」

聯盟理事會ハ事務局ノ事務ヲ左ノ者ニ委託セリ

「パルセロナ」總會ニ於ケル國際聯盟事務總長常任代理者交通及通過部部長特命全權公使大學教授「ペルナルド、アットリコ」

總會事務總長交通及通過ニ關スル臨時委員會事務總長國際聯盟國際事務局員大學「アクレシエ」「ロバート、ハース」

左ニ掲記シタル諸國ハ總會ニ參加シ且之カ爲左記ノ委員ヲ任命セリ

「アルバニア」國

委員　在巴里「アルバニア」國派遣委員長

「ミドハット、フラシェリ」

委員　瑞典國

省參事官「アンリー、ラインハルト」

白耳義國

委員　鐵道海事郵便及電信大臣「ザヴィエー、メージアン」

委員代理　白耳義國海事總監「アルフレッド、ヒエラール」

專門委員　白耳義國國有鐵道管理官「ハンレッズ」、鐵道海事郵便及電信大臣附「アルマン、スティエナール」、殖民省政治及行政局長官「ミシェル、アルヴィック」

「ボリヴィア」國

委員　西班牙國駐在「ボリヴィア」國總領事「トリフォン、メレアン」

伯剌西爾國

委員　伯剌西爾合衆國前國務大臣技師「アメトリオ、リベイロ」

技術顧問　前參謀本部附大尉技師「イー、モンタルロヨス」、國際聯盟經濟財政委員會委員在倫敦伯剌西爾國大使館附商務官「ジェー、エー、パルボサ、カルネイロ」

勃爾牙利國

委員　鐵道及港灣總監補助官土木技師「ルーピン、ボチコフ」

智利國

委員　特命全權公使「マヌエル、リヴァス、ヴィクニア」

專門委員　佛蘭西國駐在智利國總領事「マヌエル、アムナテギ」、國際法教授「アレキサンドル、アルヴァレス」、技師「ヘルナン、エドワルド」

支那國

委員　支那國國有鐵道總監章祜

專門委員　支那政府顧問支那國國有鐵道技師長「ジェー、アイヤール」、支那政府顧問「ダブリュー、エフ、ダイラー」、交通部國際運輸局長徐業、海軍大尉陳天驥、交通部技師工藝技師組興譯、法學博士朱佛定

晉倫比亞國

委員　在瑞西國哥倫比亞國公使館附法律顧問全權委員「アントニオ、ホセ、レストレポ」

玖馬國

委員「ホセ、オリオル、サラ、イ、ハラミ」

補助委員「エンリック、モレノ、メルロ」

丁抹國

委員　土木省局長「ヒー、エー、ホルク、コルアンゲ」

專門委員　商務省副局長「エス、ジェー、エーレンライヒ、ハンセン」、國有鐵道院局長アール、ハールロー」

英帝國

委員　英帝國政府經濟顧問「サー、ヒュバート、レヴェリン、スミス」

專門委員　外務省法律顧問「サー、セシル、ハースト」、商務院勤務「エッチ、オー、マンス」、運輸省勤務「サー、エル、コルヴィン」

西班牙國

委員　橋梁道路技師長前大臣衆議院議員「エミリオ、オルトウニオ」

委員代理　橋梁道路監察長官「ケイエルモ、アロックマン」

專門委員　前運輸委員橋梁道路技師長「ラモン、モンタゲート」、橋梁道路技師長「ホセ、ヒメノ、ウサラ」、「パルセロナ辯護士會長前檢事總長「アン、マルケル、イ、ヴィラドート」、「パルセロナ」州海軍指揮官海軍大佐「アントニオ、デル、カスティリオ」、「パルセロナ」稅關長行政長官「タリストパル、アルサモラ」

「エストニア」國

委員　佛蘭西國及伊太利國駐劄「エストニア」國特命全權公使「ヂアールス、ロバート、デスタ」

專門委員兼補助委員　道路及交通技師「ウォルター、ローセンタル」

芬蘭國

委員　諾威國駐劄芬蘭國特命全權公使「ドクトル、ロルフ、テスレフ」

佛蘭西國

委員　土木大臣衆議院議員「ル、トロッケ」

委員代理　佛蘭西鐵道諮問會委員衆議院議員「シビル」

技術顧問　土木最高會議副議長橋梁道路監察長官參事院議官「シアルゲロー」、全權公使(一等)「フーク、デュバルク」、殖民省政務局長參事院議官「デュシェーヌ」、商務省商事協定及經濟通報局長「セリュイス」、土木大臣官房調査課長參事院陪席議官「ジァン、アノア」、「ストラスブルグ」港及「クール」港工務局長橋梁道路技師長「ドゥタブ」

專門委員　「セーヌ」縣參事會部長「ルヴェイヨー」、副政府委員參事院陪席議官「ジョルジ、ボネ」、西班牙國駐在佛蘭西國政府財務代表者「バライ」、政治學自由學校教授國際聯盟佛蘭西國事務局部長「アンドレ、ジーグフリード」、獨逸「ロアダー」

希臘國

委員　西班牙國及葡萄牙國駐劄希臘國特命全權公使「ヒエル、スカッシー」

技術顧問　「エー、ボリティス」、海軍大佐「ディー、フォカス」

「グアテマラ」國

委員　「グアテマラ」國總領事「ドクトル、ノルベルト、ガルヴェス」

「ハイチ」國

委員　「ハイチ」國總領事「ルイス、マリア、ソレル」

「ホンヂュラス」國

委員　「ホンヂュラス」國總領事「ドクトル、ノルベルト、ガルヴェス」

印度

委員　在倫敦印度事務省歲入及統計部書記官「サー、ルイス、ウェームス、カーショー」

伊太利國

委員　衆議院議員參事院議官伊太利國土木大臣辯護士「カミロ、パノ」

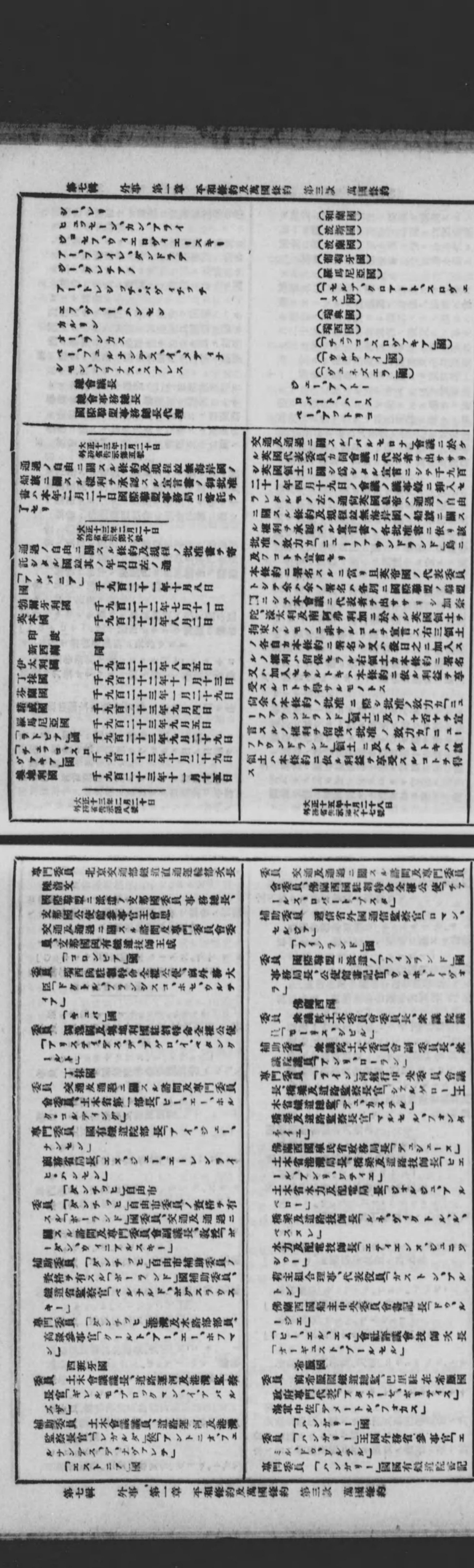
委員代理　前國務次官衆議院議員技師「パオロ、ピニアミ」

專門委員　萊因河中央委員會及「エルベ」河

委員　國際聯盟ノ

委員　國際聯盟ノ

委員　國際聯盟ノ



外務省課長、公使館參事官「カール、イグナーツ、ウェストマン」
瑞西國
委員　交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會委員、聯邦郵便及鐵道省鐵道局長「ロベルト、ヘロルド」
補助委員「ツューリッヒ」電氣企業銀行取締役、技師「ヨセフ、ジュアールド」聯邦鐵道院附屬電化部長、大佐「エミル、フーバー」
專門委員　聯邦鐵道貨物貨車課長「ヘッス」
委員　「チェッコ、スロヴァキア」國
委員　國際河川委員會委員、全權公使、技師「ボフスラヴ、ミュレル」
補助委員　外務省部長、公使館參事官、技師「ヴォジテッチ、クルベック」
鐵道省參事官、法學博士「ドクトル、フレデリック、サドニック」
鐵道省特別顧問、技師「エミル、タジル」
專門委員　商務省顧問「ヴァクラク、スタネク」
土木省一等參事官、技師「フランソワ、ジャンダ」
土耳其國
委員　土木省鐵道及港灣總監「ジア、ベイ」
土木省電氣技師「アキル、ベイ」
「サルケアイ」國
委員　西班牙國駐劄特命全權公使「ベンジアミン、アルナンデス、イ、メディナ」
「ヴェネズエラ」國
委員　瑞西國駐劄代理公使、聯邦政府ニ特派ノ全權「ドクトル、シー、パラ、ベレス」

亞米利加合衆國
ハ傍聽委員トシテ總會ニ出席セシメル爲「ジュネーヴ」駐在領事「ルーイス、ダプリュ、ハスルル」ヲ任命セリ
「ザール」河流域施政委員會
ノ左記代表者ハ顧問ノ資格ニ於テ總會ノ討議ニ參加スルコトヲ許サレタリ
施政委員會事務總長「ジァン、モリズ」
土木鐵道郵便電信及電話局長「クールティレ」
左ノ者ハ特別招請ニ基キ顧問ノ資格ニ於テ總會ニ參加スルコトヲ許サレタリ
交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會ノ代表者
委員會委員「ドクトル、アー、スティエヴナール」
委員會專門委員、技師「エティエンス、イサベル」
「ライン」河航行中央委員會ノ代表者
事務總長「ジァン、オスティー」
「エルベ」河國際委員會ノ代表者
事務總長「ウェッイル、フォン、レンテ、フィンク」
「オーデル」河國際委員會ノ代表者
事務總長「ベー、ジァルダロー、ハルトマン」
「ダニューブ」河水系專門委員會ノ代表者書記「ベー、ジァルダロー、ハルトマン」
鐵道國際運輸中央事務局ノ代表者
局長「エッチ、ディンタルマン」
鐵道管理者國際聯合ノ代表者
事務總長「ジェー、ルゲルゲ」
國際商業會議所代表者
委員「アンダースン、グリーン」會社取締役、英蘭銀行理事、英國船舶會議所副會頭「サー、エラン、ジー、アンダースン」
事務總長「ベー、ジァルダロー、ハルトマン」
鐵道運輸委員會會長、巴里「オルレアン」鐵道會社取締役、佛國「トムスン、フーストン」會社社長「ベイー、デュノール」銀行社長「シァール、ローラン」
補助委員　國際商業會議所書記長代表者、國際商業會議所米國管理委員「バズル、マイルズ」國際商業會議所書記長代表者「キングスリー、ルーカー」
專門委員　商工業上ノ運輸ニ關スル情報及研究部事務總長「ギュスターゲ、ノーアル」
左ノ者モ亦起草委員ヲ補助シタリ
交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會專門委員、佛蘭西國參事院副委員「ヴォルジュ、ポレ」
交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會ノ代表者
總會ハ十一月十五日ヨリ十二月九日迄開催セラレ討議ノ爲之ニ付託セラレタル四ノ條約案ヲ採擇セリ
總會ハ左ノ勳告ヲモ採擇セリ
總會ハ單一契約ニ依リ積送ルコトヲ得サル爲連續契約ニ依リ輸送セラレ且運送ノ全期間中運送者ノ保管ノ下ニ在ル貨物ノ鐵道又ハ其ノ他ノ運送手段ニ依ル輸送ニ關シ規定ヲ設クル爲鐵道ノ國際制度ニ關スル規程第二十一條及第三十八條ノ意義ニ於ケル特別條約ノ締結ヲ奬勵セムコトヲ締約國ニ對シ勳告ス
千九百二十三年十二月九日「ジュネーヴ」ニ於テ開催セラレタル總會ニ依リ採擇セラレタル海港ノ國際制度ニ關スル條約及規程ノ基礎タリ且該規程ニ定ムル權利ヲ國際聯盟規約ノ原則及千九百二十二年「ジュノア」ニ於テ開催セラレタル經濟會議ノ決議ニ從ヒテ規律スル交通ノ自由、特遇ノ均等及相互主義ノ諸原則ヲ成ルヘク廣キ範圍ニ及ホスコトヲ確保セムカ爲
各國ニ於ケル窮迫セル狀態ハ旅客及貨物ノ運輸ニ影響スル制限ヲ設ケラレ且其ノ制限カ近時益著シク爲レルコトニ主トシテ因ルモノナルコトヲ思ヒ
總會ハ非聯盟國ヲ包含スル一切ノ國カ前記規程ノ根本原則ヲ受諾スヘキコト及不衡平ナル經濟措置例ヘハ殊ニ海上沿岸貿易ノ擴張ノ如キ措置ヲ執ラサルヘキコトヲ勳告ス
總會ハ海港ノ國際制度ニ關スル條約ノ署名國又ハ加入國ニシテ領域カ海外ニ在ル他ノ國ト同一主權ノ下ニ在ルモノ又ハ其ノ主權若ハ權力ノ下ニ在ル海外領域ヲ有スルモノカ右署名國若ハ加入國ノ港又ハ斯カル領域ノ港ニ於テ第二條、第五條及第六條ニ規定スル條件ニ從ヒ、右署名國又ハ加入國ノ國籍ヲ有スル船舶ニシテ此等ノ國ノ領域ト右海外ニ在ル國又ハ領域トノ間ノ商業ニ從事スルモノニ其ノ積荷及旅客ニ對シ前記ノ港ヲ利用シ且上記以外ノ商業ニ從事スル他ノ締約國ノ船舶ニ適用スルモノト同一ナル待遇ヲ一切ノ場合ニ於テ適用スヘキコトヲ特ニ勳告ス
總會ハ締約國カ海港ノ制度ニ關スル條約、鐵道ノ制度ニ關スル條約、電力ノ通過像送ニ關スル條約及水力ノ開發ニ關スル條約ノ規定ヲ特別ナル事情ノ爲ニ不可能ナル場合ヲ除クノ外其ノ主權又ハ權力ノ下ニ在ル殖民地、海外屬地、保護領及海外地域ニ於テ成ルヘク廣ク適用スルコトヲ確保スルニ努ムヘキコト竝其ノ間特ニ海港ノ制度ニ關スル條約ニ關シテ締約國カ他ノ締約國ノ船舶、旅客及積荷ニ對シ衡平ナル待遇ヲ許與シ且國際運輸ノ爲ニ開カレタル殖民地ノ主要ナル港ニ現存スル利益ヲ維持スヘキコトヲ希望スルコトヲ表明ス
總會ハ「ライン」河航行中央委員會ニ依リ爲サレタル左記勳告ヲ領承ス
委員會ハ國際聯盟ノ權限ノ機關カ水路ト鐵道トノ間ノ協力ヲ確保スルノ最良方法ヲ審議セムコトヲ希望ス
右中央委員會ニ依リ提起セラレタル問題ハ顏ル複雜セル性質ノモノニシテ充分且愼重ナル調査ヲ要スルモノナルコトヲ思ヒ又問題ノ甚重要ナルニ鑑ミ
總會ハ本件ヲ國際聯盟事務總長ニ付託シ且望マシト認メラルヘキ勳告ヲ爲ス爲前記調査ヲ實行スヘキコトヲ右事務總長ニ請求ス
右證據トシテ委員ハ本議定書ニ署名セリ
千九百二十三年十二月九日「ジュネーヴ」ニ於テ本書一通ヲ作成シ之ヲ國際聯盟事務局ノ記錄ニ寄託保存ス
（此ノ處ニ署名入ル）

●無海岸國ノ船旗ニ關スル權利ヲ承認スル宣言書

大正十三年二月二十日
於桓密顧問ノ諮詢ヲ經テ大正十年四月二十日

西班牙國「パルセロナ」ニ於テ帝國全權委員カ關係各國全權委員ト共ニ署名シタル無海岸國ノ船旗ニ關スル權利ヲ承認スル宣言書ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、外務、大臣副署）
正當ノ委任ヲ受ケタル下名ハ其ノ代表スル國カ海岸ヲ有セサル國ノ船舶ニシテ其ノ版圖內ノ或一定ノ地ニ於テ登錄セラレタルモノノ揭揚スル國旗ヲ承認スルコトヲ宣言ス其ノ地ハ之ヲ其ノ船舶ノ船籍港ト看做ス
千九百二十一年四月二十日「パルセロナ」ニ於テ本書一通ヲ作成シ英吉利語及佛蘭西語ノ本文ヲ以テ正文トス
ベー、ブエルナンデス、イ、メディナ（「サルケアイ」國）
ヒー、スカッシー（希臘國）
モッタ（瑞西國）
エヴェノール、アセラ（巴奈馬國）
トリフォン、メレアン（「ポリヴィア」國）
エヌ、ガルヴェス（「ガァテマラ」國）
ジョセフ、ヴィエロヴィエースキー（波蘭國）
ルーピン、ボチコフ（勃爾牙利國）
ラインハルト（瑞典國）
フレドリク、ハンセン（「ダヴィエー、ヌージアン」（白耳義國）
モーリス、ジピル（佛蘭西國）
汪榮寶（支那國）
ヴァン、パンホイス（和蘭國）
エー、オルトゥニオ（西班牙國）
ヴィー、シダカウスカス（「リスアニア」國）
ヒュッセーン、ガン、（波斯國）
アライ（丁抹國）
エー、ホルク、コルディング
マスエル、リヴァス、（智利國）
ヴィクニア
パオロ、ピニアミアーブレイレ、ダンドラデ（「グアテマラ」國）
（伊太利國）
（葡萄牙國）

印度　同　同
新西蘭　同　同
加奈陀　千九百二十二年十月二十四日　加入
濠太利　同　同
南阿弗利加聯邦　同　同
芬蘭國　千九百二十二年九月二十二日
丁抹國　千九百二十二年十一月十三日　批准書寄託
諾威國　千九百二十三年九月四日

●國際冷凍協會ヲ巴里ニ創設スルコトヲ目的トスル國際條約

大正十三年三月四日
條約第三號

閣議決定ノ謂詢ヲ經テ大正九年六月二十一日佛蘭西國巴里ニ於テ帝國全權委員カ關係各國全權委員ト共ニ署名シタル國際冷凍協會ヲ巴里ニ創設スルコトヲ目的トスル國際條約ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、外務、文部、農商務、大臣副署）
國際冷凍協會ヲ巴里ニ創設スル爲亞爾然丁共和國、白耳義國、智利國、支那國、哥倫比亞國「コスタ、リカ」共和國、玖馬共和國、丁抹國、西班牙國、芬蘭國、佛蘭西國、「アルセリー」、佛蘭西國領西部阿弗利加殖民地、印度支那ニ於ケル佛蘭西國殖民地及保護國、「マダカスカール」、大不列顛國及南阿弗利加聯邦、加奈陀、濠太利聯邦、新西蘭、印度、希臘國、「グァテマラ」國、「ハイチ」共和國、伊太利國竝「エリトレー」、「トリポリ」及「ソマリ」ニ於ケル同國殖民地、日本國、盧森堡國、摩洛哥國、「モナコ」公國、諾威國、巴奈馬共和國、和蘭國及和蘭領印度殖民地、祕露國、波蘭國、葡萄牙國、羅馬尼亞國、「セルブ、クロアート、スロヴェーヌ」國、遲羅國、瑞典國、瑞西國、「チェッコ、スロヴァキア」共和國、「ウルグアイ」國間ニ締結セラレタル國際條約下ニ署名スル前記諸國政府ノ全權委員ハ巴里ニ會議ヲ開キ左ノ諸條ヲ協定セリ

第一條

締約國ハ巴里ニ本部ヲ有スル國際冷凍協會ヲ設立シ且之ヲ維持スルコトヲ約ス本條約ニ署名セサル一切ノ國、領地又ハ殖民地ハ其ノ請求ニ依リ之ニ加入スルコトヲ得但シ其ノ國際冷凍協會ヘノ加入ニ下記第四條ニ定ムル總會ニ於テ出席シタル代表者及代理セラルル代表者ノ三分ノ二ノ多數ノ同意アルコトヲ要ス右請求ハ協會幹事長ニ之ヲ提出スヘシ右請求ハ第九條ニ依リ決定セラルル條件ノ下ニ毎年醵金シテ協會ノ經費ヲ分擔スヘキ約束ヲ包含スルモノトス加入ノ同意アリタルトキハ幹事長ハ其ノ旨ヲ佛蘭西共和國外務大臣ニ通告シ該大臣ハ之ヲ一切ノ加入政府ニ通告スヘシ

第二條

冷凍ノ科學及產業ニ貢獻シタル法人又ハ個人竝國際冷凍協會ニ對スル篤志者ハ執行委員會ノ決議ニ依リ協會名譽會員ノ稱號ヲ受クルコトヲ得ヘシ

第三條

協會ハ其ノ事業ヲ國際的事項ニ限局スルモノニシテ左ノ主要目的ヲ有ス
一　冷凍ノ科學及實際ニ關スル敎育ヲ奬勵シ竝該事項ニ關シテ行ハルル科學上又ハ技術上ノ研究及調査ノ發達竝ニ奬勵スル技術ニ腐敗シ易キ貨物ノ保存、運搬及分配ニ關スル問題ノ最良ノ解決方法ノ研究ヲ奬勵スルコト
二　生產、循環及消費ノ三點ヨリ觀察セル冷凍貨物ノ世界的狀況ヲ、公表セラレタル報道ノ出所ヲ明示シテ、周知セシムルコト
三　冷氣ノ作出及利用ニ關スル科學上、技術上及經濟上ノ一切ノ報道及書類ヲ公表ノ目的ヲ以テ蒐集スルコト
四　冷凍產業ニ關係アル一切ノ種類ノ法令、規則及報道ヲ研究ノ爲蒐集スルコト竝冷氣ノ應用ニ依リ利益ヲ受クヘキ生產物ノ國際

●公衆衛生國際事務局設置ニ關スル千九百七年ノ羅馬協定

署名國	批准書寄託ノ年月日	加入ノ年月日	廢棄ノ年月日
墨西哥	千九百七年十二月十一日		
埃及	千九百八年一月十日		
佛蘭西	千九百八年一月十日		
伊太利	千九百八年一月十日		
摩洛哥	千九百八年一月十日		
瑞西	千九百八年一月十日		
突尼斯	千九百八年一月十日		
土耳其	千九百八年一月十日		
英國	千九百八年一月十日		
米國	千九百八年一月十日		
獨逸	千九百八年一月十日		
墨西哥	千九百八年一月十日		
阿根廷	千九百八年一月十日		
智利	千九百八年一月十日		
玻馬尼亞	千九百八年一月十日		
保加利亞	千九百八年一月十日		
中華	千九百八年一月十日		
哥倫比亞	千九百八年一月十日		
古巴	千九百八年一月十日		
厄瓜多爾	千九百八年一月十日		
希臘	千九百八年一月十日		
瓜地馬拉	千九百八年一月十日		
海地	千九百八年一月十日		
洪都拉斯	千九百八年一月十日		
日本	千九百八年一月十日		
利比里亞	千九百八年一月十日		
尼加拉瓜	千九百八年一月十日		
巴拿馬	千九百八年一月十日		
巴拉圭	千九百八年一月十日		
秘露	千九百八年一月十日		
羅馬尼亞	千九百八年一月十日		
塞爾維亞	千九百八年一月十日		
暹羅	千九百八年一月十日		
土耳其	千九百八年一月十日		
烏拉圭	千九百八年一月十日		
委內瑞拉	千九百八年一月十日		

一　前記目的ノ爲メ締約國ハ千九百二十年十二月三十一日ヲ以テ期限トスル萬國衛生會議ヲ羅馬ニ開クコトヲ約ス

二　各締約國ハ其ノ全權委員ニ對シ本條約ノ規定ヲ實施スルニ必要ナル訓令ヲ與フルコトヲ約ス

三　各締約國ハ羅馬ニ常設國際衛生局ヲ設置スルコトヲ約ス

四　局ノ經費ハ各國ノ人口ニ應シ分擔ス

五　局ノ公用語ハ佛蘭西語トス

六　局ハ左ノ事務ヲ掌ル

一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ受領シ且之ヲ編纂スルコト

二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ研究シ且之ニ關スル意見ヲ各國ニ通報スルコト

四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

四十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

四十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

四十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

四十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

四十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

四十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

四十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

四十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

四十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

四十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

五十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

五十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

五十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

五十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

五十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

五十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

五十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

五十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

五十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

五十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

六十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

六十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

六十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

六十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

六十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

六十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

六十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

六十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

六十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

六十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

七十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

七十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

七十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

七十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

七十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

七十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

七十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

七十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

七十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

七十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

八十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

八十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

八十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

八十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

八十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

八十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

八十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

八十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

八十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

八十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

九十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

九十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

九十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

九十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

九十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

九十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

九十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

九十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

九十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

九十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百二十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百二十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百二十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百二十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百二十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百二十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百二十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百二十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百二十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百二十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百三十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百三十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百三十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百三十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百三十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百三十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百三十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百三十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百三十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百三十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百四十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百四十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百四十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百四十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百四十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百四十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百四十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百四十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百四十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百四十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百五十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百五十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百五十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百五十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百五十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百五十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百五十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百五十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百五十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百五十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百六十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百六十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百六十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百六十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百六十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百六十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百六十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百六十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百六十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百六十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百七十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百七十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百七十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百七十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百七十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百七十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百七十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百七十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百七十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百七十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百八十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百八十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百八十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百八十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百八十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百八十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百八十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百八十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百八十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百八十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百九十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百九十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百九十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百九十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百九十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百九十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百九十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百九十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百九十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

百九十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百二十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百二十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百二十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百二十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百二十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百二十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百二十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百二十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百二十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百二十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百三十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百三十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百三十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百三十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百三十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百三十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百三十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百三十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百三十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百三十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百四十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百四十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百四十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百四十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百四十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百四十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百四十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百四十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百四十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百四十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百五十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百五十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百五十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百五十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百五十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百五十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百五十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百五十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百五十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百五十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百六十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百六十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百六十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百六十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百六十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百六十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百六十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百六十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百六十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百六十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百七十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百七十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百七十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百七十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百七十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百七十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百七十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百七十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百七十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百七十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百八十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百八十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百八十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百八十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百八十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百八十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百八十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百八十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百八十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百八十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百九十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百九十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百九十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百九十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百九十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百九十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百九十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百九十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百九十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

二百九十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百二十　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百二十一　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百二十二　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百二十三　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百二十四　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百二十五　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百二十六　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百二十七　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百二十八　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

三百二十九　各國ノ衛生狀態及傳染病ニ關スル報告ヲ各國ニ通報スルコト

附屬書

公衆衛生國際事務局規則

第一條

左ノ各國ハ公衆衛生ニ關スル國際事務局ヲ設立スルコトヲ約ス

第二條

國際事務局ノ費用ハ各國ノ分擔トス

第三條

國際事務局ノ費用ハ各國ノ分擔ニ屬スル金額ヲ以テ之ヲ支辨ス

第四條

國際事務局ノ費用ハ各國ノ分擔ニ屬スル金額ヲ以テ之ヲ支辨ス

第五條

國際事務局ノ費用ハ各國ノ分擔ニ屬スル金額ヲ以テ之ヲ支辨ス

第六條

國際事務局ノ費用ハ各國ノ分擔ニ屬スル金額ヲ以テ之ヲ支辨ス

第七條

國際事務局ノ費用ハ各國ノ分擔ニ屬スル金額ヲ以テ之ヲ支辨ス

第八條

左ノ各國ハ公衆衛生國際事務局ニ於テ左ノ條約ノ批准シ且ツ之ヲ實行スルコトヲ約ス

（印）（印）（印）

國際萬國條約本部ハ瑞西國ベルン府ニ設ケラレ萬國郵便聯合ノ事務ヲ取扱フ

萬國郵便聯合條約

第一章　郵便物ノ種類及ビ料金

第一條　書狀ノ料金ハ毎半「ヲンス」ニ付キ左ノ割合ヲ以テ之ヲ徵收ス

(イ)　英領印度、「セイロン」、「ケープ」、「ナタール」、「ヴィクトリア」、「ニウサウスウエールス」、「クイーンスランド」、「サウスオストラリア」、「ウエストオストラリア」、「タスマニア」、「ニウジーランド」、「フィジー」、「サモア」、「トンガ」、「ハワイ」、「ニウカレドニア」、「ヴィクトリア

印度參議院議員「ヴァリンダマン、サンカラナラヤナ、スリニヴァサ、サストリ」
支那共和國大總統
亞米利加合衆國駐劄特命全權公使施肇基
英國駐劄特命全權公使顧維鈞
前司法大臣王寵惠
佛蘭西共和國大統領
殖民大臣下院議員「アルベール、サロー」
亞米利加合衆國駐劄特命全權大使「ジュール、ジュスラン」
伊太利國皇帝陛下
參議院議員「カルロ、ジアンツェル」
亞米利加合衆國駐劄特命全權大使參議院議員「ヴィットリオ、ロランディ、リッチ」
參議院議員「ルイジ、アルベルティニ」
日本國皇帝陛下
海軍大臣男爵加藤友三郎
亞米利加合衆國駐劄特命全權大使男爵幣原喜重郎
外務次官埴原正直
和國國皇帝陛下
特命全權公使「ヨンクヘール、フランス、ベーラールツ、ヴァン、アロックランド」
亞米利加合衆國駐劄代理公使「ヨンクヘール、ウィルレム、ヘンドリック、ド、ボーフォール」
葡萄牙共和國大統領
亞米利加合衆國駐劄特命全權公使「アルテ、デ、ヴァスコンセロス」
海軍大臣男爵加藤友三郎
亞米利加合衆國駐劄特命全權大使男爵幣原喜重郎
外務次官埴原正直
和國國皇帝陛下
特命全權公使「ヨンクヘール、フランス、ベーラールツ、ヴァン、アロックランド」
亞米利加合衆國駐劄代理公使「ヨンクヘール、ウィルレム、ヘンドリック、ド、ボーフォール」
參議院議員「ルイジ、アルベルティニ」
日本國皇帝陛下
海軍大臣男爵加藤友三郎
亞米利加合衆國駐劄特命全權大使男爵幣原喜重郎
外務次官埴原正直

右各委員ハ互ニ其ノ全權委任狀ヲ示シ之カ良好妥當ナルヲ認メタル後左ノ如ク協定セリ

第一條

締約國ノ代表者ハ支那國ト他國トノ間ニ締結セラレタル現存諸條約ニ基キ支那關稅ヲ現實從價五分ニ相當セシムルノ目的ヲ以テ茲ニ同關稅ノ改訂ニ關スル決議ニシテ本條ニ附屬書トシテ添附スルモノヲ千九百二十二年二月四日華盛頓ニ於テ採用シタルニ因リ締約國ハ玆ニ右決議ヲ確認シ該改訂ノ結果トシテ決定セラルル稅率ヲ受諾スルコトヲ約ス前記改訂稅率ハ其ノ公表ノ時ヨリ二月後ニ於テ成ルヘク速ニ之ヲ實施スヘシ

附屬書

本會議ニ參加スル亞米利加合衆國、白耳義國、英帝國、支那國、佛蘭西國、伊太利國、日本國、和蘭國及葡萄牙國ハ支那國政府ノ所要ニ應スル爲從價五分ヲ超エサル範圍ニ於テ左ノ如ク其ノ現實從價ヲ增加スル目的ヲ以テ關稅率ヲ改訂スルコトニ決シ之カ爲左ノ如ク約定ス

千九百十八年十二月十九日上海ニ於テ關稅率改訂委員會ノ採用シタル支那輸入稅率表ハ支那國ヲ一方ノ當事國トスル諸通商條約ニ規定スルカ如ク其ノ稅率ヲ現實五分ニ相當セシムル樣直ニ改訂セラルヘシ

改訂委員會ハ前記改訂ヲ直ニ且前回改訂ノ一般方針ニ從ヒ實施スル爲出來得ル限リ速ニ上海ニ於テ會合スヘシ

右委員會ハ前記諸國ノ代表者及本會議ニ參加スル諸國ニ依リ現ニ承認セラレタル政府ヲ有スル他ノ諸國ニシテ支那國トノ間ニ輸入及輸出ノ稅率ニ付從價五分ヲ超エサルコトヲ規定スル條約ヲ有シ且該委員會ニ參加スルコトヲ希望スルモノノ代表者ヲ以テ之ヲ構成スヘシ

前記改訂ハ軍備制限並太平洋及極東問題ニ關スル會議ニ於テ本決議ヲ採用シタル日ヨリ四月內ニ完了スルノ目的ヲ以テ成ルヘク速ニ之ヲ遂捗セシムヘシ

改訂稅率ハ改訂委員會カ之ヲ公表シタル時ヨリ二月後ニ於テ成ルヘク速ニ之ヲ實施スヘシ

本會議ノ主催者タル合衆國政府ハ本會議ニ參加セサルモ千九百十八年ノ前記改訂ニ參加シタル諸國ノ政府ニ對シ直ニ本決議ノ條項ヲ通告スヘキモノトス

第二條

大不列顛國及支那國間ノ千九百二年九月五日ノ條約第八條、合衆國及支那國間ノ千九百三年十月八日ノ條約第四條及第五條竝日本國及支那國間ノ千九百三年十月八日ノ追加條約第一條ニ規定スル附加稅ヲ賦課スルノ目的ヲ以テ右諸條ニ規定スル釐金ノ急速ノ廢止及他ノ條件ノ履行ニ付準備ヲ爲スカ爲特別會議ニ依リ直ニ必要ナル措置ヲ執ルヘシ

右特別會議ハ署名國ノ代表者及該會議ニ參加スルコトヲ希望スル他ノ諸國ニシテ之ニ其ノ代表者ヲ參加セシムルニ足ル時期ニ於テ本條約第八條ノ規定ニ從ヒ本條約ニ加入スルコトアルヘキモノノ代表者ヲ以テ之ヲ構成スヘシ

右會議ハ本條約實施後三月內ニ支那ニ於テ之ヲ開催スヘク其ノ時日及場所ハ支那國政府ノ指定スヘシ

第三條

第二條ニ規定スル特別會議ハ同條ニ記載スル諸條約ノ條項ニ規定スル釐金ノ廢止及他ノ條件ノ履行ニ先チ適用セラルヘキ暫行規定ヲ考量スヘシ同會議ハ其ノ決定スヘキ期日、目的及條件ニ依リ有稅輸入品ニ對シ附加稅ヲ賦課スルコトヲ認ムヘシ

右附加稅ハ之ヲ從價二分五厘ノ一律ノ率トス但シ特別會議ニ於テ過度ニ貿易ヲ阻礙スルコトナクシテ一層ノ增課ヲ爲シ得ルモノト認ムル或種ノ奢侈品ニ付テハ其ノ總附加稅ハ從價五分ヲ超エサル限リ之ヲ增加スルコトヲ得

第四條

第一條ニ記載スル支那輸入關稅率表ノ卽時改訂ノ後同關稅ヲシテ第二條ニ規定スル特別會議ノ定ムル從價稅率ニ相當セシムヘキコトヲ確保スル爲更ニ其ノ再改訂ヲ行フヘク再改訂稅率ハ前記卽時改訂ノ完了後四年ヲ經テ之ヲ實施スヘシ

右再改訂ノ後ニ於テハ前記ノ目的ノ爲支那輸入關稅率表ヲ支那國トノ現存諸條約ノ認ムル十年毎ノ定期改訂ニ代ヘ七年毎ニ定期ニ改訂スヘシ

遲延ヲ避クル爲本條ニ基キ行フヘキ改訂ハ第二條ニ規定スル特別會議ノ定ムヘキ規則ニ從ヒ之ヲ實施スヘシ

第五條

關稅ニ關スル一切ノ事項ニ付テハ一切ノ締約國ニ對シ待遇及機會ノ現實ノ均等アルヘシ

第六條

支那ノ一切ノ陸境及海境ニ於テ賦課スル關稅率ニ付テノ均一ノ原則ハ玆ニ承認セラレタルモノトス第二條ニ規定スル特別會議ハ右原則

ヲ實行スルノ取極ヲ爲スヘシ同會議ハ擔廢セラルヘキ關稅上ノ特權カ地方的經濟上ノ便益ニ代ヘテ許與セラレタルモノナルニ於テハ之カ衡平ナル調整ヲ爲スコトヲ得

右實行ニ至ル迄ハ關稅率改訂ノ結果トシテ生スヘキ關稅率ノ增加又ハ本條約ニ基キ將來賦課セラルヘキ附加稅ハ支那ノ一切ノ陸境及海境ニ於テ均一ノ從價稅率ニ依リ發效セラルヘシ

第七條

抵代稅ハ第二條ニ規定スル措置ノ實施セラルル迄ハ之ヲ從價二分五厘ノ率トス

第八條

本條約ニ署名セサル諸國ニシテ署名國ニ依リ現ニ承認セラレタル政府ヲ有シ且支那國トノ間ニ輸入及輸出ノ稅率ニ付從價五分ヲ超エサルコトヲ規定スル現存條約ヲ有スルモノハ本條約ニ加入スルコトヲ招請セラルヘシ

合衆國政府ハ右目的ノ爲必要ナル通牒ヲ爲シ且其ノ受領シタル回答ヲ締約國政府ニ通告スルコトヲ約ス關稅ノ加入ハ合衆國政府カ右加入ノ通告ヲ受領シタル時ヨリ發效セラルヘシ

第九條

本條約ノ規定ハ支那國及各締約國間ノ條約ノ一切ノ規定ニシテ之ト牴觸スルモノ（最惠國民待遇ノ規定ヲ除ク）ニ優ル

第十條

本條約ハ締約國ニ依リ各自ノ憲法上ノ手續ニ從ヒ批准セラルヘク且批准書全部ノ寄託ノ日ヨリ實施セラルヘシ右ノ寄託ハ成ルヘク速ニ華盛頓ニ於テ之ヲ行フヘシ合衆國政府ハ批准書寄託ノ調書ノ認證謄本ヲ他ノ締約國ニ送付スヘシ

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ共ニ正文トシ合衆國政府ノ記錄ニ寄託保存セラルヘク其ノ認證謄本ハ同政府ヨリ他ノ締約國ニ之ヲ送付スヘシ

右證據トシテ前記各全權委員ハ本條約ニ署名ス

千九百二十二年二月六日華盛頓市ニ於テ之ヲ作成ス

チャールス、エヴァンス、ヒューズ（印）

（印）
ヘンリー、カボット、ロッジ
オスカー、ダブリュー、アンダウッド
エリヒュー、ルート
男爵カルチエード、マルジエッス
アーサー、ジェームス、バルフオア
リー、オヴ、フェアラム
エー、シー、ゲアス
アール、エル、ボーデン
ジー、エフ、ビアス
ジョン、ダブリュー、サルモンド
アーサー、ジェームス、バルフオア
ヴィー、エス、スリニヴァサ、サストリ

（印）
（印）
（印）

智利國
アグスティン、エドワルヅ
マヌエル、リヴァス、ヴィクニア
支那國
汪榮寶
哥倫比亞國
フランシスコ、ホセ、ウルティア
アー、ポータ、レストレーポ
哥倫比亞講會ノ後日ノ同意ヲ留保ス
「コスタ、リカ」國
マヌエル、エメ、デ、ペラルタ
玖馬國
ヘー、デ、ブランク
「エストニア」國
アントアヌ、ピープ
希臘國
ヴアシリ、テンドラミス
洪牙利國
フェリー、パルシェ
印度
セヨ、ラッセル
予ハ玆ニ印度ハ千九百十年五月四日ノ條約最終議定書(ロ)項及本條約第五條ニ規定セラレタル制限年齡ニ代フルニ其ノ裁量ニ依リ十六歲又ハ後日決定セラルコトアルヘキ其ヨリ以上ノ年齡ヲ以テスルノ權利ヲ留保スルコトヲ宣言ス
伊太利國
更ニ王國政府ノ宣言アル迄予ハ予ノ署名カ伊太利國殖民地ヲ掬束セサルコトヲ宣言ス
イムペリアリ
日本國
下記署名ノ日本國代表者ハ政府ノ爲ニ本條約第五條ニ關スル確認ヲ延期スルノ權利ヲ留保シ且其ノ署名カ朝鮮、臺灣及關東租借地ヲ包含セサルコトヲ宣言ス
林權助
「ラトヴィア」國
エム、ヴェー、ザルナイス

「リスアニア」國
カルヴァナウスカス
瑞威國
フリチョフ、ナンセン
和蘭國
アー、アー、パウド
波斯國
公爵アルファ・エド・ドウレー
波蘭國及「ダンヂッヒ」
ベルロウスキー
葡萄牙國
ア、ブレイン、ダンドラデ
羅馬尼亞國
マルガリテスコ、グレシアノ
暹羅國
暹羅國國民ニ關スル限リ千九百十年ノ條約最終議定書(ロ)項及本條約第五條ニ規定セラレタル年齡ノ制限ヲ留保シ
ジアルーン
瑞典國
アドレルクロイツ
帝國議會ノ同意ヲ以テスル批准ヲ留保ス
瑞西國
モッタ
聯邦議會ノ批准ヲ留保ス
「チェッコ、スロヴァキア」國
ドクトル、ロベルト、アリーアル
新西蘭
ジェー、エー
日本國政府宣言
予ハ玆ニ予ノ署名カ西部「サモア」委任統治地域ヲ包含セサルコトヲ宣言ス
ジェー、エー

第二回國際聯盟總會帝國全權委員ハ政府ノ爲ニ千九百二十一年九月三十日ノ毎人及兒童ノ賣買禁止ニ關スル國際條約第五條ニ關スル確認ヲ延期スルノ權利ヲ留保シ且其ノ署名カ朝鮮、臺灣及關東租借地ヲ包含セサルコトヲ宣言シタル日本國政府ハ該全權委員ノ爲シタル留保ヲ確認シ且其ノ宣言ヲ更正シ玆ニ左ノ如ク宣言ス

帝國政府ハ該條約第五條及千九百十年五月四日ノ條約最終議定書(ロ)項ニ規定セラレタル年齡ノ制限ニ代フルニ滿十八歲ヲ以テスルノ權利ヲ留保シ且樺太及南洋委任統治地域ハ朝鮮、臺灣及關東租借地ト事情ヲ同シクスルモノナルニ依リ帝國全權委員ノ署名ハ朝鮮、臺灣及關東租借地ニ加フルニ樺太及南洋委任統治地域ヲ包含セス

千九百二十年六月二十三日

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝(御名)此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

駿大正十年九月瑞西國「ジュネーヴ」ニ開催セラレタル國際聯盟總會第二回會議ニ於テ帝國全權委員カ該會議ニ參同セル各國全權委員ト共ニ議定シ且留保及宣言ノ上署名シ更ニ本年六月二十三日附ヲ以テ帝國政府カ右帝國全權委員ノ爲シタル留保ヲ確認シ且其ノ宣言ヲ更正スル爲宣言スル所アリタル千九百二十一年九月三十日ノ婦人及兒童ノ賣買禁止ニ關スル國際條約ヲ閱覽點檢シ右帝國全權委員ノ留保及宣言竝右帝國政府ノ宣言ヲ存シテ之ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百八十五年大正十四年九月二十八日東京宮城ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名　國璽

摂政名

外務大臣　男爵　幣原喜重郎

大正十四年十二月二十一日
勅諭署名示額九十六號

千九百二十一年九月三十日ノ婦人及兒童ノ賣買禁止ニ關スル國際條約關係ノ右事項ニ關スル國際會議最終議定書左ノ通

婦人及兒童ノ賣買禁止ニ關スル國際會議最終議定書

千九百二十一年二月二十二日ノ國際聯盟理事會ノ決議ニ從ヒテ招集セラレタル婦人及兒童ノ賣買ニ關スル國際會議ハ千九百二十一年六月三十日「ジュネーヴ」ノ聯盟本部所在地ニ會合シタリ

本會議ハ各國政府ニ於テ協同動作ニ出ツルヲ得シムル爲其ノ意見ヲ調和スルニ努ムヘキコトヲ千九百二十年十二月十五日ノ聯盟總會ノ決議ニ依リ委囑セラレタリ

聯盟理事會ハ本會議ノ議長トシテ國務大臣「ミシェル、ルヴィー」氏ヲ指名シタリ

本會議ハ副議長トシテ「ヘンニ、アルタハンマー」嬢ヲ選定シタリ

國際聯盟事務總長ハ本會議ノ書記長トシテ「ラッシェル、グローディー」女史ヲ又法律顧問トシテ「ジョルジ、ケッケレベック」氏ヲ任命シタリ

本會議ハ議長及副議長ハ書記長及法律顧問ト共ニ會議事務局ヲ構成スヘキコトヲ定メタリ

左ノ表ニ揭ケタル諸國ノ本會議ニ參加シ之カ爲下記ノ代表委員及專門家ヲ任命シタリ

「アルバニア」國
代表委員　「エム、フラッシェリ」
埃地利國
代表委員　「エメリヒ、ブフリューゲル」
白耳義國
代表委員　「アッシュラ、ブォンテース」
顧問　「エム、アー、デュレール」
伯剌西爾國
代表委員　「ジョアン、バプティスタ、ローベス」
「エス、ランジェル、ド、カストロ」
顧問
勃牙利國
代表委員　「エス、ボメノウ」
加奈陀
代表委員　「オーベッド、スミス」
智利國
代表委員　「マヌエル、リヴァス、ヴィクニア」
支那國
代表委員　魏宸組
顧問　胡世澤
「チェッコ、スロヴァキア」國
代表委員　「ドクトル、セー、ドゥセク」
丁抹國
代表委員　「ヘンニ、アルタハンマー」嬢

「エストニア」國
代表委員　「シアルル、プスタ」
佛蘭西國
代表委員　「ルニョール」
代表委員　「F、ヴィクト、ジュリュスベルヂエー」夫人
代理
顧問　「バルビエー」
獨逸國
代表委員
顧問　「ドクトル、テー、レヴァルド」
牧師「エル、ホッペ」
大不列顛國
代表委員
希臘國
代表委員　「エス、ダヴリュー、ハリス」
洪牙利國
代表委員　「ヴェー、テンドラミス一」
印度
代表委員　教授「ッォルタン、バランヤイ」
伊太利國
代表委員　「エス、エム、エドヲーブ」
顧問　倭爵「エル、パウルッチ、ディ、カルボリ」
日本國
代表委員　山岡國利
顧問　三枝茂智
代表委員　「リスアニア」國
「ヴァクロヴァス、シヤカウスカス」
「モナコ」國
代表委員　「ルッセル」
和蘭國
代表委員
顧問　「アー、デ、グラーフ」
「エフ、エム、ウー、ファン、ヴァルセム」
諾威國
代表委員　「エネヴォルド、ホルク」
代表委員
代理　「エリス、セーム」嬢
巴奈馬國
代表委員　「ラウール、アー、アマドール」
波蘭國及「ダンヂッヒ」
代表委員
顧問　「ヤー、ベルロウスキー」
「ドクトル、ゾーム、アッシュ」

葡萄牙國
代表委員　「パルトロメウ、アレイラ」
羅馬尼亞國
代表委員　「マルガリテスコ、グレシアノ」
「セルデ、クロアート、スロヴェーヌ」國
代表委員　「ドクトル、ミルティス、ヨヴァノヴィッチ」
暹羅國
代表委員　公爵「ジャルーン」
南阿弗利加
代表委員　「フィリス、ポンソンビイ」夫人
西班牙國
代表委員　「マヌエル、デ、コッシオ」
瑞典國
代表委員　「ヨハン、ボート」
顧問　「アゾゲ、ヴィクセル」夫人
瑞西國
代表委員　「エルネスト、ペクイン」
「エフ、ステムプフリイ」
顧問
「ウルグァイ」國
代表委員　「アルフレード、デ、ガストロ」

本會議ハ千九百二十一年二月十六日ニ各國ニ送付セラレタル質問書ニ對スル回答ニツテ事務總長ノ受領セタルモノヲ整理シ且本件ヲ審議シタル後左ノ決議及勸告ヲ採擇シタリ

一

婦人及兒童ノ賣買ノ有效ナル禁止ハ成ルヘク多クノ國ニ於テ共通ノ原則及同樣ノ措置ヲ執ルコトニ依リテ促進セラルヘキニ因リ之カ爲右犯罪行爲ハ各國ノ法律ニ依リ處罰セラルヘキコト現ニ重要ナル原則及前記協定及條約ヲ成ルヘク完全且一般的ニ適用スルコトハ現在ノ狀態ニ對シテ重要ナル改善ヲ確保スルノ效果有ルヘキニ因リ

本會議ハ國際聯盟理事會ニ對シ千九百四年五月十八日ノ協定及千九百十年五月四日ノ條約ノ當事國竝未タ右協定及條約ニ加入セサル國ニ對シ其ノ殖民地及屬領ヲ爲ニモ加入ヲ爲スヘキ旨ヲ招請セムコトヲ要請セムコトヲ勸告ス

三

本會議ハ國際聯盟理事會カ各國政府ニ對シ千九百十年五月四日ノ條約第一條及第二條ニ定ムル犯罪ノミナラス右犯罪ノ未遂及法規ノ範圍內ニ於テ其ノ豫備モ處罰スルノ規定ヲ設クヘキ旨ヲ要請セムコトヲ勸告ス

四

本會議ハ聯盟理事會カ千九百四年ノ協定及千九百十年ノ條約ノ當事國又ハ之ニ加入セムスル國ニ對シ千九百十年ノ最終議定書(ロ)項ニ揭ケタル年齡ヲ滿二十一歲ニ延長シ且右年齡ヲ以テ最低限度(右最低限度ニ付テハ各國ハ更ニ之ヲ高ムルコトヲ勸告セラルルモノトス)ニ看做スヘキ旨ヲ勸告ス

五

千九百十年五月四日ノ條約第五條ニ關シ本會議ハ右條約第一條及第二條ニ定メタル犯罪ノ處罰ノ爲ニ最有效ナル措置ヲ執ルヘキコトヲ欲スル爲各國カ現行條約ニ於テ犯罪人引渡ヲ規定セサルトキハ前記犯罪ニ付起訴セラレ又ハ有罪ト判決セラレタル者ヲ引渡シ又ハ之カ引渡ヲ準備スル爲其ノ權內ニ在ル一切ノ措置ヲ執ルヘキコトヲ勸告ス

六

本會議ハ移民ノ出國及入國問題ニ關シ一切ノ國カ婦人及兒童ノ賣買ヲ防遏スルニ必要ナル行政上及立法上ノ措置ヲ執ルヘキコトヲ勸告ス

本會議ハ特ニ出發地及到著地ニ於ケルノミナラス其ノ旅行中ニ於ケル保護ヲ與フルノ必要ニ付キ各國政府ノ注意ヲ喚起ス

約ヲ批准シ又ハ之ニ加入スルノ緊要ナルコトヲ力說セムコトヲ勸告ス

二

本會議ハ人種及種色ノ如何ヲ問ハス婦人及兒童ノ保護ヲ確保セムコトヲ欲シ國際聯盟理事會カ婦人及兒童ノ賣買問題ニ關スル千九百四年五月十八日ノ協定及千九百十年五月四日ノ條約ノ當事國竝未タ右協定及條約ニ加入セサル國ニ對シ其ノ殖民地及屬領ヲ爲ニモ加入ヲ爲スヘキ旨ヲ招請セムコトヲ勸告ス

本會議ハ各國政府ニ對シ千九百十年二月四日ノ國際聯盟理事會ノ決議ニ從ヒテ招集セラレタル婦人及兒童ノ賣買ニ關スル國際會議最終議定書左ノ通

婦人及兒童ノ賣買禁止ニ關スル國際會議最終議定書

千九百二十一年二月二十二日ノ國際聯盟理事會ノ決議ニ從ヒテ招集セラレタル婦人及兒童ノ賣買ニ關スル國際會議ハ千九百二十一年六月三十日「ジュネーヴ」ノ聯盟本部所在地ニ會合シタリ

本會議ハ各國政府ニ於テ協同動作ニ出ツルヲ得シムル爲其ノ意見ヲ調和スルニ努ムヘキコトヲ千九百二十年十二月十五日ノ聯盟總會ノ決議ニ依リ委囑セラレタリ

聯盟理事會ハ本會議ノ議長トシテ國務大臣「ミシェル、ルヴィー」氏ヲ指名シタリ

本會議ハ副議長トシテ「ヘンニ、アルタハンマー」嬢ヲ選定シタリ

國際聯盟事務總長ハ本會議ノ書記長トシテ「ラッシェル、グローディー」女史ヲ又法律顧問トシテ「ジョルジ、ケッケレベック」氏ヲ任命シタリ

本會議ハ議長及副議長ハ書記長及法律顧問ト共ニ會議事務局ヲ構成スヘキコトヲ定メタリ

左ノ表ニ揭ケタル諸國ノ本會議ニ參加シ之カ爲下記ノ代表委員及專門家ヲ任命シタリ

「アルバニア」國
代表委員　「エム、フラッシェリ」
埃地利國
代表委員　「エメリヒ、ブフリューゲル」
白耳義國
代表委員　「アッシュラ、ブォンテース」
顧問　「エム、アー、デュレール」
伯剌西爾國
代表委員　「ジョアン、バプティスタ、ローベス」
「エス、ランジェル、ド、カストロ」
顧問
勃牙利國
代表委員　「エス、ボメノウ」
加奈陀
代表委員　「オーベッド、スミス」
智利國
代表委員　「マヌエル、リヴァス、ヴィクニア」
支那國
代表委員　魏宸組
顧問　胡世澤
「チェッコ、スロヴァキア」國
代表委員　「ドクトル、セー、ドゥセク」
丁抹國
代表委員　「ヘンニ、アルタハンマー」嬢

本會議ハ婦人及兒童ノ賣買問題ニ關シ玆國際協定中ニ挿入スルコトアルヘキ確定的ノ規定ヲ設クルノ望マシキコトニ關シ國際移民委員會ノ注意ヲ喚起ス

六ノ二

本會議ハ他國ノ官廳ニ依リ追放セラレ又ハ該國ニ滯在スルコトヲ拒絕セラレタル婦人又ハ女兒カ其ノ本國ニ歸還スルニ付便宜ヲ與フル爲協同措置ヲ採ルヘキ旨婦人及兒童ノ賣買問題ニ關係アル國際協會ニ勸誘セムコトヲ勸告ス

七

千九百四年ノ協定第二條ニ關シ本會議ハ各國政府カ婦人及女兒ニ對シ賣買ノ危險ヲ警告シ且宿泊及援助ヲ得ヘキ場所ヲ指示スル揭示ヲ停車場及港ニ揭クルコトヲ確保スル爲鐵道及船舶會社ト交渉セムコトヲ勸告ス

八

本會議ハ聯盟事務局ニ對シ本會議ノ各國ニ從ヒ聯盟事務局ニ命シテ一切ノ聯盟國竝千九百四年ノ協定及千九百十年ノ條約ノ一切ノ當事國ニ對シ婦人及兒童ノ賣買ヲ防遏スル爲其ノ執リ又ハ執ラムトスル措置ニ關スル年報ヲ事務局ニ供與スル旨要請セシメムコトヲ勸告ス右報告ハ各國カ他國ノ得タル經驗ニ依リ稗益スルコトヲ得ル爲一切ノ聯盟國竝前記條約及協定ノ一切ノ當事國ニ其ノ全文又ハ摘要ヲ送付スヘシ事務局ハ之カ爲各國政府ニ送付スヘキ質問書ヲ起草スルコトヲ得

本會議ハ又婦人及兒童ノ賣買ノ禁止ヲ目的トスル國際協會ニ其ノ事業年報ヲ事務局ニ供與スヘキ旨要請セムコトヲ勸告ス右年報ハ各國政府ノ年報ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ配付スヘシ

十

本會議ハ聯盟理事會カ聯盟規約第二十三條(ハ)

千九百二十年五月八日

「ブエノスアイレス」

千九百二十四年七月三日

「メクネース」

千九百二十二年五月十五日

「ワルソー」

千九百二十二年五月十五日

「ベルン」

千九百二十二年四月十日

「ワシントン」

千九百二十二年四月十

三　外交手續

各條約國ハ他ノ各條約國ノ全權委員ノ資格ヲ認メタル後ニ於テ本條約ニ署名スルコトヲ約ス

本條約ハ批准セラルヘシ其ノ批准書ハ成ルヘク速ニ且遲クトモ一千九百四十年一月一日迄ニ「ベルン」ニ於テ交換セラルヘシ

本條約ハ其ノ交換ノ日ヨリ直ニ效力ヲ生スヘシ

本條約ハ其ノ效力ヲ生シタル日ヨリ一箇年ノ豫告ヲ以テ何レノ締約國ニ對シテモ之ヲ廢棄スルコトヲ得此ノ廢棄ハ之ヲ通告シタル締約國ニ對シテノミ效力ヲ有シ他ノ締約國ニ對シテハ本條約ハ效力ヲ有スヘシ

本條約ハ「ベルン」ニ於テ一通ノ原本ヲ作リ之ニ各署名國ノ全權委員ノ署名ヲ爲スヘシ原本ハ「ベルン」ニ於ケル「スイス」聯邦政府ノ文書ト共ニ寄託セラルヘシ「スイス」聯邦政府ハ其ノ認證謄本ヲ各署名國ニ送付スヘシ

本條約ハ千九百四十年一月一日ヨリ千九百四十四年十二月三十一日迄「ベルン」ニ於テ署名ノ爲ニ開放セラルヘシ

（ロ）

萬國著作權條約

千九百二年六月二十三日「パリ」ニ於テ改正シ千九百十一年三月二十日「ベルリン」ニ於テ追加シ千九百二十八年六月二日「ローマ」ニ於テ改正シ千九百三十六年六月二日「ブラッセル」ニ於テ追加シ及改正シタル萬國著作權條約

第一條

締約國ハ文學的美術的及學術的著作物ノ著作者ノ權利ヲ保護スル爲ニ聯合ヲ組織ス

第二條

本條約ニ於テ著作物ト稱スルハ文學的美術的及學術的著作物ヲ謂フ

第三條

本條約ノ保護ハ著作者ノ國籍ニ關シ又著作物ノ發行ノ場所ニ關シ何等ノ差別ヲモ設ケスシテ各締約國ニ於テ其ノ國ノ法律ガ內國人ニ對シ現ニ與ヘ又ハ將來與フヘキ權利ト同一ノ權利ヲ著作者ニ與フヘシ

著作者ガ本條約ニ依リ與ヘラルル權利ヲ享有シ且之ヲ行使センカ爲ニハ著作物ノ發行ノ場所ニ於ケル如何ナル手續ヲモ履ムルヲ要セス

著作者ガ著作物ノ發行ノ場所ニ於ケル保護ノ期間ニ關シ特別ノ規定ヲ設ケサル場合ニ於テハ著作物ハ其ノ本國ニ於ケルヨリモ長キ保護ヲ他ノ締約國ニ於テ要求スルコトヲ得ス

著作者ガ著作物ノ發行ノ場所ニ於ケル保護ノ期間ニ關シ特別ノ規定ヲ設ケサル場合ニ於テハ著作物ハ其ノ本國ニ於ケルヨリモ長キ保護ヲ他ノ締約國ニ於テ要求スルコトヲ得ス

第四條

著作者ノ本國ハ左ノ如ク定ムルモノトス

一　著作者ガ締約國ノ國民ナルトキハ其ノ國

二　著作者ガ締約國ノ國民ニアラサルトキト雖モ其ノ著作物ガ締約國ニ於テ最初ニ發行セラレタルトキハ其ノ國

三　著作者ガ締約國ノ國民ニアラス且其ノ著作物ガ最初ニ締約國ニ於テ發行セラレサルトキト雖モ其ノ著作物ガ締約國ニ於テ最初ニ發行セラレタルトキハ其ノ國

四　著作者ガ締約國ノ國民ニアラス且其ノ著作物ガ最初ニ締約國ニ於テ發行セラレサルトキト雖モ其ノ著作物ガ締約國ニ於テ最初ニ發行セラレタルトキハ其ノ國ト同一ノ權利ヲ著作者ニ與フヘシ

第五條

著作者ハ著作物ノ翻譯ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第六條

著作者ハ著作物ノ改作ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第七條

著作者ハ著作物ノ公ノ演奏ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第八條

著作者ハ著作物ノ機械的複製ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第九條

著作者ハ著作物ノ公ノ展覽ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第十條

著作者ハ著作物ノ寫眞ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第十一條

著作者ハ著作物ノ映畫ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第十二條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第十三條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第十四條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第十五條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第十六條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第十七條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第十八條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第十九條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二十條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二十一條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二十二條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二十三條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二十四條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二十五條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二十六條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二十七條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二十八條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二十九條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第三十條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第三十一條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第三十二條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第三十三條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第三十四條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第三十五條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第三十六條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第三十七條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第三十八條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第三十九條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第四十條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第四十一條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第四十二條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第四十三條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第四十四條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第四十五條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第四十六條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第四十七條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第四十八條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第四十九條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第五十條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第五十一條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第五十二條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第五十三條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第五十四條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第五十五條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第五十六條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第五十七條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第五十八條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第五十九條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第六十條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第六十一條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第六十二條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第六十三條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第六十四條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第六十五條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第六十六條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第六十七條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第六十八條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第六十九條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第七十條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第七十一條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第七十二條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第七十三條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第七十四條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第七十五條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第七十六條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第七十七條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第七十八條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第七十九條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第八十條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第八十一條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第八十二條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第八十三條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第八十四條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第八十五條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第八十六條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第八十七條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第八十八條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第八十九條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第九十條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第九十一條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第九十二條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第九十三條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第九十四條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第九十五條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第九十六條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第九十七條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第九十八條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第九十九條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百一條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百二條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百三條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百四條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百五條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百六條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百七條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百八條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百九條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百十條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百十一條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百十二條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百十三條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百十四條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百十五條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百十六條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百十七條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百十八條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百十九條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百二十條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百二十一條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百二十二條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百二十三條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百二十四條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百二十五條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百二十六條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百二十七條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百二十八條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百二十九條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百三十條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百三十一條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百三十二條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百三十三條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百三十四條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百三十五條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百三十六條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百三十七條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百三十八條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百三十九條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百四十條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百四十一條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百四十二條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百四十三條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百四十四條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百四十五條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百四十六條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百四十七條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百四十八條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百四十九條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百五十條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百五十一條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百五十二條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百五十三條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百五十四條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百五十五條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百五十六條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百五十七條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百五十八條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百五十九條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百六十條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百六十一條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百六十二條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百六十三條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百六十四條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百六十五條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百六十六條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百六十七條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百六十八條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百六十九條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百七十條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百七十一條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百七十二條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百七十三條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百七十四條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百七十五條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百七十六條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百七十七條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百七十八條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百七十九條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百八十條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百八十一條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百八十二條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百八十三條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百八十四條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百八十五條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百八十六條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百八十七條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百八十八條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百八十九條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百九十條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百九十一條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百九十二條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百九十三條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百九十四條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百九十五條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百九十六條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百九十七條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百九十八條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第百九十九條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二百條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二百一條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二百二條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二百三條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二百四條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二百五條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二百六條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二百七條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二百八條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二百九條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二百十條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二百十一條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二百十二條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二百十三條

著作者ハ著作物ノ公ノ傳達ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二百十四條

著作者ハ著作物ノ公ノ口述ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二百十五條

著作者ハ著作物ノ公ノ實演ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二百十六條

著作者ハ著作物ノ放送ニ關シ著作物ノ原作ニ與ヘラルル權利ト同一ノ權利ヲ享有ス

第二百十七條

著

二十日附ヲ以テ加入通告ヲ爲シタルカ右加入通告書ハ大正十四年十月二十一日佛蘭西國政府ノ記錄ニ寄託セラレタル旨令較在巴里松田國際聯盟帝國事務局長ヨリ報告アリタリ

●工業ニ使用シ得ル兒童ノ最低年齢ヲ定ムル條約

（大正十五年八月十九日　總動第一號）

歐佛衆願問ノ諮詢ヲ經テ大正八年華盛頓ニ於テ開催ノ第一回國際勞働總會ノ採擇ニ係ル工業ニ使用シ得ル兒童ノ最低年齢ヲ定ムル條約ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、外務、內務大臣副署）

工業ニ使用シ得ル兒童ノ最低年齢ヲ定ムル條約

國際聯盟ノ國際勞働機關ノ總會ハ

亞米利加合衆國政府ニ依リ千九百十九年十月二十九日華盛頓ニ招集セラレ右華盛頓總會ノ會議事項ノ第四項目ノ一部タル「兒童使用ノ件、使用ノ最低年齡」ニ關スル提案ノ採擇ヲ決議シ且該提案ノ國際條約案ノ形式ニ依ルヘキモノナルコトヲ決定シ

國際勞働機關ノ締盟國ニ依リ批准セラルルカ爲千九百十九年六月二十八日ノ「ヴェルサイユ」條約及千九百十九年九月十日ノ「サン、ジェルマン」條約ノ勞働編ノ規定ニ從ヒ左ノ條約案ヲ採擇ス

第一條

本條約ニ於テ「工業的企業」ト稱スルハ左ニ揭クルモノヲ特ニ包含ス

（イ）鑛山業、石切業其ノ他土地ヨリ鑛物ヲ採取スル事業

（ロ）物品ノ製造、改造、淨洗、修理、裝飾、仕上、販賣ノ爲ニスル仕立、破壞若ハ解體ヲ爲シ又ハ材料ノ變造ヲ爲ス工業（造船竝電氣又ハ各種動力ノ發生、變更及傳導ヲ含ム）

（ハ）建物、鐵道、軌道、港、船渠、棧橋、運河、內地水路、道路、隧道、橋梁、陸橋、下水道、排水道、井、電信電話裝置、電氣工作物、瓦斯工作物、水道其ノ他ノ工作物ノ建設、改造、保存、修理、變更又ハ解體及上記ノ工作物又ハ建設物ノ準備又ハ基礎工事

（ニ）運路、鐵軌道又ハ內地水路ニ依ル旅客又ハ貨物ノ運送（船渠、岸壁若ハ波止場ニ於ケル倉庫ニ於ケル貨物ノ取扱ヲ含ムモ人力ニ依ル運送ヲ含マス）

工業ト商業及農業トノ分界ハ各國ニ於ケル權限アル機關之ヲ定ムヘシ

第二條

十四歲未滿ノ兒童ハ同一ノ家ニ屬スル者ノミヲ使用スル企業ヲ除クノ外一切ノ公私ノ工業的企業又ハ其ノ各分科ニ於テ使用セラレ又ハ勞働スルコトヲ得ス

第三條

第二條ノ規定ハ工業學校ニ於ケル兒童ノ爲ス勞働ニ之ヲ適用セス但シ此ノ種ノ勞働ハ公ノ機關ノ承認ヲ得且其ノ監督ヲ受クヘキモノトス

第四條

本條約ノ規定ノ實行ヲ容易ナラシムル爲工業的企業ニ於ケル各使用者ハ其ノ使用スル十六歲未滿ノ一切ノ者及其ノ出生ノ日ヲ記載シタル帳簿ヲ備附クルコトヲ要ス

第五條

本條約ノ日本國ニ對スル適用ニ關シテハ第二條ニ左ノ變更ヲ加フルコトヲ得

（イ）十二歲以上ノ兒童ニシテ專ラ小學校ノ教科ヲ修了シタルモノハ之ヲ使用スルコトヲ得

（ロ）現ニ使用中ノ十二歲以上十四歲未滿ノ兒童ニ關シテハ經過規定ヲ設クルコトヲ得

十二歲未滿ノ兒童ヲ減種ノ輕易ナル業務ニ使用スルコトヲ認ムル日本現行法ノ規定ノ之ヲ廢止スヘキモノトス

第六條

第二條ノ規定ノ印度ニ之ヲ適用セス但シ十二歲未滿ノ兒童ハ左ニ使用セラルルコトヲ得ス

（イ）動力ヲ用キ且十人ヨリ多クノ者ヲ使用スル製造工場

（ロ）鑛山業、石切業其ノ他土地ヨリ鑛物ヲ採取スル事業

（ハ）鐵軌道ニ依ル旅客、貨物若ハ郵便物ノ運送又ハ船渠、岸壁若ハ波止場ニ於ケル貨物ノ取扱（人力ニ依ル運送ヲ含マス）

第七條

千九百十九年六月二十八日ノ「ヴェルサイユ」條約及千九百十九年九月十日ノ「サン、ジェルマン」條約ノ第十三編ニ定ムル條件ニ依ル本條約ノ正式批准ハ登錄ノ爲國際聯盟事務總長ニ之ヲ通告スヘシ

第八條

本條約ヲ批准スル各締盟國ハ其ノ殖民地、保護國及屬地ニシテ完全ナル自治ヲ有セサルモノニ左ノ條件ノ下ニ之ヲ適用スルコトヲ約ス

（イ）其ノ規定ヲ土地ノ狀況ニ適應セシムル爲必要ナル變更ヲ加フルコト

（ロ）其ノ規定ヲ土地ノ狀況ニ照シ適用不可能ニ非サルコト

各締盟國ハ其ノ殖民地、保護國及屬地ニシテ完全ナル自治ヲ有セサルモノニ付其ノ執リタル措置ヲ國際勞働事務局ニ通告スヘシ

第九條

國際勞働機關ノ締盟國中ノ二國カ國際聯盟事務局ニ本條約ノ批准ノ登錄ヲ爲シタルトキハ事務總長ハ國際勞働機關ノ一切ノ締盟國ニ右ノ旨ヲ通告スヘシ

第十條

本條約ハ國際聯盟事務總長カ前條ノ通告ヲ發シタル日ヨリ效力ヲ發生スヘク且該事務局ニ其ノ批准ヲ登錄シタル締盟國ノミヲ拘束スヘシ爾後本條約ハ他ノ何レノ締盟國ニ付テモ右事務局ニ其ノ批准ヲ登錄シタル日ヨリ效力ヲ發生スルモノトス

第十一條

本條約ヲ批准スル各締盟國ハ千九百二十二年七月一日迄ニ其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ實施スルニ必要ナルヘキ措置ヲ執ルコトヲ約ス

第十二條

本條約ハ批准シタル締盟國ハ本條約ノ最初ノ效力發生ノ日ヨリ十年ノ期間滿了後ニ於テ國際聯盟事務總長宛登錄ノ爲ニスル通告ニ依リ之ヲ廢棄スルコトヲ得右ノ廢棄ハ該事務局ニ登錄アリタル日以後一年間ハ其ノ效力ヲ生セス

第十三條

國際勞働事務局ノ理事會ハ少クトモ十年ニ一回本條約ノ施行ニ關スル報告ヲ總會ニ提出スヘク且其ノ改正又ハ變更ニ關スル問題ヲ總會ノ會議事項ニ揭クヘキヤ否ヤヲ審議スヘシ

第十四條

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ共ニ正文トス

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕大正八年華盛頓ニ於テ開催ノ第一回國際勞働總會ノ採擇ニ係ル工業ニ使用シ得ル兒童ノ最低年齡ヲ定ムル條約ニ對スル帝國ノ批准ノ登錄ヲ了シタル旨大正十五年八月十四日國際勞働理事會ニ於ケル帝國政府代表者ヨリ電報アリタリ

●鐵道ノ國際制度ニ關スル條約

（大正十五年十月二十八日　條約第四號）

朕枫密顧問ノ諮詢ヲ經テ大正十二年十二月九日瑞西國「ジュネーヴ」ニ於テ帝國全權委員カ關係各國全權委員ト共ニ署名シタル鐵道ノ國際制度ニ關スル條約及規程竝署名議定書ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、外務、內務大臣副署）

鐵道ノ國際制度ニ關スル條約

獨逸國、墺地利國、白耳義國皇帝陛下「ブラジル」國、英帝國（「ニュー、ジーランド」及印度ト共ニ）、「アルゼンチナ」國、「チリ」國、「丁抹國」、「ダンチッヒ」自由市、西班牙國、「エストニア」國、「フィンランド」國、佛蘭西國、希臘國、「ハンガリー」國、伊太利國、日本國、「ラトヴィア」國、「リトアニア」國、諾威國、和蘭國、「ポーランド」國、「ポルトガル」國、「ルーマニア」國、「サルヴァドル」國、「セルブ、クロアート、スロヴェーヌ」王國、暹羅國、瑞典國、瑞西國、「チエツコ、スロヴアキア」國及「ウルグアイ」國ハ

交通及通過ノ自由ヲ確保シ且維持スル爲方法ヲ講スルコト竝右目的ノ爲鐵道運輸ノ組織及實行ニ付國際的協力ヲ發達セシムルコトヲ希望シ

又通商衡平待遇ノ原則ヲ鐵道ノ國際制度ニ適用スルコトヲ確保スルコトヲ希望シ

右目的ヲ達成スルノ最良方法ハ成ルヘク多數ノ國カ後日加入シ得ヘキ一般的條約ニ依ルニ在ルコトヲ思ヒ

鐵道運輸ニ關スル國際的協定ハ既ニ國家間及鐵道管理者間ニ於テ數多ノ特別約定ノ主題タリシコト竝一般的條約ニ依リ確立セラレタル原則ノ實際的運用ニ付本問題ニ關スル國際的協力カ最有效ナル發達ヲ爲シ得ルハ正ニ右特別約定ニ依ルモノナルコトヲ認メ

然レトモ右特別約定ノ效力及範圍ヲ制限スルコトナク、鐵道管理者間ニ於ケル直接ノ關係及交涉ヲ阻礙スルコトナク又ハ國ノ主權若ハ權力ニ何等影響ヲ及ホスコトナク却テ國際的鐵道運輸ニ關シ承認セラレタル國際義務ヲ簡明ニ且組織的ニ編纂スルコトニ依リ特定國間又ハ特定管理者間ニ既ニ確立セラレタル原則ヲ成ルヘク擴ク及ホスコトヲ得且將來國際運輸ノ要求又ハ發達ニ適應スル爲新ナル特別約定ノ締結ヲ能フ限リ容易ナラシムルコトヲ得ルコトヲ思ヒ

鐵道ノ國際制度ニ關スル一般的條約カ二年ノ期間內ニ締結セラルヘキコトヲ勸告シタルニ依リ又千九百二十二年四月十日「ジェノア」ニ於テ開催セラレタル會議ノ國際聯盟ノ理事會及總會ノ承認ヲ經テ該聯盟ノ權限アル機關ニ送付セラレタル決議ニ於テ平和條約中ニ豫想セラルル交通制度ニ關スル國際條約カ成ルヘク速ニ締結セラレ且實施セラルヘキコトヲ要求シタルニ依リ又「ヴェルサイユ」條約第三百七十九條及其ノ他ノ條約中ノ對當條項ハ鐵道ノ國際制度ニ關スル一般附條約ノ作成ニ關シ規定スルニ依リ

千九百二十三年十一月十五日「ジュネーヴ」ニ於テ開催セラレタル會議ニ參加スルコトニ關スル國際聯盟ノ招請ヲ受諾シ

右會議ニ於テ採擇セラレタル鐵道ノ國際制度ニ關スル規程ノ條項ヲ實施シ且此ノ目的ノ爲ニ一般的條約ヲ締結スルコトヲ希望シ締約國ノ左ノ如ク其ノ全權委員ヲ任命セリ

獨逸國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、特命全權公使「ドクトル、セーリゲル」

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通省參事官「パウル、ヴォルフ」

墺地利共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、國際聯盟ニ派遣ノ墺邦政府代表者、辨理公使「エメリヒ、ブッリユーゲル」

白耳義國皇帝陛下

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、白耳義國鐵道海事郵便電信及電話大臣「ザヴィエー、メーヨアン」

「ブラジル」合衆共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會委員、道路運河及港灣監察長官「ギレルモ、ブロックマン、イ、アバルゾザ」

「エストニア」共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、在巴里「リスア、デ、シネイロ」臨軍大學教授、參謀將校、司令少佐「イ、レイ、デ、カルヴァロ」

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會委員「エリセウ、ダフォンセカ、モンタルロヨス」

「グレート、ブリテン及アイルランド」聯合王國竝「グレート、ブリテン」海外領土皇帝印度皇帝陛下

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、英帝國政府首席經濟顧問「サー、ヒュバート、レウェリン、スミス」

「ニュー、ジーランド」

聯合王國駐在「ニュー、ジーランド」高級委員「サー、ジェームス、アリン」

印度

前大使、前總督、樞密顧問官「ハーディンゲ、オヴ、ペンジアースト」

「アルゼンチナ」國皇帝陛下

瑞西國駐劄代理公使「アイー、ミコフ」

「チリ」共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、瑞西聯邦政府、「チェッコ、スロヴアキア」共和國大統領、墺地利共和國大統領及「ハンガリー」國攝政嚴下ニ派遣ノ特命全權公使「フランシスコ、リゲアス、ヴィクニア」

丁抹國皇帝陛下

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會委員、土木省部長「ヒー、エー、ホルケ、コルディング」

「ダンチッヒ」共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會副議長、教授「ボーダン、ウィニアルスキー」

西班牙國皇帝陛下

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會委員、道路運河及港灣監察長官「ギレルモ、ブロックマン、イ、アバルゾザ」

「エストニア」共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會委員「エリセウ、ダフォンセカ、モンタルロヨス」

「グレート、ブリテン及アイルランド」聯合王國竝「グレート、ブリテン」海外領土皇帝印度皇帝陛下

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、英帝國政府首席經濟顧問「サー、ヒュバート、レウェリン、スミス」

「ニュー、ジーランド」

聯合王國駐在「ニュー、ジーランド」高級委員「サー、ジェームス、アリン」

印度

前大使、前總督、樞密顧問官「ハーディンゲ、オヴ、ペンジアースト」

「アルゼンチナ」國皇帝陛下

瑞西國駐劄代理公使「アイー、ミコフ」

「チリ」共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、瑞西聯邦政府、「チェッコ、スロヴアキア」共和國大統領、墺地利共和國大統領及「ハンガリー」國攝政嚴下ニ派遣ノ特命全權公使「フランシスコ、リゲアス、ヴィクニア」

丁抹國皇帝陛下

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會委員、佛蘭西共和國大統領ニ派遣ノ特命全權公使「ファールス、ロバート、ブスタ」

「フィンランド」共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、在巴里「ソインランド」國公使館書記官「ウルホ、トイヴオラ」

佛蘭西共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會委員、衆議院議員「モーリス、シビル」

希臘國皇帝陛下

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、巴里駐在希臘國政府專門代表「エー、ボリティス」

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、希臘國海軍中佐「デメートル、ジー、ブオカス」

「ハンガリー」國攝政嚴下

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員「ハンガリー」王國外務省參事官「エミル、ドゥ、ヴルテル」

伊太利國皇帝陛下

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、前衆議院議員、前國務次官「パオロ、ピニアミ」

日本國皇帝陛下

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、在巴里國際聯盟帝國事務局次長、大使館參事官奧山清治

「ラトヴィア」共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、伊太利國皇帝陛下ニ派遣ノ特命全權公使「ドクトル、エム、ヴルテルス」

「リスアニア」共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、在巴里「リスア、デ、シネイロ」國公使館參事官「シー、ドアクヴィシウス」

准シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、外務、內務、農商務大臣副署）

鐵道ノ國際制度ニ關スル條約

獨逸國、墺地利國、白耳義國皇帝「ブラジル」國、英帝國（「ニュー、ジーランド」及印度ト共ニ）、「アルゼンチナ」國、「チリ」國、「丁抹國」、「ダンチッヒ」自由市、西班牙國、「エストニア」國、「フィンランド」國、佛蘭西國、希臘國、「ハンガリー」國、伊太利國、日本國、「ラトヴィア」國、「リトアニア」國、諾威國、和蘭國、「ポーランド」國、「ポルトガル」國、「ルーマニア」國、「サルヴァドル」國、「セルブ、クロアート、スロヴェーヌ」王國、暹羅國、瑞典國、瑞西國、「チエツコ、スロヴアキア」國及「ウルグアイ」國ハ

交通及通過ノ自由ヲ確保シ且維持スル爲方法ヲ講スルコト竝右目的ノ爲鐵道運輸ノ組織及實行ニ付國際的協力ヲ發達セシムルコトヲ希望シ

又通商衡平待遇ノ原則ヲ鐵道ノ國際制度ニ適用スルコトヲ確保スルコトヲ希望シ

右目的ヲ達成スルノ最良方法ハ成ルヘク多數ノ國カ後日加入シ得ヘキ一般的條約ニ依ルニ在ルコトヲ思ヒ

鐵道運輸ニ關スル國際的協定ハ既ニ國家間及鐵道管理者間ニ於テ數多ノ特別約定ノ主題タリシコト竝一般的條約ニ依リ確立セラレタル原則ノ實際的運用ニ付本問題ニ關スル國際的協力カ最有效ナル發達ヲ爲シ得ルハ正ニ右特別約定ニ依ルモノナルコトヲ認メ

然レトモ右特別約定ノ效力及範圍ヲ制限スルコトナク、鐵道管理者間ニ於ケル直接ノ關係及交涉ヲ阻礙スルコトナク又ハ國ノ主權若ハ權力ニ何等影響ヲ及ホスコトナク却テ國際的鐵道運輸ニ關シ承認セラレタル國際義務ヲ簡明ニ且組織的ニ編纂スルコトニ依リ特定國間又ハ特定管理者間ニ既ニ確立セラレタル原則ヲ成ルヘク擴ク及ホスコトヲ得且將來國際運輸ノ要求又ハ發達ニ適應スル爲新ナル特別約定ノ締結ヲ能フ限リ容易ナラシムルコトヲ得ルコトヲ思ヒ

鐵道ノ國際制度ニ關スル一般的條約カ二年ノ期間內ニ締結セラルヘキコトヲ勸告シタルニ依リ又千九百二十二年四月十日「ジェノア」ニ於テ開催セラレタル會議ノ國際聯盟ノ理事會及總會ノ承認ヲ經テ該聯盟ノ權限アル機關ニ送付セラレタル決議ニ於テ平和條約中ニ豫想セラルル交通制度ニ關スル國際條約カ成ルヘク速ニ締結セラレ且實施セラルヘキコトヲ要求シタルニ依リ又「ヴェルサイユ」條約第三百七十九條及其ノ他ノ條約中ノ對當條項ハ鐵道ノ國際制度ニ關スル一般附條約ノ作成ニ關シ規定スルニ依リ

千九百二十三年十一月十五日「ジュネーヴ」ニ於テ開催セラレタル會議ニ參加スルコトニ關スル國際聯盟ノ招請ヲ受諾シ

右會議ニ於テ採擇セラレタル鐵道ノ國際制度ニ關スル規程ノ條項ヲ實施シ且此ノ目的ノ爲ニ一般的條約ヲ締結スルコトヲ希望シ締約國ノ左ノ如ク其ノ全權委員ヲ任命セリ

獨逸國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、特命全權公使「ドクトル、セーリゲル」

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通省參事官「パウル、ヴォルフ」

墺地利共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、國際聯盟ニ派遣ノ墺邦政府代表者、辨理公使「エメリヒ、ブッリユーゲル」

白耳義國皇帝陛下

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、白耳義國鐵道海事郵便電信及電話大臣「ザヴィエー、メーヨアン」

「ブラジル」合衆共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會委員、道路運河及港灣監察長官「ギレルモ、ブロックマン、イ、アバルゾザ」

「エストニア」共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會委員「エリセウ、ダフォンセカ、モンタルロヨス」

「グレート、ブリテン及アイルランド」聯合王國竝「グレート、ブリテン」海外領土皇帝印度皇帝陛下

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、英帝國政府首席經濟顧問「サー、ヒュバート、レウェリン、スミス」

「ニュー、ジーランド」

聯合王國駐在「ニュー、ジーランド」高級委員「サー、ジェームス、アリン」

印度

前大使、前總督、樞密顧問官「ハーディンゲ、オヴ、ペンジアースト」

「アルゼンチナ」國皇帝陛下

瑞西國駐劄代理公使「アイー、ミコフ」

「チリ」共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、瑞西聯邦政府、「チェッコ、スロヴアキア」共和國大統領、墺地利共和國大統領及「ハンガリー」國攝政嚴下ニ派遣ノ特命全權公使「フランシスコ、リゲアス、ヴィクニア」

丁抹國皇帝陛下

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會委員、土木省部長「ヒー、エー、ホルケ、コルディング」

「ダンチッヒ」共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會副議長、教授「ボーダン、ウィニアルスキー」

西班牙國皇帝陛下

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會委員、道路運河及港灣監察長官「ギレルモ、ブロックマン、イ、アバルゾザ」

「エストニア」共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會委員「エリセウ、ダフォンセカ、モンタルロヨス」

「グレート、ブリテン及アイルランド」聯合王國竝「グレート、ブリテン」海外領土皇帝印度皇帝陛下

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、英帝國政府首席經濟顧問「サー、ヒュバート、レウェリン、スミス」

「ニュー、ジーランド」

聯合王國駐在「ニュー、ジーランド」高級委員「サー、ジェームス、アリン」

印度

前大使、前總督、樞密顧問官「ハーディンゲ、オヴ、ペンジアースト」

「アルゼンチナ」國皇帝陛下

瑞西國駐劄代理公使「アイー、ミコフ」

「チリ」共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、瑞西聯邦政府、「チェッコ、スロヴアキア」共和國大統領、墺地利共和國大統領及「ハンガリー」國攝政嚴下ニ派遣ノ特命全權公使「フランシスコ、リゲアス、ヴィクニア」

丁抹國皇帝陛下

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會委員、土木省部長「ヒー、エー、ホルケ、コルディング」

「ダンチッヒ」共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會副議長、教授「ボーダン、ウィニアルスキー」

西班牙國皇帝陛下

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會委員、道路運河及港灣監察長官「ギレルモ、ブロックマン、イ、アバルゾザ」

「エストニア」共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會委員「エリセウ、ダフォンセカ、モンタルロヨス」

「グレート、ブリテン及アイルランド」聯合王國竝「グレート、ブリテン」海外領土皇帝印度皇帝陛下

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、英帝國政府首席經濟顧問「サー、ヒュバート、レウェリン、スミス」

「ニュー、ジーランド」

聯合王國駐在「ニュー、ジーランド」高級委員「サー、ジェームス、アリン」

印度

前大使、前總督、樞密顧問官「ハーディンゲ、オヴ、ペンジアースト」

「アルゼンチナ」國皇帝陛下

瑞西國駐劄代理公使「アイー、ミコフ」

「チリ」共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、瑞西聯邦政府、「チェッコ、スロヴアキア」共和國大統領、墺地利共和國大統領及「ハンガリー」國攝政嚴下ニ派遣ノ特命全權公使「フランシスコ、リゲアス、ヴィクニア」

丁抹國皇帝陛下

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會委員、土木省部長「ヒー、エー、ホルケ、コルディング」

「ダンチッヒ」共和國大統領

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會副議長、教授「ボーダン、ウィニアルスキー」

西班牙國皇帝陛下

交通及通過ニ關スル第二回總會ニ於ケル委員、交通及通過ニ關スル諮問及專門委員會委員、道路運河及港灣監察長官「ギレルモ、ブロックマン、イ、アバルゾザ」

「エストニア」共和國大統領

萬國郵便聯合ノ組織ニ關スル條約ニ署名シタル國ノ全權委員ハ各自ノ政府ノ名ニ於テ左ノ規定ヲ協定セリ

第一條　萬國郵便聯合ハ郵便物ノ交換ニ關シ締約國ノ郵便業務ヲ組織シ且此ノ目的ニ關スル國際協定ヲ締結スルヲ以テ其ノ目的トス

第二條　萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ハ左ノ三種トス

一　書狀

二　郵便葉書（通常ノモノ及返信ノ附シタルモノヲ含ム）

三　書狀ノ重量ヲ超エサル印刷物、營業書類及商品見本

第三條　萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ハ各締約國ノ領土又ハ其ノ植民地、保護國、委任統治地域及ヒ其ノ軍隊又ハ軍艦ニ對シ又ハ之ヨリ發送スルコトヲ得

萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ハ各締約國ノ領土又ハ其ノ植民地、保護國、委任統治地域及ヒ其ノ軍隊又ハ軍艦ニ對シ又ハ之ヨリ發送スルコトヲ得

第四條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ヲ確保スルコトヲ約ス

第五條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第六條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第七條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第八條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第九條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第十條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第十一條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第十二條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第十三條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第十四條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第十五條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第十六條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第十七條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第十八條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第十九條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第二十條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第二十一條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第二十二條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第二十三條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第二十四條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第二十五條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第二十六條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第二十七條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第二十八條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第二十九條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第三十條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第三十一條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第三十二條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第三十三條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第三十四條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第三十五條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第三十六條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第三十七條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第三十八條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第三十九條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第四十條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第四十一條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第四十二條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第四十三條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第四十四條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第四十五條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第四十六條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第四十七條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第四十八條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第四十九條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第五十條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第五十一條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第五十二條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第五十三條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第五十四條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第五十五條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第五十六條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第五十七條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第五十八條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第五十九條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第六十條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第六十一條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第六十二條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第六十三條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第六十四條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第六十五條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第六十六條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第六十七條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第六十八條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第六十九條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第七十條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第七十一條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第七十二條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第七十三條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第七十四條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第七十五條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第七十六條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第七十七條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第七十八條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第七十九條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第八十條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第八十一條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第八十二條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第八十三條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第八十四條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第八十五條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第八十六條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第八十七條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第八十八條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第八十九條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第九十條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第九十一條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第九十二條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第九十三條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第九十四條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第九十五條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第九十六條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第九十七條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第九十八條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第九十九條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百一條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百二條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百三條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百四條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百五條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百六條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百七條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百八條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百九條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百十條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百十一條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百十二條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百十三條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百十四條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百十五條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百十六條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百十七條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百十八條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百十九條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百二十條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百二十一條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百二十二條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百二十三條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百二十四條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百二十五條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百二十六條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百二十七條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百二十八條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百二十九條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百三十條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百三十一條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百三十二條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百三十三條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百三十四條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百三十五條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百三十六條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百三十七條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百三十八條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百三十九條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百四十條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百四十一條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百四十二條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百四十三條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百四十四條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百四十五條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百四十六條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百四十七條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百四十八條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百四十九條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百五十條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百五十一條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百五十二條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百五十三條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百五十四條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百五十五條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百五十六條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百五十七條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百五十八條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百五十九條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百六十條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百六十一條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百六十二條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百六十三條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百六十四條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百六十五條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百六十六條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百六十七條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百六十八條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百六十九條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百七十條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百七十一條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百七十二條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百七十三條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百七十四條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百七十五條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百七十六條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百七十七條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百七十八條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

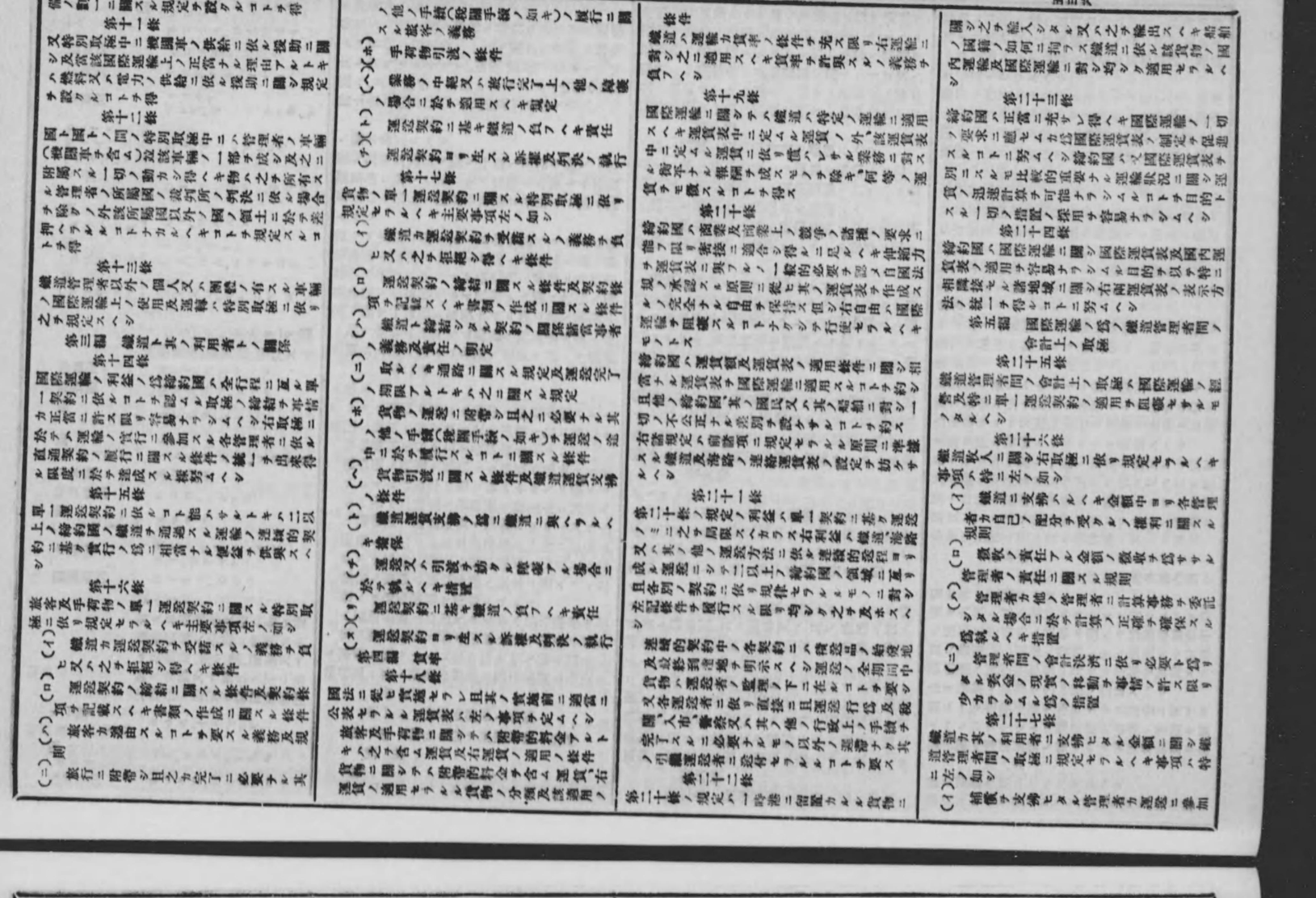
第百七十九條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百八十條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百八十一條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百八十二條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ領土ニ於ケル通過ニ關シ最モ有利ナル條件ヲ與フルコトヲ約ス

第百八十三條　各締約國ハ萬國郵便聯合ニ屬スル郵便物ニ對シ其ノ



●海港ノ國際制度及規程

| | | |

程ノ第四條ノ規定ニ從ヒ領事官ヲ有スルニ至ルマデ領事官ノ許與ヲ拒ムコトヲ得ス

第十一條　日本國ハ千九百四十五年九月二日ノ降伏文書ノ條項ヲ誠實ニ履行シ且聯合國最高司令官ノ指令ニ基ク措置ヲ實施スルニ必要ナ一切ノ命令ヲ發スルコトヲ約ス日本國ハ聯合國最高司令官ニ對シ聯合國軍隊ノ日本國ニ於ケル占領ニ關連シ又ハ其ノ必要ニ附帶シテ生スル一切ノ事項ニ關シ聯合國最高司令官ノ要求スル情報ヲ提供スルコトヲ約ス日本國ハ聯合國最高司令官ノ要求ニ應シ聯合國最高司令官ノ指令ヲ實施スルニ必要ナ

際司法裁判所ニ付託スルコトニ決シタルカ又ハ決スヘキ場合ヲ除キ之ヲ仲裁裁判ニ付託スヘシ

第二十二條

事件ヲ常設國際司法裁判所ニ付託シタル場合ニ於テハ該事件ハ同裁判所規程第二十七條ニ規定スル條件ニ依リ之ヲ裁判スヘシ

仲裁裁判ニ付シタル場合ニ於テ當事國カ別段ノ決定ヲ爲ササル限リ各當事國ハ一名ノ仲裁裁判官ヲ任命シ右仲裁裁判官ハ仲裁裁判所ノ第三ノ裁判官ヲ選定スヘク又右仲裁裁判官ノ意見一致セサルトキハ常設國際司法裁判所規程第二十七條ニ揭クル交通及通過事件補佐員ノ名簿中ヨリ國際聯盟理事會之ヲ選定スヘシ此ノ後ノ場合ニ於テハ第三仲裁裁判官ハ聯盟規約第四條ノ最終ヨリ第二番目ノ項及第五條第一項ノ規定ニ從ヒ之ヲ選定スヘシ

仲裁裁判所ハ當事國相互間ニ一致セル付託條件ヲ基礎トシテ事件ヲ裁判スヘシ當事國間ニ一致ヲ見ルニ至ラサルトキハ仲裁裁判所ハ當事國ノ提出ニ係ル要求ヲ考査ノ上其ノ全員ノ一致ヲ以テ自ラ付託條件ヲ作成スヘシ全員ノ一致ヲ得ルコト能ハサルトキハ國際聯盟理事會ハ前項ニ規定スル條件ニ依リ付託條件ヲ決定スヘシ手續カ付託條件中ニ定メラレサルトキハ仲裁裁判所之ヲ定ムヘシ

仲裁裁判ノ進行中付託條件中ニ反對ノ規定ナキ限リ國際法上ノ問題又ハ本規程ノ法律的意義ニ關スル問題ニシテ仲裁裁判所カ當事國中ノ一國ノ請求ニ依リ其ノ解決ヲ以テ紛爭解決上必要ナル前提ナリト宣シタルモノハ當事國ニ於テ之ヲ常設國際司法裁判所ニ付託スルノ義務ヲ有ス

第二十三條

本規程ハ同一主權國ノ部分ヲ構成シ又ハ其ノ保護ノ下ニ置カルル地域相互間ノ權利及義務ニ付テハ此等ノ地域カ各別ニ締約國タルト否トヲ問ハス何等之ヲ規律シタルモノト解釋スヘカラサルモノトス

第二十四條

前諸條ハ何レモ國際聯盟ノ聯盟國トシテノ締約國ノ權利又ハ義務ニ何等影響ヲ及ホスモノト解スヘカラス

附屬書

鐵道ノ國際制度ニ關スル規程ノ條項ノ本文及署名議定書中ニ記載セラルル右條項ニ關スル規定ノ本文左ノ如シ

第四條

運輸ニ關スル諸種ノ需要ニ應スルニ足ルヘキ鐵道經營上ノ伸縮力ヲ許容スルノ必要ヲ認メ締約國ハ經營ノ完全ナル自由カ國際運輸ヲ阻礙スルコトナクシテ行使セラルルコトヲ確保スルト共ニ該自由ヲ毀損スルコトナク維持セムトスルノ意思ヲ有ス

締約國ハ國際運輸ニ對シ相當ナル便益ヲ與ヘ且他ノ締約國、其ノ國民又ハ其ノ船舶ニ對スル一切ノ不公正ナル差別ヲ設ケサルコトヲ約ス

本條ノ規定ノ利益ハ單一契約ニ依リ規律セラルル運輸ノミニ局限セラルルモノニ非スシテ本規程第二十一條及第二十二條ニ揭クル條件ニ從ヒ該二條ニ規定セル運輸ニモ亦及フヘキモノトス

第二十條

締約國ハ商業及商業上ノ競爭ノ諸種ノ要求ニ能フ限リ密接ニ適合シ得ル足ルヘキ伸縮力ヲ運賃表ニ與フルノ一般的必要ヲ認メ自國法規ノ承認スル原則ニ從ヒ其ノ運賃表ヲ作成スルノ完全ナル自由ヲ保持ス但シ右自由ハ國際運輸ヲ阻礙スルコトナクシテ行使セラルヘキモノトス

本條ノ規定ノ利益ハ單一契約ニ依リ規律セラルル運輸ノミニ局限セラルルモノニ非スシテ本規程第二十一條及第二十二條ニ揭クル條件ニ從ヒ該二條ニ規定セル運輸ニモ亦及フヘキモノトス

第二十一條

第二十條ノ規定ノ利益ハ單一契約ニ基ク運送且各別ノ契約ニ依リ規律セラルルモノニ對シ左記條件ヲ履行スル限リ均シク之ヲ及ホスヘシ

連續的契約中ノ各契約ニハ積送品ノ始發地及最終到途地ヲ明示スヘシ運送ノ全期間中貨物ハ運送者ノ監理ノ下ニ在ルコトヲ要シ又各運送者ニ依リ直接ニ且運送行爲及稅關ノ入市、檢查又ハ其ノ他ノ行政上ノ手續ヲ完了スルニ必要ナルモノ以外ノ遲滯ナク其ノ引繼運送者ニ送付セラルルコトヲ要ス

第二十二條

第二十條ノ規定ハ一時港ニ留置カルル貨物ニ關シ之ヲ輸入シタル又ハ之ヲ輸出スヘキ船舶ノ國籍ノ如何ニ拘ラス鐵道ニ依ル該貨物ノ國內運輸及國際運輸ニ對シ均シク適用セラルヘシ

署名議定書　船旗ノ考量ノミニ基ク船舶ノ差別待遇ハ鐵道ノ國際制度ニ關スル規程ノ第四條及第二十條ノ意味ニ於ケル不公正ナル差別ト認メラルヘキモノトス

海港ノ國際制度ニ關スル條約ノ署名議定書

海港ノ國際制度ニ關スル本日附ノ條約ニ署名スルニ當リ正當ナル委任ヲ受ケタル下名ハ左ノ如ク協定セリ

一　本規程ノ條項ハ避難港トシテ特ニ構築セラレタルモノニ適用セラルヘキモノトス

二　千九百十三年ノ「水先案內法」第二十四條ノ規定ニ關スル英國政府ノ留保ハ受諾セラレタルモノトス

三　船舶仲立業者ニ關シ佛蘭西國ノ法令ニ規定セラルル義務ハ海港ノ國際制度ニ關スル規程ノ原則及精神ニ反スルモノト認ムヘカラサルモノトス

四　海港ノ國際制度ニ關スル規程ノ第二條ニ規定セラルル相互條件ハ右規程ノ利益ノ享有ニ付締約國ニシテ全然海港ヲ有セス且他國ノ海港ノ地帶ニ於テ右規程第十五條ニ揭クル權利ヲ享有セサルモノヲ除外セサルヘキモノトス

五　締約國ノ船旗又ハ國籍カ本條約ノ適用ヲ受ケサル國又ハ領域ノ船旗又ハ國籍ト同一ナル場合ニ於テ本規程ニ依リ締約國ノ船旗又ハ國民ニ對シ確保セラレタル利益ヲ該國又ハ該領域ノ爲ニ要求スルコトヲ得ス

附屬書

本議定書ハ本日附ノ規程ト同一ノ效力及有效期間ヲ有スヘク且其ノ一部ト認メラルヘシ

右證據トシテ前記各委員ハ本議定書ニ署名ス

千九百二十三年十二月九日「ジュネーヴ」ニ於テ本書一通ヲ作成シ之ヲ國際聯盟事務局ノ記錄ニ寄託保存ス認證謄本ハ會議ニ代表者ヲ出シタル一切ノ國ニ送付セラルヘシ

（此ノ處ニ一條約ノ末尾ニ揭ケタルモノト同一ノ署名入ル）

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

聖旨ニ於テ帝國全權委員カ關係各國全權委員ト共ニ署名シタル海港ノ國際制度ニ關スル條約及規程竝署名議定書ヲ閱覽點檢シ該規程第十二條ニ揭ケラルル移民ニ關スル權利ヲ留保シテ之ヲ嘉納批准ス

神武天皇卽位紀元二千五百八十六年大正十五年八月四日東京宮城ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名　國璽

攝政名

外務大臣　男爵　幣原喜重郎

大正十五年十月二十八日外務省告示第七十號

海港ノ國際制度ニ關スル條約及規程竝署名議定書ノ批准書寄託國名及加入國名竝國際聯盟事務總長カ批准書及加入ノ通告ヲ受領シタル年月日左ノ通

英帝國　千九百二十四年八月二十九日批准書受領

印度　千九百二十五年四月二十八日加入通告受領

南「ローデシア」「ニューファウンドランド」　同　同

「ニュージーランド」　同　同

「オーストラリア」　千九百二十五年六月二十日

「パハマ」　千九百二十五年九月二十二日加入通告受領

「バルバドス」　同

「バームダ」　同

英領「ギアナ」　同

英領「ホンデュラス」　同

「モーリシアス」　同

「ニユエリア」　同

「パレスタイン」　同

「セント、ヘレナ」　同

「セント、ルシア」　同

「セント、ヴィンセント」　同

「セイシエル、レオンス」　同

「ソマリランド」　同

海峽殖民地「タンガニイカ」地域　同

「トンガ」　同

「トリニダツド」及「トバゴ」　同

「ザンジバル」　同

千九百二十四年十二月一日加入通告受領

千九百二十五年一月九日批准書受領

千九百二十五年七月三十一日加入（アドレフェレンダム）通告受領

千九百二十六年四月二十七日批准書受領

佛屬西國　丁抹國

●勞働者職業病補償ニ關スル條約

（昭和三年十一月八日條約第五號）

鉄禍密顯問ノ諮詢ヲ經テ大正十四年瑞西國「ジュネーヴ」ニ於テ開催ノ第七回國際勞働總會ノ採擇ニ係ル勞働者職業病補償ニ關スル條約ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム（御璽、御名、外務大臣、內務大臣副署）

勞働者職業病補償ニ關スル條約

國際聯盟ノ國際勞働機關ノ總會ハ

國際勞働事務局ノ理事會ニ依リ「ジュネーヴ」ニ招集セラレテ千九百二十五年五月十九日ヲ以テ其ノ第七回會議ヲ開催シ

右會議ノ會議事項ノ第一項目ノ一部タル勞働者職業病補償ニ關スル提案ノ採擇ヲ決議シ且

該提案ハ國際條約案ノ形式ニ依ルヘキモノナルコトヲ決定シ

國際勞働機關ノ締盟國ニ依リ批准セラルルガ爲「ヴェルサイユ」條約ノ第十三編及他ノ平和諸條約ノ對當編ノ規定ニ從ヒ千九百二十五年六月十日左ノ條約案ヲ採擇ス

第一條

本條約ヲ批准スル國際勞働機關ノ各締盟國ハ職業病ニ因リ勞働不能ト爲リタル勞働者ニ、又ハ右疾病ノ爲死亡シタルトキハ其ノ被扶養者ニ、產業災害補償ニ關スル當該國ノ法制ノ一般原則ニ從ヒ補償ヲ支拂フヘキヲ定ムルコトヲ約ス

右ノ補償ノ率ハ產業災害ニ因リ生ズル傷害ニ關スル當該國ノ法制ノ定ムル率ヲ下ルコトヲ得ズ、右ノ規定ヲ條件トシテ各締盟國ハ前記ノ疾病ニ對スル補償ノ支拂ハルヘキ條件ヲ當該國ノ法令又ハ規則中ニ定ムルニ付又產業災害補償ニ關スル其ノ法制ヲ前記疾病ニ適用スルニ付其ノ便宜ト思惟スル變更及修正ヲ加フルコトヲ得

第二條

本條約ヲ批准スル國際勞働機關ノ各締盟國ハ本條附表ニ揭ゲル料品ニ因リ生ズル疾病及中毒カ右附表ニ於テ對當シテ揭ゲラルル工業又ハ職業ニ從事スル勞働者ヲ罹シ且當該國ノ法制ノ適用ヲ受ケタル企業ニ於ケル就業ノ結果生ズルトキハ右疾病及中毒ヲ職業病ト認ムルコトヲ約ス

附表

疾病及有毒料品ノ種目	工業又ハ職業ノ種目
鉛、其ノ合金又ハ化合物ノ中毒及其ノ續發症	鉛ノ含有量ノ比較的多キ鑛石ノ取扱（亞鉛工場ニ於ケル鉛灰ヲ含ム） 古亞鉛及鉛ノ「インゴット」鑄造 鑄鉛又ハ鉛合金ヨリ成ル物品ノ製造 複寫業ニ於ケル作業 鉛化合物ノ製造及修理 蓄電池ノ製造及修理 鉛ヲ含ム「エナメル」ノ製造及使用 鉛鑛又ハ鉛ヲ含ム「パテ」粉ヲ以テスル琢磨 鉛類料ヲ含ム塗料、膠著料品又ハ著色料品ノ製造及取扱ヲ含ム一切ノ塗布作業 水銀鑛石ノ取扱 水銀化合物ノ製造 計量器具及實驗用器具ノ製造 製綿業用ノ粗製材料ノ製造 「アマルガム」鍍金 灼熱燈ノ製造ニ於ケル水銀噴筒ノ使用 雷汞雷管ノ製造
水銀、其ノ「アマルガム」及化合物ノ中毒竝其ノ續發症	
炭疽病感染	含鉛鑛石ノ取扱（亞鉛工場ニ於ケル鉛灰ヲ含ム） 之ニ對當スル工業又ハ職業ノ種目 炭疽病ニ感染セル動物ニ關聯スル作業

英領「ソロモン」諸島保護領　同

「アルネー」　同

「セイロン」　同

「サイプラス」　同

「フォークランド」諸島　同

馬來聯邦諸州　同

「ペラク」

「セランゴル」

「ネグリ、セムビラン」

「パハン」

「フィージー」　同

「ガンビア」　同

「ジアラルタル」　同

「ギルバート」及「エリス」諸島　同

「ゴールド、コースト」　同

「グレナダ」　同

香港　同

「ジアマイカ」

「タークス」「カイコス」諸島及「カイマン」諸島ヲ除ク）　同

「ケンヤ」　同

「リーワード」諸島　同

「アンティグア」　同

「ドミニカ」

「モントセラット」

「セント、クリストファ、ネヴィス」

「ヴァージン」諸島　同

馬來非聯邦諸州　同

「ジョホール」

「ケダー」

「パーリス」

「クランタン」

「トレンガヌ」

第三條

「ヴェルサイユ」條約ノ第十三編及他ノ平和條約ノ對當編ニ定ムル條件ニ依ル本條約ノ正式批准ハ登錄ノ爲國際聯盟事務總長ニ之ヲ通告スベシ

第四條

本條約ハ事務總長ガ國際勞働機關ノ締盟國中ノ二國ノ批准ヲ登錄シタル日ヨリ效力ヲ發生スベシ

本條約ハ該事務局ニ其ノ批准ヲ登錄シタル締盟國ノミヲ拘束スベシ

爾後本條約ハ他ノ何レノ締盟國ニ付テモ右事務局ニ其ノ批准ヲ登錄シタル日ヨリ效力ヲ發生スベシ

第五條

國際勞働機關ノ締盟國中ノ二國ガ國際聯盟事務局ニ本條約ノ批准ノ登錄ヲ爲シタルトキハ事務總長ハ國際勞働機關ノ一切ノ締盟國ニ右ノ旨ヲ通告スベシ事務總長ハ爾後該機關ノ他ノ締盟國ノ通告シタル批准ノ登錄ヲ一切ノ締盟國ニ同樣ニ通告スベシ

第六條

本條約ヲ批准スル各締盟國ハ千九百二十七年一月一日迄ニ第一條及第二條ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ實施スルニ必要ナルベキ措置ヲ執ルコトニ同意スル尤モ第四條ノ規定ニ從フモノトス

第七條

本條約ヲ批准スル國際勞働機關ノ各締盟國ハ「ヴェルサイユ」條約ノ第四百二十一條ノ規定及他ノ平和諸條約ノ對當條項ノ規定ニ依リ其ノ殖民地、屬地及保護國ニ之ヲ適用スルコトヲ約ス

第八條

本條約ヲ批准シタル締盟國ハ本條約ノ最初ノ效力發生ノ日ヨリ五年ノ期間滿了後ニ於テ國際聯盟事務總長宛登錄ノ爲ニスル通告ニ依リ之ヲ廢棄スルコトヲ得右ノ廢棄ハ該事務局ニ登錄アリタル日以後一年間ハ其ノ效力ヲ生セズ

第九條

國際勞働事務局ノ理事會ハ少クトモ十年ニ一回本條約ノ施行ニ關スル報告ヲ總會ニ提出スベク且其ノ改正又ハ變更ニ關スル問題ヲ總會ノ會議事項ニ揭ゲベキヤ否ヤヲ審議スベシ

第十條

本條約ヲ批准シタル締盟國ハ本條約ノ最初ノ效力發生ノ日ヨリ五年ノ期間滿了後ニ於テ國際聯盟事務總長宛登錄ノ爲ニスル通告ニ依リ之ヲ廢棄スルコトヲ得右ノ廢棄ハ該事務局ニ登錄アリタル日以後一年間ハ其ノ效力ヲ生セズ

第十一條

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ共ニ正文トス

前記ハ國際勞働機關ノ總會ニ依リ「ジュネーヴ」ニ於テ開催セラレ且千九百二十五年六月十日閉會ヲ宣セラレタル其ノ第七回會議中適法ニ採擇セラレタル條約案ノ正文ナリトス

右證據トシテ千九百二十五年六月二十四日署名ス

總會議長

ドクトル、エドヴァルド、ベネシュ

國際勞働事務局長

アルベール、トーマ

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝(御名)此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕大正十四年瑞西國「ジュネーヴ」ニ於テ開催セラレタル國際勞働機關ノ總會ニ依リ「ジュネーヴ」ニ於テ開催

當該國民カ船中ニ移民トシテ輸送セラルル他ノ一國又ハ二國以上ノ政府トノ間ノ協定ニ基キ他ノ一國政府ニ依リ任命セラルルコトヲ得

第四條

監督官ハルニ要スル實地經驗並ニ必要ナル專門的及道德的ノ資格ハ其ノ任命ニ付責任アル政府ニ依リ定メラルヘシ

監督官ハ如何ナル方法ニ於テモ船舶所有者若ハ海運會社ト直接若ハ間接ニ關係ヲ有シ又ハ之ニ從屬スルコトヲ得ズ

本條ハ政府カ例外トシテ且絕對必要ノ場合ニ於テ船舶ヲ監督官ニ任命スルコトヲ妨ケザルヘシ

第五條

監督官ハ移民カ國旗國ノ法令若ハ適用アル其ノ他ノ法令ニ依リ又ハ國際協定若ハ其ノ輸送契約ノ條項ニ依リ有スル權利ノ尊重ヲ確保スヘシ

國旗國政府ハ移民ノ狀態ニ關スル現行ノ法令又ハ規則ノ本文及右政府ニ通告セラレタル右ノ事項ニ關係アル國際協定又ハ契約ノ本文ヲ監督官(其ノ國籍ノ如何ニ拘ラズ)宛通告スヘシ

第六條

船中ニ於ケル船長ノ權限ハ本條約ニ依リ制限セラレザルモノトス監督官ハ如何ナル方法ニ於テモ船中ニ於ケル船長ノ權限ヲ侵害スルコトヲ得ザルヘク船中ニ於ケル移民ノ保護及福利ニ直接關係アル法令、規則、協定又ハ契約ノ實施ヲ確保スルコトニノミ專ラ關與スヘシ

第七條

船舶ノ目的港ニ到着シタル後八日以內ニ監督官ハ國旗國政府ニ報告ヲ爲スヘク右政府ハ關係アル他國政府ヨリ豫メ其ノ要求アリタル場合ニ於テハ右他國政府ニ右報告ノ寫ヲ交付スヘシ

右報告ノ寫ハ監督官ニ依リ當該船長ニ交付セラルヘシ

第八條

「ヴェルサイユ」條約ノ第十三編及他ノ平和諸條約ノ對當編ニ定ムル條件ニ依ル本條約ノ正式批准ハ登錄ノ爲國際聯盟事務總長ニ之ヲ通告スヘシ

第九條

本條約ハ事務總長カ國際勞働機關ノ締盟國中ノ二國ノ批准ヲ登錄シタル日ヨリ效力ヲ發生スヘシ

本條約ハ該事務局ニ其ノ批准ヲ登錄シタル締盟國ノミヲ拘束スヘシ

爾後本條約ハ他ノ何レノ締盟國ニ付テモ右事務局ニ其ノ批准ヲ登錄シタル日ヨリ效力ヲ發生スルモノトス

第十條

國際勞働機關ノ締盟國中ノ二國カ國際聯盟事務局ニ本條約ノ批准ノ登錄ヲ爲シタルトキハ事務總長ハ國際勞働機關ノ一切ノ締盟國ニ右ノ旨ヲ通告スヘシ事務總長ハ爾後該機關ノ他ノ締盟國ノ通告シタル批准ノ登錄ヲ一切ノ締盟國ニ同樣ノ通告スヘシ

第十一條

本條約ヲ批准スル各締盟國ハ千九百二十八年一月一日迄ニ第一條、第二條、第三條、第四條、第五條、第六條及第七條ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ實施スルニ必要ナルヘキ措置ヲ執ルコトヲ約ス尤モ第九條ノ規定ニ從フモノトス

第十二條

本條約ヲ批准スル國際勞働機關ノ各締盟國ハ「ヴェルサイユ」條約ノ第四百二十一條ノ規定及他ノ平和諸條約ノ對當條項ノ規定ニ依リ其ノ殖民地、屬地及保護國ニ之ヲ適用スルコトヲ約ス

第十三條

本條約ヲ批准シタル締盟國ハ本條約ノ最初ノ效力發生ノ日ヨリ十年ノ期間滿了後ニ於テ國際聯盟事務總長宛登錄ノ爲ニスル通告ニ依リ之ヲ廢棄スルコトヲ得右ノ廢棄ハ該事務局ニ登錄アリタル日以後一年間ハ其ノ效力ヲ生セズ

第十四條

國際勞働事務局ノ理事會ハ少クトモ十年ニ一回本條約ノ施行ニ關スル報告ヲ總會ニ提出スベク且其ノ改正又ハ變更ニ關スル問題ヲ總會ノ會議事項ニ掲ゲベキヤ否ヤヲ審議スヘシ

第十五條

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ共ニ正文トス

前記ハ國際勞働機關ノ總會ニ依リ「ジュネーヴ」ニ於テ開催セラレ且千九百二十六年六月五日閉會ヲ宣セラレタル其ノ第八回會議中適法ニ採擇セラレタル條約案ノ正文ナリトス

右證據トシテ千九百二十六年六月十五日署名ス

總會議長

ドクトル、ノーレンス

國際勞働事務局長

アルベール、トーマ

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝(御名)此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示

駐大正十五年「ジュネーヴ」ニ於テ開催ノ第八回國際勞働總會ノ採擇ニ係ル船中ニ於ケル移民監督ノ皐純化ニ關スル條約ヲ閱覽點檢シ之ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百八十八年昭和三年七月二十六日東京宮城ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名　國璽

外務大臣　男爵　田中義一

（昭和三年十一月八日外務省告示第四百三十六號）

大正十五年第八回國際勞働總會ニ於テ採擇セラレタル「船中ニ於ケル移民監督ノ皐純化ニ關スル條約」ニ對スル帝國ノ批准ハ十月八日國際聯盟事務局ニ之ガ登錄ヲ了シタリ

尙同日左ニ右條約ノ批准登錄ヲ爲シタル國名及地域名左ノ通

坦地利國

白耳義國

白耳義領「コンゴー」及白耳義國委任統治地域ニ對スル右條約ノ適用ニ關スル將來ノ決定ヲ留保ス

「グレート、ブリテン」及北部「アイルランド」

右批准ハ前記條約ヲ佛蘭西國、獨逸國、和蘭國、伊太利國、諾威國及西班牙國カ無留保ニテ批准セル旨國際聯盟事務局ニ登錄セラレタルトキ始メテ效力ヲ發生ス

印度

「ルクセンブルグ」國

和蘭國

「チェッコスロヴァキア」國

第二章　各國條約

第一款　亞米利加合衆國

●日米通商航海條約

（明治四十四年四月五日條約第一號）

駐華府顧問ノ諮詢ヲ經テ明治四十四年二月二十一日亞米利加合衆國華盛頓ニ於テ日米兩國全權委員ノ署名調印シタル通商航海條約及議定書竝之カ修正ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム

（總理大臣兼外務大臣臨時事務取扱　勳一等　子爵　林董）

日本國皇帝陛下及亞米利加合衆國大統領ハ幸ニ兩國民間ニ存在スル友好親善ノ關係ヲ鞏固ナラシメムコトヲ欲シ而シテ今茲兩國間ノ通商關係ヲ律スヘキ條規ヲ明確ニ訂立スルハ此ノ善美ナル目的ヲ達スルニ資スヘキヲ信シ之カ爲ニ通商航海條約ヲ締結スルコトニ決定シ因テ日本國皇帝陛下ハ亞米利加合衆國駐劄特命全權大使從三位勳一等男爵內田康哉ヲ亞米利加合衆國ハ合衆國國務卿「フィランダー、シー、ノックス」ヲ各其ノ全權委員ニ任命セリ右各全權委員ハ互ニ其ノ委任狀ヲ示シ之カ良好妥當ナルヲ認メタル後左ノ諸條ヲ協定セリ

第一條

兩締約國ノ一方ノ臣民又ハ人民ハ他ノ一方ノ版圖內ニ到リ、旅行シ又ハ居住シ卸賣又ハ小賣商業ニ從事シ家屋、製造所、倉庫及店舖ヲ所有又ハ賃借シテ之ヲ使用シ自ラ選擇セル代理人ヲ雇使シ住居及商業ノ目的ノ爲土地ヲ賃借シ其ノ他一般ニ商業ニ附帶シ又ハ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲スコトニ付其ノ國ノ法令ニ遵由スルニ於テハ內國臣民又ハ人民ト同一ノ條件ニ依リ之カ自由ヲ享有スヘシ

該臣民又ハ人民ハ何等ノ名義ヲ以テスルモ內國臣民又ハ人民ノ納付シ若ハ納付スルコトアルヘキ所ト異ナルカ或ハ之ヨリ多額ナル課金又ハ租稅ヲ徵收セラルルコトナカルヘシ

第二條

兩締約國ノ一方ノ臣民又ハ人民カ他ノ一方ノ版圖內ニ於テ有スル家宅、倉庫、製造所及店舖竝一切ノ附屬構造物ニシテ住居及商業ノ目的ニ使用セラルルモノハ侵スヘカラス右建物又ハ附屬構造物ニ付テハ法律、命令及規則ヲ以テ內國臣民又ハ人民ニ對シテ定メタル條件及方式ニ依ルノ外臨檢搜索ヲ爲シ又ハ帳簿、書類若ハ計算書ヲ檢查點閱スルコトヲ得ス

第三條

兩締約國ノ一方ノ他ノ一方ノ港、都市其ノ他ノ場所ニ總領事、領事、副領事、辨理領事及領事事務事務官ヲ置クコトヲ得但シ右領事官ノ駐在ヲ認可スルニ便ナラサル場所ニ付テハ此ノ限ニ在ラス尤モ此ノ制限ハ一切ノ他國ニ對シテモ亦均シク之ヲ加フルニ非サレハ一方ノ締約國ニ對シテ之ヲ加フルコトヲ得ス

右總領事、領事、副領事、辨理領事及領事事務官ノ駐在國政府ヨリ認可獲其ノ他相當ノ證認狀ヲ得タルトキハ最惠國ノ同等領事官ニ認許セラレ又ハ今後認許セラルルコトアルヘキ範圍內ニ於テ相互ノ條件ニ依リ職務ヲ執行シ竝特典及免除ヲ享有スルノ權利ヲ有スヘシ認可獲其ノ他ノ證認狀ヲ發給セル政府ハ其ノ裁量ヲ以テ之ヲ取消スコトヲ得但シ其ノ取消ヲ爲スニ付テハ之ヲ正當ト認メタル理由ヲ通知スヘシ

第四條

兩締約國版圖ノ間ニハ相互ニ通商及航海ノ自由アルヘシ締約國ノ一方ノ臣民又ハ人民ハ他ノ一方ノ版圖內ニ於テ外國通商ノ爲ニ開カレ又ハ開カルルコトアルヘキ一切ノ場所、港及河川ニ最惠國ノ臣民又ハ人民ト均シク船舶及貨物ヲ以テ自由ニ到ルコトヲ得但シ常ニ到達國ノ國法ニ從フコトヲ要ス

第五條

兩締約國ノ一方ノ版圖內ノ生產又ハ製造ニ係ル物品ニシテ他ノ一方ノ版圖內ニ輸入セラルルモノニ對スル輸入稅ハ今後兩國間ノ特別取極又ハ各自ノ國內法ニ依リテ之ヲ定ムヘシ

締約國ノ執レノ一方タリトモ他ノ一方ノ版圖內ノ港ニ於テ之ヲ他ノ一方ノ版圖ニ輸出セラルル物品ニ對シ同樣ノ物品カ別國ニ輸出セラルルトキ課スルコトアルヘキ所ト異ナルカ或ハ之ヨリ多額ナル稅金又ハ課金ヲ如何ナル名稱ヲ有スルモノタリトモ之ヲ課スルコトナシ右相互均等ノ待遇ハ該物品カ直接ニ製產原地ヨリ到ルト其ノ他ノ外國地方ヨリ到ルトヲ問ハス之ヲ實行スヘシ

輸出ニ關シテモ右ト同樣ニ全ク均等ノ待遇ヲ爲スヘク從テ兩締約國ノ一方ノ版圖內ニ於テ該版圖內ヨリ適法ニ輸出セラレ又ハ輸出セラレタルコトアルヘキ範圍內ニ於テハ右ト同樣ニ全ク均等ニ特惠スルノ意思ナルニ因リ締約國ノ執レノ一方タリトモ他ノ一方ノ船舶ニ對シ同樣ノ場合ニ均シク許與セサル何等ノ特權ヲ自國船舶ニ許與スルコトナカルヘシ

第九條

締約國版圖內ノ港ニ於ケル船舶ノ繫留及貨物ノ積卸ニ關スル一切ノ事項ニ付テハ締約國ニ於テ兩國ノ船舶ヲ全ク均等ニ待遇スルノ意思ナルニ因リ締約國ノ執レノ一方タリトモ他ノ一方ノ船舶ニ對シ同樣ノ場合ニ均シク許與セサル何等ノ特權ヲ自國船舶ニ許與スルコトナカルヘシ

第十條

日本國又ハ合衆國ノ國旗ヲ揭ケ且各本國法ニ規定スル國籍證明書類ヲ有スル商船ハ合衆國又ハ日本國ニ於テ之ヲ日本船舶又ハ合衆國船舶ト認ムヘシ

第十一條

政府、官公吏、私人、團體又ハ各種營造物ノ名義ヲ以テ又ハ其ノ利益ノ爲ニ課セラルル噸稅、港稅、水先案內料、燈臺稅、檢疫費其ノ他名稱ノ如何ニ拘ラス之ニ類似又ハ該當スル稅金ハ同樣ノ場合ニ均シク內國船舶ニ又ハ最惠國船舶ニ課スルモノニ非サレハ締約國ノ一方ノ版圖內ノ港ニ於テ之ヲ他ノ一方ノ船舶ニ課スルコトナシ右均等ノ待遇ハ兩國ノ船舶カ何レノ地ヨリ來リ又何レノ地ニ往クヲ問ハス相互ニ之ヲ實行スヘシ

第十二條

兩締約國ノ一方ノ定期郵便運送ノ任務ニ當ル船舶ハ國有タルト國家ヨリ之カ爲補助ヲ受クルモノタルトノ別ナク他ノ一方ノ版圖内ノ港ニ於テ同樣ノ最惠國船舶ニ許與セラルル便益、特權及免除ヲ享有スヘシ

第十三條

兩締約國ノ沿岸貿易ハ本條約ノ規定スル限ニ在ラス日本國及合衆國各自ノ國法ノ定ムル所ニ依ル但シ締約國ノ一方ノ版圖内ニ於テ最惠國待遇ヲ享受スヘキモノトス

兩締約國ノ一方ノ船舶ニシテ他ノ一方ノ版圖内ノ二箇以上ノ輸入港ヘ仕向ケラレタル貨物ヲ外國ニ於テ積載シタルモノハ右諸港ノ一ニ於テ其ノ貨物ノ一部ヲ陸揚シ更ニ他ノ一港又ハ數港ニ積航シテ其ノ貨物ノ殘部ヲ陸揚スルコトヲ得但シ常ニ到達國ノ國法、稅法及我關規則ニ從フコトヲ要ス又同樣ノ方法及同一ノ制限ニ依リ締約國ノ一方ノ船舶ハ他ノ一方ノ港ヨリ其ノ國外ニ向ヒ發航ノ途次該國ノ數港ニ於テ貨物ヲ船積スルコトヲ得

第十四條

本條約ニ於テ別段ノ明文アル場合ヲ除クノ外兩締約國ハ通商及航海ニ關スル一切ノ事項ニ付其ノ一方カ別國ノ臣民又ハ人民ニ現ニ許與シ又ハ今後許與スルコトアルヘキ一切ノ特權、恩典又ハ免除ニシテ若シ右別國ヘ無償ニテ許與シタルモノナルトキハ無償ニテ又若シ條件ヲ附シテ許與シタルモノナルトキハ同一又ハ均等ノ條件ヲ以テ之ヲ他ノ一方ノ臣民又ハ人民ニ及ホスコトニ同意ス

第十五條

兩締約國ノ一方ノ臣民又ハ人民ハ他ノ一方ノ版圖内ニ於テ法定ノ手續ヲ履行スルトキハ特許、商標及意匠ニ關シ内國臣民又ハ人民ト同一ノ保護ヲ享受スヘシ

第十六條

本條約ハ其ノ實施ノ日ヨリ千八百九十四年十一月二十二日ノ通商航海條約ニ代ハルモノトス而シテ同日ヨリ千八百九十四年十一月二十二日ノ通商航海條約ハ其ノ效力ヲ失フヘシ

第十七條

本條約ハ千九百十一年七月十七日ヨリ實施シ十二年間又ハ兩締約國ノ一方カ他ノ一方ニ對シ本條約ヲ消滅セシムルノ意思ヲ通告セル日ヨリ六月ノ期間ノ滿了ニ至ル迄效力ヲ有ス右十二年ノ期間滿了ノ六月前ニ兩締約國ノ執レモ本條約ヲ消滅セシムルノ意思ヲ他ノ一方カ右通告ヲ與ヘタル日ヨリ六月ノ期間ノ滿了ニ至ル迄引續キ效力ヲ有ス

第十八條

本條約ハ批准ヲ要ス其ノ批准書ハ本日ヨリ三月以内ニ成ルヘク速ニ東京ニ於テ交換スヘシ

右證據トシテ各全權委員本條約二通ニ署名調印ス

明治四十四年二月二十一日即西曆千九百十一年二月二十一日華盛頓ニ於テ

内田康哉　印

フィランダー、シー、ノックス　印

議定書

日本帝國政府及亞米利加合衆國政府ハ千九百十一年七月十七日ヨリ千八百九十四年十一月二十二日ノ條約ニ代ハラシメムカ爲本日調印シタル日米通商航海條約ノ第五條ニ關シ各其ノ全權委員ニ由リ左ノ約定ニ同意セリ

關稅ニ關スル特別取極ノ締結セラルルニ至ル迄ハ千千八百九十四年十一月二十二日ノ條約中ニ存スル關稅ニ關スル規定ヲ維持スヘシ

右證據トシテ各全權委員ハ本議定書二通ニ署名調印ス

明治四十四年二月二十一日即西曆千九百十一年二月二十一日華盛頓ニ於テ

内田康哉　印

フィランダー、シー、ノックス　印

批准前亞米利加合衆國政府ヨリ提議シ日本帝國政府ノ同意シタル右條約及議定書ニ對スル修正

一、通商航海條約第五條第一項中「特別取極」ノ文字ヲ削除シ之ニ代フルニ「條約」ノ文字ヲ以テス因テ當該文句ハ左ノ如クナルヘシ

「今後兩國間ノ條約又ハ各自ノ國内法ニ依リテ之ヲ定ムヘシ」

二、議定書第二項第一行中「特別取極」ノ文字ヲ削除シ之ニ代フルニ「條約」ノ文字ヲ以テス因テ當該文句ハ左ノ如クナルヘシ

「關稅ニ關スル條約ノ締結セラルルニ至ル迄ハ」

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐ミタル日本國皇帝（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕明治四十四年二月二十一日華盛頓ニ於テ帝國全權委員カ亞米利加合衆國全權委員ト共ニ署名調印シタル日米通商航海條約及議定書竝亞米利加合衆國政府ノ提議ニ係リ帝國政府ノ同意シタル右條約及議定書ニ對スル修正ヲ閱覽點檢シ之ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百七十一年明治四十四年三月三十一日東京宮城ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名　國璽

外務大臣　伯爵小村壽太郎

明治四十四年四月五日官報

本年二月二十一日日米通商航海條約調印ニ當リ帝國政府ハ米國駐劄特命全權大使内田康哉ヲシテ米國政府ニ對シ左ノ宣言ヲ爲サシメタリ

宣言

本日日米通商航海條約ニ調印セムトスルニ當リ華盛頓駐劄日本國特命全權大使タル下名ハ本國政府ノ委任ヲ受ケ左ノ通宣言スルノ光榮ヲ有ス

日本帝國政府ハ勞働者ノ合衆國移住ニ關シ過去三年間實行シ來リタル制限及取締ヲ從來ト均シク有效ニ維持スルノ覺悟ナリ

千九百十一年二月二十一日

内田康哉

明治四十四年四月五日官報

本年二月二十一日調印ノ日米通商航海條約中及議定書中ノ修正竝ニ該條約ノ解釋ニ關シ米國駐劄帝國大使ト米國國務卿トノ間ニ左ノ通公文ノ往復アリタリ

千九百十一年二月二十五日附國務卿來翰

以書翰啓上致候陳者本官ハ閣下ト共ニ本官カ本月二十一日調印シタル米日間ノ通商航海條約竝關稅暫定取極ニ關スル議定書ニ對シ元老院カ各一點ノ修正ヲ加ヘタル上其ノ批准ニ協贊ヲ與ヘタルコトヲ閣下ニ通知スルノ光榮ヲ有シ候右修正ハ(一)該條約第五條第一項中「特別取極」ノ文字ヲ削除シ「條約」ノ文字ヲ以之ニ代フルコトニシテ從テ當該文句ハ「今後兩國間ノ條約又ハ各自ノ國内法ニ依リテ之ヲ定ムヘシ」ト相成ルヘク(二)該議定書第二項第一行中「特別取極」ノ文字ヲ削除シ「條約」ノ文字ヲ以テ之ニ代フルコトニシテ從テ當該文句ハ「關稅ニ關スル條約ノ締結セラルルニ至ル迄ハ」云々ト相成ルヘク候上記ノ修正ニ對シ貴國政府ニ於テ御同意アラムコトヲ希望致候

元老院ノ決議ニ依レハ右條約ノ批准ニ對スル元老院ノ協贊ハ該條約カ千九百七年二月二十日裁可ノ外國人合衆國來住法ト題スル法律ノ何レノ條項ヲモ廢棄シ又ハ之ニ影響スルモノト認メラレサルヘシトノ見解ヲ批准書中ニ記入スヘキコトヲシテ與ヘラレタルモノニ有之候該法律ハ各國ヨリ合衆國ヘ來ル外國人ノ移住ニ適用セラルルモノニシテ何レノ國ノ國ヨリモ差別ヲ設クルコトナキニ因リ貴國政府ニ於テ右見解カ批准書中ニ記載セラルルコトニ對シ異議ナカルヘキコトト推察致候

本官ハ玆ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候敬具

千九百十一年二月二十五日附國務卿來翰ニ對スル同月二十七日附内田大使復翰

以書翰啓上致候陳者本使ハ本月二十五日附貴翰ヲ受領スルヤ直ニ本國政府ニ對シ元老院ハ本月二十一日調印シタル日米間ノ通商航海條約竝關稅暫定取極ニ關スル議定書ニ對シ同條約第五條中「特別取極」ノ文字及同議定書中「特別取極」ノ文字ヲ「條約」ノ文字ニ改ムルノ修正ヲ加ヘタル上其ノ批准ニ協贊ヲ與ヘタル旨報告致置候本使ハ又元老院ノ決議ニ依レハ右條約ノ批准ニ對スル元老院ノ協贊ハ該條約カ千九百七年二月二十日裁可ノ外國人合衆國來住法ト題スル法律ノ何レノ條項ヲモ廢棄シ又ハ之ニ影響スルモノト認メラレサルヘシトノ見解ヲ批准書中ニ記入スヘキコトヲシテ與ヘラレタル旨モ本國政府ニ報告致置候

本使ハ今ヤ本國政府ノ回訓ニ接シ玆ニ帝國政府ニ於テ前記修正ニ對シ竝前記ノ見解カ大統領ノ批准書中ニ記入セラルルコトニ對シ異議ナキ旨閣下ニ通知スルノ光榮ヲ有シ候

本使ハ玆ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候敬具

●日米兩國犯罪人引渡條約

明治十九年十月八日勅令

該帝國ト亞米利加合衆國トノ間ニ締結シタル兩國犯罪人引渡條約ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、外務、逓信大臣副署）

日本國亞米利加合衆國犯罪人引渡條約

譯文

日本皇帝陛下及ヒ亞米利加合衆國大統領ハ兩國内並ニ其管轄内ニ於テ司法事務ヲ益周到ナラシメ及ヒ犯罪ヲ防止センカ爲メ下ニ揭クル犯罪ニ付有罪ノ宣告若クハ告訴告發ヲ受ケ未タ處分ヲ經スシテ逃亡スル者ハ其情狀ニ據リ互ニ之ヲ引渡スノ便宜ナルヲ認メ之レカ爲メ條約ヲ締結スルコトニ決シ日本皇帝陛下ハ外務大臣伯爵井上馨ヲ亞米利加合衆國大統領ハ日本駐劄特命全權公使リチャード、ピー、ハッパードヲ各其全權委員ニ命セリ因テ雙方全權委員ハ互ニ其委任狀ヲ示シ誠實適式ナルヲ認メ左ノ條々ヲ議定ス

第一條　締約國一方ノ管轄内ニ於テ第二條ニ揭クル犯罪ニ付有罪ノ宣告若クハ告訴告發ヲ受ケタル者他ノ一方ノ管轄内ニ於テ發見セラレタルトキハ締約兩國政府ハ本條約ニ開列スル情狀及ヒ制限ニ遵ヒ互ニ之ヲ引渡スヘシ

第二條

一　謀殺、謀殺未遂犯、其他殺人罪

二　貨幣ノ僞造若クハ變造、僞造若クハ變造貨幣ノ發行或ハ行使、公債證書、其利札、銀行紙幣、其他公衆ノ信用ヲ受クヘキ證書類ノ僞造並ニ其發行若クハ行使

三　文書ノ僞造若クハ變造並ニ其行使

四　監守盜即チ官吏又ハ監守人締約國一方ノ管轄内ニ於テ公金ヲ私用スル罪並ニ儲主ノ損害トナルヘキ被傭人ノ監守盜

五　强盜若クハ五拾弗以上ノ竊盜

六　重刑ニ當ル罪ヲ犯ス目的ヲ以テ官衙、國立銀行、私立銀行、貯蓄銀行、財產管理會社及保險會社並ニ其他會社ノ家屋ヲ破壞シ若クハ破壞セシテ之ニ侵入スル罪

七　重刑ニ當ル罪ヲ犯ス目的ヲ以テ官衙、國立銀行、私立銀行、貯蓄銀行、財產管理會社及保險會社並ニ其他會社ノ家屋ヲ破壞シ若クハ破壞セシテ之ニ侵入スル罪

八　僞證及僞證敎唆

九　强姦

十　放火

十一　國際法ニ於テ海賊ト認ムル罪

十二　引渡ヲ請求スル國ノ諫章ヲ揭ケタル船舶大洋航行中其船内ニ於テ犯シタル謀殺、謀殺未遂犯、及ヒ其他殺人罪

十三　惡意ヲ以テ鐵道、馬車鐵路、船舶、橋梁、家屋及ヒ公用建物並ニ其他ノ建物ヲ破壞シ若クハ破壞セント謀リ其所爲人命ニ危害ヲ生スヘキモノ

十四　銀行管掌者、受托人、銀行若クハ財產管理會社ノ頭取役員ノ詐僞ニシテ現行法律ニ據リ罪トナルヘキモノ

第三條　請求ニ係ル人引渡ノ請求ヲ受ケタル國ニ於テ審判中ナルトキハ之ヲ引渡スト雖モ之ヲ審判該逃亡人ノ引渡ヲ請求スル罪ノ爲メニアラサルトキハ一時其引渡ヲ遲滯スルコトアルモ終ニ之ヲ拒クコトヲ得ス

第四條　若シ請求ニ係ル人ヲ政事上ノ犯罪ニ付審判シ若クハ處刑セントスルノ目的ヲ以テ引渡ヲ請求シタリト認ムルトキハ其引渡ヲ爲サヽルヘシ又引渡サレタル人ハ其引渡前ニ犯シタル政事上ノ犯罪ニ付審判若クハ處刑セラルヽコト無ルヘシ

第五條　引渡ノ請求ハ締約國相互ノ外交官ヲ經テ之ヲ爲スヘシ若シ外交官其國内又ハ其政府所在ノ地ニ駐留セサルトキハ高等領事官之ヲ爲スヘシ

已ニ有罪ノ宣告ヲ受ケタル逃亡人ノ引渡ヲ請求スルニハ其宣告ヲ爲シタル裁判所ノ證印アル宣告文寫其裁判官ノ職權ニ付相當行政官ノ證明書及ヒ其行政官ノ職權ニ付日本又ハ合衆國ノ公使若クハ領事ノ證明書ヲ添フヘシ若シ逃亡人告訴告發ヲ受ケタルノミナルトキハ請求國ニ於テ發シタル逮捕狀ノ證據書類ノ公寫及其逮捕狀ヲ發スルノ根據トナリタル證據書類ノ公寫ヲ添フヘシ

逃亡人ノ引渡ハ之ヲ發見シタル國ニ於テ本罪ヲ犯シタルモノトセハ該國ノ法律ニ遵ヒ之ヲ逮捕シ及ヒ審判ニ付スヘキ刑事上ノ證據充分ナル場合ニ限ルモノトス

第六條　本條約第二條ニ揭クル犯罪ニ付告訴告發ヲ受ケタル逃亡人逮捕ノ爲メ相當官吏ヨリ逮捕狀ヲ發シタル旨外交官ヲ經由シ電報ヲ以テ通知アリ且該逃亡人引渡ノ請求ハ追テ本條約ノ條款ニ從ヒ之ヲ爲スヘキ旨該外交官ヨリ保證シタルトキハ締約國政府ハ假ニ之ヲ逮捕シ相當ノ期限内即チ二月ヲ超過セサル間之ヲ監禁シ其引渡請求ノ根據ヲ爲ルヘキ書類ノ提出ヲ待ツヘシ

第七條　締約國ハ本條約ノ條款ニ因リ互ニ其臣民ヲ引渡スノ義務ナキモノトス但其引渡ヲ至當ト認ムルトキハ之ヲ引渡スコトヲ得

第八條　被告人ノ逮捕監禁訊問及ヒ送致ノ費用ハ其引渡ヲ請求シタル政府ニ於テ之ヲ支辨スヘシ

第九條　本條約ハ其批准交換後六十日ヲ經テ効力ヲ有スヘシ而シテ締約國ノ一方ニ於テ之ヲ廢止スルコトヲ得ヘシト雖モ其廢止ノ通知ヲ爲シタル後六月間ハ仍本其効力ヲ存スヘシ

本條約ハ可成速ニ批准シ華盛頓府ニ於テ其批准ヲ交換スヘシ

右確證トシテ雙方ノ全權委員ハ各本條約二通ニ署名調印スルモノナリ

井上馨

リチャード、ピー、ハッパード

亞米利加合衆國政府ハ前條約ニ左ノ修正ヲ爲サンコトヲ請求セリ

第二條第一項「謀殺、謀殺未遂犯、其他殺人罪」トアルヲ「謀故殺及ヒ其未遂犯」ト改ム

同條第四項「私用スル罪」ノ下「並ニ儲主云々」ノ十九字ヲ削除ス

同條第五項「强盜」ノ下「若クハ五拾弗以上同條第五項「强盜」ノ下「若クハ五拾弗以上

ノ竊盜ノ十一字ヲ削除ス
同條第十四項全文ヲ削除ス
第四條中「其引渡前ニ犯シタル政事上ノ犯罪」ノ下「若クハ其引渡ヲ許シタル犯罪ノ外」ノ十五字ヲ追加ス
第六條中「相當官吏ヨリ」ノ下「妥當ノ證據ヲ以テ」ニ改リ「適法ノ」ノ十三字並ニ「電報」ノ下「又ハ其他書面」ノ六字及ヒ「締約國政府ハ」ノ下「法律ノ範圍内ニ於テ」ノ九字ヲ追加ス
天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐ミタル日本國皇帝此書ヲ見ル有衆ニ宣示ス
帝國及亞米利加合衆國兩全權委員ノ締結記名調印シタル兩國犯罪人引渡條約及ヒ亞米利加合衆國政府ノ發議ニ係ル該條約ノ修正事項ヲ閲覽點檢セシニ能ク脗カ意ニ適シ間然スル所ナキヲ以テ玆ニ各其ノ原文ヲ載ス
帝國ニ於テ該條正ヲ加ヘタル兩國犯罪人引渡條約ヲ履行遵奉セシムルコトヲ玆ニ約ス
神武天皇即位紀元二千五百四十六年明治十九年九月二十五日東京帝宮ニ於テ親カ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム
御名　御璽
外務大臣伯爵　井上　馨
西曆千八百八十六年四月二十九日東京ニ於テ日本國及ヒ亞米利加合衆國ノ兩全權委員カ調印シタル犯罪人引渡條約ニ於テ其批准ヲ交換スヘキノ明文アリト雖モ兩締約國ハ其批准ヲ東京ニ於テ交換スルコトニ議定シ又條約ノ末文ニ西曆第一千八百八十六年四月二十九日東京ニ於テ書スト明文アリト雖モ兩締約國ハ之ヲ西曆千八百八十六年四月二十九日東京ニ於テ書スト解スルコトニ議定シタリ因テ今下ニ連署シタル兩名ハ本件ニ關シ各其政府ヨリ委任ヲ受タル右條約批准交換ノ爲メ互ニ相會同シ雙方ノ批准ヲ精密ニ比照セシニ孰レモ能ク符合スルヲ以テ定式ニ隨ヒ本日之ヲ交換セリ
右證トシテ下ニ連署シタル兩名ハ此交換證書ニ其名ヲ記シ印ヲ鈐ス
西曆千八百八十六年九月二十七日東京ニ於テ
井上　馨
リチャード、ピー、ハッバード
明治三十九年九月二十六日勅令
廢明治三十九年五月十七日東京ニ於テ脗カ全權委員ト亞米利加合衆國全權委員ノ記名調印シタル日米間追加犯罪人引渡條約ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理大臣侯爵桂太郎、外務大臣男爵小村壽太郎副署）
日本國皇帝陛下及亞米利加合衆國大統領ハ兩國ノ領土内竝其ノ管轄内ニ於テ司法事務ヲ一層周到ナラシメ且犯罪ヲ防止セムカ爲明治十九年四月二十九日卽西曆千八百八十六年四月二十九日兩國間ニ締結セル條約ニ依リ犯罪人引渡ヲ爲スヘキ犯罪ノ項目中ニ委託ニ係ル私人ノ金錢又ハ財產ヲ費消シタル罪及竊盜罪ヲ追加セムト欲シ之カ爲追加條約ヲ締結スルコトニ決シ日本國皇帝陛下ハ外務大臣正二位勳一等侯爵西園寺公望ヲ亞米利加合衆國大統領ハ日本國駐劄臨時代理公使「ハンチングトン、ウォルソン」ヲ各其ノ全權委員ニ任命セリ因テ各全權委員ハ互ニ其ノ委任狀ヲ示シ其ノ良好妥當ナルヲ認メ以テ左ノ條項ヲ協議決定セリ
前記明治十九年四月二十九日卽西曆千八百八十六年四月二十九日ノ條約第二條第一項乃至第十三項ニ列擧セラレタル犯罪人引渡ヲ爲スヘキ犯罪ノ項目ニ左ノ犯罪ヲ追加ス
一　傷主ノ損害ヲナルヘキ被傷人ノ委託物費消ニシテ其ノ費消ニ係ル金額又ハ財產ノ價格四百圓又ハ貳百弗ヨリ少カラサルモノ
一一年以上ノ禁錮ニ處セラルヘキ竊盜又ハ一年以上ノ禁錮ニ處スルノ宣告アリタル竊盜
本條約ノ之ヲ批准シ其ノ批准ハ成ルヘク速ニ東京ニ於テ交換スヘシ
本條約ハ其ノ批准交換後十日ヲ經テ效力ヲ生シ前記明治十九年四月二十九日卽西曆千八百八十六年四月二十九日ノ條約ト同樣ニ繼續終了ス
右證據トシテ各全權委員ハ本條約各二通ニ記名調印スルモノナリ
明治三十九年五月十七日卽西曆千九百六年五月十七日東京ニ於テ日本文及英文ニテ認メタル本書各二通ヲ作ル
侯爵　西園寺公望印
ハンチングトン、ウォルソン印
天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐ミタル日本國皇帝（御名）此書ヲ見ル有衆ニ宣示ス
脗帝國ト亞米利加合衆國トノ間ニ日米間犯罪人引渡ニ關シ明治三十九年五月十七日東京ニ於テ兩國全權委員ノ記名調印シタル追加條約ノ各條目ヲ親シク閲覽點檢シタルニ善ク脗ノ意ニ適シ間然スル所ナキヲ以テ右條約ヲ嘉納批准ス
神武天皇卽位紀元二千五百六十六年明治三十九年九月二十二日東京宮城ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム
御名　御璽
外務大臣伯爵　井上　馨

●日米間著作權保護ニ關スル條約　明治三十九年五月十一日勅令

脗明治三十八年十一月十日東京ニ於テ脗カ全權委員ト亞米利加合衆國全權委員ノ署名調印シタル日米間著作權保護ニ關スル條約ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理大臣侯爵桂太郎、外務大臣男爵小村壽太郎副署）
日本國皇帝陛下及亞米利加合衆國大統領ハ互ニ兩國ニ於テ著作權ニ關シ法律上ノ保護ノ便益ヲ各其ノ臣民及人民ニ擴張セムト欲シ之カ爲協約ヲ締結スルコトニ決シ日本國皇帝陛下ハ其ノ外務大臣陸軍大將從二位勳一等功三級伯爵桂太郎ヲ亞米利加合衆國大統領ハ其ノ日本國駐劄特命全權公使「ロイド、シー、グリスコム」ヲ各其ノ全權委員ニ任命セリ因テ各全權委員ハ互ニ其ノ委任狀ヲ示シ其ノ良好妥當ナルヲ認メ協定スルコト左ノ如シ
第一條
兩締約國ノ一方ノ臣民又ハ人民ハ文學及美術ノ著作物竝寫眞ニシテ本條約ノ實施ノ際本條約ノ保護スル他人ノ商標又ハ之ニ類似スルモノヲ不正ニ附シタル商品ヲ有スル者ハ右實施後六月ヲ限リ其ノ商標ヲ除去シ若ハ抹消スルカ又ハ該商品ヲ清國市場ヨリ撤去スルコトヲ要ス
第八條
締約國ノ一方ノ臣民又ハ人民カ明治三十九年五月十日以後公ニシタル文學及美術ノ著作物竝寫眞ニシテ本條約ニ依リ保護ヲ受クヘキモノヲ本條約實施前清國内ニ於テ許可ナクシテ複製シタル他ノ一方ノ臣民又ハ人民ハ右實施後一年ヲ限リ該複製物ノ發賣又ハ頒布ヲ廢止シ竝ヲ鈐セシム
御名　御璽
外務大臣　侯爵西園寺公望印
（參考）
日米間著作權保護ニ關スル條約調印ノ際該條約第三條ノ解釋ニ關シ兩國全權委員ノ間ニ交換シタル書翰左ノ如シ（三十九年五月十一日官報）
以書翰致啓上候陳者本日帝國ト亞米利加合衆國トノ間ニ調印セシ著作權保護協約ノ第三條ニ關シ將來ノ誤解ヲ防クタメ本大臣ハ該條中ニ用ヰラレタル「公ニセラルル」ナル文字ヲ帝國政府ニ於テハ「始メテ公ニセラルル」ノ義ト解釋スルコト隨テ本協約ハ批准交換前兩締約國ノ一方ニ於テ公ニセラレタル著作物ヲ將來他ノ一方ニ於テ複製スルコトニハ適用ナキモノナルコトヲ言明致候帝國政府ハ貴國政府カ上記ノ解釋ニ同意スル旨ノ確答ヲ得ハ幸甚ノ至ニ御座候本大臣ハ玆ニ重テ閣下ニ向ヒ敬意ヲ表シ候敬具
明治三十八年十一月十日
外務大臣伯爵　桂太郎印
亞米利加合衆國特命全權公使
ロイド、シー、グリスコム閣下
（譯文）
以書翰致啓上候陳者本日亞米利加合衆國ト日本國トノ間ニ調印シタル著作權保護協約ノ第三條中ニ用ヰラレタル「公ニセラルル」ナル文字ノ意義ニ關シ本日附貴翰ヲ以テ御申越ノ趣致領承候本使ハ玆ニ亞米利加政府ニ於テモ「公ニセラルル」ナル上記ノ文字ニ付日本帝國政府ノ與ヘラレタル解釋ニ全然同意スルモノナルコト及本協約ハ批准交換前兩締約國ノ一方ニ於テ公ニセラレタル著作物ヲ將來他ノ一方ニ於テ複製スルコトニハ適用ナキモノナルコトヲ及確答候右回答旁本使ハ玆ニ重テ閣下ニ向ヒ敬意ヲ表シ候敬具
明治三十八年十一月十日
亞米利加合衆國特命全權公使
ロイド、シー、グリスコム閣下
外務大臣　伯爵桂太郎閣下

●支那ニ於ケル發明意匠商標及著作權ノ相互保護ニ關スル日米條約　明治四十二年八月十三日勅令

脗帝國政府ハ清國政府ト協同シテ清國ニ於ケル發明、意匠、商標及著作權ノ相互保護ニ關スル日米條約ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理大臣侯爵桂太郎、外務大臣男爵小村壽太郎副署）
日本國皇帝陛下及亞米利加合衆國大統領ハ清國ニ於ケル其ノ臣民又ハ人民ノ發明、意匠、商標及著作權ノ相互保護ヲ確保セムコトヲ欲シ之カ爲條約ヲ締結スルコトニ決シ日本國皇帝陛下ノ亞米利加合衆國駐劄特命全權公使「ロイド、シー、グリスコム」ヲ各其ノ全權委員ニ任命セリ因テ各全權委員ハ互ニ其ノ委任狀ヲ示シ其ノ良好妥當ナルヲ認メ左ノ諸條ヲ協議決定セリ
第一條
締約國ノ一方ノ臣民又ハ人民カ他ノ一方ノ當該官衙ニ於テ特許ヲ受ケタル發明又ハ登錄ヲ受ケタル意匠若ハ商標ハ清國各地ニ於テ右他ノ一方ノ臣民又ハ人民ノ使害ニ對シ右他ノ一方ノ版圖内ニ於ケルト同一ノ保護ヲ享受スヘシ
第二條
締約國ノ一方ノ臣民又ハ人民ハ文學及美術ノ著作物竝寫眞ノ著作權ニ付清國内ニ於テ他ノ一方ノ版圖内ニ於ケルト同一程度ノ保護ヲ享受スヘシ
第三條
締約國ノ一方ノ臣民又ハ人民カ他ノ一方ノ當該官衙ニ於テ特許ヲ受ケタル發明又ハ登錄ヲ受ケタル意匠若ハ商標ハ清國各地ニ於テ右他ノ一方ノ臣民又ハ人民ノ使害ニ對シ右他ノ一方ノ版圖内ニ於ケルト同一ノ保護ヲ享受スヘシ
第四條
兩締約國ハ商號ノ保護ニ付千八百八十三年三月二十日巴里ニ於テ調印セラレタル萬國工業所有權保護同盟條約ニ依リ其ノ臣民又ハ人民ト同一ノ權利及保護ヲ享受スヘシ
第五條
本條約ノ適用上韓國臣民ハ日本國臣民ト、亞米利加合衆國ノ所屬地ノ人民ハ米國人民ト清國内ニ於テ同一ノ取扱ヲ受クヘキモノトス
第六條
兩締約國ハ其ノ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル他國ニ關シ成ルヘク本條約ノ規定ヲ準用スヘキコトヲ約ス
本條約ヨリ生スル一切ノ權利ハ兩締約國ノ所屬地及租借地ニ於テモ尊重セラルヘク右權利ノ侵害ニ對スル法律上ノ救濟ノ加害者所屬國ノ當該裁判所ニ於テ之ヲ與フルモノトス
第七條
本條約實施ノ際本條約ノ保護スル他人ノ商標又ハ之ニ類似スルモノヲ不正ニ附シタル商品ヲ有スル者ハ右實施後六月ヲ限リ其ノ商標ヲ除去シ若ハ抹消スルカ又ハ該商品ヲ清國市場ヨリ撤去スルコトヲ要ス
第八條
締約國ノ一方ノ臣民又ハ人民カ明治三十九年五月十日以後公ニシタル文學及美術ノ著作物竝寫眞ニシテ本條約ニ依リ保護ヲ受クヘキモノヲ本條約實施前清國内ニ於テ許可ナクシテ複製シタル他ノ一方ノ臣民又ハ人民ハ右實施後一年ヲ限リ該複製物ノ發賣又ハ頒布ヲ廢止スヘキモノトス
第九條
本條約ハ之ヲ批准シ其ノ批准書ハ成ルヘク速ニ東京ニ於テ交換セラルヘシ
本條約ハ批准書交換ノ日ヨリ十日ヲ經タル後韓國ニ於ケル發明、意匠、商標及著作權ノ保護ニ關スル條約ト共ニ實施セラルヘシ
右證據トシテ各全權委員ハ之ニ記名調印スルモノナリ
明治四十一年五月十九日卽西曆千九百八年五月十九日華盛頓ニ於テ本書二通ヲ作ル
高平小五郎印
ロバート、ピーコン印
天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐ミタル日本國皇帝（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス
脗明治四十一年五月十九日亞米利加合衆國華盛頓ニ於テ帝國全權委員カ亞米利加合衆國全權委員ト共ニ記名調印シタル清國ニ於ケル發明、意匠、商標及著作權ノ相互保護ニ關スル條約ヲ閲覽點檢シ之ヲ嘉納批准ス
神武天皇卽位紀元二千五百六十八年明治四十一年八月六日東京宮城ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム
御名　御璽
外務大臣　子爵寺内正毅

●ヤップ島及他ノ赤道以北ノ太平洋委任統治諸島ニ關スル日米條約　大正十一年七月十三日條約第五號

脗楓密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國及亞米利加合衆國ノ全權委員カ亞米利加合衆國華盛頓ニ於テ本年二月十一日署名調印シタル「ヤップ」島及他ノ赤道以北ノ太平洋委任統治諸島ニ關スル日米條約ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム
（總理、外務大臣副署）

日本國及亞米利加合衆國ハ
千九百十九年六月二十八日署名セラレタル「ヴェルサイユ」條約第百十九條ニ依リ獨逸國カ同條約ニ謂フ主タル同盟及聯合國タル諸國卽チ亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國、伊太利國及日本國ノ爲ニ其ノ海外屬地ニ關スル一切ノ權利及權原ヲ拋棄シタルコトヲ思ヒ
前記「ヴェルサイユ」條約第百十九條ニ依リ合衆國ニ歸屬スル利益ハ合衆國及獨逸國間ノ友好關係ヲ恢復セムカ爲千九百二十一年八月二十五日署名セラレタル兩國間ノ條約ニ依リ確認セラレタルコトヲ思ヒ
前記四國卽チ英帝國、佛蘭西國、伊太利國及日本國ハ「ヴェルサイユ」條約ニ依リ太平洋中赤道以北ニ位スル舊獨逸領諸島群ニ付左記ノ條項ニ準據シテ其ノ施政ヲ行フノ委任ヲ日本國皇帝陛下ニ付與スルコトニ一致シタルコトヲ思ヒ

第一條　日本國皇帝陛下（以下受任國ト稱ス）ニ委任ヲ付與シタル諸島ハ太平洋中赤道以北ニ位スル舊獨逸領諸島ノ全部ヲ含ム

第二條　受任國ハ本委任統治條項ニ依ル地域ニ對シ日本帝國ノ構成部分トシテ施政及立法ノ全權ヲ有スヘク且情況ニ應シ必要ナル地方的變更ヲ加ヘテ本地域ニ日本帝國ノ法規ヲ適用スルコトヲ得
受任國ハ本委任統治條項ニ依ル地域ノ住民ノ物質的及精神的幸福竝社會的進歩ヲ極力增進スヘシ

第三條　受任國ハ奴隷賣買ヲ禁止スルコト竝須要ナル公共的工事及役務ノ爲ニスル場合ヲ除クノ外强制勞働ヲ許容セサルコトヲ督視スヘシ右例外ノ場合ニ於テモ相當ノ報償ヲ支拂フコトヲ要ス
受任國ハ又千九百十九年九月十日署名ノ武器取引ノ取締ニ關スル條約又ハ之ヲ修正スル條約ニ規定スル所ト同樣ナル原則ニ準據シ武器彈藥ノ取引ヲ取締ルコトヲ督視スヘシ
土著民ニ火酒及酒精飲料ヲ供給スルコトヲ禁止スヘシ

第四條　土著民ノ軍事教育ハ地域內警察及本地域ノ地方的防衞ノ爲ニスル場合ヲ除クノ外之ヲ禁止スヘシ又本地域內ニ陸海軍根據地又ハ築城ヲ建設スルコトヲ得ス

第五條　公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ノ維持ニ關スル地方的法規ニ反セサル限リ受任國ハ本地域內ニ於テ良心ノ自由竝各種禮拜ノ自由執行ヲ確保シ又聯盟國ノ國民タルト一切ノ宣敎師カ其ノ職務ヲ行フ爲本地域內ニ到リ、旅行シ又ハ居住スルコトヲ許スヘシ

第六條　受任國ハ國際聯盟理事會ヲ滿足セシムヘキ年報ヲ同理事會ニ提出スヘシ該年報中ニハ本地域ニ關スル詳細ナル情報ヲ記載シ且第二條乃至第五條ニ依リ負擔シタル義務ヲ實行スル爲ニ執リタル諸般ノ措置ヲ表示スヘシ

第七條　本委任統治條項ノ規定ヲ變更スルニハ國際聯盟理事會ノ同意ヲ要ス
受任國ハ本委任統治條項ノ規定ノ解釋又ハ適用ニ關シ受任國ト他ノ聯盟國トノ間ニ紛爭ヲ生シタル場合ニ於テ其ノ紛爭カ交涉ニ依リ解決スルコト能ハサルトキハ之ヲ國際聯盟規約第十四條ニ規定スル常設國際司法裁判所ニ付託スヘキコトニ同意ス

合衆國ハ「ヴェルサイユ」條約ヲ批准セス且前記委任ニ關スル協定ニ參加セサリシコトヲ思ヒ
前記諸島殊ニ「ヤップ」島ニ於ケル兩國政府及其ノ各自ノ國民ノ權利ニ關シ確定的了解ニ到達セムコトヲ希望シ此ノ目的ノ爲條約ヲ締結スルコトニ決シ之カ爲左ノ如ク其ノ全權委員ヲ任命セリ

日本國皇帝陛下
亞米利加合衆國駐劄特命全權大使男爵幣原喜重郎
合衆國國務卿「チャールス、エヴァンス、ヒューズ」

前記各委員ハ互ニ其ノ全權委任狀ヲ示シ之カ良好妥當ナルヲ認メタル後左ノ如ク協定セリ

第一條

本條約ノ規定ヲ留保シテ合衆國ハ日本國カ前記委任ニ依リ太平洋中赤道以北ニ位スル一切ノ舊獨逸領諸島ノ施政ヲ行フコトニ同意ス

第二條

合衆國ハ國際聯盟ノ聯盟國ニ非サルモ同國及其ノ國民ハ前記委任統治條項第三條、第四條及第五條ニ規定スル日本國ノ約束ノ一切ノ利益ヲ享クヘシ

締約國ハ倘左ノ如ク約定ス

(一)　日本國ハ公ノ秩序及善良ノ風俗ニ反セサル限リ良心ノ完全ナル自由及各種禮拜ノ自由執行ヲ右諸島ニ於テ確保スヘシ斯ル一切ノ宗敎ノ米國人宣敎師ハ右諸島ニ入リ且右諸島內ニ旅行シ及居住シ竝右諸島內ニ於テ財產ヲ取得シ及占有シ、宗敎的建物ヲ建設シ及學校ヲ開設スルノ自由ヲ有スヘシ尤モ日本國ハ公ノ秩序及善政ヲ維持スルニ必要ナルヘキ監理ヲ行ヒ且右監理上必要ナル一切ノ措置ヲ執ルノ權利ヲ有スルモノトス

(二)　委任統治諸島ニ於ケル米國人ノ旣得財產權ハ尊重セラルヘク且如何ナル手段ニ依ルモ侵害セラレサルヘシ

(三)　日本國及合衆國間ノ現存諸條約ハ委任統治諸島ニ之ヲ適用スヘシ

(四)　日本國ハ其ノ國際聯盟理事會ニ提出スヘキ委任ノ統治ニ關スル年報ノ複本ヲ合衆國ニ送付スヘシ

(五)　本條約ニ記載シタル事項ハ本條約ニ引用シタル委任統治條項ニ加ヘラルルコトアルヘキ變更ニ依リ影響ヲ受クルコトナカルヘシ但シ右變更ニ對シ合衆國カ明ニ同意シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條

合衆國及其ノ國民ハ現存「ヤップ」「ケアム」海底電信線又ハ將來合衆國若ハ其ノ國民ノ敷設シ若ハ運用スルコトアルヘキ「ヤップ」島ニ接續スル海底電信線ノ陸揚及運用ニ關スル一切ノ事項ニ付日本國又ハ他ノ各國及其ノ各自ノ國民ト全然均等ノ地歩ニ於テ「ヤップ」島ニ自由ニ出入スルコトヲ得ヘシ
前項ニ定ムル權利及特權ハ又無線電線ニ依ル通信ニ關シ合衆國政府及其ノ國民ニ許與セラルヘシ但シ日本國政府カ「ヤップ」島ニ適當ナル無線電信局ヲ設立維持シ差別的料金ヲ課スルコトナク又順位ヲ附スルコトナク海底電信線及船舶又ハ海岸ニ在ル他ノ無線電信局トノ間ニ有效ニ通信ヲ接續スル限リ合衆國又ハ其ノ國民カ同島ニ於テ無線電信局ヲ設置スルノ權利ノ行使ハ之ヲ停止スヘシ

第四條

第三條ニ定ムル權利ニ關聯シテ左記諸項ノ特殊權利、特權及免除ハ電氣通信ニ關スル限リ合衆國及其ノ國民ハ「ヤップ」島ニ於テ之ヲ享有スヘシ

(一)　合衆國國民ハ同島ニ於テ無制限ノ居住權ヲ有スヘク且合衆國及其ノ國民ハ日本國若ハ他ノ各國又ハ其ノ各自ノ國民ト全然均等ノ地歩ニ於テ一切ノ動產不動產及之ニ關スル利益（土地、建物、住居、事務所、工場及附屬物ヲ含ム）ヲ取得シ及保持スルノ權利ヲ有スヘシ

(二)　合衆國國民ハ第三條ノ規定ニ從ヒ同島ニ於テ海底電信線ヲ陸揚及運用シ若ハ無線電信局ヲ設置スルカ爲又ハ本條及第三條ニ定ムル權利及特權ヲ享有スルカ爲許可又ハ免許ヲ受クルノ義務ヲ有セス

(三)　海底電信線又ハ無線電信ニ依ル通信又ハ運用ニ關シ檢閱又ハ監督ヲ行フヘカラス

(四)　合衆國國民ハ其ノ身體及財產ニ付同島出入ノ完全ナル自由ヲ有スヘシ

(五)　海底電信線若ハ無線電信局ノ運用ニ關シ又ハ財產、人若ハ船舶ニ關シ租稅、港灣若ハ陸揚ニ關スル課金又ハ如何ナル性質ノ取立金モ一切之ヲ徵收スヘカラス

(六)(七)　差別的警察規則ハ之ヲ實施スヘカラス
日本國政府ハ合衆國又ハ其ノ國民カ他ノ方法ヲ以テシテハ同島ニ於テ電氣通信ノ目的ノ爲必要ナル財產又ハ便宜ヲ得ルコト能ハサル場合ニハ之ヲ同國又ハ其ノ國民ニ確保スル爲公用徵收權ヲ行使スヘシ
右徵收セラルヘキ土地ノ位置及面積ハ各場合ノ需要ニ從ヒ兩國政府間ニ協定スヘキモノトス同島ニ於テ電氣通信ノ目的ニ供セラルル合衆國又ハ其ノ國民ノ財產及便宜ハ公用徵收ヲ受クルコトナカルヘシ

第五條

本締約ハ締約國ニ於テ其ノ各自ノ憲法ニ從ヒ批准セラルヘシ本條約ノ批准書ハ出來得ル限リ速ニ華盛頓ニ於テ交換スヘク且本條約ハ其ノ批准書交換ノ日ヨリ實施セラルヘシ
右證據トシテ各全權委員ハ本條約ニ署名調印ス

千九百二十二年二月十一日華盛頓市ニ於テ本書二通ヲ作成ス

幣原喜重郎　（印）

チャールス、エヴァンス、ヒューズ（印）

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

駛帝國及亞米利加合衆國ノ全權委員カ亞米利加合衆國華盛頓ニ於テ大正十一年二月十一日署名調印シタル「ヤップ」島及他ノ赤道以北ノ太平洋委任統治諸島ニ關スル日米條約ヲ締結スルニ當リ本官ハ若シ將來合衆國政府カ滿洲及新西蘭ニ適用セラルヘキ通商條約ヲ締結スルノ機會アル場合ニハ目下右屬領ノ施政ノ下ニ在ル赤道以南ノ委任統治諸島ニ右條約ヲ及ホサシムルコトニ努ムヘキ旨ヲ陳述スルノ光榮ヲ有シ候尤モ合衆國ハ未タ此等諸島ニ關スル委任統治ニ同意ヲ與フルノ條約ヲ締結スルニ至ラサルコトヲ附言致候
尙本官ハ委任統治ノ下ニ在ル舊獨逸國領土ニ關スル條約ヲ締結スルニ當リ合衆國政府ハ委任統治權ヲ有スル政府ニ於テ其ノ委任統治ノ施政ニ關スル年報ノ複本ヲ主タル同盟及聯合國ノ一國トシテノ合衆國ニ送付スヘキコトヲ要求スルノ意思ヲ有スル旨ヲ陳述スルノ光榮ヲ有シ候
本官ハ玆ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候敬具

千九百二十二年二月十一日

華盛頓國務省ニ於テ
チャールス、イー、ヒューズ

日本國大使男爵幣原喜重郎閣下

幣原大使復論

以書翰致啓上候陳者將來合衆國政府カ滿洲及新西蘭ニ適用セラルヘキ通商條約ヲ締結スルノ機會アル場合ニハ滿洲及新西蘭ノ委任統治ノ下ニ在ル赤道以南ノ諸島ニ右條約ヲ及ホサシムルコトニ努ムヘキ趣旨ヲ以テ本官ハ玆ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候敬具

千九百二十二年二月十一日

華盛頓日本帝國大使館ニ於テ
幣原喜重郎

國務卿チャールス、イー、ヒューズ閣下

以書翰致啓上候陳者本日日本國ノ委任統治ニ關スル太平洋中赤道以北ニ位スル諸島ニ關スル日米條約ニ署名セムトスルニ當リ本官ハ若シ將來合衆國政府カ滿洲及新西蘭ニ適用セラルヘキ通商條約ヲ締結スルノ機會アル場合ニハ目下右屬領ノ施政ノ下ニ在ル赤道以南ノ委任統治諸島ニ右條約ヲ及ホサシムルコトニ努ムヘキ旨ヲ陳述スルノ光榮ヲ有シ候尤モ合衆國ハ未タ此等諸島ニ關スル委任統治ニ同意ヲ與フルノ條約ヲ締結スルニ至ラサルコトヲ附言致候
尙本官ハ委任統治ノ下ニ在ル舊獨逸國領土ニ關スル條約ヲ締結スルニ當リ合衆國政府ハ委任統治權ヲ有スル政府ニ於テ其ノ委任統治ノ施政ニ關スル年報ノ複本ヲ主タル同盟及聯合國ノ一國トシテノ合衆國ニ送付スヘキコトヲ要求スルノ意思ヲ有スル旨ヲ陳述スルノ光榮ヲ有シ候
本官ハ玆ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候敬具

千九百二十二年二月十一日

華盛頓國務省ニ於テ
チャールス、イー、ヒューズ

日本國大使男爵幣原喜重郎閣下

幣原大使復論

以書翰致啓上候陳者若シ將來合衆國政府カ滿洲及新西蘭ニ適用セラルヘキ通商條約ヲ締結スルノ機會アル場合ニハ滿洲及新西蘭ノ委任統治ノ下ニ在ル赤道以南ノ諸島ニ右條約ヲ及ホサシムルコトニ努ムヘキ趣旨ヲ以テ本官ハ玆ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候敬具

千九百二十二年二月十一日

華盛頓日本帝國大使館ニ於テ
幣原喜重郎

國務卿チャールス、イー、ヒューズ閣下

以書翰致啓上候陳者本日日本國ノ委任統治ニ關スル太平洋中赤道以北ニ位スル諸島ニ關スル日米條約ニ署名セムトスルニ當リ本官ハ玆ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候敬具

千九百二十二年二月十一日

華盛頓國務省ニ於テ
チャールス、イー、ヒューズ

日本國大使男爵幣原喜重郎閣下

乙號

國務卿來翰

以書翰致啓上候陳者本日日本國ノ委任統治ノ下ニ在ル舊獨逸國屬地ニ關スル日米條約ニ署名セムトスルニ當リ本官ハ若シ將來合衆國政府カ滿洲及新西蘭ニ適用セラルヘキ通商條約ヲ締結スルノ機會アル場合ニハ目下右屬領ノ施政ノ下ニ在ル赤道以南ノ委任統治諸島ニ右條約ヲ及ホサシムルコトニ努ムヘキ旨ヲ陳述スルノ光榮ヲ有シ候尤モ合衆國ハ未タ此等諸島ニ關スル委任統治ニ同意ヲ與フルノ條約ヲ締結スルニ至ラサルコトヲ附言致候
尙本官ハ委任統治ノ下ニ在ル舊獨逸國領土ニ關スル條約ヲ締結スルニ當リ合衆國政府ハ委任統治權ヲ有スル政府ニ於テ其ノ委任統治ノ施政ニ關スル年報ノ複本ヲ主タル同盟及聯合國ノ一國トシテノ合衆國ニ送付スヘキコトヲ要求スルノ意思ヲ有スル旨ヲ陳述スルノ光榮ヲ有シ候
本官ハ玆ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候敬具

千九百二十二年二月十一日

華盛頓國務省ニ於テ
チャールス、イー、ヒューズ

日本國大使男爵幣原喜重郎閣下

國務卿來翰

以書翰致啓上候陳者本日日本國ノ委任統治ニ關スル太平洋中赤道以北ニ位スル諸島ニ關スル日米條約ニ署名セムトスルニ當リ本官ハ玆ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候敬具

千九百二十二年二月十一日

華盛頓日本帝國大使館ニ於テ
幣原喜重郎

國務卿チャールス、イー、ヒューズ閣下

大正十一年七月十三日
外務省告示第三十二號

日附貴翰ヲ以テ御申越相成敬承候
右貴下ノ御通報了承旁本使ハ玆ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候敬具

千九百二十二年二月十一日

華盛頓日本帝國大使館ニ於テ
幣原喜重郎

國務卿チャールス、イー、ヒューズ閣下

大正十一年七月十三日
外務省告示第三十二號

●亞米利加合衆國船舶ノ檢査ニ關スル件

別勅第三十九年十一月二十六日
通信省令第四十九號

亞米利加合衆國船舶ノ檢査ニ關スル件左ノ通定メ明治三十九年十一月二十六日ヨリ施行ス

第一條　亞米利加合衆國船舶ニシテ國政府ノ檢査證書ヲ受有スルノ其ノ證書ノ有效期間內ニ限リ帝國ノ法令ニ定ムル檢査ヲ受クシテ之ヲ航行ノ用ニ供セントスル船舶所在地ヲ管轄スル管海官廳ニ其ノ旨ヲ申請シ同時ニ合衆國政府ノ檢査證書ノ寫ヲ差出スヘシ

第二條　船舶所有者、船舶借入人、船長又ハ其ノ他ノ代理人カ前條ノ規定ニ依リ其ノ船舶ヲ航行ノ用ニ供セントスルトキハ船舶所在地ヲ管轄スル管海官廳ニ其ノ旨ヲ申請シ同時ニ合衆國政府ノ檢査證書ノ寫ヲ差出スヘシ

第三條　管海官廳ニ於テ前條ノ申請ヲ受ケタルトキハ檢査官吏ヲシテ其ノ船舶ニ臨檢シ船體、機關及ヒ屬具ノ現狀カ檢査證書ニ記載シタル事項ト相違ナキヤ否ヤヲ調査セシムヘシ

第四條　管海官廳ハ前條ノ調査ニ依リ船體、機關及ヒ屬具ノ現狀カ檢査證書ニ記載シタル事項ト相違ナキコトヲ認メタルトキハ其ノ船舶ニ對シ附錄書式ノ證書ヲ交付スルモノトス

前項ノ規定ニ依リ交付スル證書ノ有效期間ハ合衆國政府ノ檢査證書ノ有效期間ニ依

ル

第五條　前條ノ規定ニ依リ交付スル證書ニ關シ本令ニ規定ナキモノニ付テハ船舶檢査法施行細則ノ規定ヲ準用ス

附錄書式（竪九寸一尺三寸）

外國船舶臨檢證書

國籍	船名	航路限定	噸數	旅客定員 一等室	旅客定員 二等室	旅客定員 三等室	船籍港	所有者	種類	種類	長

右明治三十九年十一月遞信省令第四十九號第四條ニ依リ此ノ證書ヲ交付ス

但此ノ證書ハ【明治】年　月　日限リ無效トス

【明治】年　月　日

管海官廳　名印

トキハ船長、所有者又ハ代理人ハ直ニ其ノ港ヲ管轄スル地方汽船檢査官吏ニ船舶檢査證書ノ寫ヲ差出スヘシ

二　現ニ合衆國政府ノ檢査證書ヲ受有スル帝國旅客汽船ニ在リテハ該證書ノ有效期間滿了前ノ最後ノ航海ニ於テ同國ノ港ニ到著シタルトキヨリ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

三　第一項又ハ第二項ノ書類ヲ受ケタル合衆國檢査官吏ニ於テ當該船舶、機關、屬具及ヒ救命裝置ノ現狀カ帝國ノ船舶檢査證書ニ記載シタル事項ト相違ナキコトヲ認メタルトキハ該證書ノ有效期間ト同時ニ滿了スヘキ有效期間ヲ有スル證書ヲ交付セラルヘシ

四　前項ノ船舶ハ合衆國ノ規則ニ依ル檢査ヲ執行セラルルコトナシ但千八百八十二年旅客規則ニ依ル檢査ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

●日米兩國間交換外交文書

明治四十一年十二月二日　官報

去月三十日北米合衆國華盛頓ニ於テ帝國特命全權大使男爵高平小五郎ト合衆國國務卿エリヒュー、ルートトノ間ニ交換セラレタル外交文書左ノ如シ

以書東亥啓上候陳者先頃來閣下ト本使トノ間ニ數次ノ會見ヲ遂ケ意見ヲ交換致候結果日本國及合衆國ハ太平洋方面ニ於テ本國ヨリ隨在スル重要ナル島嶼ノ所領ヲ保有スルモノニ有之兩國政府ハ同方面ニ於テ共通ノ目的、政策及旨意ヲ有スルコト明瞭ト相成候

帝國政府ハ該目的、政策及旨意ヲ眞率ニ表明スルハ曾ニ日本國ト合衆國トノ間ニ久シク存在シタル友好善鄰ノ關係ヲ鞏固ナラシムルニ至ルヘキノミナラス又以テ大局ノ平和ヲ維持スルニ貢スル所大ナルヘキコトヲ信シ該共通ノ目的、政策及旨意ト認ムル所ノ左記綱領ヲ閣下ニ提出スヘキ旨本使ニ訓示有之候

一、太平洋ニ於ケル兩國商業ノ自由平穩ナル發達ヲ奬勵スルハ兩國政府ノ希望タリ

二、兩國政府ノ政策ハ何等侵略的傾向ニ制セラルヽコトナク前記方面ニ於ケル現狀維持及清國ニ於ケル商工業ノ擁護ヲ目的トス

三、從テ兩國政府ハ相互ニ前記方面ニ於テ他ノ一方ノ有スル所領ヲ尊重スルノ彊固ナル決意ヲ有ス

四、兩國政府ハ又其ノ權內ニ屬スル一切ノ

平和手段ニ依リ清國ノ獨立及領土保全竝同帝國ニ於ケル列國ノ商工業ニ對スル機會均等主義ヲ支持シ以テ清國ニ於ケル列國ノ共通利益ヲ保存スルノ決意ヲ有ス

五、前述ノ現狀維持又ハ機會均等主義ヲ侵迫スル事件發生スルトキハ兩國政府ハ其ノ有益ト認ムル措置ニ關シ協商ヲ遂ケ爲互ニ意見ヲ交換スヘシ

若シ前記綱領ニシテ合衆國政府ノ見解ト一致スルニ於テハ之ニ對スル閣下ノ確認ヲ得次第本使ハ玆ニ閣下ニ向テ重ヲ敬意ヲ表シ候敬具

一千九百八年十一月三十日

在華盛頓日本帝國特命全權大使館ニ於テ

日本帝國特命全權大使

男爵高平小五郎

北米合衆國國務卿

エリヒュー、ルート閣下

以書東啓上候陳者先頃來本官ニ於テ數次閣下ト會見シ意見ヲ交換セル結果兩國政府ノ太平洋方面ニ於ケル政策ニ關シテ雙方ノ認識セル所ヲ開列セラレタル本日附貴東正ニ領收致候

右雙方認識ノ表明ハ能ク兩國ノ親善ナル關係ニ適應シ且兩國政府カ極東ニ關シ從來累次聲明セル協同ノ政策ヲ約述互認スルノ機會ヲ與フルモノニシテ合衆國政府ノ歡迎スル所ニ有之候

玆ニ合衆國政府ヲ代表シ閣下ニ向テ左記兩國政府ノ宣言ヲ確認スルヲ得ルハ本官ノ欣幸トスル所ニ有之候

一、太平洋ニ於ケル兩國商業ノ自由平穩ナル發達ヲ奬勵スルハ兩國政府ノ希望タリ

二、兩國政府ノ政策ハ何等侵略的傾向ニ制セラルヽコトナク前記方面ニ於ケル現狀維持及清國ニ於ケル商工業ノ機會均等主義ノ擁護ヲ目的トス

三、從テ兩國政府ハ相互ニ前記方面ニ於テ他ノ一方ノ有スル所領ヲ尊重スルノ彊固ナル決意ヲ有ス

四、兩國政府ハ又其ノ權內ニ屬スル一切ノ

平和手段ニ依リ清國ノ獨立及領土保全竝同帝國ニ於ケル列國ノ商工業ニ對スル機會均等主義ヲ支持シ以テ清國ニ於ケル列國ノ共通利益ヲ保存スルノ決意ヲ有ス

五、前述ノ現狀維持又ハ機會均等主義ヲ侵迫スル事件發生スルトキハ兩國政府ハ其ノ有益ト認ムル措置ニ關シ協商ヲ遂ケ爲互ニ意見ヲ交換スヘシ

若シ前記綱領ニシテ合衆國政府ノ見解ト一致スルニ於テハ之ニ對スル閣下ノ確認ヲ得次第本使ハ玆ニ閣下ニ向テ重ヲ敬意ヲ表シ候敬具

一千九百八年十一月三十日

在華盛頓日本帝國大使館ニ於テ

日本帝國特命全權大使

男爵高平小五郎

北米合衆國國務卿

エリヒュー、ルート閣下

以書東啓上候陳者先頃來本官ニ於テ數次閣下ト會見シ意見ヲ交換セル結果兩國政府ノ太平洋方面ニ於ケル政策ニ關シテ雙方ノ認識セル所ヲ開列セラレタル本日附貴東正ニ領收致候

右雙方認識ノ表明ハ能ク兩國ノ親善ナル關係ニ適應シ且兩國政府カ極東ニ關シ從來累次聲明セル協同ノ政策ヲ約述互認スルノ機會ヲ與フルモノニシテ合衆國政府ノ歡迎スル所ニ有之候

玆ニ合衆國政府ヲ代表シ閣下ニ向テ左記兩國政府ノ宣言ヲ確認スルヲ得ルハ本官ノ欣幸トスル所ニ有之候

一、太平洋ニ於ケル兩國商業ノ自由平穩ナル發達ヲ奬勵スルハ兩國政府ノ希望タリ

二、兩國政府ノ政策ハ何等侵略的傾向ニ制セラルヽコトナク前記方面ニ於ケル現狀維持及清國ニ於ケル商工業ノ機會均等主義ノ擁護ヲ目的トス

三、從テ兩國政府ハ相互ニ前記方面ニ於テ他ノ一方ノ有スル所領ヲ尊重スルノ彊固ナル決意ヲ有ス

四、兩國政府ハ又其ノ權內ニ屬スル一切ノ

國ニ無報酬ニ許與シタルトキハ無報酬ニテ又若シ條件ヲ附シテ許與シタルトキハ其レト均一ノ條件ヲ附シテ之ヲ許與スヘキコトヲ約ス

第五條

亞爾然丁共和國ノ生產或ハ製造品ヲ日本國ニ輸入シ又ハ日本國ノ生產或ハ製造品ヲ亞爾然丁共和國ニ輸入スルトキハ其ノ目的ノ消費、倉入、再輸出若ハ通過ニ關シテハ歐羅巴諸國又ハ亞米利加合衆國ノ生產若ハ製造ニ係ル同種ノ物品ニ對シ現ニ賦課シ若ハ將來賦課スヘキ稅ニ異ナルカ又ハ之ヨリ多額ノ稅金又ハ雜費ヲ賦課スルコトナカルヘシ又兩締盟國ノ一方ノ領土ノ生產若ハ製造品ヲ他ノ一方ノ領土若ハ所屬地ニ輸入シ又ハ其ノ領土若ハ所屬地ヨリ他ノ一方ノ領土若ハ所屬地ヘ向ケ輸出スル物品ニ就テハ歐羅巴諸國又ハ亞米利加合衆國ヘ向ケ輸出スル同種ノ物品ノ輸出ニ賦課シ又ハ之ニ關スル手續ニ關シ現ニ許與シ若ハ將來許與スヘキ特典、特權、免除ヲ享有スヘシ

第三條

兩締盟國ノ領土及所屬地ノ間ニハ相互ニ通商及航海ノ自由アルヘシ兩締盟國ノ一方ノ臣民若ハ人民ハ他ノ一方ノ領土及所屬地內ノ各地、海港、河川及海峽ニシテ別國ノ臣民若ハ人民ノ到來ヲ許ス場所ヘ其ノ船舶及貨物ヲ以テ自由ニ且安全ニ到ルコトヲ得又右臣民若ハ人民ハ別國ノ臣民若ハ人民ノ在留居住ヲ許ス各地、各港ニ在留居住シ其ノ地ニ於テ家屋及倉庫ヲ借受ケ使用シ總テ正業ニ屬スル各種ノ生產物、製造品及商品ノ卸賣若ハ小賣營業ニ從事スルコトヲ得ヘシ

第四條

兩締盟國ハ通商、航海、旅行及居住ニ關スル一切ノ事項ニ關シ其ノ一方ノ領土若ハ所屬地ニ於テ歐羅巴諸國又ハ亞米利加合衆國ノ臣民若ハ人民ニ現ニ許與シ又ハ將來許與スヘキ一切ノ特權、特權及免除ヲ享有スヘシ

第三條

兩締盟國ノ領土及所屬地ノ間ニハ相互ニ通商及航海ノ自由アルヘシ兩締盟國ノ一方ノ臣民若ハ人民ハ他ノ一方ノ領土及所屬地內ノ各地、海港、河川及海峽ニシテ別國ノ臣民若ハ人民ノ到來ヲ許ス場所ヘ其ノ船舶及貨物ヲ以テ自由ニ且安全ニ到ルコトヲ得又右臣民若ハ人民ハ別國ノ臣民若ハ人民ノ在留居住ヲ許ス各地、各港ニ在留居住シ其ノ地ニ於テ家屋及倉庫ヲ借受ケ使用シ總テ正業ニ屬スル各種ノ生產物、製造品及商品ノ卸賣若ハ小賣營業ニ從事スルコトヲ得ヘシ

第四條

兩締盟國ハ通商、航海、旅行及居住ニ關スル一切ノ事項ニ關シ其ノ一方ノ領土若ハ所屬地ニ於テ歐羅巴諸國又ハ亞米利加合衆國ノ臣民若ハ人民ニ現ニ許與シ又ハ將來許與スヘキ一切ノ特權、特權及免除ヲ享有スヘシ

第五條

亞爾然丁共和國ノ生產或ハ製造品ヲ日本國ニ輸入シ又ハ日本國ノ生產或ハ製造品ヲ亞爾然丁共和國ニ輸入スルトキハ其ノ目的ノ消費、倉入、再輸出若ハ通過ニ關シテハ歐羅巴諸國又ハ亞米利加合衆國ノ生產若ハ製造ニ係ル同種ノ物品ニ就テハ歐羅巴諸國又ハ亞米利加合衆國ヘ向ケ輸出スル同種ノ物品ニ對シ現ニ賦課シ若ハ將來賦課スヘキ稅ニ異ナルカ又ハ之ヨリ多額ノ稅金又ハ雜費ヲ賦課スルコトナカルヘシ又兩締盟國ノ一方ノ領土若ハ所屬地ヨリ他ノ一方ノ領土若ハ所屬地ヘ向ケ輸出スル物品ニ就テハ歐羅巴諸國又ハ亞米利加合衆國ヘ向ケ輸出スル同種ノ物品ニ對シ現ニ賦課シ若ハ將來賦課スヘキ稅ニ異ナルカ又ハ之ヨリ多額ノ稅金又ハ雜費ヲ賦課スルコトナカルヘシ

第六條

通過、倉入、奬勵金、便宜、稅金拂戻、再輸出竝ニ通過稅等ノ諸事項ニ就テハ兩締盟國ノ一方ノ臣民若ハ人民、商品及船舶ハ他ノ一方ノ領土若ハ所屬地ニ於テ總テ歐羅巴諸國又ハ亞米利加合衆國ノ臣民、人民、商品及船舶ニ對スル待遇ト同樣ノ待遇ヲ享受スヘシ

第七條

政府、官吏、公吏、一私人、會社若ハ何等施設ノ名義ヲ以テ又ハ其ノ利益ノ爲ニ課セラルル所ノ噸稅、燈臺稅、港稅、水先案內料、檢疫費、雜

破船救助料其ノ他之ト同種ノ諸稅、諸費ニ就テハ其ノ性質若ハ名稱ノ如何ニ拘ハラス亞爾然丁共和國ノ船舶ハ日本國ノ各海港、河川又ハ海峽ニ於テ又日本國ノ船舶ハ亞爾然丁國ノ各海港、河川又ハ海峽ニ於ケル厥羅巴諸國又ハ亞米利加合衆國ノ船舶ニ現ニ賦課シ又ハ將來賦課スヘキ諸稅、諸費ニ異ナルカ又ハ之ヨリ多額ノモノヲ課セラルルコトナカルヘシ

第八條

兩締盟國ノ沿海貿易ハ本條約ニ於テ規定スルノ限ニ在ラス日本國及亞爾然丁國ノ法律ヲ以テ各自ニ之ヲ規定スヘキモノトス

第九條

本條約ニ於テハ日本國ノ法令ニ從ヒ日本國船舶ト看做サルヘキ一切ノ船舶ヲ日本國船舶ト認メ亞爾然丁國ノ法令ニ從ヒ亞爾然丁國船舶ト看做サルヘキ一切ノ船舶ヲ亞爾然丁國船舶ト認ムヘシ

第十條

日本國若ハ其ノ領海ニ來ル亞爾然丁共和國ノ人民及船舶ハ日本國若ハ其ノ領海ニ在ル間ハ日本國ノ法律及日本皇帝陛下ノ裁判所ノ管轄ニ服從スヘシ又亞爾然丁國若ハ其ノ領海ニ到ル日本國ノ臣民及船舶ハ亞爾然丁國若ハ其ノ領海ニ在ル間ハ同シク亞爾然丁國ノ法律及裁判管轄權ニ服從スヘシ但シ本條ノ規定ハ兩締盟國ノ一方ノ海港若ハ領海ニ在ル他ノ一方ノ船舶內ニ於ケル規律ニノミ關スル事項ニ之ヲ及ホスコトナカルヘシ

第十一條

兩締盟國ノ一方ノ臣民若ハ人民ハ相互ニ他ノ一方ノ領土及所屬地ニ於テ其ノ身體及財產ニ對シ內國臣民若ハ人民ニ許與セラレタルト同樣ナル完全ノ保護ヲ享受シ其ノ正當ノ權利ヲ執行シ及訪護セムカ爲メ自由ニ裁判所ニ到ルコトヲ得ヘク且裁判所ニ於テハ內國臣民若ハ人民ト同樣ニ訴訟代理人、辯護人及代人ヲ使用スルノ自由ヲ有スヘシ

又該臣民若ハ人民ハ良心ニ關シ完全ナル自由竝ニ現行法令ニ從テ公私ノ禮拜ヲ行フノ權利ヲ有シ且特ニ便宜ノ場所ニ設置保存セラルル所ノ埋葬地ニ於テ同シク現行法令ニ從ヒ其ノ宗教上ノ慣習ニ依リ自國人ヲ埋葬スルノ權利ヲモ享有スヘシ

第十二條

兵員宿泊ノ義務、陸海軍ノ强迫兵役、徵發竝ニ軍事上ノ賦金及强募公債ニ就テハ兩締盟國ノ一方ノ臣民或ハ人民ハ他ノ一方ノ領土及所屬地ニ於テ厥羅巴諸國又ハ亞米利加合衆國ノ臣民若ハ人民ニ現ニ許與シ又ハ將來許與スルコトアルヘキ特權及免除ヲ同シク享有スヘシ

第十三條

本條約ハ其ノ批准書交換後直ニ實行シ而シテ兩締盟國ノ一方ヨリ本條約ヲ廢棄スルノ意ヲ他ノ一方ニ通知セシ日ヨリ滿六箇月ヲ經過スルモノトス

第十四條

本條約ハ日本文、西班牙文竝ニ英文各二通ニ調印スヘシ若シ日本文ト西班牙文ト相違ヒタルコトアリタル場合ニハ英文ニ依テ之ヲ決スヘシ而シテ英文ノ雙方ニ對シ效力ヲ有スルモノトス

第十五條

本條約ハ兩締盟國ニ於テ可成速ニ之ヲ批准シ華盛頓府ニ於テ其ノ批准書ヲ交換スヘシ右證據トシテ雙方ノ全權委員ハ本條約書ニ記名調印スルモノナリ

明治三十一年卽西曆千八百九十八年二月三日華盛頓府ニ於テ六通ヲ作ル

星

享印

エム、ガーシヤ、メルー印

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐ミタル日本國皇帝（御名）此書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

駛明治三十一年二月三日華盛頓ニ於テ日亞兩國全權委員ノ記名調印シタル條交通商航海條約ノ各條目ヲ親シク閱覽點檢シタルニ善ク駛意ニ適シ間然スル所ナキヲ以テ右條約ヲ嘉納批准ス

神武天皇卽位紀元二千五百六十一年卽治三十四年七月十八日東京宮城ニ於テ親カラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名　國璽

外務大臣　曾禰荒助　印

第三款　埃地利國

●日埃兩國間通商、關稅及航海ニ關スル事項ニ付相互ニ最惠國待遇ヲ許與スルノ件ニ關シ公文交換

大正十二年十月九日　外務省告示第三十八號

日埃兩國間通商、關稅及航海ニ關スル事項ニ付相互ニ最惠國待遇ヲ許與スルノ件ニ關シ大正十二年十月二日維納ニ於テ埃地利國駐劄日本國特命全權公使ト埃地利國外務大臣トノ間ニ左ノ通公文ノ交換ヲ了セリ

在埃國帝國公使往翰

日本國政府及埃地利共和國政府ハ相互的ノ通商關係ヲ規定スルコトニ同意セルヲ以テ日本國特命全權公使タル下名ハ日本帝國政府カ次ノ協定ニ同意スル旨本件ニ關スル正當ナル委任ヲ受ケタルヲ埃地利共和國外務大臣閣下ニ通知スルノ光榮ヲ有ス

一　日本國政府及埃地利共和國政府ハ通商、關稅及航海ニ關スル事項ニ付相互ニ最惠國待遇ヲ許與スヘキコトヲ約ス

本取極ハ本公文ノ日附ヨリ八日後ニ效力ヲ發生スヘシ本取極實施後六月ノ期間滿了後ニ於テハ兩國政府ハ三月ノ豫告ヲ以テ本取極ノ廢棄ヲ聲明スルコトヲ得

下名ハ玆ニ重テ埃地利共和國外務大臣閣下ニ向テ敬意ヲ表ス

千九百二十三年十月二日維納ニ於テ

埃地利共和國外務大臣

アルフレツド、グルンベルゲル閣下

在埃國帝國公使寇來翰

埃地利共和國政府及日本國政府ハ相互的通商關係ヲ規定スルコトニ同意セルヲ以テ埃地利共和國外務大臣タル下名ハ埃地利共和國政府カ次ノ協定ニ同意スル旨本件ニ關スル正當ナル委任ヲ受ケタルヲ以テ日本國特命全權公使閣下ニ通知スルノ光榮ヲ有ス

一　日本國政府ハ兩締盟國ニ於テ可成速ニ之ヲ批准シ華盛頓府ニ於テ其ノ批准書ヲ交換スヘシ右證據トシテ雙方ノ全權委員ハ本條約書ニ記名調印スルモノナリ

明治三十一年卽西曆千八百九十八年二月三日華盛頓府ニ於テ六通ヲ作ル

星

享印

エム、ガーシヤ、メルー印

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐ミタル日本國皇帝（御名）此書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

駛明治三十一年二月三日華盛頓ニ於テ日亞兩國全權委員ノ記名調印シタル條交通商航海條約ノ各條目ヲ親シク閱覽點檢シタルニ善ク駛意ニ適シ間然スル所ナキヲ以テ右條約ヲ嘉納批准ス

神武天皇卽位紀元二千五百六十一年卽治三十四年七月十八日東京宮城ニ於テ親カラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名　國璽

外務大臣　曾禰荒助　印

第三款　埃地利國

●日埃兩國間通商、關稅及航海ニ關スル事項ニ付相互ニ最惠國待遇ヲ許與スルノ件ニ關シ公文交換

大正十二年十月九日　外務省告示第三十八號

日埃兩國間通商、關稅及航海ニ關スル事項ニ付相互ニ最惠國待遇ヲ許與スルノ件ニ關シ大正十二年十月二日維納ニ於テ埃地利國駐劄日本國特命全權公使ト埃地利國外務大臣トノ間ニ左ノ通公文ノ交換ヲ了セリ

在埃國帝國公使往翰

日本國政府及埃地利共和國政府ハ相互的ノ通商關係ヲ規定スルコトニ同意セルヲ以テ日本國特命全權公使タル下名ハ日本帝國政府カ次ノ協定ニ同意スル旨本件ニ關スル正當ナル委任ヲ受ケタルヲ埃地利共和國外務大臣閣下ニ通知スルノ光榮ヲ有ス

一　日本國政府及埃地利共和國政府ハ通商、關稅及航海ニ關スル事項ニ付相互ニ最惠國待遇ヲ許與スヘキコトヲ約ス

本取極ハ本公文ノ日附ヨリ八日後ニ效力ヲ發生スヘシ本取極實施後六月ノ期間滿了後ニ於テハ兩國政府ハ三月ノ豫告ヲ以テ本取極ノ廢棄ヲ聲明スルコトヲ得

下名ハ玆ニ重テ埃地利共和國外務大臣閣下ニ向テ敬意ヲ表ス

千九百二十三年十月二日維納ニ於テ

埃地利共和國外務大臣

アルフレツド、グルンベルゲル閣下

在埃國帝國公使寇來翰

埃地利共和國政府及日本國政府ハ相互的通商關係ヲ規定スルコトニ同意セルヲ以テ埃地利共和國外務大臣タル下名ハ本件ニ關スル正當ナル委任ヲ受ケタルヲ以テ日本國特命全權公使閣下ニ通知スルノ光榮ヲ有ス

一　日本國政府ハ兩締盟國ニ於テ可成速ニ之ヲ批准シ華盛頓府ニ於テ其ノ批准書ヲ交換スヘシ右證據トシテ雙方ノ全權委員ハ本條約書ニ記名調印スルモノナリ

明治三十一年卽西曆千八百九十八年二月三日華盛頓府ニ於テ六通ヲ作ル

星

享印

エム、ガーシヤ、メルー印

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐ミタル日本國皇帝（御名）此書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

駛明治三十一年二月三日華盛頓ニ於テ日亞兩國全權委員ノ記名調印シタル條交通商航海條約ノ各條目ヲ親シク閱覽點檢シタルニ善ク駛意ニ適シ間然スル所ナキヲ以テ右條約ヲ嘉納批准ス

神武天皇卽位紀元二千五百六十一年卽治三十四年七月十八日東京宮城ニ於テ親カラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名　國璽

外務大臣　曾禰荒助　印

第三款　埃地利國

●日埃兩國間通商、關稅及航海ニ關スル事項ニ付相互ニ最惠國待遇ヲ許與スルノ件ニ關シ公文交換

大正十二年十月九日　外務省告示第三十八號

日埃兩國間通商、關稅及航海ニ關スル事項ニ付相互ニ最惠國待遇ヲ許與スルノ件ニ關シ大正十二年十月二日維納ニ於テ埃地利國駐劄日本國特命全權公使ト埃地利國外務大臣トノ間ニ左ノ通公文ノ交換ヲ了セリ

在埃國帝國公使往翰

日本國政府及埃地利共和國政府ハ相互的ノ通商關係ヲ規定スルコトニ同意セルヲ以テ日本國特命全權公使タル下名ハ日本帝國政府カ次ノ協定ニ同意スル旨本件ニ關スル正當ナル委任ヲ受ケタルヲ埃地利共和國外務大臣閣下ニ通知スルノ光榮ヲ有ス

一　日本國政府及埃地利共和國政府ハ通商、關稅及航海ニ關スル事項ニ付相互ニ最惠國待遇ヲ許與スヘキコトヲ約ス

本取極ハ本公文ノ日附ヨリ八日後ニ效力ヲ發生スヘシ本取極實施後六月ノ期間滿了後ニ於テハ兩國政府ハ三月ノ豫告ヲ以テ本取極ノ廢棄ヲ聲明スルコトヲ得

下名ハ玆ニ重テ埃地利共和國外務大臣閣下ニ向テ敬意ヲ表ス

千九百二十三年十月二日維納ニ於テ

埃地利共和國外務大臣

アルフレツド、グルンベルゲル閣下

在埃國帝國公使寇來翰

埃地利共和國政府及日本國政府ハ相互的通商關係ヲ規定スルコトニ同意セルヲ以テ埃地利共和國外務大臣タル下名ハ本件ニ關スル正當ナル委任ヲ受ケタルヲ以テ日本國特命全權公使閣下ニ通知スルノ光榮ヲ有ス

一　日埃兩國間入國滯在、生業、職業、產業及內國稅等ニ關シ相互的待遇ヲ約スル追加公文交換

大正十四年十月六日　外務省告示第七十八號

日埃兩國間通商、關稅及航海ニ關スル事項ヲ律スル爲大正十二年十月二日附公文交換ニ依リ相互ニ最惠國待遇ノ許與ヲ約スル暫定取極ヲ締結シタルコト同月九日附外務省告示第三十八號ノ通ナル處產業生業等ニ關スル事項ニ付テハ對埃平和條約第二百二十八條アリシモ其ノ效力本年七月十五日限リ消滅シタルヲ以テ不取敢入國滯在及右平和條約第二百二十八條ノ內容トスル事項卽チ生業、職業、產業及內國稅等ニ關シ相互的待遇ヲ約スル爲今般維納ニ於テ埃地利國駐劄日本國特命全權公使ト埃地利國外務大臣トノ間ニ前記大正十二年十月二日附交換公文ニ追加シテ左ノ如ク公文ノ交換ヲ了セリ

在埃國帝國公使ヨリ埃國外務大臣宛往翰

日本國特命全權公使タル下名ハ本件ニ關スル正當ナル委任ヲ受ケ日本帝國政府カ次ノ協定ニ同意スル旨ヲ埃地利共和國外務大臣閣下ニ通知スルノ光榮ヲ有ス

一　次ノ括弧內ノ字句卽チ（竝入國及滯在

ノ自由、生業、職業、商業及產業ニ從事スルコト）ハ千九百二十三年十月二日日本國及埃地利國間ニ交換セラレタル公文中ノ第一號ノ「通商、關稅及航海」ノ字句ノ下ニ、又（又直接又ハ間接ノ課金、手數料及租稅ニ關スル事項ニ付相互ニ內國待遇ヲ）ハ同公文中ノ第一號ノ「最惠國待遇ヲ」ノ字句ノ下ニ加ヘラルヘシ

二　本追加協定ハ本公文ノ日附ヨリ八日後ニ效力ヲ發生スヘシ

下名ハ玆ニ重テ埃地利共和國外務大臣閣下ニ向テ敬意ヲ表ス

千九百二十五年十月三日維納ニ於テ

埃國外務大臣ヨリ在埃帝國公使宛復翰

埃地利共和國外務大臣タル下名ハ本件ニ關スル正當ナル委任ヲ受ケ埃地利共和國政府カ次ノ協定ニ同意スル旨ヲ日本國特命全權公使閣下ニ通知スルノ光榮ヲ有ス

一　次ノ括弧內ノ字句卽チ（竝入國及滯在ノ自由、生業、職業、商業及產業ニ從事スルコト）ハ千九百二十三年十月二日日本國及埃地利國間ニ交換セラレタル公文中ノ第一號ノ「通商、關稅及航海」ノ字句ノ下ニ、次ノ括弧內ノ字句卽チ（又直接又ハ間接ノ課金、手數料及租稅ニ關スル事項ニ付相互ニ內國待遇ヲ）ハ同公文中ノ第一號ノ「最惠國待遇ヲ」ノ字句ノ下ニ加ヘラルヘシ

二　本追加協定ハ本公文ノ日附ヨリ八日後ニ效力ヲ發生スヘシ

下名ハ玆ニ重テ埃地利共和國外務大臣閣下ニ向テ敬意ヲ表ス

千九百二十五年十月三日維納ニ於テ

●日本國埃地利國間ニ旅券ノ查證相互廢止ニ關スル協定

第四款　白耳義國

●日本國白耳義國間通商航海條約

大正十四年六月三日　條約第七號

今般日本國ト埃地利國トノ間ニ旅券ノ查證相互廢止ニ關スル協議成立シ各其ノ一方ノ國民ノ有效ナル旅券ヲ有スルノミニテ之ニ查證ヲ要セズシテ對手國（日本國ノ各殖民地ヲ含ム）ニ出入シ得ルコトトナリ右ハ昭和三年九月一日ヨリ實行セラルルコトトナリタリ但シ右協議ハ兩國共國境ノ一時的閉鎖、好マシカラザル人物ノ入國不許可、警察署ヘノ屆出、外國人ノ滯在、追放竝ニ外國勞働者ノ過度ノ流入ニ對スル內國勞働者ノ保護ニ關スル國內法規ノ適用ニ影響ヲ及ホスコトナシ

第四款　白耳義國

●日本國白耳義國間通商航海條約

昭和三年七月十三日　外務省告示第七十號

日本國皇帝陛下竝白耳義國皇帝陛下（以下、ロルドル、ド、レオポール「ブラントフィシエ、ド、ロルドル、ド、レオポール」勳一等旭日大綬章「ポール、イーマンス」

因テ各全權委員ハ互ニ其ノ全權委任狀ヲ示シ之カ良好妥當ナルヲ認メタル後左ノ諸條ヲ協定セリ

第一條

締約國ノ一方ノ國民ハ他ノ一方ノ領域內ノ各地ニ到リ又滯在スルコトニ付完全ナル自由ヲ有スヘク而シテ其ノ國ノ法令ニ遵由スルニ於テハ

一　旅行及居住、修學及研究、生業及職業ヲ營ムコト竝產業及製造業ヲ行フコトニ關シ一切ノ點ニ付最惠國ノ國民ト同一ノ地歩ニ置カルヘシ

二　適法ナル商業ノ目的物ニシテ公安ノ理由ニ基キ且別國ノ國民ニ均シク適用セラルル特別規則ニ服セサル一切ノ物品ヲ取引スルノ權利ヲ內國人ト均シク有スヘシ

三　必要ナルコトアルヘキ家屋、製造所、倉庫、店舖及場所ヲ所有シ又ハ賃借シテ之ヲ使用スルコトヲ得ヘク又居住スル爲又ハ商業、產業、製造業若ハ其ノ他ノ適法ナル目的ヲ以テ使用スル爲土地ヲ賃借スルコトヲ得ヘク又最惠國ノ國民ト同一ノ地歩ニ於テ各種ノ動產又ハ不動產ヲ取得シ又占有スルコトヲ得ヘシ尤モ其ノ國ノ法令又ハ特別ノ協定ニ依リ相互條件ヲ規定スルトキハ右相互條件ニ從フヘキモノトス內國人ニ對シ制定セラレ又ハ制定セラルルコトアルヘキ所ト同一ノ條件ニ依リ寶買、交換、贈與、婚姻、遺言又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ右財產ヲ處分スルコトヲ得ヘシ又其ノ財產ノ賣得金及其ノ財產一般ヲ其ノ國ノ法令ニ從ヒテ自由ニ輸出スルコトヲ得ヘク外國人タルノ故ヲ以テ同樣ノ場合ニ內國人ニ課セラルル所ト異ルカ又ハ之ヨリ高キ稅金ヲ課セラルルコトナカルヘシ

四　其ノ身體及財產ニ對シテ恒常完全ナル保護及保障ヲ享有スヘシ其ノ權利ノ主張及擁護ノ爲自由且容易ニ裁判所ニ申出ツルコトヲ得ヘシ但國及其ノ機關ニ對スル請求ヲ裁判所又ハ其ノ他ノ權限アル官憲ニ於テ主張スルコトヲ得ヘシ

五　陸軍、海軍又ハ空軍、護國軍又ハ民兵ノ何レタルヲ問ハス一切ノ强制兵役ヲ免レ且服役ノ代トシテ課セラルル一切ノ貢納ヲ免ルヘシ又一切ノ强募公債ヲ免ルヘシ平時タルト戰時タルトヲ問ハス軍事上ノ賦課及徵發ニシテ內國人ニ課セラルルモノノ外之ヲ强要セラルルコトナカルヘク且各國ノ現行法令ニ依リ內國人ノ爲ニ定メラレタル補償ヲ受クルノ權利ヲ相互ニ有スヘシ右ノ事項ニ付締約國ノ一方ノ國民ハ他ノ一方ノ領域內ニ於テ最惠國ノ國民ニ與ヘラレ又ハ與ヘラルルコトアルヘキ所ニ比シ不利益ナル待遇ヲ與ヘラルルコトナカルヘシ

六　最惠國ノ國民ニ課セラレ又ハ課セラルルコトアルヘキ所ト異ルカ又ハ之ヨリ高キ課金、租稅、手數料又ハ貨納ハ其ノ性質ノ如何ニ拘ラス徵收セラルルコトナカルヘシ

第二條

締約國ノ一方ノ國民カ他ノ一方ノ領域內ニ於テ有スル家宅、倉庫、製造所及店舖竝之ニ附屬スル一切ノ場所ニシテ適法ノ目的ニ使用セラルルモノハ之ヲ侵スヘカラス內國人ニ對シ法令ヲ以テ定メル條件及方式ニ依ルノ外之カ臨檢搜索ヲ爲シ又ハ帳簿、書類若ハ計算書ノ檢查點閱ヲ爲スコトヲ得ス

第三條

白耳義國若ハ「ルクセンブルグ」國ニ於ケル日

本國民又ハ日本國ニ於ケル白耳義國民若ハ「ルクセンブルク」國民ノ死亡シタル場合ニ於テハ權限アル地方官憲ハ直ニ右死亡者所屬國ノ最近地ノ總領事、領事、副領事又ハ領事事務官ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス右領事官カ先ツ死亡ノ旨ヲ知リタルトキハ右領事官モ亦之ヲ地方官憲ニ通知スルコトヲ要ス

權限アル地方官憲ハ死亡證明書ノ適當ナル形式ノ謄本ヲ無料ニテ交付シ以テ右通知ヲ補完スヘシ

相續人ノ無能力若ハ不在又ハ遺言執行者ノ不在ノ場合ニ於テハ領事官ハ權限アル地方官憲ト共同シ夫々其ノ國ノ法令ニ從ヒ相續財產ノ保存、管理及決濟ニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲シ又相續人ノ利益ヲ保全スルニ必要ナル一切ノ措置ヲ執ルノ權利ヲ有スヘシ但シ爭議ノ生シタル場合ニ於テハ右爭議ハ相續カ開始セラルル國ノ權限アル裁判所ニ依リ裁判セラルルコトヲ要ス

締約國ノ一方ノ國民ニシテ他ノ一方ノ領域內ニ財產ヲ所有スル者カ右領域外ニ於テ死亡シ右財產所在地ニ相續財產ヲ收受管理スルノ權利ヲ有スル者在ラサルトキハ亦前記ノ規定ヲ準用ス

第四條

締約國ノ領域ノ間ニハ通商及航海ノ完全ナル自由アルヘシ締約國ノ一方ノ國民ハ外國通商ノ爲ニ開カレ又ハ開カルルコトアルヘキ他ノ一方ノ領域內ノ場所、港及河川ニ船舶及貨物ヲ以テ到ルノ完全ナル自由ヲ最惠國ノ國民ト均シク有スヘク到達國ノ法令ニ常ニ遵由スルニ於テハ通商及航海ニ關スル事項ニ付內國人ノ享有シ又ハ享有スルコトアルヘキ所ト同一ノ權利、恩典、自由、特典及免除ヲ享有スヘシ

第五條

締約國ノ一方ノ領域ノ天產物又ハ製造品タル物品ハ他ノ一方ノ領域內ニ輸入セラルルニ當リ別國ノ原產ニ係ル同樣ノ物品ニ適用セラルル最低率ノ關稅ノ利益ヲ享有スヘシ

締約國ノ一方ハ他ノ一方ノ領域ニ仕向ケラルル物品ノ輸出ニ當リ別國ニ仕向ケラルル同樣ノ物品ノ輸出ニ當リ課シ又ハ課スルコトアルヘキ所ト異ルカ又ハ之ヨリ高キ稅金又ハ課金ヲ課スルコトナカルヘシ

又締約國ノ一方ハ他ノ一方ノ領域ヨリノ物品ノ輸入又ハ右領域ヘノ物品ノ輸出ニ對シテハ同樣ノ物品ノ別國ヨリノ輸入又ハ別國ヘノ輸出ニ對シ均シク適用セラレサル何等ノ禁止又ハ制限ヲ存シ又ハ加フルコトナカルヘシ但シ戰爭ノ爲、奢生上ノ措置トシテ又ハ有用動物若ハ植物ヲ保護スルノ目的ヲ以テ存シ又ハ加フル禁止又ハ制限ハ此ノ限ニ在ラス

第六條

締約國ノ一方ノ領域ノ天產物又ハ製造品タル物品ニシテ他ノ一方ノ領域ヲ通過シ又ハ通過シテ他ノ一方ノ領域ニ輸入セラルルモノハ內國ノ原產ニ係ル同樣ノ物品ニ對シ課シ又ハ課スルコトアルヘキ所ト異ルカ又ハ之ヨリ高キ入市稅、移送稅、庫入稅又ハ消費稅ヲ國、地方、市町村、營造物又ハ何等カノ關聯ノ名義及計算ニ於テ徵收セラルルヲ問ハス課セラルルコトナカルヘシ

締約國ノ一方ノ領域ノ天產物又ハ製造品タル物品ニシテ他ノ一方ノ領域ヲ通過スルモノハ直通スル場合ニ於テモ又ハ通過中荷卸、庫入及更ニ荷積セラルルコトヲ要スル場合ニ於テモ相互ニ一切ノ通過稅ヲ免除セラルヘシ

第七條

締約國ハ原產地證明書ヲ提出スルノ義務ヲ一般ニ免除スルコトヲ約ス尤モ締約國ノ一方ノ領域內ニ輸入セラルルニ當リ或輸入品ニ對シ異リタル關稅アルトキハ他ノ一方ノ領域ヨリ來ル物品ヲシテ最低稅率ノ利益ヲ受ケシムル爲例外トシテ原產地證明書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第八條

締約國ノ一方ノ國民タル商工業者ハ他ノ一方ノ領域內ニ於テ自ラ行フト旅商ニ依リテ行フトヲ問ハス見本ヲ携帶シ又ハ携帶セシメテ買入ヲ爲シ又ハ注文ヲ取集ムルコトヲ得右商工業者及其ノ旅商ハ期ク買入ヲ爲シ又注文ヲ取集ムルニ當リ課稅及便益ニ關シテ最惠國待遇ヲ享有スヘシ

六月ノ期間內ニ返送又ハ再輸出シ且同一品タルコトヲ證明スルノ義務ノ下ニ、財產移轉稅又ハ取引稅ノ保證又ハ供託ヲ爲サシメラルルコトアルヘキ留保ノ下ニ且一般ニ本事項ニ關スル現行ノ規則ニ從フノ義務ノ下ニ左記ノモノニ付入國及出國ニ關スル一切ノ稅金ヲ免除スヘキコトヲ相互ニ約ス

一　關稅ヲ賦課セラルヘキ見本ニシテ旅商ノ手荷物ノ一部ヲ成スモノ

二　稅關官廳ニ依リ公共的性質ヲ有スト認メラレタル博覽會及共進會ノ爲ノ物品

第九條

商業、產業及金融業ニ關スル會社及組合（保險會社ヲ含ム）ニシテ締約國ノ一方ノ法令ニ從ヒ設立セラレ又ハ設立セラルルコトアルヘク且右ノ國ノ領域內ニ其ノ住所ヲ有スルモノハ他ノ一方ノ領域內ニ於テ其ノ法令ニ遵由シ其ノ業務ヲ行ヒ又自由且容易ニ裁判所ニ於テ原告又ハ被告トシテ訴訟スルコトヲ得

第十條

締約國ノ一方ノ國旗ヲ掲クル船舶ニシテ他ノ一方ノ領水及港ニ入ルモノハ空船タルト又ハ荷積セラレタルモノナルトヲ問ハス又右領水及港ヨリ出ツルモノハ其ノ出入及通過ニ當リ內國船舶ニ現ニ課セラレ又ハ將來課セラルルコトアルヘキ所ト異ルカ又ハ之ヨリ高キ稅金又ハ手數料ヲ其ノ名稱ノ如何ニ拘ラス國、地方、市町村、營造物又ハ何等カノ團體ノ名義及計算ニ於テ出發地及到達地ノ如何ニ拘ラス徵收セラルルコトナカルヘシ其ノ貨物ハ發送地ノ如何ヲ問ハス內國船舶ニ依リ輸入セラレタルトキヨリ異リ若ハ高キ關稅ヲ支拂ヒ又ハ異ル課金ヲ課セラルルコトナカルヘク締約國ノ一方ノ港ニ內國船舶ヲ以テ適法ニ輸入セラレ又ハ輸入セラルルコトアルヘキ一切ノ物品ハ右港ニ他ノ一方ノ船舶ヲ以テ亦均シク輸入スルコトヲ得ヘシ右船舶ノ旅客及其ノ手荷物モ右旅客カ內國船舶ニ依リ旅行スル場合ト同樣ニ取扱ハルヘシ

港、碇泊所及「ピーズン」ニ於ケル船舶ノ繫留、荷積及荷卸ニ關シテハ且一般ニ商船、其ノ乘組員及貨物ニ適用セラルヘキ一切ノ手續及規定ニ付テハ締約國ノ宣言ハ此ノ關係ニ於テモ亦其ノ船舶カ完全ナル均等ノ地歩ニ於テ待遇セラルルニ在ルヲ以テ他ノ一方ノ船舶ニ對シ許與セラレサル何等ノ特權又ハ恩典ヲ內國船舶ニ許與セサルコトヲ約ス

締約國ノ一方ノ國旗ヲ掲ケ航行スル船舶ニシテ其ノ所屬國ノ法令ノ要求スル船舶證書及書類ヲ有スルモノハ別ニ他ノ證明ヲ爲スコトナク他ノ一方ノ領水、內水及港ニ於テ當然前記ノ國ノ國籍ヲ有スルモノト認メラルヘシ

第十一條

締約國ノ一方ノ國旗ヲ掲ケ其ノ定期郵便事務ニ當ル船舶ハ國有タルト右目的ノ爲國ヨリ補助金ヲ受クルモノタルトヲ問ハス最惠國ノ同樣ノ船舶ニ許與セラルル所ト同一ノ便益、特權及免除ヲ他ノ一方ノ領水內ニ於テ享有スヘシ

第十二條

沿岸貿易ハ本條約ノ規定ヨリ除外セラルヘク右制度ハ各締約國ノ法令ニ依リ夫々律セラルル

尤モ締約國ノ船舶ハ此ノ關係ニ於テ別國ノ船舶ニ許與セラレ又ハ許與セラルルコトアルヘキ地方官憲ニ付請求アリタルトキハ地方官憲ハ法令ノ範圍內ニ於テ之カ爲其ノ權限內ニ在ル一切ノ援助ヲ與フルコトヲ要ス之カ爲要シタル費用ハ右領事官ニ依リ償還セラルヘシ

右船員カ罪ヲ犯シタルトキハ其ノ引渡ハ右犯罪ノ審理ニ付權利ヲ有スル裁判所カ判決ヲ爲シ且右判決カ執行セラルルニ至ル迄延期セラルヘシ

第十九條

本條約ノ規定ハ締約國ノ一方又ハ他方ニ屬シ又ハ其ノ管治スル一切ノ地域ニ適用セラルヘシ但シ締約國ヲ拘束シ又ハ拘束スルコトアルヘキ國際條約ノ規定ヲ留保ス

第二十條

本條約ハ批准セラルヘク其ノ批准書ハ成ルヘク速ニ「ブラッセル」ニ於テ交換セラルヘシ

本條約ハ批准書交換後二月ニシテ實施セラルヘシ

本條約ハ五年間其ノ效力ヲ有ス但シ本條約ハ右期間滿了ノ際廢棄セラレサルトキハ暗默ノ更新ニ依リ無期限ニ延長セラルヘク且何時ニテモ廢棄セラレ得ヘシ

廢棄ノ場合ニハ本條約ハ締約國ノ一方カ本條約ノ效力ヲ消滅セシムルノ意思ヲ他ノ一方ニ通告スルコトアルヘキ日ヨリ六月ノ期間尙效力ヲ有スヘシ

第五條ノ規定ニ關シテハ右規定ハ本條約實施ノ日ヨリ一年ノ期間滿了ノ上ハ締約國ノ一方ニ依リ何時ニテモ廢棄セラルルコトヲ得ヘシ此ノ場合ニ於テハ右ノ規定ハ其ノ廢棄後六月ヲ經テ效力ヲ失フヘシ

右證據トシテ各全權委員ハ本條約ニ署名調印セリ

千九百二十四年六月二十七日「ブラッセル」ニ於テ本書二通ヲ作ル

安達峰一郎（印）
イーマンス（印）

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕大正十三年六月二十七日「ブラッセル」ニ於テ帝國全權委員カ白耳義國全權委員ト共ニ署名調印シタル日本國白耳義國間通商航海條約ヲ閱覽點檢シ之ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百八十五年大正十四年三月二十五日東京宮城ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名　國璽

攝政名

外務大臣　男爵幣原喜重郎

附屬議定書

日本國及白耳義國「ルクセンブルク」國經濟同盟間ニ締結セラレタル通商航海條約ノ署名ヲ爲スニ當リ下名ノ全權委員ハ左ノ宣言ヲ爲セリ本宣言ハ本條約ノ一部ヲ成スヘキモノトス

第五條第一項ニ關シ締約國ノ一方ノ商品ニシテ通シ船荷證券ヲ有シ且中間ノ一港ニ於テ積換又ハ庫入セラレタルモノハ右作業ノ行ハレタル港カ他ノ一方ノ領域內ニ於テ同樣ノ商品ニ付最惠國待遇ヲ享有スル國ニ在ル場合ニ於テハ右締約國ヨリ直ニ輸入セラレタルモノト看做サルヘキモノトス

現ニ最惠國待遇ヲ享有スル一國ニ對シ白耳義國カ差別的稅率ヲ適用スルコトアルヘキ場合ニ於テハ白耳義國ハ日本國ノ利益ヲ保全スル方法ヲ發見スル爲日本國ト協議ヲ爲スヘキコトヲ今ヨリ約ス右協議カ三月ノ期間內ニ調ハサルトキハ日本國ハ第二十條末項ニ拘ラス何時ニテモ本條約第五條ヲ廢棄スルノ權利ヲ有スヘシ右廢棄ハ其ノ通告後三月ニシテ其ノ效力ヲ生スヘシ

キ權利及利益ヲ享有スヘキモノトス但シ第三國ニ許與セラレタル殊遇カ無償ナルトキハ無償ニテ又該國ニ對シ相互ノ又ハ有償ノ條件カ定メラレタルトキハ同樣ノ條件ノ下ニ享有スヘキモノトス

締約國ノ一方ノ船舶ニシテ他ノ一方ノ領域內ノ二以上ノ輸入港ヘ仕向ケラレタル載貨ヲ外國ニ於テ積載シタルモノハ一ノ港ニ於テ其ノ載貨ノ一部ヲ荷卸シ且其ノ載貨ノ殘部ヲ荷卸スル爲仕向地タル他ノ一港又ハ數港ニ續航スルコトヲ得但シ常ニ到達國ノ法令、稅率及稅關規則ニ從フヘキモノトス又同樣ニ且同一ノ制限ニ依リ締約國ノ一方ノ船舶ハ他ノ一方ノ數港ニ於テ外國ニ向フ同一ノ航海中ニ荷積スルコトヲ得ヘシ

第十三條

難破、海上損害又ハ不可抗力ニ因ル寄港ノ場合ニ於テ締約國ノ一方ノ他ノ一方ノ船舶ニ對シ右船舶カ國ニ屬スルモノタルト個人ニ屬スルモノタルトヲ問ハス同樣ノ場合ニ內國船舶ニ許與セラルルト同一ノ援助、保護及免除ヲ許與スルコトヲ要ス右船舶ヨリ救上ケラレタル物品ハ一切ノ關稅ヲ免除セラルヘシ但シ內地ノ消費ニ供セラルル場合ニハ成規ノ關稅ヲ納付スヘシ

第十四條

本條約カ明ニ別段ノ定ヲ爲ス場合ノ外締約國ハ通商、航海及產業ニ關スル一切ノ事項ニ付其ノ一方カ別國ノ國民ニ對シ現ニ許與シ又ハ將來許與スルコトアルヘキ一切ノ特權、恩典又ハ免除ヲ即時且無條件ニテ他ノ一方ノ國民ニ及ホスコトヲ約ス

第十五條

本條約ノ規定ハ左ノモノニ之ヲ適用セス

一　內國人漁業及之ニ準セラルル漁業

二　締約國ノ一方カ國境貿易ヲ便ナラシムル爲接壤國ニ特ニ許與シ又ハ許與スルコトアル殊遇カ無償ナルトキハ無償ニテ又該國ニ對シ相互ノ又ハ有償ノ條件カ定メラレタルトキハ同樣ノ條件ノ下ニ享有スヘキモノトス但シ第三國ニ許與セラレタル殊遇カ無償ナルトキハ無償ニテ又該國ニ對シ相互ノ又ハ有償ノ條件カ定メラレタルトキハ同樣ノ條件ノ下ニ享有スヘキモノトス

締約國ノ一方ノ船舶ニシテ他ノ一方ノ領域內ノ二以上ノ輸入港ヘ仕向ケラレタル載貨ヲ外國ニ於テ積載シタルモノハ一ノ港ニ於テ其ノ載貨ノ一部ヲ荷卸シ且其ノ載貨ノ殘部ヲ荷卸スル爲仕向地タル他ノ一港又ハ數港ニ續航スルコトヲ得但シ常ニ到達國ノ法令、稅率及稅關規則ニ從フヘキモノトス又同樣ニ且同一ノ制限ニ依リ締約國ノ一方ノ船舶ハ他ノ一方ノ數港ニ於テ外國ニ向フ同一ノ航海中ニ荷積スルコトヲ得ヘシ

第十三條

難破、海上損害又ハ不可抗力ニ因ル寄港ノ場合ニ於テ締約國ノ一方ノ他ノ一方ノ船舶ニ對シ右船舶カ國ニ屬スルモノタルト個人ニ屬スルモノタルトヲ問ハス同樣ノ場合ニ內國船舶ニ許與セラルルト同一ノ援助、保護及免除ヲ許與スルコトヲ要ス右船舶ヨリ救上ケラレタル物品ハ一切ノ關稅ヲ免除セラルヘシ但シ內地ノ消費ニ供セラルル場合ニハ成規ノ關稅ヲ納付スヘシ

第十四條

本條約カ明ニ別段ノ定ヲ爲ス場合ノ外締約國ハ通商、航海及產業ニ關スル一切ノ事項ニ付其ノ一方カ別國ノ國民ニ對シ現ニ許與シ又ハ將來許與スルコトアルヘキ一切ノ特權、恩典又ハ免除ヲ即時且無條件ニテ他ノ一方ノ國民ニ及ホスコトヲ約ス

第十五條

本條約ノ規定ハ左ノモノニ之ヲ適用セス

一　內國人漁業及之ニ準セラルル漁業

二　締約國ノ一方カ國境貿易ヲ便ナラシムル爲接壤國ニ特ニ許與シ又ハ許與スルコトアル殊遇カ無償ナルトキハ無償ニテ又該國ニ對シ相互ノ又ハ有償ノ條件カ定メラレタルトキハ同樣ノ條件ノ下ニ享有スヘキモノトス

トアルヘキ關稅上ノ殊遇

第十六條

締約國ノ一方ノ他ノ一方ノ一切ノ港、都市及場所ニ總領事、領事、副領事及領事事務官ヲ任命スルコトヲ得但シ右領事官ノ駐在ヲ認可スルニ便ナラサル場所ニ付テハ此ノ限ニ在ラス尤モ此ノ制限ハ一切ノ別國ニ對シテモ亦均シク之ヲ加フルニ非サレハ締約國ノ一方ニ對シ之ヲ加フルコトヲ得ス

右總領事、領事、副領事及領事事務官ハ駐在國政府ヨリ認可狀又ハ其ノ他ノ必要ナル證認狀ヲ得ルトキハ其ノ一切ノ職務ヲ執行スルノ權利竝最惠國ノ同一階級ノ領事官ニ許與セラレ又ハ許與セラルルコトアルヘキ一切ノ特權、特典及免除ヲ享有スルノ權利ヲ相互條件ニ依リ有スヘシ認可狀又ハ其ノ他ノ證認狀ヲ發給スル政府ハ其ノ裁量ニ從ヒ之ヲ取消スノ權利ヲ有ス尤モ此ノ場合ニ於テハ斯ク爲シタル旨ヲ附シテ其ノ理由ヲ說明シタル書付ヲ交付スヘシ

第十七條

締約國ノ一方ノ權限アル領事官ハ他ノ一方ノ領域內ニ於テ自國商船ノ秩序ノ維持ヲ專管スヘク又海上又ハ他ノ一方ノ領水及港內ニ於テ船長、職員及船員間ニ生ル紛議ヲ決定及契約ノ履行ニ關シテ生スルコトアルヘキ紛議ヲ處理スルニ付專管スヘシ尤モ他ノ一方ノ領水及港內ニ在ル締約國ノ一方ノ商船內ニ於テ騷擾發生シ其ノ地ノ權限アル官憲カ右領水又ハ陸上ノ安寧又ハ秩序ヲ害シ又ハ害スルノ虞アルヘキモノト認ムル場合ニ於テハ其ノ地ノ官憲之ヲ管轄スヘシ

第十八條

締約國ノ一方ノ國旗ヲ掲クル商船ニシテ他ノ一方ノ領水、港及內水內ニ在ルモノノ船員竝船シ又ハ成規ノ手續ヲ經シテ船舶ヲ去リタル場合ニ於テ該船舶所屬國ノ權限アル領事官ニ於テ本書二通ヲ作ル

安達峰一郎（印）
イーマンス（印）

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕大正十三年六月二十七日「ブラッセル」ニ於テ帝國全權委員カ白耳義國全權委員ト共ニ署名調印シタル日本國白耳義國間通商航海條約ヲ閱覽點檢シ之ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百八十五年大正十四年三月二十五日東京宮城ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名　國璽

攝政名

外務大臣　男爵幣原喜重郎

附屬議定書

日本國及白耳義國「ルクセンブルク」國經濟同盟間ニ締結セラレタル通商航海條約ノ署名ヲ爲スニ當リ下名ノ全權委員ハ左ノ宣言ヲ爲セリ本宣言ハ本條約ノ一部ヲ成スヘキモノトス

第五條第一項ニ關シ締約國ノ一方ノ商品ニシテ通シ船荷證券ヲ有シ且中間ノ一港ニ於テ積換又ハ庫入セラレタルモノハ右作業ノ行ハレタル港カ他ノ一方ノ領域內ニ於テ同樣ノ商品ニ付最惠國待遇ヲ享有スル國ニ在ル場合ニ於テハ右締約國ヨリ直ニ輸入セラレタルモノト看做サルヘキモノトス

現ニ最惠國待遇ヲ享有スル一國ニ對シ白耳義國カ差別的稅率ヲ適用スルコトアルヘキ場合ニ於テハ白耳義國ハ日本國ノ利益ヲ保全スル方法ヲ發見スル爲日本國ト協議ヲ爲スヘキコトヲ今ヨリ約ス右協議カ三月ノ期間內ニ調ハサルトキハ日本國ハ第二十條末項ニ拘ラス何時ニテモ本條約第五條ヲ廢棄スルノ權利ヲ有スヘシ右廢棄ハ其ノ通告後三月ニシテ其ノ效力ヲ生スヘシ

安達峰一郎
イーマンス

（往簡）

委員ノ間ニ條約ノ署名調印ヲ以テ左ノ通公文ノ交換ヲ為シ而シテ右ノ交換ノ日ヨリ日本國白耳義國間ノ全權條約ヲ以テ日本國白耳義國間ノ全權條約ニ代ヘ且日本國白耳義國間ノ通商航海條約ヲ以テ日本國白耳義國間ノ通商航海條約ニ代ヘ且日本國白耳義國間ノ引渡條約ヲ以テ日本國白耳義國間ノ引渡條約ニ代ヘ且日本國白耳義國間ノ領事條約ヲ以テ日本國白耳義國間ノ領事條約ニ代ヘ且日本國白耳義國間ノ商標ニ關スル條約ヲ以テ日本國白耳義國間ノ商標ニ關スル條約ニ代ヘ且日本國白耳義國間ノ著作權ニ關スル條約ヲ以テ日本國白耳義國間ノ著作權ニ關スル條約ニ代ヘ且日本國白耳義國間ノ意匠ニ關スル條約ヲ以テ日本國白耳義國間ノ意匠

件及基礎ニ依ルノ外如何ナル軍用徴發又ハ取立金モ課セラルルコトナカルヘク

七　又何等ノ名義ヲ以テスルモ內國ノ臣民若ハ人民又ハ最惠國ノ臣民若ハ人民カ納付シ又ハ納付スルコトアルヘキ所ト異ナルカ或ハ之ヨリ多額ナル何等ノ租稅、手數料、課金又ハ貢納ヲ徴收セラルルコトナカルヘシ

第三條

兩締約國ノ一方ノ臣民又ハ人民カ他ノ一方ノ版圖內ニ於テ有スル家宅、倉庫、製造所及店舖竝一切ノ附屬構造物ニシテ適法ノ目的ニ使用セラルルモノハ從スヘカラス

右建物又ハ附屬構造物ニ付テハ內國ノ臣民又ハ人民ニ對スル法定ノ條件及方式ニ依ルノ外臨檢捜索ヲ爲シ又ハ帳簿、書類若ハ計算書ヲ檢査點閱スルコトヲ得ス

第四條

兩締約國ノ一方ハ他ノ一方ノ港、都市其ノ他ノ場所ニ總領事、領事、副領事、辨理領事及領事事務官ヲ置クコトヲ得但シ右領事官ノ駐在ヲ認可スルニ便ナラサル場所ニ付テハ此ノ限ニ在ラス尤モ此ノ制限ハ一切ノ他國ニ對シテモ亦均シク之ヲ加フルニ非サレハ一方ノ締約國ニ對シテ之ヲ加フルコトヲ得ス

右總領事、領事、副領事、辨理領事及領事事務官ハ駐在國政府ヨリ認可狀其ノ他相當ノ證認狀ヲ得タルトキハ最惠國ノ同等領事官ニ認許セラレ又ハ今後認許セラルルコトアルヘキ範圍內ニ於テ相互ノ條件ニ依リ職務ヲ執行シ竝特典及免除ヲ享有スルノ權利ヲ有スヘシ認可狀其ノ他ノ證認狀ヲ發給シタル政府ハ其ノ裁量ヲ以テ之ヲ取消スコトヲ得但シ其ノ取消ヲ爲スニ付テハ之ヲ正當ト認メタル理由ヲ通知スヘシ

第五條

兩締約國版圖ノ間ニハ相互ニ通商ノ自由アルヘシ

第六條

兩締約國ノ一方ノ版圖內ノ生產又ハ製造ニ係ル物品ハ他ノ一方ノ版圖內ニ輸入セラルルニ當リ其ノ何レノ地ヨリ到ル間ハス別國ノ製產ニ係ル同樣ノ物品ニ適用セラルル最低率ノ關稅ヲ課セラルヘシ

締約國ノ一方ノ版圖內ノ生產又ハ製造ニ係ル物品ニシテ他ノ一方ノ版圖ニ輸出セラルル同樣ノ物品ニ對シ貿收スル所ト異ナルカ或ハ之ヨリ多額ナル課金ヲ貿收セラルルコトナカルヘシ

又締約國ノ執レノ一方ヨリモ他ノ一方ノ版圖ヨリノ物品ノ輸入又ハ該版圖ヘノ物品ノ輸出ニ對シテハ同樣ノ物品ノ別國ヨリノ輸入又ハ別國ヘノ輸出ニ對シテ均シク適用セラレサルル何等ノ禁止ヲ加フルコトヲ得又假シ衞生上ノ措置トシテ又ハ動物及有用ノ植物ヲ保護スルノ目的ヲ以テ加フル禁止又ハ制限ハ此ノ限ニ在ラス

第七條

兩締約國ノ一方ノ版圖內ノ生產又ハ製造ニ係ル物品ニシテ他ノ一方ノ國法ニ從ヒ其ノ版圖內ヲ通過スルモノハ通過スルト又ハ通過中荷卸及庫入ノ後更ニ荷積セラルルトヲ問ハス互ニ一切ノ通過稅ヲ課セラルルコトナカルヘシ

第八條

兩締約國ノ一方ノ臣民又ハ人民ハ他ノ一方ノ版圖內ニ於テ保稅庫入ニ關スル便益、奬勵金及戻稅ニ關スル一切ノ事項ニ付內國ノ臣民又ハ人民ト全ク均等ナル待遇ヲ享受スヘシ

第九條

國家、地方官廳又ハ自治體ノ利益ノ爲課セラルル內國稅ニシテ兩締約國ノ一方ノ版圖內ニ於ケル物品ノ生產、製造又ハ消費ニ影響シ又ハ影響スルコトアルヘキモノハ何等ノ理由ヲ以テスルモ他ノ一方ノ版圖內ノ生產又ハ製造ニ係ル物品ニ對シ同樣ノ外國品ニ對スルヨリモ多額ナルカ又ハ重キ負擔タルコトヲ得ス

締約國ノ一方ノ版圖內ノ生產又ハ製造ニ係ル物品ニシテ庫入又ハ通過ノ目的ヲ以テ他ノ一方ノ版圖內ニ輸入セラルルモノハ內國稅ヲ課セラルルコトナカルヘシ

第十條

兩締約國ノ一方ノ版圖內ニ住所ヲ有スル商工業又ハ金融業ニ關スル株式會社其ノ他ノ會社及組合ニシテ該國ノ國法ニ從ヒ法律上成立シタルモノハ他ノ一方ノ版圖內ニ於テ法律上成立シタルモノト認メラルヘク且其ノ地ノ國法ニ從ヒ原告又ハ被告トシテ裁判所ニ出頭スルコトヲ得

右會社又ハ組合カ他ノ一方ノ版圖內ニ於テ其ノ營業ニ從事シ又ハ財產ヲ取得シ得ルヤ否ヤ其ノ地ノ國法ニ依リテ定マルヘク而シテ何レノ場合ニ於テモ右會社及組合ハ該版圖內ニ於テ最惠國ノ同種ノ會社及組合ニ許與セラレ又ハ許與セラルルコトアルヘキ所ト同一ノ權利ヲ享有スヘシ

第十一條

本條約ニ於テ別段ノ明文アル場合ヲ除クノ外兩締約國ハ通商及工業ニ關スル一切ノ事項ニ付其ノ一方カ別國ノ臣民又ハ人民ニ現ニ許與シ又ハ今後許與スルコトアルヘキ一切ノ特權、恩典又ハ免除ニシテ若右別國ヘ無償ニテ又若條件ヲ附シテ許與シタルモノナルトキハ無償ニテ又若條件ヲ以テ之ヲ他ノ一方ノ臣民又ハ人民ニ及ホスコトニ同意ス

第十二條

本條約ノ規定ハ締約國ノ一方カ國境貿易ヲ便ナラシメムカ爲接境國ニ許與シ又ハ許與スルコトアルヘキ特殊ノ利益ニシテ別國ニ許與セラレサルモノニハ之ヲ適用セス

第十三條

本條約ハ批准書交換後七日ヲ經テ之ヲ實施シ十年間效力ヲ有ス

右十年ノ期間滿了ノ十二月前ニ兩締約國ノ執レヨリモ本條約ヲ消滅セシムルノ意思ヲ他ノ一方カ右通告ヲ與ヘタル日ヨリ十二月ノ期間ノ滿了ニ至ル迄引續キ效力ヲ有ス

第十四條

本條約ハ兩締約國ニ於テ成ルヘク速ニ之ヲ批准シ其ノ批准書ハ智利國「サンチアゴ」ニ於テ交換スヘシ

右證據トシテ各全權委員本條約ニ署名調印ス

大正三年卽西曆千九百十四年四月十三日「ラ、パズ」ニ於テ本書二通ヲ作ル

日置益印

ホータ、クベルチノ、アルテアガ印

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

玆ニ大正三年四月十三日「ラ、パズ」ニ於テ帝國全權委員カ「ポリヴィア」共和國全權委員ト共ニ署名調印シタル通商條約ヲ閱覽點檢シ之ヲ喜納批准ス

神武天皇卽位紀元二千五百七十五年大正四年二月三日葉山ニ於テ親ラ名ヲ署シ寶ヲ鈐セシム

御名　國寶

外務大臣　男爵加藤高明

（大正五年三月二十二日外務省告示第五號）

大正三年四月十三日「ポリヴィア」國「ラ、パズ」ニ於テ調印セラレタル日本「ポリヴィア」間通商條約ノ批准書ハ本月十五日智利國「サンチアゴ」ニ於テ之カ交換ヲ了セリ因テ該條約ハ其ノ第十三條ノ規定ニ依リ右交換後七日ヲ經テ實施セラルヘシ

第七款　ブルガリア國

●日本國「ブルガリア」國間通商航海ニ關シ相互ニ最惠國待遇ヲ許與スルノ交換公文

（昭和二年十一月九日外務省告示第五十六號）

我國ト「ブルガリア」國ト通商航海關係ハ從來同盟及聯合國ト「ブルガリア」國トノ平和條約中ノ規定ニ依リ律セラレ同國ハ帝國船舶及貨物ニ對シ片務的ニ最惠國待遇又ハ內國民待遇ヲ許與スルコトヲリ居タル處此等ノ規定ハ同條約所定ノ期間滿了ニ依リ既ニ消滅シ爾來兩國間ノ通商航海關係ヲ律スヘキ規定ヲ缺クコトトナリタルヲ以テ兩國政府ハ相互ノ通商及經濟關係ヲ容易ニシ且增進セシメムコトヲ希望シ今般「アンゴラ」ニ於テ兩國代表者間ニ左ノ如キ公文ノ交換ヲ了セリ

來翰譯文

以書翰啓上致候陳者本使ハ日本國政府カ日本國及「ブルガリア」國間ノ通商及經濟關係ヲ容易ニシ且增進セシムルノ目的ヲ以テ「ブルガリア」國ノ生產又ハ製造ニ係ル產品、通商及航海ニ對シ相互ノ條件ニ依リ最惠國待遇ヲ許與スヘキコトヲ閣下ニ通告スルノ光榮ヲ有シ候

右擧明ハ本通告ノ日ノ後十五日ニシテ實施セラルヘク及三月ノ豫告ヲ以テ廢棄シ得ルモノニ有之候

本使ハ玆ニ閣下ニ向テ重テ敬意ヲ表シ候

千九百二十七年十一月一日「アンゴラ」ニ於テ　敎員

土耳其國駐劄「ブルガリア」國特命全權公使　テオドル、パヴロフ

土耳其國駐劄日本國特命全權大使　小幡酉吉閣下

以書翰啓上致候陳者本使ハ日本國政府カ日本國及「ブルガリア」國間ノ通商及經濟關係ヲ容易ニシ且增進セシムルノ目的ヲ以テ「ブルガリア」國ノ生產又ハ製造ニ係ル產品、通商及航海ニ對シ相互ノ條件ニ依リ最惠國待遇ヲ許與スヘキコトヲ閣下ニ通告スルノ光榮ヲ有シ候

右擧明ハ本通告ノ日ノ後十五日ニシテ實施セラルヘク及三月ノ豫告ヲ以テ廢棄シ得ルモノニ有之候

本使ハ玆ニ閣下ニ向テ重テ敬意ヲ表シ候

千九百二十七年十一月一日「アンゴラ」ニ於テ　敎員

土耳其國駐劄「ブルガリア」國特命全權公使　テオドル、パヴロフ

土耳其國駐劄日本國特命全權大使　小幡酉吉閣下

第八款　智利國

●日智修好通商航海條約竝追加條款（明治三十九年十一月六日勅令）

睦明治三十年九月二十五日亞米利加合衆國華盛頓府ニ於テ睦カ全權委員ト智利共和國全權委員ノ記名調印シタル修好通商航海條約竝明治三十二年十月十六日東京ニ於テ睦カ全權委員ト智利共和國全權委員ト記名調印シタル追加條款ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム

（樞密顧問官兼內閣總理大臣兼外務大臣伯爵　桂太郎）

（日本帝國智利共和國修好通商航海條約）

日本國皇帝陛下及智利共和國大統領閣下ハ兩國間竝ニ其ノ臣民及人民間ノ友好通商ノ關係チ永久堅固ノ基礎ニ置クコトチ欲シ修好通商航海條約チ締結スルコトニ決シ之カ爲ニ日本國皇帝陛下ハ亞米利加合衆國政府ノ所在地ニ駐劄スル特命全權公使從四位勳三等星亨チ其ノ全權委員ニ智利共和國大統領閣下ハ亞米利加合衆國政府ノ所在地ニ駐劄スル特命全權公使「ドミンゴー、ガナ」チ其ノ全權委員ニ任命セリ因テ各全權委員ハ互ニ其ノ委任狀チ示シ其ノ良好妥當ナルチ認メ以テ左ノ諸條件チ協議決定セリ

第一條

日本帝國ト智利共和國トノ間竝ニ兩國臣民及人民間ニ永久堅固ノ平和親睦アルヘシ

第二條

日本國皇帝陛下ハ適宜ニ其ノ外交官チ智利共和國政府ノ所在地ニ駐劄セシムルコトチ得智利共和國大統領閣下モ亦適宜ニ其ノ外交官チ東京駐下ニ駐劄セシムルコトチ得ヘシ又兩締約國ノ一方ノ領土內ニ於テ別國領事官ノ駐在チ許シタル各港、各地ニ總領事、領事、副領事若ハ代辨領事チ駐在セシムルノ權チ有スヘシ但シ各總領事、領事、副領事若ハ代辨領事ノ其ノ職務チ行フニ先チ常式ニ從ヒ其ノ任國政府ノ認可チ經ヘキモノトス

兩締約國ノ一方ノ外交官及領事官ハ本條約ノ規定ニ從ヒ他ノ一方ノ領土內ニ於テ歐羅巴諸國又ハ亞米利加合衆國ノ同格ノ外交官及領事官ニ現ニ許與シ若ハ將來許與スヘキ一切ノ權利、特權及免除チ享有スヘシ

第三條

兩締約國ノ領土及所屬地ノ間ニハ相互ニ通商及航海ノ自由アルヘシ兩締約國ノ一方ノ臣民若ハ人民ハ他ノ一方ノ領土及所屬地內ノ各地、海港、河川及海峽ニシテ別國ノ臣民若ハ人民ノ到來チ許ス場所ヘ其ノ船舶及貨物チ以テ自由ニ且安全ニ到ルコトチ得又右臣民若ハ人民ハ別國ノ臣民若ハ人民ノ在留居住シ且其ノ地ニ於テ家屋及倉庫チ借受ケ使用シ總チ正業ニ屬スル各種ノ生產物、製造品及商品ノ卸賣若ハ小賣營業ニ從事スルコトチ得ヘシ

第四條

兩締約國ノ通商、航海、旅行及居住ニ關スル一切ノ事項ニ關シ其ノ一方ノ領土若ハ所屬地ニ於テ歐羅巴諸國又ハ亞米利加合衆國ノ臣民若ハ人民ニ現ニ許與シ或ハ將來許與スヘキ一切ノ殊遇、特權若ハ免除ノ他ノ一方ノ臣民若ハ人民ニモ若シ右歐羅巴諸國又ハ亞米利加合衆國ヘ無報酬ニテ許與シタルトキハ無報酬ニテ又若シ條件チ附シテ許與シタルトキハ其レト均一ノ條件チ附シテ之チ許與スヘキコトチ約ス

第五條

智利共和國ノ生產或ハ製造品チ日本國ニ輸入シ又ハ日本國ノ生產或ハ製造品チ智利共和國ニ輸入スルトキハ其ノ目的ノ消費、倉入、再輸出若ハ通過タルチ問ハス歐羅巴諸國又ハ亞米利加合衆國ノ生產若ハ製造ニ係ル同種ノ物品ニ對シ現ニ賦課シ若ハ將來賦課スルモノニ異ナルカ又ハ之ヨリ多額ノ稅チ賦課スルコトナカルヘシ

第六條

兩締約國ノ一方ノ領土若ハ所屬地ヨリ他ノ一方ノ領土若ハ所屬地ニ向ケ輸出スル物品ニ就テハ歐羅巴諸國又ハ亞米利加合衆國ヘ向ケ輸出スル同種ノ物品ニ對シ現ニ賦課シ若ハ將來賦課スヘキ稅金又ハ雜費ニ異ナルカ又ハ之ヨリ多額ノ稅金又ハ雜費チ賦課スルコトナカルヘシ又兩締約國ノ一方ノ領土ノ生產若ハ製造品チ他ノ一方ノ領土若ハ所屬地ニ輸入シ又ハ其ノ領土若ハ所屬地チ通過セシムルチ禁スルハ歐羅巴諸國又ハ亞米利加合衆國ヘ同種ノ物品ノ輸入若ハ通過チ均シク禁スル場合ニ限ルヘシ又兩締約國ノ一方ノ領土ヨリ他ノ一方ノ領土若ハ所屬地ヘ向ケ物品チ輸出スルチ禁スルハ歐羅巴諸國又ハ亞米利加合衆國ヘ同種ノ物品ノ輸出チ均シク禁スル場合ニ限ルヘシ

第七條

兩締約國ノ一方ノ領土若ハ所屬地ヨリ他ノ一方ノ領土若ハ所屬地ニ向ケ輸出スル物品ニ就テハ歐羅巴諸國又ハ亞米利加合衆國ヘ向ケ輸出スル同種ノ物品ニ對シ現ニ賦課シ若ハ將來賦課スヘキ稅金又ハ雜費ニ異ナルカ又ハ之ヨリ多額ノ稅金又ハ雜費チ賦課スルコトナカルヘシ

第六條

通過、倉入、奬勵金、便宜、稅金拂戻、再輸出竝ニ通過稅等ノ諸事項ニ就テハ兩締約國ノ一方ノ臣民若ハ人民、商品及船舶ノ他ノ一方ノ領土若ハ所屬地ニ於テ總テ歐羅巴諸國又ハ亞米利加合衆國ノ同樣ノ待遇チ享受スヘシ

第七條

政府、官吏、公吏、一私人、會社若ハ何等施設ノ名義チ以テ又ハ其ノ利益ノ爲ニ課セラルル所ノ噸稅、燈臺稅、港稅、水先案內料、檢疫費、難破船救助料其ノ他之ト同種ノ諸稅、諸費ニ就テハ其ノ性質若ハ名稱ノ如何ニ拘ハラス智利共和國ノ船舶ハ日本國ノ各海港、河川又ハ海峽ニ於テ又日本國ノ船舶ハ智利國ノ各海港、河川又ハ海峽ニ於テ同一ノ待遇チ享受スヘシ

第八條

兩締約國ノ沿海貿易ハ本條約ニ於テ規定スルノ限ニ在ラス日本國及智利國ノ法律チ以テ各自ニ之チ規定スヘキモノトス

第九條

本條約ハ英佛ノ兩國ニ於テ批准セラレタル後十箇月ヲ經過シタル後ニ非サレハ實施セラルヘカラス

第二十條　清國ニ在ル日本國臣民ノ身體財產ニ關スル裁判管轄權ハ當該日本國官吏ニ專屬ス日本國臣民且日本國ノ政府及臣民ハ大清國皇帝陛下ヨリ他國ノ政府又ハ臣民ニ現ニ附與シ又ハ將來附與スヘキ一切ノ特權、免除及利益ヲ享有スヘキコトヲ特ニ玆ニ規定ス

第二十一條　清國官吏又ハ臣民カ清國ニ在ル日本國臣民ニ對シ又ハ其ノ財產ニ關シ民事訴訟ヲ起ストキハ日本國官吏ニ於テ之ヲ審理判決スヘシ　清國臣民ニ對シ又ハ其ノ財產ニ關シ清國ニ在ル日本國官吏或ハ臣民ヨリ起ス所ノ民事訴訟ハ總テ清國官吏ニ於テ之ヲ審理判決スヘシ

第二十二條　清國ニ於テ犯罪ノ被告トナリタル日本國臣民ハ日本國ノ法律ニ依リ日本國官吏之ヲ審理シ其ノ有罪ト認メタルトキハ之ヲ處罰スヘシ　清國ニ在ル日本國臣民ニ對シ犯罪ノ被告トナリタル清國臣民ハ清國ノ法律ニ依リ清國官吏之ヲ審理シ其ノ有罪ト認メタルトキハ之ヲ處罰スヘシ

第二十三條　清國臣民カ日本國臣民ニ對シテ負債ヲ償辨セス又ハ詐偽逃亡スルトキハ清國官吏之ヲ逮捕シ其ノ負債ヲ償還セシムルコトヲ務ムヘシ　日本國官吏ニ於テモ日本國臣民カ清國臣民ニ對シテ詐偽逃亡シ又ハ其ノ負債ヲ償辨セサルモノヲ處分スルコトヲ務ムヘシ

第二十四條　清國ニ在ル日本人ニシテ罪ヲ犯シ又ハ負債ヲ償辨セスシテ詐偽逃亡シタル者清國ノ內地ニ通レル清國臣民ノ住居若ハ清國船舶中ニ潛伏スルトキハ清國官吏ハ日本國領事ヨリ請求次第日本國官吏ニ之ヲ引渡スヘシ　又清國ニ在ル清國人ニシテ罪ヲ犯シ又ハ負債ヲ償辨セスシテ詐偽逃亡シタル者清國ニ在ル日本國臣民ノ住居若ハ清國領海ニ於ケル日本國船舶中ニ潛伏スルトキハ清國官吏ヨリ日本國官吏ニ請求次第之ヲ引渡スヘシ

第二十五條　日本國ノ政府及臣民ハ其ノ現在效力ヲ有スル日清間條約諸條款ニ據リ得タル一切ノ特權免除及利益ヲ享有スルコトヲ更ニ玆ニ確定ス且日本國ノ政府及臣民ハ大清國皇帝陛下ヨリ他國ノ政府又ハ臣民ニ現ニ附與シ又ハ將來附與スヘキ一切ノ特權、免除及利益ヲ享有スヘキコトヲ特ニ玆ニ規定ス

第二十六條　締盟國ノ一方ハ本條約批准交換ノ日ヨリ十箇年ノ終ニ於テ稅目及本條約ノ通商ニ關スル條款ノ改正ヲ要求スルコトヲ得然レトモ若シ最初十箇年ノ終ヨリ起算シ六箇月以內ニ兩締盟國ノ何レヨリモ右要求ヲ爲サス改正ヲ行ハサルトキハ本條約竝ニ稅目ハ前十箇年ノ終ヨリ起算シ更ニ十箇年間其ノ儘效力ヲ有スヘシ而シテ其ノ後各十箇年ノ終ニ於テ何レノ締盟國ニモ亦本條ニ同樣ノ要求ヲ爲サス改正ヲ行ハサルトキハ本條約竝ニ稅目ハ前十箇年ノ終ヨリ起算シ更ニ十箇年間其ノ儘效力ヲ有スヘシ

第二十七條　締盟國ハ本條約ノ效力ヲ完全ナラシムルニ必要ナル章程ヲ協議決定スヘシ尤モ右章程ノ實施セラルヽニ至ル迄ハ現ニ清國ト泰西諸國トノ間ニ存スル取極及章程ニシテ其ノ本條約ノ規定ニ矛盾セスシテ適用セラレ得ル限ハ締盟國ニ於テ之ヲ遵守スヘキモノトス

第二十八條　本條約ハ日本文漢文及英文ニ調印スヘシ然レトモ將來議論ヲ防ク爲メ締盟國ノ全權大臣ハ日本文本文ト漢文本文トノ間ニ解釋ヲ異ニシタルトキハ其ノ異ナル點ハ英文本文ニ依テ之ヲ決裁スヘキコトヲ協議決定セリ

第二十九條　本條約ハ大日本國皇帝陛下及大清國皇帝陛下ニ於テ之ヲ批准セラルヘク而シテ其ノ批准書ハ本條約調印ノ日ヨリ三箇月以內ニ可成速ニ北京ニ於テ之ヲ交換スヘシ

右證據トシテ兩國ノ全權大臣本條約ニ記名調印スルモノナリ

明治二十九年七月二十一日卽光緒二十二年六月十一日北京ニ於テ作ル

大日本帝國北京駐劄特命全權公使正四位勳一等男爵　林　董（記名）印

大清帝國欽差全權大臣總理各國事務衙門大臣戶部左侍郎　張蔭桓（記名）印

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐ミタル大日本國皇帝（御名）此書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕明治二十八年四月十七日帝國ト大清國トノ間ニ締結セシ媾和條約第六條ノ規定ニ基キ明治二十九年七月二十一日北京ニ於テ兩國全權委員ノ記名調印シタル通商航海條約ノ各條目ヲ親シク閱覽點檢シタルニ善ク朕ノ意ニ適シ間然スル所ナキヲ以テ右條約ヲ嘉納批准ス

紳武天皇卽位紀元二千五百五十六年明治二十九年九月二十九日東京宮城ニ於テ親カラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名　國璽

外務大臣　伯爵大隈重信　印

明治二十九年十一月十日官報

●追加日清通商航海條約

明治三十七年一月二十日
勅令

朕明治三十六年十月八日清國上海ニ於テ欽カ全權委員ト清國全權委員ノ記名調印シタル追加日清通商航海條約ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム（外務大臣男爵　林　董）

大日本國皇帝陛下及大清國皇帝陛下ハ明治參拾四年九月七日卽光緒貳拾七年七月貳拾五日北京ニ於テ調印セラレタル最終議定書第拾壹條ノ規定ニ充分ノ效力ヲ與ヘムカ爲メ目清兩國間ノ通商關係ヲ簡易ニシ且增進セシムルヲ目的トシ該追加通商航海條約ヲ締結スルコトニ決シ之カ爲メニ大日本國皇帝陛下ハ公使館壹等書記官從五位勳五等日田切萬壽之助ヲ大清國皇帝陛下ハ工部尙書呂海寰太子少保前工部左侍郎盛宣懷商部左侍郎伍廷芳ヲ各其ノ全權委員ニ任命セリ因テ各全權委員ハ互ニ其ノ委任狀ヲ示シ其ノ良好妥當ナルヲ認メ以テ左ノ條項ヲ協議決定セリ

第壹條　清國ハ其ノ財政制度ヲ改正スル目的ヲ有シ而シテ鹽金制度ノ全廢ニ依リテ生スヘキ缺損ノ一部ヲ塡補スル爲メ海關又ハ內地及國境ノ稅關ヲ通過スル各種貨物ニ對シ關稅ノ外ニ附加稅ヲ徵收スルコトヲ提議シタルヲ以テ日本國ハ清國カ各條約國ト協議ノ上決定スルモノト同率ノ附加稅ヲ支拂フコトヲ承諾ス

清國ノ徵收スル生產稅消費稅機械製造品稅又內國產鴉片及鹽ノ稅ニ關シ日本國ハ各條約國カ清國臣民カ日本國臣民ノ債務ノ辨濟ニ使用スルコトヲ承諾ス

第貳條　清國ハ內地通過稅ヲ改正スル目的ヲ以テ現行ノ稅則ヲ左ノ通改正スルコトヲ承諾ス

一、現行ノ稅則ニ於テ從價稅ヲ定メタル輸入貨物ニ對シテハ從價稅ノ外別ニ手數料或ハ賦金ヲ課スルコトナカルヘシ但シ日本國ノ船舶及被雇ノ船舶及被雇ノ最惠國ノ船舶及被雇ノ最惠國ノ船舶ニ對シテハ從價稅ノ外別ニ手數料或ハ賦金ヲ課スルコトナカルヘシ但シ日本國

ルコト

一同　開天竺布茂丸入港ノ節ハ（ス）ル（キ）カヒ（ヘ）

二　仝市及仝租布（ニ於テ）開ケル十一時ヨリ翌朝五時マデノ間ハ（ス）ル（ヘ）カラス

（ニ）開ケル十一時ヨリ翌朝五時マデノ間ハ（ス）ル（ヘ）カラス

（ホ）開ケル十一時ヨリ翌朝五時マデノ間ハ（ス）ル（ヘ）カラス

三　仝市及仝租布（ニ於テ）開ケル十一時ヨリ翌朝五時マデノ間ハ（ス）ル（ヘ）カラス

（ヘ）開ケル十一時ヨリ翌朝五時マデノ間ハ（ス）ル（ヘ）カラス

（ト）開ケル十一時ヨリ翌朝五時マデノ間ハ（ス）ル（ヘ）カラス

四　自ノ（ヲ）ノ（ヲ）ノ（ヲ）

二四	染色天竺布「歷型布」カントン「フランネル」及其ノ		
	正又ハ緋染ノ土耳其赤染布幅三十二吋長二十ヤード		
	乃至五十ヤード超エサルモノニシテ長		
	（イ）重量三封度四分ノ一ヲ超エサルモノ		
	（ロ）重量三封度四分ノ一ヲ超エ五封度四分ノ一ヲ超エサル		
	モノ		
	（ハ）重量五封度四分ノ一ヲ超エメルモノ	同	同
二五	「重量三封度四分ノ一ヲ超エメルモノ	同	同
	「マーセライズド・クリンプ」染色又ハ染		
	無地又ハ紋織ノモノニシテ幅三十二吋長三十二ヤード	〇	〇・八六
二六	白染色又ハ染シメル「オートミール」縞「無地又ハ		
	紋織ノモノニシテ幅三十三吋長オートミール縞「無地又ハ	同	同
二七	生白染色又ハ縞織染ノ縞縞「オートミール縞「無地又ハ	〇	〇・六一五
	マス）		
	（イ）幅十五吋超エサルモノ	一碼	七分五厘
	（ロ）幅十五吋ヲ超エ三十吋ヲ超エサルモノ	〇・〇二二	
二八	白色又ハ染色ノ「ウスチンシア」「繻子」「ティッシュ」		
	「綾」「ジーン」「ドイリー」「ダマスク」「トウイル」「ヘリンボーン」		
	「サテン」「縮緬」「筋入」「ギプリン」「絞織ノモノニシテ		
	幅三十吋ヲ超エサル無地又ハ紋織ノモノニシテ幅三十		
	三吋ヲ超エサルモノ）		
二九	白又ハ染色ノ「サテーンドゥール」「五枚繻子」「綾		
	「五枚繻子以外ノモノ」及繻子織「無地又ハ紋織ノモノ「綾		
	「シンル無地」「ガボアン」及「ティッシュ」無地ノモノ	同一匹	〇・五四
	（イ）染色ノ「ウスチンシア」及「ティッシュ」無地ノモノ	〇・七二	
	（ロ）其他ノモノ		
三〇	白又ハ染メル「ネル」及「ガネル」「ネルフェ」「ネルボン」		
	「ネルシア」無地「ガボアン」及「ガボアン」「ネル」		
	「ネルボン」「ネルフェ」「ネルシア」「ネルボン」及「ガボアン」		
	幅三十三吋長三十三碼ヲ超エサルモノ）	同	同
三一	白又ハ染メル「ネル」紋織「ガボアン」「ネルボン」及「ガボアン」	同	同
	「ネルフェ」「ネルシア」「ネルボン」及「ガボアン」幅三十三吋	〇・三六	
	長三十三碼ヲ超エサルモノ）		
三二	絹「フランネレット」「糸織又ハ絹織ノモノ（兩面絞染ノモノ		
	除ク）		
	（イ）白染色「染絞又ハ絹染ノモノ（兩面絞染ノモノ		
	幅三十五吋ヲ超エサルモノ	同	同
	（ロ）幅三十五吋ヲ超エ十吋ヲ超エサルモノ	〇・一六五	
	（ハ）幅三十吋ヲ超エ三十五吋ヲ超エサルモノニシテ長		
	十五碼ヲ超エサルモノ	同	同
	（ニ）幅三十吋ヲ超エ三十五吋ヲ超エサルモノニシテ長	〇・一九五	
	三十碼ヲ超エサルモノ		
	（ホ）幅三十吋ヲ超エ三十五吋ヲ超エサルモノニシテ長	同	同
	三十碼ヲ超エサルモノ	〇・一四二	

	（ニ）幅三十		
	十五碼ヲ超エサルモノ		
	（ホ）幅三十吋ヲ超エ三十六吋ヲ超エサルモノニシテ長		
	三十一碼ヲ超エサルモノ	同	同
	（ヘ）兩面染絞染ノモノニシテ幅三十	一碼	〇・五二五
	二吋ヲ超エ十四封度ヲ超エ十五封度ヲ超エサルモノ		
	（ト）幅三十二吋ヲ超エ十四封度ヲ超エ十五封度ヲ超エサル	一匹	〇・二五五
	モノ		
三三	染色絹「スペンション・ストライプ」		
	（イ）幅幅三十二吋ヲ超エ十碼ヲ超エサルモノ	一匹	〇・二五五
	（ロ）幅三十二吋ヲ超エ十四碼ヲ超エサルモノニシテ長		
	二十碼ヲ超エサルモノ	同	同
三四	染色絹天鵞絨「無地ノモノニシテ幅二十六吋ヲ超エ		
	サルモノ）	一碼	〇・五二五
三五	絹天鵞絨「絞織又ハ壓型有ノモノ（減絨天鵞絨「		
	「ヨール」天「アスチアン」「モールスキン」及「プラッシュ」		
	幅二十六吋ヲ超エサルモノ）	一碼	〇・〇四四
三六	綿「ベッドカバー」布「ベッド」「ダム」但シ絹ノ帆等ニ用		
	フルモノニシテ幅三十吋ヲ超エサルモノ	一碼	〇・〇三六
三七	綿天小地		
	（イ）起毛シタルモノ		
	（ロ）起毛セサルモノ	從價一錢	五・二五
	絞染綿布		
三八	絞染綿織地金巾「絞染寒冷紗」「絞染「モスリン」「絞染		
	巾」「絞染縮帯」「絞染天竺布「ブリュー・ドンブイヤー」「絞染		
	トルコ・モロッカン」「絞染「ベッドカバー」「絞染「ダマスク」		
	「絞染「ベッドカバー」「絞染「ベッドカバー」「絞染「ベッドカバー」		
	「絞染「ベッドカバー」「絞染「ベッドカバー」「絞染「ベッドカバー」		
	（イ）幅三十吋ヲ超エサルモノ	從價	一割
	（ロ）幅二十吋ヲ超エ四十六吋ヲ超エサルモノニシテ長十		
	二碼ヲ超エサルモノ	一匹	〇・一六二
	（ハ）幅二十吋ヲ超エ三十二吋ヲ超エサルモノニシテ長三		
	十碼ヲ超エサルモノ	同	同
	（ニ）幅三十二吋ヲ超エ四十二吋ヲ超エサルモノニシテ長		
	三十碼ヲ超エサルモノ	同	同
三九	絞染「オートミール・クレープ」及「オートミール・クレープ」		
	幅三十二吋長三十碼ヲ超エサルモノ）	同	同
四〇	絞染シメル綿織		
	（イ）超エサルモノ	從價	一割
	（ロ）幅十五吋ヲ超エ三十吋ヲ超エサルモノ	一碼	〇・一六二
四一	絞染土耳古赤布「緋正又ハ緋染ノモノニシテ幅三十		
	一吋長二十五碼ヲ超エサルモノ）	一匹	〇・三二二
四二	絞染綿織「幅三十一吋長三十碼ヲ超エサルモノ）	同	〇・三八
四三	絞染「ウォード」染「ブルーム」及「ブラシ」ノ柄ニ		
	用ヒシ絹織又ハ絞染シメル「ネル」及「ガネル」		

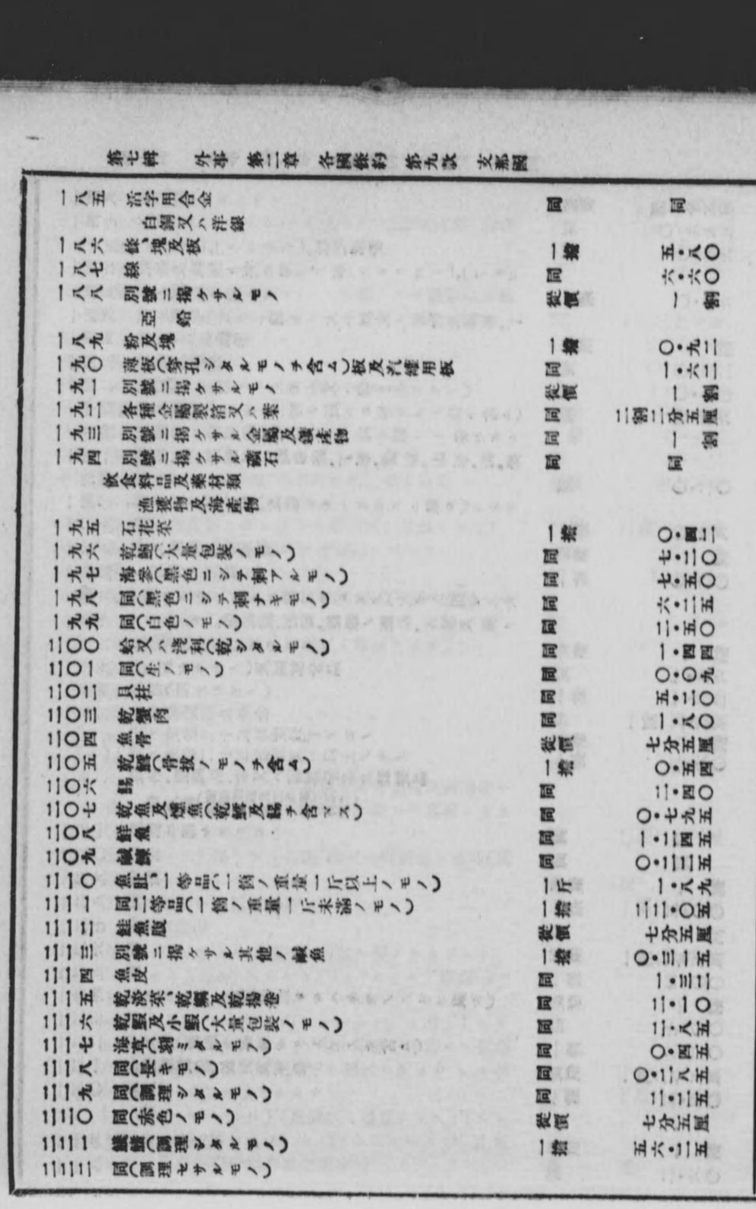
	絞染「ダマスク」絞染「ヒートリスク・トルコ」絞染「ガニネル」		
	絞染「モーリーン」絞染「コード」絞染「ボプリン」絞染「ラスチン」		
	幅三十二吋長三十碼ヲ超エサルモノ		
四四	兩面絞染金巾（一色ノミノモノニシテ幅三十二吋長		
	三十碼ヲ超エサルモノ）	同	同
四五	絞染「ドメスチック・クレトン」絞染「サテン・ク		
	レトン」絞染「タメル」壓型絞染「ボルトン・ク		
	レトン」絞染「アート・モスリン」及其他絞染布地「絞染「ダック」		
	絞染「カバーテン」及其他絞染布地「絞染布ノ兩面絞染布ノ		
	絞染ノ第三八號及第四號ニ揭ケタルモノヲ除ク）	從價	一割
	絞染絲綿布		
四六	絲絞染絲綿布（別號ニ揭ケサルモノ）	同	七分五厘
四七	絲布（別號ニ揭ケサルモノ）	同	一割
	棉花「綿絲「綿織絲及綿製品		
四八	棉花	從價	一割
四九	棉屑棉節	從價	七分五厘
五〇	綿織絲		
	（イ）生ノモノ（合絲ヲ同ハス）		
	（ロ）十七番手ヲ超エサルモノ		
	（ハ）十七番手ヲ超エ二十二番手ヲ超エサルモノ		
	（ニ）二十二番手ヲ超エ三十五番手ヲ超エサルモノ		
	（ホ）三十五番手ヲ超エ四十五番手ヲ超エサルモノ		
	（ヘ）四十五番手ヲ超エメルモノ	同	同
五一	綿絲織絲（皆又ハ絲卷ニ卷キタルモノ）		
	（イ）二合絲（絲長五千碼以下ノモノ）	從價	一割
	（ロ）六合絲（同上）	同	同
	（ハ）其他ノ長キモノハ右ノ比例ニ依ル		
	（ニ）コンヂス又ハ漂絲用絲（絲造又ハ漂ノモノ）		
	（イ）絲絲ノ價格二百法佛ヲ超エサルモノ	一斤	〇・〇四
	（ロ）絲絲ノ價格二百法佛ヲ超エサルモノ	八三・〇〇〇	
五二	圖形子（無地又ハ染メル「ネル」及「ガネル」「ネルフェ」	同	同
	「ネルシア」「ネルボン」及「ガボアン」幅三十三吋長三十三碼ヲ超	一・三六	
	エサルモノ）		
五三	白又ハ染メル「ネル」紋織「ガプリン」「ネルボン」及「ガボアン」	同	同
	「ネルフェ」「ネルシア」「ネルボン」及「ガボアン」幅三十三吋	〇・五四	
	長三十三碼ヲ超エサルモノ）		
五四	「アラジン」「ケトル」無地又ハ紋織ノモノ（絹又ハ其		
	他ノ材料ヲ以テ兼取リ又ハ兼挂シメルモノヲ含ム）及「アラジン」無地	同	同
五五	棉糸布及兩面地「綿糸織又ハ「アルパンラ」		
	（イ）長二碼二分ノ一ヲ超エサルモノ	同	同
	（ロ）長二碼二十五碼ヲ超エサルモノ	〇・一六五	
	十五碼ヲ超エサルモノ	同	同
	（ハ）長二碼二十五碼ヲ超エ十碼ヲ超エサルモノニシテ長		
	十五碼ヲ超エサルモノ	同	同
	（ニ）長二碼二十五碼ヲ超エ十碼ヲ超エサルモノニシテ長	〇・一九五	
	二十碼ヲ超エサルモノ		
五六	「レース」「トリミング」「刺繍シメル物品及裝飾用ト		
	認メラルヘキ絲織物	從價	一割二分五厘
	（イ）超エメルモノ	同	同
	（ロ）長二碼二碼二分ノ一ヲ超エサルモノ	〇・四二	

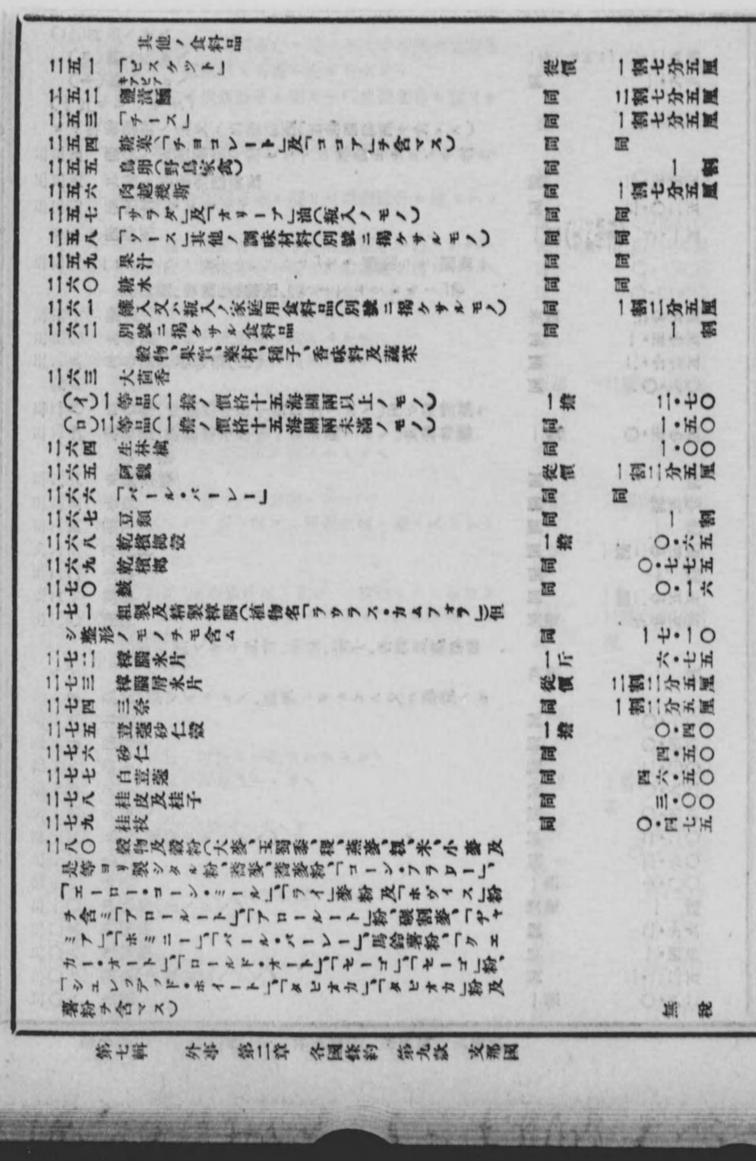
	絞染「アマスク」「絞染「ヒートリスク・トルコ」「絞染「ガニネル」		
	絞染「モーリーン」「絞染「コード」「絞染「ボプリン」「絞染「ラスチン」		
	「絞染「ダマスク」「絞染「ベッドカバー」「絞染「ベッドカバー」		
	「絞染「ベッドカバー」「絞染「ベッドカバー」「絞染「ベッドカバー」		
	「絞染「ベッドカバー」「絞染「ベッドカバー」「絞染「ベッドカバー」		
	幅三十二吋長三十碼ヲ超エサルモノ		
四四	兩面絞染金巾（一色ノミノモノニシテ幅三十二吋長		
	三十碼ヲ超エサルモノ）	同	同
四五	絞染「ドメスチック・クレトン」絞染「サテン・ク		
	レトン」絞染「タメル」壓型絞染「ボルトン・ク		
	絞染「アート・モスリン」及其他絞染布地「絞染「ダック」		
	絞染「カバーテン」及其他絞染布地「絞染布ノ兩面絞染布ノ		
	絞染ノ第三八號及第四號ニ揭ケタルモノヲ除ク）	從價	一割
	絞染絲綿布		
四六	絲絞染絲綿布（別號ニ揭ケサルモノ）	同	七分五厘
四七	絲布（別號ニ揭ケサルモノ）	同	一割
	棉花「綿絲「綿織絲及綿製品		
四八	棉花	從價	一割
四九	棉屑棉節	從價	七分五厘
五〇	綿織絲		
	（イ）生ノモノ（合絲ヲ同ハス）		
	（ロ）十七番手ヲ超エサルモノ		
	（ハ）十七番手ヲ超エ二十二番手ヲ超エサルモノ		
	（ニ）二十二番手ヲ超エ三十五番手ヲ超エサルモノ		
	（ホ）三十五番手ヲ超エ四十五番手ヲ超エサルモノ		
	（ヘ）四十五番手ヲ超エメルモノ	同	同
五一	綿絲織絲（皆又ハ絲卷ニ卷キタルモノ）		
	（イ）二合絲（絲長五千碼以下ノモノ）	從價	一割
	（ロ）六合絲（同上）	同	同
	（ハ）其他ノ長キモノハ右ノ比例ニ依ル		
	（ニ）コンヂス又ハ漂絲用絲（絲造又ハ漂ノモノ）		
	（イ）絲絲ノ價格二百法佛ヲ超エサルモノ	一斤	〇・〇四
	（ロ）絲絲ノ價格二百法佛ヲ超エサルモノ	八三・〇〇〇	
五二	圖形子（無地又ハ染メル「ネル」及「ガネル」「ネルフェ」	同	同
	「ネルシア」「ネルボン」及「ガボアン」幅三十三吋長三十三碼ヲ超	一・三六	
	エサルモノ）		
五三	白又ハ染メル「ネル」紋織「ガプリン」「ネルボン」及「ガボアン」	同	同
	「ネルフェ」「ネルシア」「ネルボン」及「ガボアン」幅三十三吋	〇・五四	
	長三十三碼ヲ超エサルモノ）		
五四	「アラジン」「ケトル」無地又ハ紋織ノモノ（絹又ハ其		
	他ノ材料ヲ以テ兼取リ又ハ兼挂シメルモノヲ含ム）及「アラジン」無地	同	同
五五	棉糸布及兩面地「綿糸織又ハ「アルパンラ」		
	（イ）長二碼二分ノ一ヲ超エサルモノ	同	同
	（ロ）長二碼二十五碼ヲ超エサルモノ	〇・一六五	
	十五碼ヲ超エサルモノ	同	同
	（ハ）長二碼二十五碼ヲ超エ十碼ヲ超エサルモノニシテ長		
	十五碼ヲ超エサルモノ	同	同
	（ニ）長二碼二十五碼ヲ超エ十碼ヲ超エサルモノニシテ長	〇・一九五	
	二十碼ヲ超エサルモノ		
五六	「レース」「トリミング」「刺繍シメル物品及裝飾用ト		
	認メラルヘキ絲織物	從價	一割二分五厘
	（イ）超エメルモノ	同	同
	（ロ）長二碼二碼二分ノ一ヲ超エサルモノ	〇・四二	

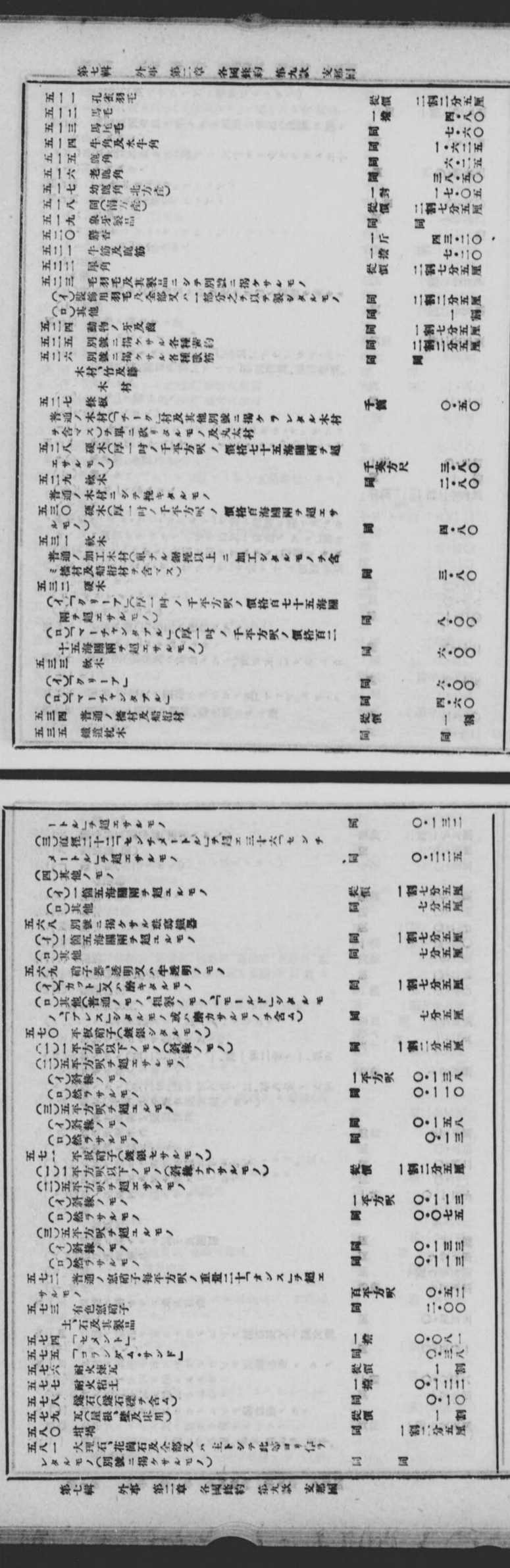
	絞染「ダマスク」「絞染「ベッドカバー」「絞染「ガニネル」		
	絞染「モーリーン」「絞染「コード」「絞染「ボプリン」「絞染「ラスチン」		
	「絞染「ダマスク」「絞染「ベッドカバー」「絞染「ベッドカバー」		
	「絞染「ベッドカバー」「絞染「ベッドカバー」「絞染「ベッドカバー」		
	「絞染「ベッドカバー」「絞染「ベッドカバー」「絞染「ベッドカバー」		
	幅三十二吋長三十碼ヲ超エサルモノ		
四四	兩面絞染金巾（一色ノミノモノニシテ幅三十二吋長		
	三十碼ヲ超エサルモノ）	同	同
四五	絞染「ドメスチック・クレトン」絞染「サテン・ク		
	レトン」絞染「タメル」壓型絞染「ボルトン・ク		
	絞染「アート・モスリン」及其他絞染布地「絞染「ダック」		
	絞染「カバーテン」及其他絞染布地「絞染布ノ兩面絞染布ノ		
	絞染ノ第三八號及第四號ニ揭ケタルモノヲ除ク）	從價	一割
	絞染絲綿布		
四六	絲絞染絲綿布（別號ニ揭ケサルモノ）	同	七分五厘
四七	絲布（別號ニ揭ケサルモノ）	同	一割
	棉花「綿絲「綿織絲及綿製品		
四八	棉花	從價	一割
四九	棉屑棉節	從價	七分五厘
五〇	綿織絲		
	（イ）生ノモノ（合絲ヲ同ハス）		
	（ロ）十七番手ヲ超エサルモノ		
	（ハ）十七番手ヲ超エ二十二番手ヲ超エサルモノ		
	（ニ）二十二番手ヲ超エ三十五番手ヲ超エサルモノ		
	（ホ）三十五番手ヲ超エ四十五番手ヲ超エサルモノ		
	（ヘ）四十五番手ヲ超エメルモノ	同	同
五一	綿絲織絲（皆又ハ絲卷ニ卷キタルモノ）		
	（イ）二合絲（絲長五千碼以下ノモノ）	從價	一割
	（ロ）六合絲（同上）	同	同
	（ハ）其他ノ長キモノハ右ノ比例ニ依ル		
	（ニ）コンヂス又ハ漂絲用絲（絲造又ハ漂ノモノ）		
	（イ）絲絲ノ價格二百法佛ヲ超エサルモノ	一斤	〇・〇四
	（ロ）絲絲ノ價格二百法佛ヲ超エサルモノ	八三・〇〇〇	
五二	圖形子（無地又ハ染メル「ネル」及「ガネル」「ネルフェ」	同	同
	「ネルシア」「ネルボン」及「ガボアン」幅三十三吋長三十三碼ヲ超	一・三六	
	エサルモノ）		
五三	白又ハ染メル「ネル」紋織「ガプリン」「ネルボン」及「ガボアン」	同	同
	「ネルフェ」「ネルシア」「ネルボン」及「ガボアン」幅三十三吋	〇・五四	
	長三十三碼ヲ超エサルモノ）		
五四	「アラジン」「ケトル」無地又ハ紋織ノモノ（絹又ハ其		
	他ノ材料ヲ以テ兼取リ又ハ兼挂シメルモノヲ含ム）及「アラジン」無地	同	同
五五	棉糸布及兩面地「綿糸織又ハ「アルパンラ」		
	（イ）長二碼二分ノ一ヲ超エサルモノ	同	同
	（ロ）長二碼二十五碼ヲ超エサルモノ	〇・一六五	
	十五碼ヲ超エサルモノ	同	同
	（ハ）長二碼二十五碼ヲ超エ十碼ヲ超エサルモノニシテ長		
	十五碼ヲ超エサルモノ	同	同
	（ニ）長二碼二十五碼ヲ超エ十碼ヲ超エサルモノニシテ長	〇・一九五	
	二十碼ヲ超エサルモノ		
五六	「レース」「トリミング」「刺繍シメル物品及裝飾用ト		
	認メラルヘキ絲織物	從價	一割二分五厘
	（イ）超エメルモノ	同	同
	（ロ）長二碼二碼二分ノ一ヲ超エサルモノ	〇・四二	

五七一

| | | |





| | | |

四四二　含ムモノ（帝重査荷多二十「パーセント」超エサル限税有重チ以テ課税スベキ人造絹糸及ビ其ノ製品
四四一一　人造絹糸
四四一二　天然絲乾重（但シ帝重査荷多キモノハ其ノ製品ニ付テハ帝重ニ含ム）
四四一三　天然絲乾重ノ差減ニ關スル議定書
四四一四　天然絲乾重ノ差減ニ關スル議定書
四四一五　「ヴィンド」絲及「ヴィンド」絲ノ製品
四四一六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書
四四一七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ追加議定書
四四一八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二追加議定書
四四一九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三追加議定書
四四二〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第四追加議定書
四四二一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第五追加議定書
四四二二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第六追加議定書
四四二三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第七追加議定書
四四二四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第八追加議定書
四四二五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第九追加議定書
四四二六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第十追加議定書
四四二七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第十一追加議定書
四四二八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第十二追加議定書
四四二九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第十三追加議定書
四四三〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第十四追加議定書
四四三一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第十五追加議定書
四四三二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第十六追加議定書
四四三三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第十七追加議定書
四四三四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第十八追加議定書
四四三五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第十九追加議定書
四四三六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二十追加議定書
四四三七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二十一追加議定書
四四三八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二十二追加議定書
四四三九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二十三追加議定書
四四四〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二十四追加議定書
四四四一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二十五追加議定書
四四四二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二十六追加議定書
四四四三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二十七追加議定書
四四四四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二十八追加議定書
四四四五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二十九追加議定書
四四四六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三十追加議定書
四四四七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三十一追加議定書
四四四八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三十二追加議定書
四四四九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三十三追加議定書
四四五〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三十四追加議定書
四四五一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三十五追加議定書
四四五二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三十六追加議定書
四四五三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三十七追加議定書
四四五四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三十八追加議定書
四四五五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三十九追加議定書
四四五六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第四十追加議定書
四四五七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第四十一追加議定書
四四五八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第四十二追加議定書
四四五九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第四十三追加議定書
四四六〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第四十四追加議定書
四四六一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第四十五追加議定書
四四六二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第四十六追加議定書
四四六三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第四十七追加議定書
四四六四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第四十八追加議定書
四四六五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第四十九追加議定書
四四六六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第五十追加議定書
四四六七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第五十一追加議定書
四四六八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第五十二追加議定書
四四六九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第五十三追加議定書
四四七〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第五十四追加議定書
四四七一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第五十五追加議定書
四四七二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第五十六追加議定書
四四七三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第五十七追加議定書
四四七四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第五十八追加議定書
四四七五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第五十九追加議定書
四四七六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第六十追加議定書
四四七七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第六十一追加議定書
四四七八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第六十二追加議定書
四四七九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第六十三追加議定書
四四八〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第六十四追加議定書
四四八一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第六十五追加議定書
四四八二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第六十六追加議定書
四四八三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第六十七追加議定書
四四八四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第六十八追加議定書
四四八五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第六十九追加議定書
四四八六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第七十追加議定書
四四八七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第七十一追加議定書
四四八八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第七十二追加議定書
四四八九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第七十三追加議定書
四四九〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第七十四追加議定書
四四九一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第七十五追加議定書
四四九二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第七十六追加議定書
四四九三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第七十七追加議定書
四四九四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第七十八追加議定書
四四九五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第七十九追加議定書
四四九六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第八十追加議定書
四四九七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第八十一追加議定書
四四九八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第八十二追加議定書
四四九九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第八十三追加議定書
四五〇〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第八十四追加議定書
四五〇一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第八十五追加議定書
四五〇二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第八十六追加議定書
四五〇三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第八十七追加議定書
四五〇四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第八十八追加議定書
四五〇五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第八十九追加議定書
四五〇六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第九十追加議定書
四五〇七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第九十一追加議定書
四五〇八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第九十二追加議定書
四五〇九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第九十三追加議定書
四五一〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第九十四追加議定書
四五一一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第九十五追加議定書
四五一二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第九十六追加議定書
四五一三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第九十七追加議定書
四五一四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第九十八追加議定書
四五一五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第九十九追加議定書
四五一六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百追加議定書
四五一七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百一追加議定書
四五一八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百二追加議定書
四五一九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百三追加議定書
四五二〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百四追加議定書
四五二一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百五追加議定書
四五二二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百六追加議定書
四五二三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百七追加議定書
四五二四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百八追加議定書
四五二五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百九追加議定書
四五二六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百十追加議定書
四五二七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百十一追加議定書
四五二八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百十二追加議定書
四五二九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百十三追加議定書
四五三〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百十四追加議定書
四五三一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百十五追加議定書
四五三二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百十六追加議定書
四五三三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百十七追加議定書
四五三四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百十八追加議定書
四五三五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百十九追加議定書
四五三六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百二十追加議定書
四五三七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百二十一追加議定書
四五三八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百二十二追加議定書
四五三九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百二十三追加議定書
四五四〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百二十四追加議定書
四五四一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百二十五追加議定書
四五四二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百二十六追加議定書
四五四三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百二十七追加議定書
四五四四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百二十八追加議定書
四五四五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百二十九追加議定書
四五四六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百三十追加議定書
四五四七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百三十一追加議定書
四五四八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百三十二追加議定書
四五四九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百三十三追加議定書
四五五〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百三十四追加議定書
四五五一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百三十五追加議定書
四五五二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百三十六追加議定書
四五五三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百三十七追加議定書
四五五四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百三十八追加議定書
四五五五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百三十九追加議定書
四五五六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百四十追加議定書
四五五七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百四十一追加議定書
四五五八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百四十二追加議定書
四五五九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百四十三追加議定書
四五六〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百四十四追加議定書
四五六一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百四十五追加議定書
四五六二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百四十六追加議定書
四五六三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百四十七追加議定書
四五六四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百四十八追加議定書
四五六五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百四十九追加議定書
四五六六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百五十追加議定書
四五六七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百五十一追加議定書
四五六八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百五十二追加議定書
四五六九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百五十三追加議定書
四五七〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百五十四追加議定書
四五七一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百五十五追加議定書
四五七二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百五十六追加議定書
四五七三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百五十七追加議定書
四五七四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百五十八追加議定書
四五七五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百五十九追加議定書
四五七六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百六十追加議定書
四五七七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百六十一追加議定書
四五七八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百六十二追加議定書
四五七九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百六十三追加議定書
四五八〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百六十四追加議定書
四五八一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百六十五追加議定書
四五八二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百六十六追加議定書
四五八三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百六十七追加議定書
四五八四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百六十八追加議定書
四五八五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百六十九追加議定書
四五八六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百七十追加議定書
四五八七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百七十一追加議定書
四五八八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百七十二追加議定書
四五八九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百七十三追加議定書
四五九〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百七十四追加議定書
四五九一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百七十五追加議定書
四五九二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百七十六追加議定書
四五九三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百七十七追加議定書
四五九四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百七十八追加議定書
四五九五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百七十九追加議定書
四五九六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百八十追加議定書
四五九七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百八十一追加議定書
四五九八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百八十二追加議定書
四五九九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百八十三追加議定書
四六〇〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百八十四追加議定書
四六〇一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百八十五追加議定書
四六〇二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百八十六追加議定書
四六〇三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百八十七追加議定書
四六〇四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百八十八追加議定書
四六〇五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百八十九追加議定書
四六〇六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百九十追加議定書
四六〇七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百九十一追加議定書
四六〇八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百九十二追加議定書
四六〇九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百九十三追加議定書
四六一〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百九十四追加議定書
四六一一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百九十五追加議定書
四六一二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百九十六追加議定書
四六一三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百九十七追加議定書
四六一四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百九十八追加議定書
四六一五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第百九十九追加議定書
四六一六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百追加議定書
四六一七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百一追加議定書
四六一八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百二追加議定書
四六一九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百三追加議定書
四六二〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百四追加議定書
四六二一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百五追加議定書
四六二二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百六追加議定書
四六二三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百七追加議定書
四六二四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百八追加議定書
四六二五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百九追加議定書
四六二六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百十追加議定書
四六二七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百十一追加議定書
四六二八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百十二追加議定書
四六二九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百十三追加議定書
四六三〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百十四追加議定書
四六三一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百十五追加議定書
四六三二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百十六追加議定書
四六三三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百十七追加議定書
四六三四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百十八追加議定書
四六三五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百十九追加議定書
四六三六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百二十追加議定書
四六三七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百二十一追加議定書
四六三八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百二十二追加議定書
四六三九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百二十三追加議定書
四六四〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百二十四追加議定書
四六四一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百二十五追加議定書
四六四二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百二十六追加議定書
四六四三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百二十七追加議定書
四六四四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百二十八追加議定書
四六四五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百二十九追加議定書
四六四六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百三十追加議定書
四六四七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百三十一追加議定書
四六四八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百三十二追加議定書
四六四九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百三十三追加議定書
四六五〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百三十四追加議定書
四六五一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百三十五追加議定書
四六五二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百三十六追加議定書
四六五三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百三十七追加議定書
四六五四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百三十八追加議定書
四六五五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百三十九追加議定書
四六五六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百四十追加議定書
四六五七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百四十一追加議定書
四六五八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百四十二追加議定書
四六五九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百四十三追加議定書
四六六〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百四十四追加議定書
四六六一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百四十五追加議定書
四六六二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百四十六追加議定書
四六六三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百四十七追加議定書
四六六四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百四十八追加議定書
四六六五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百四十九追加議定書
四六六六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百五十追加議定書
四六六七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百五十一追加議定書
四六六八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百五十二追加議定書
四六六九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百五十三追加議定書
四六七〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百五十四追加議定書
四六七一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百五十五追加議定書
四六七二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百五十六追加議定書
四六七三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百五十七追加議定書
四六七四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百五十八追加議定書
四六七五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百五十九追加議定書
四六七六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百六十追加議定書
四六七七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百六十一追加議定書
四六七八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百六十二追加議定書
四六七九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百六十三追加議定書
四六八〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百六十四追加議定書
四六八一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百六十五追加議定書
四六八二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百六十六追加議定書
四六八三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百六十七追加議定書
四六八四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百六十八追加議定書
四六八五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百六十九追加議定書
四六八六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百七十追加議定書
四六八七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百七十一追加議定書
四六八八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百七十二追加議定書
四六八九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百七十三追加議定書
四六九〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百七十四追加議定書
四六九一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百七十五追加議定書
四六九二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百七十六追加議定書
四六九三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百七十七追加議定書
四六九四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百七十八追加議定書
四六九五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百七十九追加議定書
四六九六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百八十追加議定書
四六九七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百八十一追加議定書
四六九八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百八十二追加議定書
四六九九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百八十三追加議定書
四七〇〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百八十四追加議定書
四七〇一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百八十五追加議定書
四七〇二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百八十六追加議定書
四七〇三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百八十七追加議定書
四七〇四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百八十八追加議定書
四七〇五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百八十九追加議定書
四七〇六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百九十追加議定書
四七〇七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百九十一追加議定書
四七〇八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百九十二追加議定書
四七〇九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百九十三追加議定書
四七一〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百九十四追加議定書
四七一一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百九十五追加議定書
四七一二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百九十六追加議定書
四七一三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百九十七追加議定書
四七一四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百九十八追加議定書
四七一五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第二百九十九追加議定書
四七一六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百追加議定書
四七一七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百一追加議定書
四七一八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百二追加議定書
四七一九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百三追加議定書
四七二〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百四追加議定書
四七二一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百五追加議定書
四七二二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百六追加議定書
四七二三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百七追加議定書
四七二四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百八追加議定書
四七二五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百九追加議定書
四七二六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百十追加議定書
四七二七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百十一追加議定書
四七二八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百十二追加議定書
四七二九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百十三追加議定書
四七三〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百十四追加議定書
四七三一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百十五追加議定書
四七三二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百十六追加議定書
四七三三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百十七追加議定書
四七三四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百十八追加議定書
四七三五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百十九追加議定書
四七三六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百二十追加議定書
四七三七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百二十一追加議定書
四七三八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百二十二追加議定書
四七三九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百二十三追加議定書
四七四〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百二十四追加議定書
四七四一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百二十五追加議定書
四七四二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百二十六追加議定書
四七四三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百二十七追加議定書
四七四四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百二十八追加議定書
四七四五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百二十九追加議定書
四七四六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百三十追加議定書
四七四七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百三十一追加議定書
四七四八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百三十二追加議定書
四七四九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百三十三追加議定書
四七五〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百三十四追加議定書
四七五一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百三十五追加議定書
四七五二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百三十六追加議定書
四七五三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百三十七追加議定書
四七五四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百三十八追加議定書
四七五五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百三十九追加議定書
四七五六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百四十追加議定書
四七五七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百四十一追加議定書
四七五八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百四十二追加議定書
四七五九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百四十三追加議定書
四七六〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百四十四追加議定書
四七六一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百四十五追加議定書
四七六二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百四十六追加議定書
四七六三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百四十七追加議定書
四七六四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百四十八追加議定書
四七六五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百四十九追加議定書
四七六六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百五十追加議定書
四七六七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百五十一追加議定書
四七六八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百五十二追加議定書
四七六九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百五十三追加議定書
四七七〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百五十四追加議定書
四七七一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百五十五追加議定書
四七七二　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百五十六追加議定書
四七七三　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百五十七追加議定書
四七七四　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百五十八追加議定書
四七七五　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百五十九追加議定書
四七七六　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百六十追加議定書
四七七七　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百六十一追加議定書
四七七八　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百六十二追加議定書
四七七九　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百六十三追加議定書
四七八〇　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百六十四追加議定書
四七八一　「ヴィンド」絲ノ製品ニ關スル議定書ノ第三百六十五追加議定書
四七八二　「ヴィンド」絲ノ製品